

NEC

MultiWriter 4050M

レーザープリンター



ユーザーズマニュアル [1/2]

プリンターの取り扱い

このユーザーズマニュアル[1/2]は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示について

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアル[1/2]の指示に従って操作してください。

このユーザーズマニュアル[1/2]には装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアル[1/2]ならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	△記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表しています。記号内の絵表示は危険の内容を図案化したものです。 (注意の喚起)	 (感電注意)
	⊘記号は行為の禁止を表します。記号内や近くの絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。(行為の禁止)	 (接触禁止)
	●記号は行為の強制を表します。記号内の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。(行為の強制)	 (プラグを抜け)

ユーザーズマニュアルおよび 警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	感電のおそれがあることを示します。		

行為の禁止

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。火傷・感電などの傷害が起こるおそれがあります。
---	--	---	--

行為の強制

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
---	--

商標について

MultiWriter、PrintAgent、MOPYING、NMPSは日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。

Macintosh、Mac OS、QuickDraw、LocalTalk、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

IBM、PS/V、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

UNIXはThe Open Groupの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeおよびAcrobatはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating system およびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows NT 3.5はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.5およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.5の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウェアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

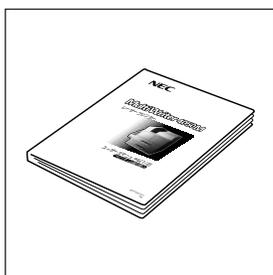
はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MultiWriter 4050Mは新しい高性能CPUを搭載し、より高速な印刷を可能にしたプリンターです。また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただけるPrintAgentソフトウェアを採用しています。このソフトウェアの機能により、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、各種設定をコンピューター側から行うことができます。

マニュアルの種類

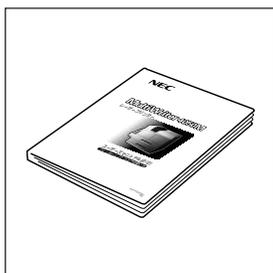
MultiWriter 4050Mには以下のような2種類のマニュアルが添付されています。本書は「MultiWriter 4050Mユーザーズマニュアル[1/2]」です。



MultiWriter 4050M ユーザーズマニュアル[1/2]

～プリンターの取り扱い～

本書です。プリンターを箱から取り出して設置し、印刷できるようにプリンターを準備するまでの手順を説明しています。さらにメニューモードについての詳しい説明、プリンターの機能を高めるためのオプションや日常の保守、正しく動作しない場合の対処方法、印刷範囲などの技術情報について説明しています。



MultiWriter 4050M ユーザーズマニュアル[2/2]

～プリンターソフトウェアの使い方～

プリンターソフトウェアのインストール方法を各OS別に説明し、さらにプリンタードライバーの設定内容やPrintAgentについて説明しています。

本書の概要

安全にお使いいただくために

プリンターを安全にお使いいただくためにあらかじめ知っておいていただきたい注意事項について説明しています。

1章 プリンターの設置

プリンターを箱から取り出してから、プリンターケーブルでコンピューターとつなぐまでの手順を説明しています。

プリンターの設置はサービス担当者が行います。

2章 操作パネルについて

プリンターの操作パネル(ディスプレイ/ランプ/スイッチ)の機能について説明しています。

3章 オプション

プリンターの機能をさらに活用していただくため、豊富に用意されたオプション品について説明しています。オプション品の取り付け方から設定方法までより詳しく説明しています。

4章 日常の保守

プリンターの日常的な保守(EPカートリッジの交換、清掃など)の方法について説明しています。

5章 故障かな?と思ったら

プリンターが思うように動作しなかった場合の原因および対処方法について説明しています。

付録

A: メニューモードとメモリースイッチの詳細について説明しています。

B: MultiWriter 4050Mの仕様等技術情報について説明しています。

本文中で使用の記号の意味

このユーザズマニュアル[1/2]では、表紙の裏の「安全にかかわる表示について」で説明した記号のほかに、本文中で次の3種類の記号を使っています。それぞれは次のように定義されています。

記号	内容
 重要	マニュアルに記載されている注意事項および指示を守らないと、プリンター本体が損傷するおそれがあることを示しています。
 チェック	プリンターを使用する際に守っていただきたいこと、およびプリンターを正しく動作させるための注意事項や補足説明を記載しています。
 ヒント	プリンターを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

MultiWriter 4050Mの特長

MultiWriter 4050Mの主な特長を簡単に説明します。

MOPYING

オリジナルの資料を多部数、高速に準備

多部数の資料を用意する場合、通常ならプリンターで出力したオリジナル原稿をコピー機のソーター機能を利用して複写するのが一般的でした。しかし「MOPYING(モピーイング：Multiple Original coPY and printING)」機能を利用するとMultiWriter 4050Mが必要部数仕分けながら直接出力することができます。「MOPYING」はオリジナル原稿を必要部数出力しますので複写による画質低下の心配がありません。多部数の資料を高品質に、かつ高速に準備できるので、会議資料、技術資料、通知文などさまざまな場面で「MOPYING」が活躍します。

いろいろな出力方法

MultiWriter 4050Mでは、たくさんのドキュメントを5つの方法で仕分け出力することができます。

オフセット排紙機能

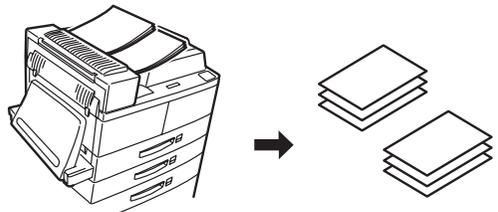
混ざらないから取り出しやすい、ユーザーごとに仕分け出力

オフセット排紙機能は、用紙を印刷ジョブごとに用紙の向きはそのまま水平方向にずらしてスタッカー上に排出させる機能です。

オフセット排紙機能による丁合い印刷

ページ順に出力、簡易ソーターとして利用できる

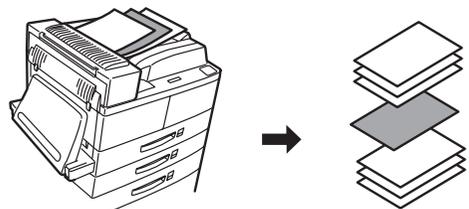
オフセット排紙機能と丁合い機能を組み合わせることによって、簡易ソーターとしてご利用になれます。複数の部数を印刷するときなど印刷後の用紙を部ごとに水平にずらして仕分けし、スタッカー上に排出します。



合紙機能によるソート

色紙で1部ずつ区切る

指定されたホッパーにセットした色の違う用紙(色紙)を挿入して印刷ジョブごとに仕分けてスタッカー上に排出します。



フィニッシャで簡易製本

ステーブル機能

フィニッシャ(オプション)のステーブル機能を利用すると一部ずつにまとめることができるので、会議の時など書類をそのまま配れます。詳しくはユーザーズマニュアル[2/2]をご覧ください。

電子ソートで丁合い出力

プリンター内部でそろえて印刷

プリンターにハードディスク(オプション)を増設すると実現できる機能です。本来コンピューターは丁合い印刷が終了するまで印刷データをプリンターに送り続けなければなりませんでしたが、しかし電子ソート機能を利用すると、コンピューターはデータを1部だけプリンターに送れば操作は完了します。あとはプリンターがハードディスクにため込まれたデータを必要な部数分そろえて(電子ソート)処理するのでスピーディーな丁合い印刷が可能になります。

快適、高速、高品質

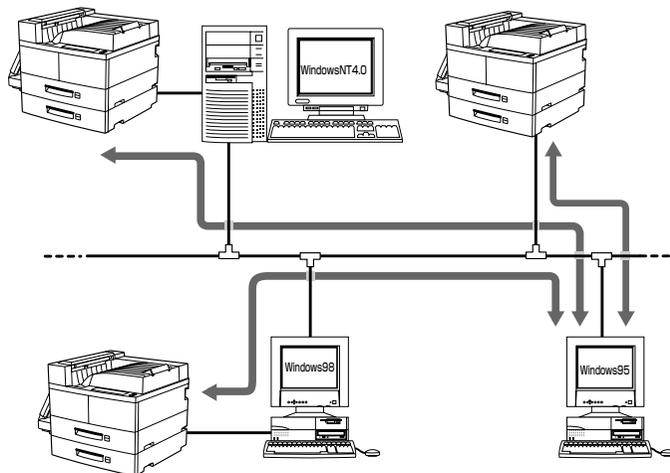
高速プロセス

新たに開発した40ppmエンジンを採用するとともに、コントローラーには高速CPUを搭載し、最大で1分間に40ページ(片面印刷時)というハイスピード印刷を実現しています。また、NPD(L Level 2)を拡張しWindowsに対する適応性を高めた印刷システム、NMPS(NEC MultiWriter Printing System)を採用することにより、印刷時のコンピューター側、プリンター側の変換処理を大幅に軽減しました。同時にコンピューター本体とプリンターの処理の分担の最適化を図り、コンピューター上での印刷開始からプリンターの印刷終了までトータルでの時間短縮を実現しました。

ネットワークインターフェースを標準装備

最先端の高速イーサネット100BASE-TX、10BASE-Tに対応

Windows NT、Windows 98、Windows 95、UNIXなどのネットワーク環境に、1枚のボードでマルチに対応。ネットワーク内のユーザーが快適にプリンターを利用できます。

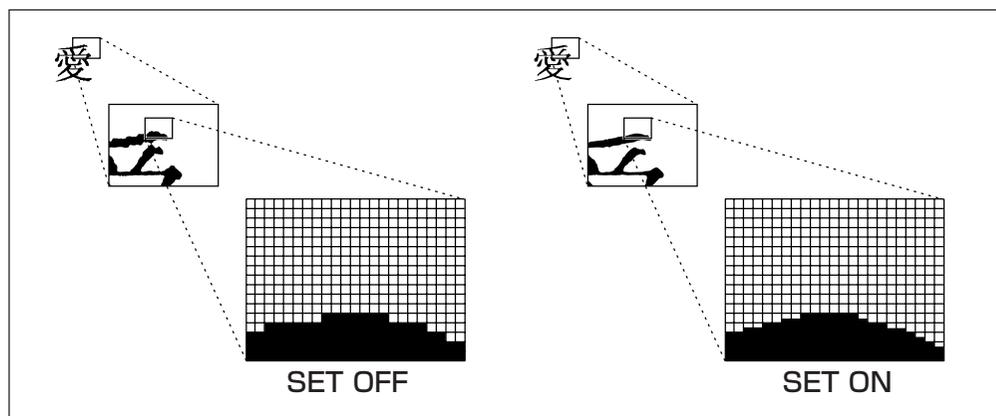


SET

活字なみの高品位印刷

SET(Sharp Edge Technology)とは、印刷画像のエッジ部分をなめらかにする技術です。従来は文字やグラフィックの曲線部や斜線部において、微小なギザギザが見えてしまうことがありましたが、SETを使用することで、印刷画像のエッジ部分を微細にコントロールし、ギザギザをなくした大変なめらかな印刷(1500dpi*相当の印刷品質)を実現することができます(当社評価)。

* 59.1ドット/mm



節電機能

国際エネルギースタープログラムに準拠

MultiWriter 4050Mは、国際エネルギースタープログラムに準拠した節電機能をサポートしています。この機能を設定すると、電源をONにしたまま一定時間印刷を行わない場合にプリンターが自動的に消費電力を45W以下に抑えます。

トナー節約機能

通常印刷時に比べてトナー消費量を約40%削減(当社比)

トナー節約機能を使用すると、印刷時に使われるトナーの量を減らすことができ、印刷コストを低くすることができます。特に画像面積比が大きい(1ページ中の黒い部分の割合が大きい)印刷を行うときに効果が現れます。試し印刷にご利用ください。

リレイ給紙

自動的に給紙を切替

プリンター本体のホッパー、トレイまたはオプションの大容量ホッパーに同じサイズ、同じ方向の用紙がセットされていれば、使用しているホッパーの用紙がなくなったとき、自動的に別のホッパーまたはトレイから用紙を吸入し印刷を継続する機能です。

高耐久性・長寿命

MultiWriter 4050Mは長寿命150万ページ(A4用紙換算)の印刷を可能にする耐久性にすぐれたプリンターです。

豊富なオプション

両面印刷ユニット

両面印刷で用紙節約

MultiWriter 4050Mでは両面印刷ユニット(型番 PR-L4050-DL)を装着することにより、用紙の両面に印刷することができます。両面印刷は、A3、B4、A4、B5、A5、レターのさまざまなサイズの用紙に対応しています。用紙の節約ができます。

増設ハードディスク

電子ソートで素早く丁合い

プリンターに増設ハードディスク(型番 PR-L4050-HD)を取り付けると電子ソート機能が利用できるようになります。プリンターは受信したオリジナルデータを元にして必要な部数分のデータをそろえて(電子ソート)ハードディスクに保存できるので、スピーディーな丁合い印刷が可能になります。

フィニッシャー

印刷後すぐに配布できる

MultiWriter 4050Mではフィニッシャー(型番 PR-L4050-FS)を装着することにより、最大50枚(坪量64.0g/m²*用紙)までステーブルどめをすることができます。面倒な簡易製本処理まで素早く自動で行え、大容量排紙もサポートしています。

会議などで使う複数枚の書類を何部か印刷したい場合は、フィニッシャーの機能を使うと印刷後すぐに配布でき、非常に便利です。

* 連量55kg

目次

安全にかかわる表示について

ユーザーズマニュアルおよび警告ラベルで使用する記号とその内容

はじめに.....	iii
マニュアルの種類.....	iii
本書の概要.....	iv
MultiWriter 4050Mの特長.....	v

安全にお使いいただくために..... 1

警告ラベルについて.....	1
安全上のご注意.....	2
正しく動作させるために.....	8

ユーザーサポートについて.....

お客様登録申込書について.....	9
保証について.....	9
修理に出す前に.....	10
保守サービスについて.....	11
プリンターの寿命について.....	12
補修用部品について.....	12
ユーザーズマニュアル再購入について.....	12
情報サービスについて.....	12

1章 プリンターの設置..... 13

① 設置に必要なスペースを用意する.....	14
設置してはいけない場所.....	16
② 箱の中身を確認する.....	17
③ 各部の名称を確認する.....	19
④ EPカートリッジを取り付ける.....	21
⑤ 用紙をセットする.....	24
用紙について.....	24
ホッパーに用紙をセットする.....	27
トレイに用紙をセットする.....	30
大容量ホッパ(オプション)に用紙をセットする.....	32
封筒フィーダ(オプション)に封筒をセットする.....	34
⑥ 電源コードを接続する.....	36
⑦ テスト印刷をする.....	38
⑧ コンピューターに接続する.....	41
プリンターを運搬・廃棄するときは.....	43
プリンターを運搬するときは.....	43
プリンター・消耗品を廃棄するときは.....	43

2章 操作パネルについて	45
ディスプレイ	46
ランプ	47
スイッチ	48
メニューモード	53
メニューモードでの設定変更のしかた	53
メニューモード設定項目一覧	54
メモリースイッチの内容	56
メニューツリー	58
3章 オプション	65
オプション・消耗品の紹介	67
大容量ホッパーの切り替え方法	73
① プリンターが初期化されるまで維持する方法	73
② プリンターが初期化されても大容量ホッパーが選択される方法	74
フィニッシャーでの用紙の取り出し方	75
テスト印刷	76
4章 日常の保守	77
EPカートリッジの交換	77
交換する前に	77
EPカートリッジの回収と購入	78
EPカートリッジの交換手順	78
ステープル針の交換	84
購入について	84
ステープル針の交換手順	84
清 掃	87
5章 故障かな?と思ったら	89
印刷がおかしいときは	90
思うように印刷できないとき	90
印刷に異常が見られるとき	95
印刷できないとき	97
アラーム表示が出ているときは	99
紙づまりのときは	101
紙づまりの処理	102
用紙を取り除くときの注意	105
本体内での紙づまり	106
両面印刷ユニット(オプション)内での紙づまり	109
ホッパー内での紙づまり	110
ソータユニット(オプション)内での紙づまり	118
フィニッシャー(オプション)内での紙づまり	119
紙づまり処理後の確認	120
ステープルどめがうまくいかないときは	121

付録A	メニューモードとメモリースイッチの詳細	125
	メニューの詳細	125
	メモリースイッチの詳細	132
付録B	技術情報	137
	使用できるプリンターケーブル	138
	仕 様	139
	用紙の規格	141
	普通印刷(片面印刷)時	141
	両面印刷ユニット装着(両面印刷)時	142
	印刷範囲	143
	定形用紙	143
	定形外用紙	145
	NPDLの初期状態	149
	インターフェース	151
	制御コード一覧	154
	テキストモード	154
	図形モード	156
	機能拡張制御コード	158
	漢字コード表切り替えのための制御コード	158
	文字スタイル制御コード	159
	ページ制御コード	162
	面制御コード	165
	図形の描画コード	166
	行桁制御印刷コード	169
	塗りつぶしに関する設定	170
	バーコード印刷	171
	カスタマーバーコード印刷	174
	文字セット制御コード	176
	ソータ制御コード	177
	隋円弧描画	179
	弓形描画	180
	扇形描画	181
	角丸矩形描画	182
	文字の種類	183
	内蔵文字の種類	183
	文字間隔	183
	文字構成	184
	テスト印刷のプリント結果	185
	テスト印刷	185
	ステータス印刷	188
	文字コード表	189
	1バイト系コード表	189
	2バイト系コード表	190
	ディスプレイ表示一覧	196
	用語解説	199
	索引	205

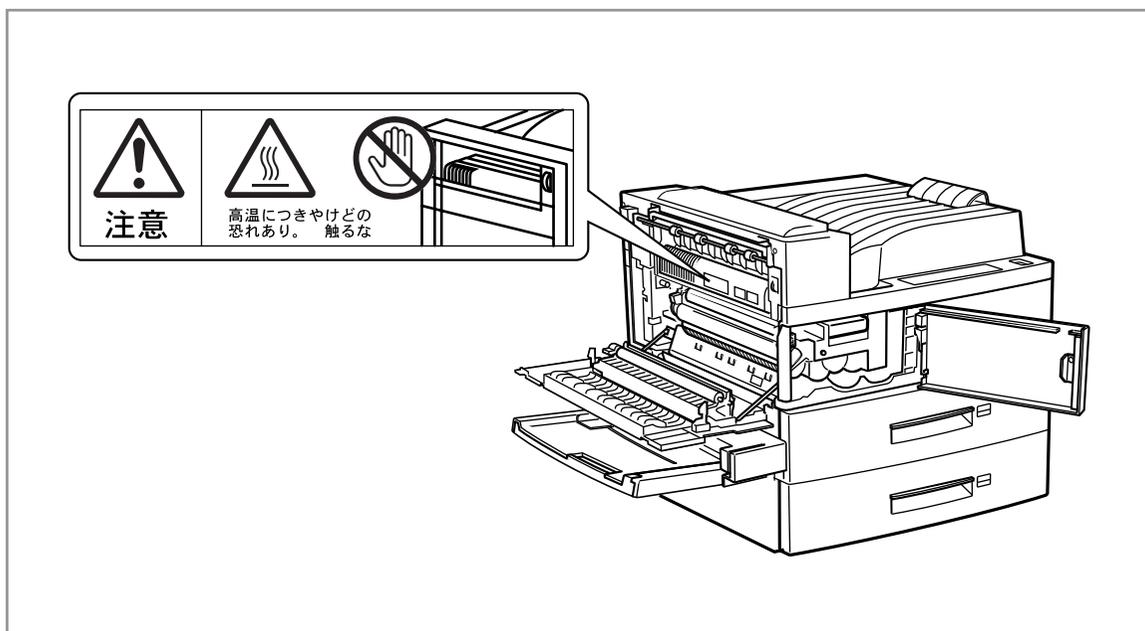


安全にお使い いただくために

警告ラベルについて

MultiWriter 4050Mプリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際に考えられる危険性を、お客様に常に意識していただくためのものです。

もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない状態のときは、保守サービス会社または販売店にご連絡ください。



警告ラベルの位置

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示について」を参照してください。

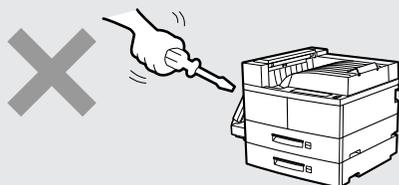
警告

プリンターの内部をのぞかない



このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。

分解・修理・改造はしない



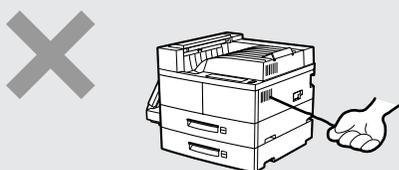
分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音が生じたら使わない



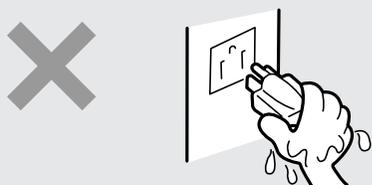
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後保守サービス会社または販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない



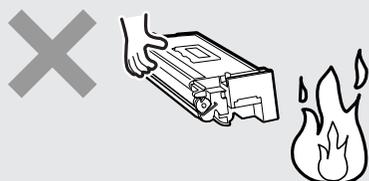
通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜かない



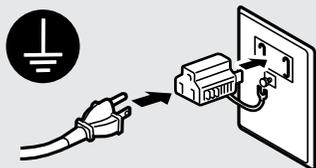
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

EPカートリッジを火の中に投じない



EPカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

アースを付けないで使用しない



2極/3極変換プラグを使用するときは、次のことにご注意ください。

- 万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、アース線を次のどれかに取り付けてください。
 - － 電源コンセントのアース端子
 - － 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
 - － 接地工事(第3種)を行っている接地端子
- ただし次のようなところにはアース線を接続しないでください。
 - － ガス管(引火や爆発のおそれがあります。)
 - － 電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。)
 - － 水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

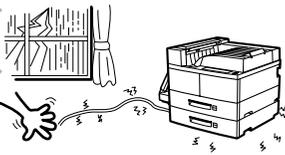
注意

こわれた液晶ディスプレイには触らない



操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して医師に相談してください。

雷が鳴りだしたら装置に触らない



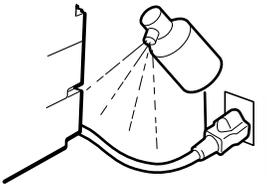
火災・感電の原因となります。雷が発生しそうときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

プリンター内に水や異物を入れない



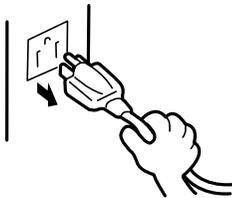
プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解したりしないで販売店に連絡してください。

電源コードに薬品類をかけない



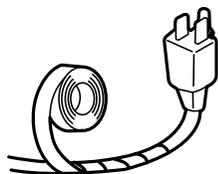
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プラグの抜き差しは電源コードを引っ張らない



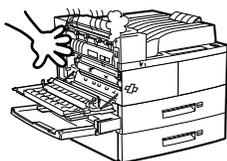
電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない



損傷した電源コードはすぐ同じものと取り替えてください。損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

高温注意



プリンターの内部には、使用中に高温になる定着ユニットという部品があります。カバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。

巻き込み注意



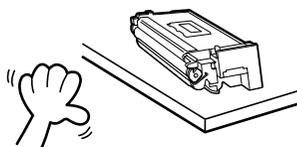
プリンターの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

フィニッシャを使用するときは



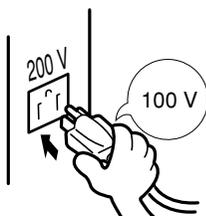
- つまったステープル針を取り除くときには、指などにけがをしないよう十分にご注意ください。
- フィニッシャが作動しているとき、作動部分には触れないでください。指をはさみ、けがをするおそれがあります。

お子様に注意



EPカートリッジはお子様手の届かない所に保管してください。EPカートリッジに入っているトナーが、目や口等に入ったりすると健康を損なうおそれがあります。

100V以外の電圧で使用しない



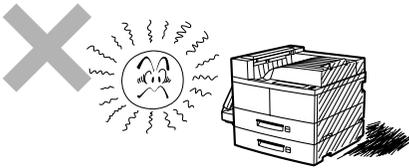
電源は100Vの電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V以外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

ほこり・湿気の多い場所には置かない



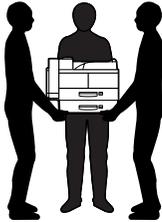
- プリンターをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。
- プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまっただままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

日の当たるところには置かない



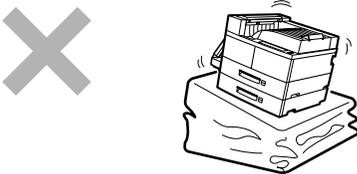
プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

プリンターを運ぶときは



プリンターの質量は約42kgの重さがあります(EPカートリッジを含む)。装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手をそえて3人以上で運んでください。2人以下で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

不安定な場所に置かない



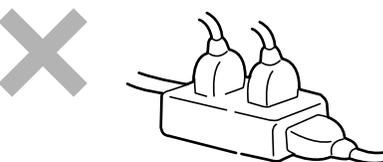
プリンターを不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

指定以外の電源コードは使わない



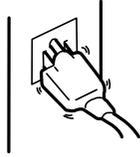
プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災になるおそれがあります。

電源コードをたこ足配線にしない



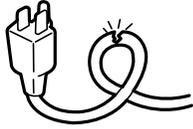
コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない



電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端な差し込みは接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また中途半端な差し込み部にほこりがたまると、水滴などが付いたとき発熱し、火災になるおそれがあります。

電源コードは曲げたり、ねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステーブル等で固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

正しく動作させるために

プリンターを正しく動作させるために、次に示す注意事項を守ってください。



プリンターケーブルやオプションの取り付け、取り外しを行う前に電源スイッチをOFFにしてください。電源が入ったまま行くと誤動作するようになり、故障することがあります。

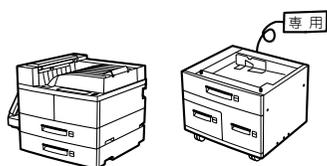
Check!



用意したプリンターケーブルがお客様のコンピューターに合っていることを確認してください。(プリンターケーブルについては、138ページを参照してください。)



ご使用になる各OS環境に合った方法でコンピューター側からプリンターを指定してください。(各OS別の指定方法についてはユーザーズマニュアル[2/2]を参照してください。)



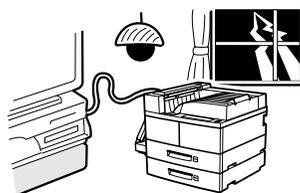
EPカートリッジやオプションは専用のものをお使いください。専用以外のものは、たとえ取り付けられても正常に動作しないばかりか、プリンター本体が故障することがあります。(詳しくは、本書の3章をお読みください。)



プリンターの周りに物を置いてプリンターの通気孔をふさがないでください。また排気孔の上に物をのせないでください。プリンター内の温度が異常に高くなり、正しく動作しなくなることがあります。



定期的にプリンターを清掃してください。(清掃の内容は本書の4章で説明しています。)定期的な清掃は印刷品位を保つだけでなく、さまざまな故障の発生を未然に防ぐ効果もあります。



落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として交流無停電電源装置等を使用することをお勧めします。



携帯電話、PHSをプリンターの近くで使用しないでください。プリンターが誤動作するおそれがあります。

ユーザーサポート について

NECはMultiWriter 4050Mの「お客様登録」された方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサポートをお受けになる前に、本章で説明している保証、サービス内容について確認してください。

お客様登録申込書について

添付の「お客様登録申込書」に記載されている事項をよくお読みになり、ご記入の上、投函してください。

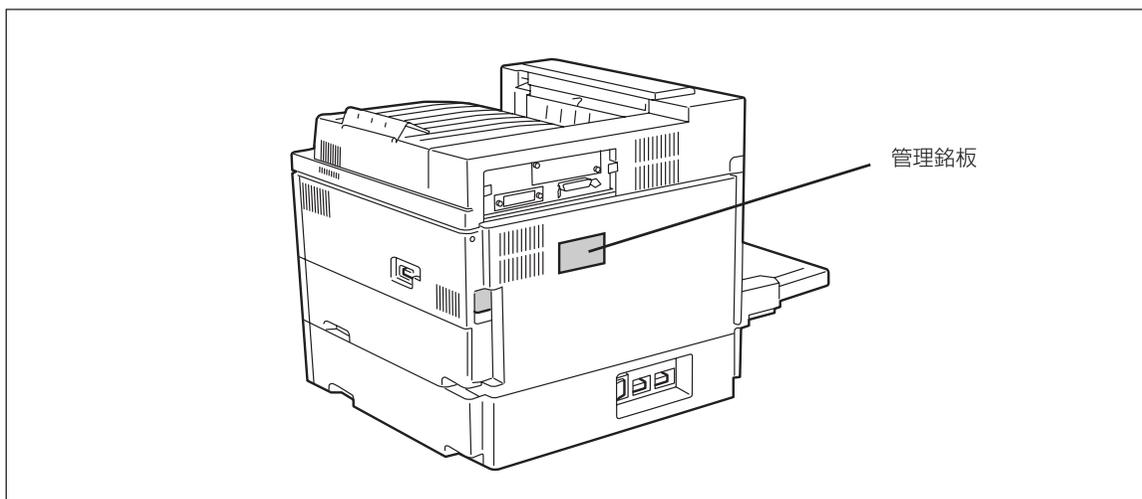
保証について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については「保証書」、および「保守サービスについて」(11ページ)をご覧ください。

また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。

— チェック —

本体の背面に製品の型式、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります(次ページの図参照)。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



管理銘板の位置

修理に出す前に

「故障かな?」と思ったら、修理に出す前に以下の手順を実行してください。

- ① 電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。
- ② 定期的な清掃を行っていたか、またEPカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認してください。
- ③ 5章「故障かな?と思ったら」をご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行ってください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお保証期間中の修理は、「保証書」を添えてお申し込みください。

重要

海外でのご使用について

このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。また日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。

保守サービスは以下のような種類があります。

- 契約保守 年間一定料金を契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理 サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

種類	概要	修理料金		お支払い方法	受付窓口*1
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合がありますのでご了承ください。)保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成に応じた 年間一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールドイング(株)
出張修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、引き取りさせていただいて修理する場合がありますのでご了承ください。)ご契約は不要です。	無料*2	修理料 + 出張料	修理完了後 そのつど清算	

*1 受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NECサービス網一覧」か、インターネットのホームページアドレス <http://www.fielding.co.jp/per/index.htm> をご覧ください。

*2 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

プリンターの寿命について

MultiWriter 4050Mの製品寿命は印刷枚数150万枚、または使用年数5年のいずれか早い方です。

✓チェック

MultiWriter 4050Mはその性能維持のために定期的(30万枚毎)に交換していただく部品(定期交換部品/有償)があります。

製品寿命まで安心して使用していただくために定期保守(有償)が必要です。詳細については11ページの「保守サービスについて」を参照してください。

補修用部品について

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失された場合は、下記のPCマニュアルセンターに品名を次のように指定してお申し込みください。ユーザーズマニュアル(コピー版)を実費で再度購入することができます。

- 品名 MultiWriter 4050M ユーザーズマニュアル

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、品名をメモしておくようにしてください。

PCマニュアルセンター	
インターネット	http://www.pcmmanual.nedox.co.jp/nedox/
電話	03-5476-1900
	受付時間 月曜から金曜 10:00~12:00/13:00~16:00 (土曜、日曜、祭日はご利用になれません)
FAX	03-5476-1967
	受付時間 24時間受付 (いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降となります。)

情報サービスについて

プリンター製品に関する情報を下記で提供しています。

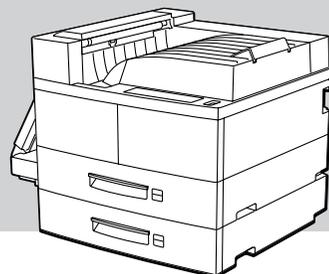
インターネット「121ware.com」 アドレス <http://121ware.com>

プリンターに関する技術的なご質問、ご相談は下記で電話にて承ります。

NECパソコンインフォメーションセンター

(電話番号、受付時間などについては「NECサービス網一覧表」をご覧ください。)

障 プリンターの設置



この章では、お買い上げになったプリンターの箱を開けて、中身を確認し、テスト印刷ができるようになるまでを次のような手順で説明します。

- ① 設置に必要なスペースを用意する
- ↓
- ② 箱の中身を確認する
- ↓
- ③ 各部の名称を確認する
- ↓
- ④ EPカートリッジを取り付ける
- ↓
- ⑤ 用紙をセットする
ホッパーにセットする
トレイにセットする
大容量ホッパ(オプション)にセットする
封筒フィーダ(オプション)にセットする
- ↓
- ⑥ 電源コードを接続する
- ↓
- ⑦ テスト印刷をする
- ↓
- ⑧ コンピューターに接続する

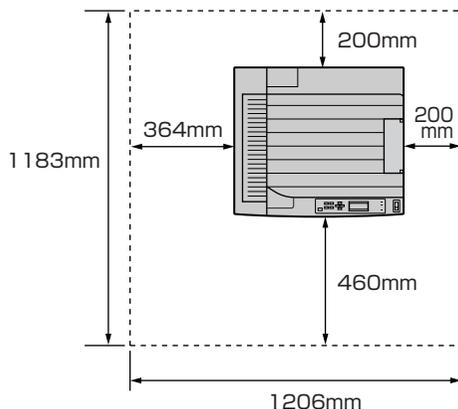
この章の終りにはプリンターを運搬するとき、またプリンターを廃棄するときの注意事項が記載されています。

— チェック —

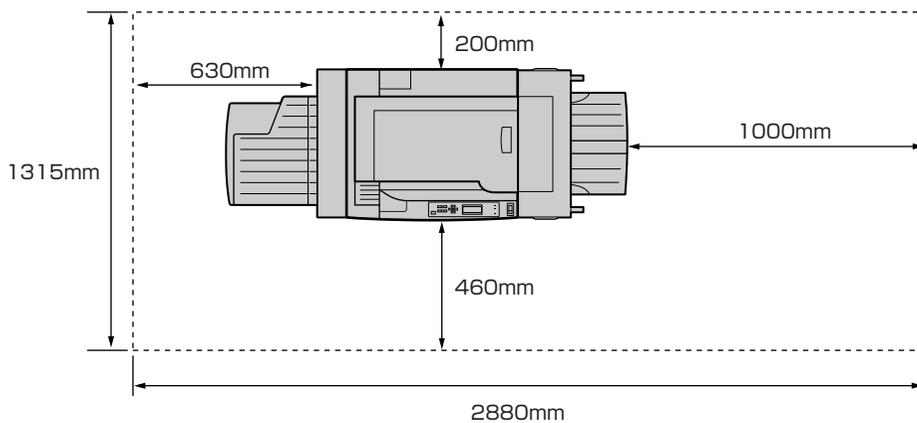
お客様が使用できる状態まで各種セットアップを行う場合は、別途設置料金が必要です。また、オプションの大容量ホッパ、フィニッシャ、ソータユニットの設置作業はサービス担当者が行いますので別途料金が必要です。

1 設置に必要なスペースを用意する

MultiWriter 4050Mの設置に必要なスペースは次のとおりです。MultiWriter 4050Mを安全に、快適にご使用いただくために十分なスペースを確保し、風通しのよい場所に設置してください。



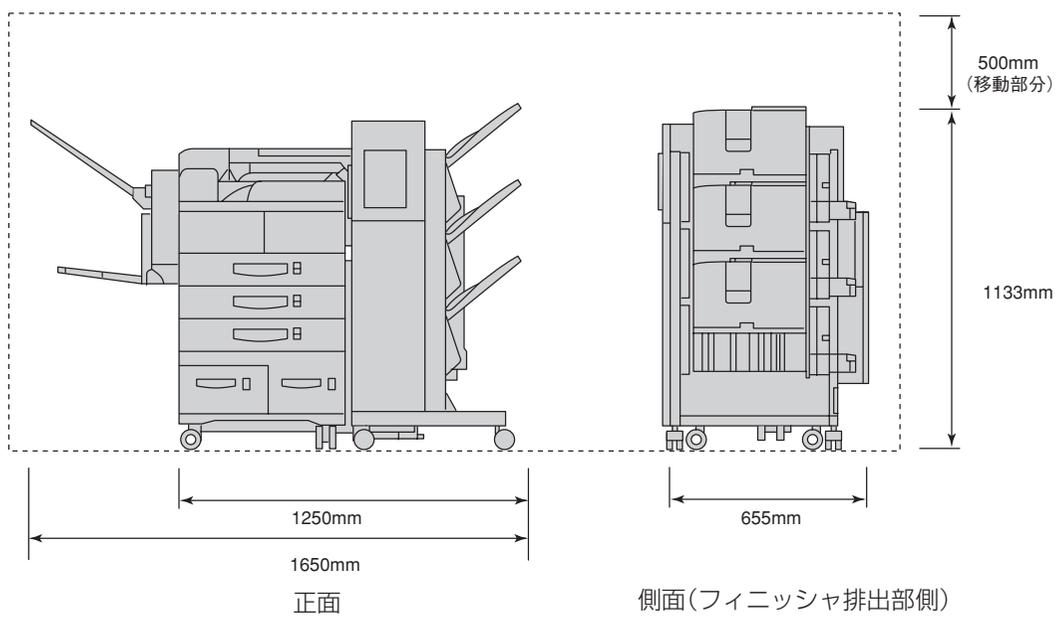
本体のみ



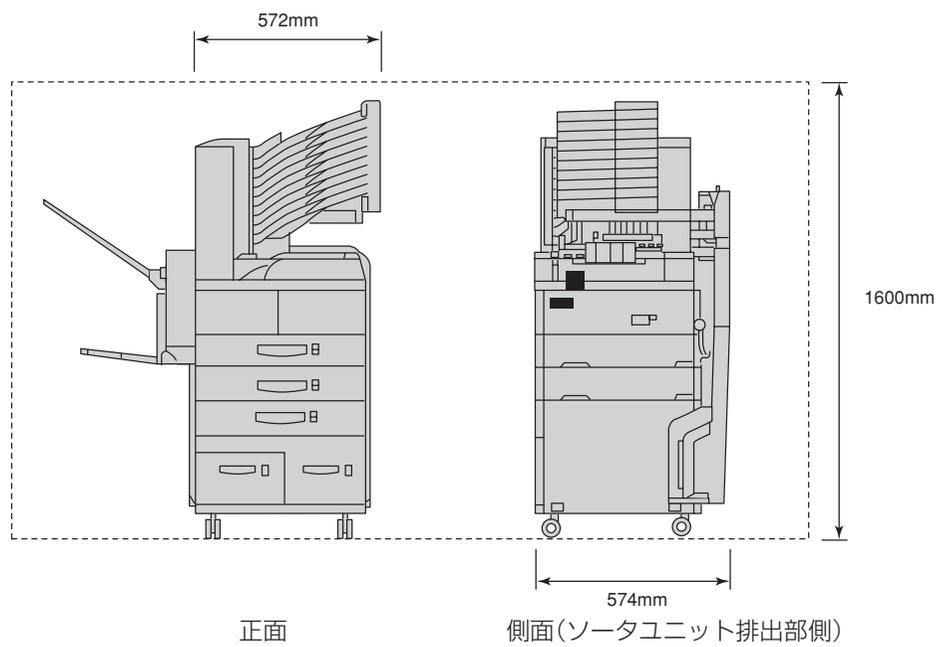
本体+オプション装着時

(大容量ホッパ+両面印刷ユニット+フェイスアップトレイ+フィニッシャ)

設置に必要なスペース(上から見たところ)



本体+オプション装着時*
(大容量ホッパ+両面印刷ユニット+フェイスアップトレイ+フィニッシャ)



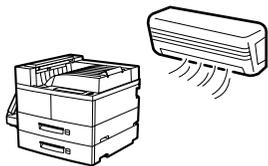
本体+オプション装着時*
(大容量ホッパ+両面印刷ユニット+フェイスアップトレイ+ソータユニット)

* プリンター設置位置により、上記のスペースに若干のずれが生じます。

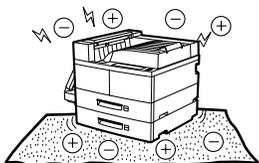
設置に必要なスペース(横から見たところ)

設置してはいけない場所

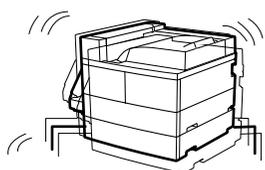
次のような場所には設置しないでください。



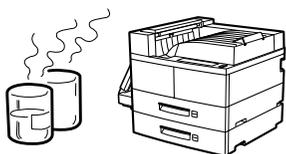
直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）には設置しないでください。また温度変化により結露現象が起こり、故障の原因となることがあります。



じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。



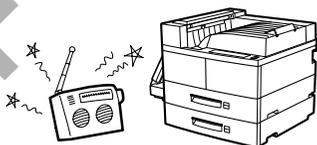
強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。



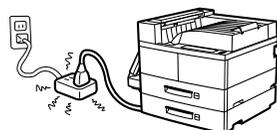
腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。



上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しないことがあります。



ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンターのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。



添付の電源コードのみでは届かない場所に設置しないでください。延長コードの過容量により発熱するおそれがあります。

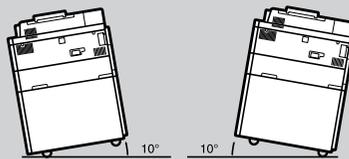
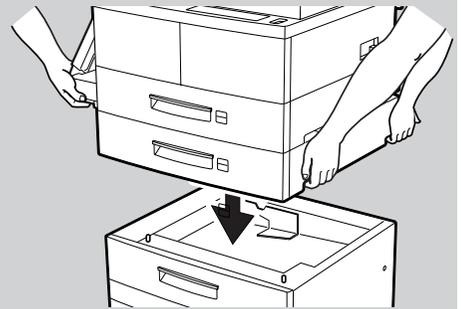
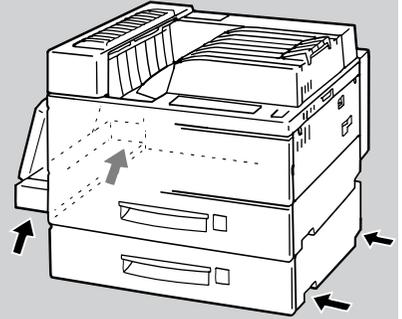
2 箱の中身を確認する

まず、下の注意をよくお読みになり、箱を開けて、次ページに示すものがすべてそろっていることを確認してください。それからそれぞれの点検を行ってください。万一足りないものや損傷しているものがある場合には、販売店に連絡してください。

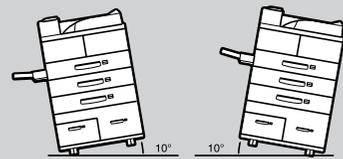
⚠ 注意

取り扱い上のご注意

- プリンターは約42kgの重さがあります。プリンターを持ち上げるときは、図中の矢印で示している4か所のくぼみに手を掛けて、3人以上で持ち上げてください。その際、腰を痛めないように十分に膝を曲げ、プリンターの左右にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。
- プリンターを大容量ホッパ(オプション)などの設置場所に置くとき、図中の4か所のくぼみから指がプリンター側に出ていると、指を挟むおそれがあります。
- 大容量ホッパ(オプション)を取り付けたプリンターを移動する場合は、プリンターを10度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となることがあります。

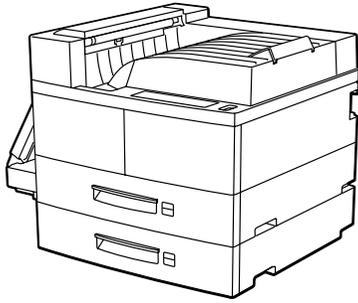


横から見た図

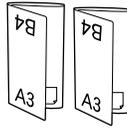


正面から見た図

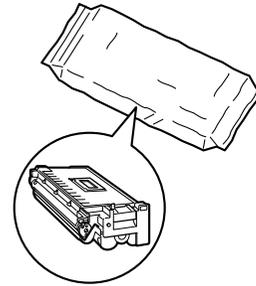
プリンター本体



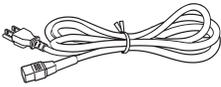
用紙サイズラベル



EPカートリッジ*



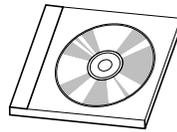
電源コード



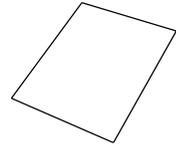
変換プラグ
(2極/3極)



プリンターソフトウェア
CD-ROM



ソフトウェアの
ご使用条件



ユーザーズマニュアル
[1/2] (本書)



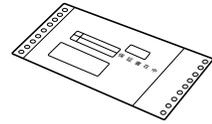
ユーザーズマニュアル
[2/2]



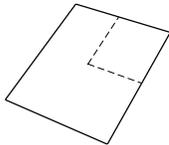
NECサービス網一覧表



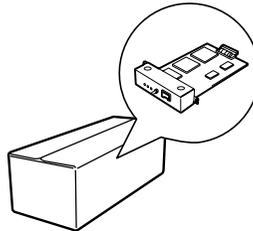
保証書



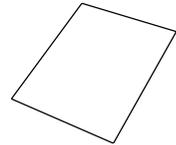
お客様登録申込書



LANボード
(型番 PR-NP-01T2相当)



LANボード
取り付けマニュアル



* 添付品のEPカートリッジは約10,000ページ(A4用紙、画像面積比5%連続印刷時)印刷可能です。

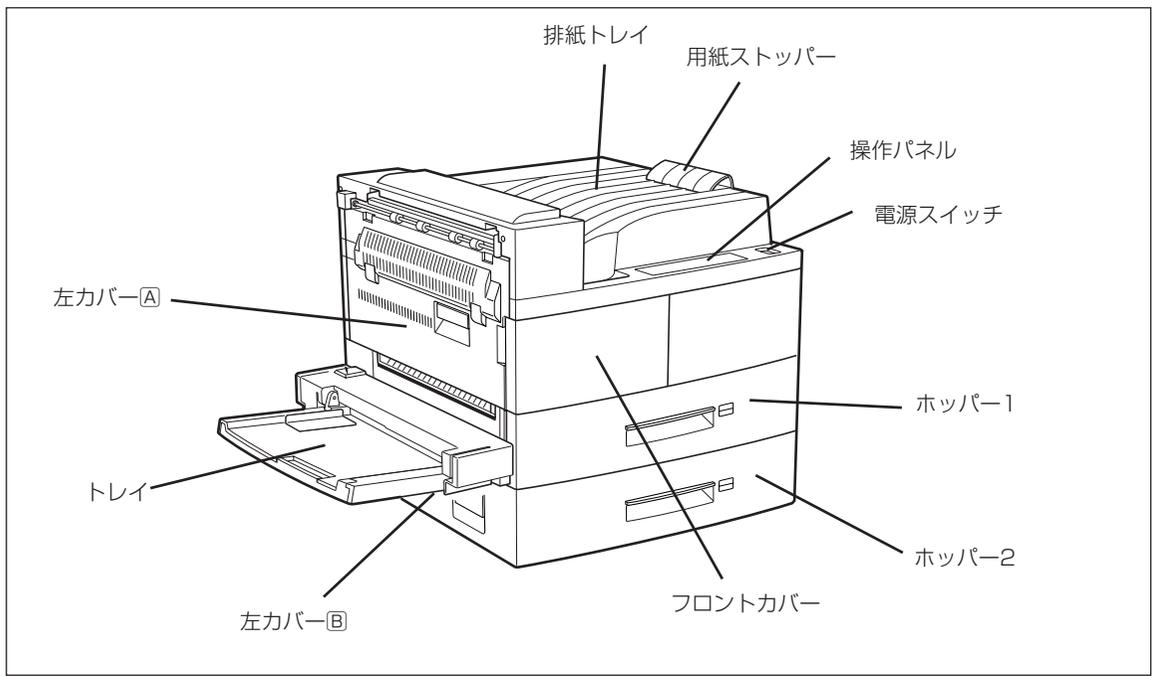


チェック

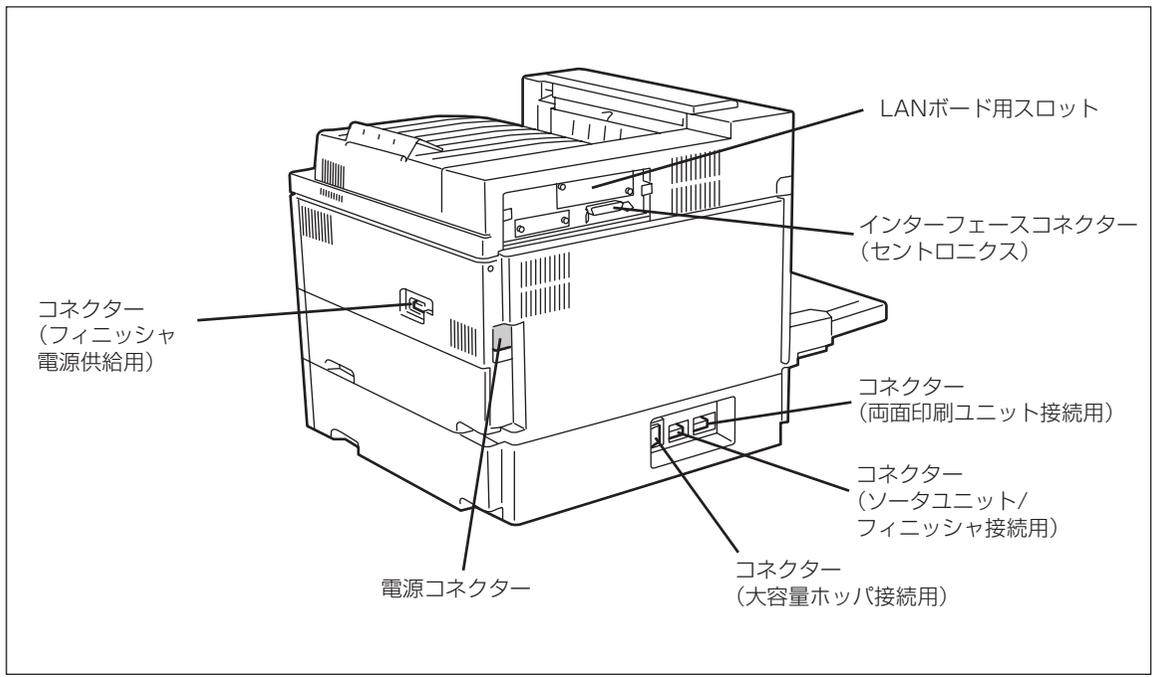
- 保証書とNECサービス網一覧表は大切に保管してください。
- お客様登録申込書は所定事項を記入の上、投函してください。
- プリンターソフトウェアCD-ROMの内容についてはユーザーズマニュアル[2/2]をご覧ください。

3 各部の名称を確認する

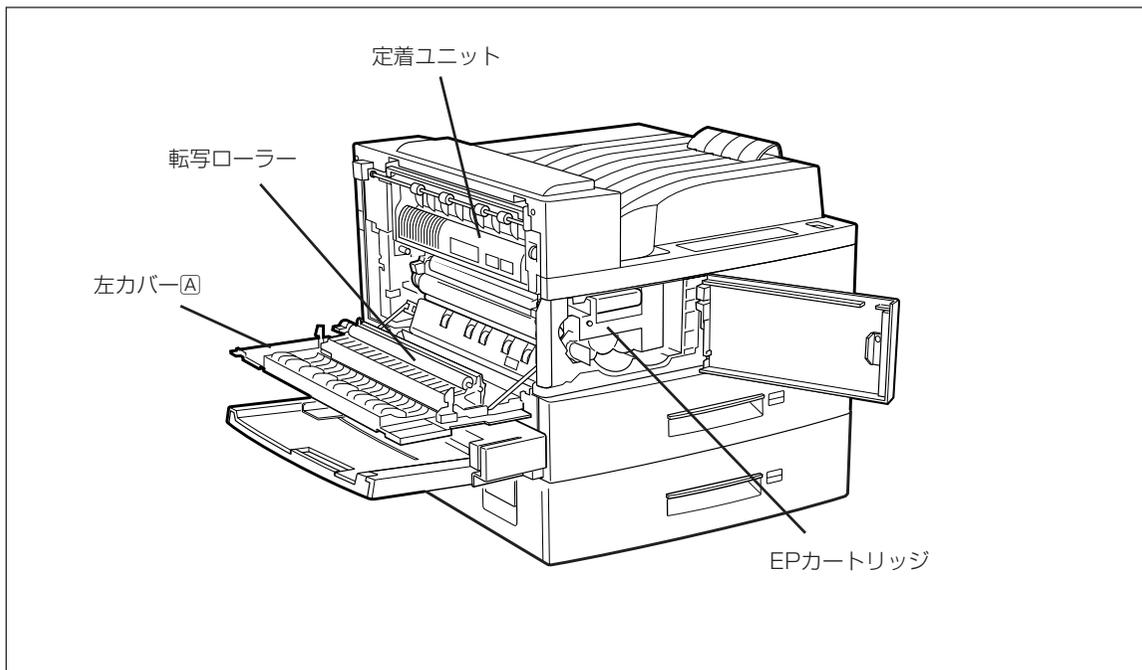
プリンターの各部の名称について説明します。プリンターを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。



プリンター前面



プリンター背面



プリンター内部

4 EPカートリッジを取り付ける

EPカートリッジはトナーやOPCドラム、現像ユニットなどが一体化されたものです。消耗品のため、印刷が薄くなったら交換します。強い光の当たる場所を避け、できるだけ5分以内で作業を終了してください。

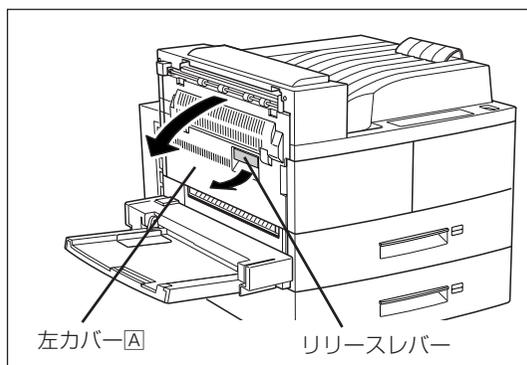
—**✓**チェック—

このカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収しております。お客様にはお手数ながら、ご使用後はお買い上げの販売店または最寄りのNECサービス窓口までお持ち帰りください。

1. リリースレバーを引きながら、ゆっくりと左カバーAを開く。

—**✓**チェック—

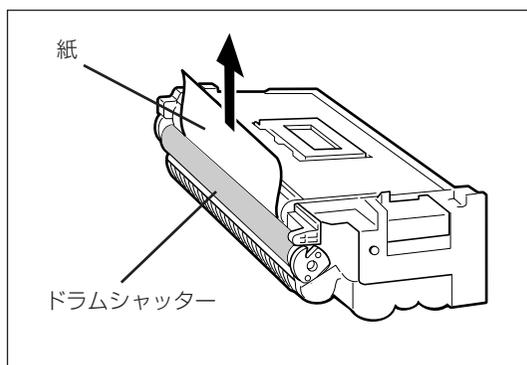
プリンター内部の部品には手を触れないでください。印刷不良の原因となります。



2. EPカートリッジを袋から取り出し、ドラムシャッターの間に入っている紙を取り除く。

—**✓**チェック—

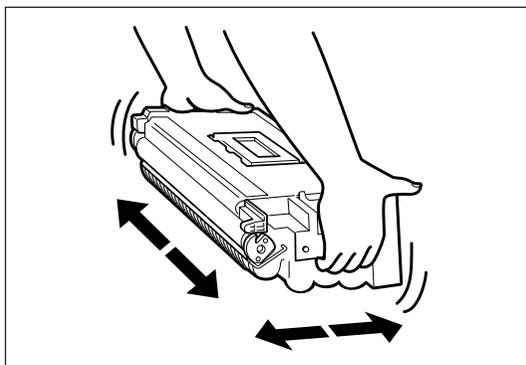
- ドラムシャッターは、中の感光体(ドラム)に光が当たらないように保護しています。ドラムシャッターをむやみに開けないでください。印刷不良の原因となります。
- ドラム表面には手を触れないでください。ドラムを汚したり、傷つけることがあります。



3. EPカートリッジを水平に持って、図のように5～6回振り、中のトナーを分散させる。

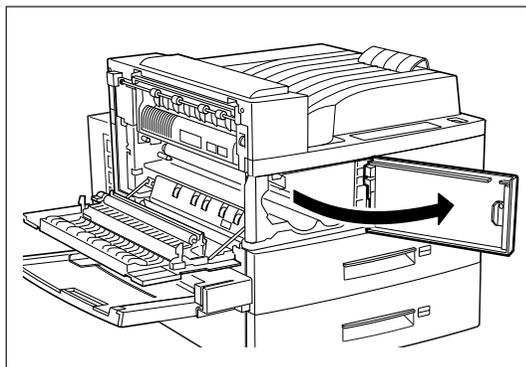
—**✓**チェック—

トナーの状態が均一でないと、印刷品質が低下することがあります。



4. フロントカバーを開く。

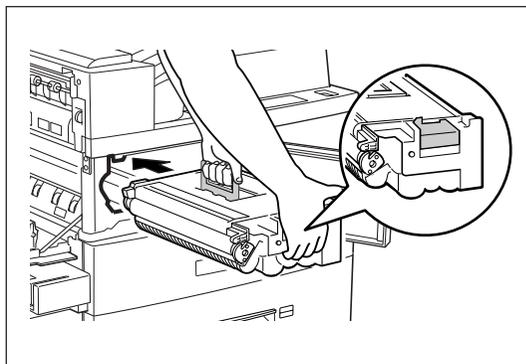
フロントカバーは押さえていないと、自動的に閉まります。



5. EPカートリッジの上部の取っ手とレバーを持ち、プリンター内部の形状に合わせて奥までセットする。

—  チェック —

「カチッ」と音がして、EPカートリッジのレバーが元の位置に戻り、EPカートリッジが確実にセットされたことを確認してください。印刷不良の原因となります。

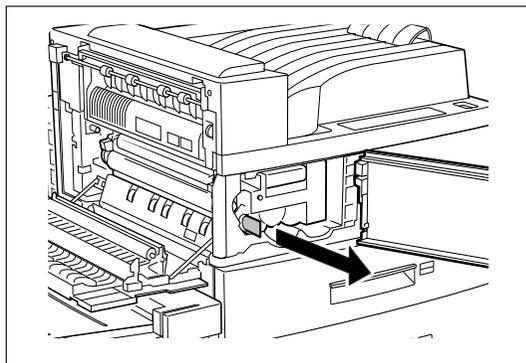


6. トナーシールを引き抜く。

トナーシールは正常に引き抜いた場合、全部で約60cmほどの長さです。

—  チェック —

トナーシールは、カートリッジと平行にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でトナーシールが切れてしまうことがあります。



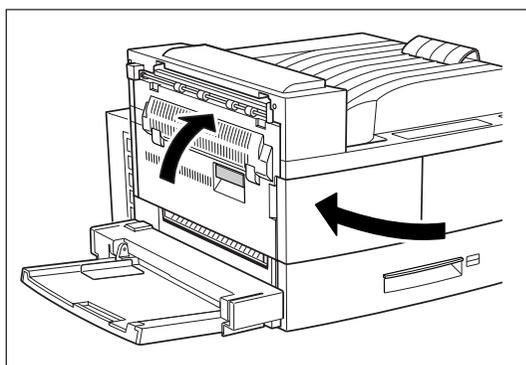
7. 左カバー $\text{\textcircled{A}}$ とフロントカバーを閉じる。

リリースレバーは持たずにカバー表面を押して、左カバー $\text{\textcircled{A}}$ を閉じます。

フロントカバーは、手を離すと自動的に閉じます。

—  チェック —

EPカートリッジが正しくセットされていないと、左上カバー $\text{\textcircled{A}}$ が閉じません。この場合は、再度EPカートリッジを正しくセットし直してください。





チェック

各カバーが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないと、印刷不良が発生することがあります。



ヒント

EPカートリッジをセットした後、1、2枚目までの出力の際に音がすることがありますが、動作および画質には影響ありません。

5 用紙をセットする

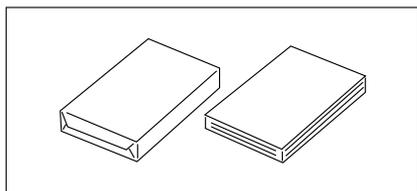
用紙について

MultiWriter 4050Mで使用できる用紙は次のとおりです。なお、「用紙の規格」については141ページ、「印刷範囲」については143ページをご覧ください。

✓ チェック

- 普通紙以外の用紙はホッパーにセットしないでください。
- 普通紙(定形用紙)以外の用紙は両面印刷できません。
- ソータユニット(オプション)、フィニッシャ(オプション)への排出は、普通紙以外の用紙を排出しないでください。またA5縦サイズ、はがき、封筒は排出しないでください。

普通紙

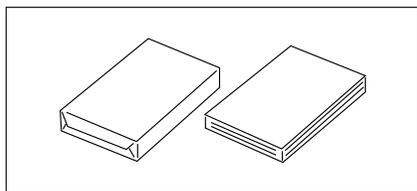


「乾式PPC用紙」が最適です。坪量64.0~81.4g/m²(連量55~70kg)のものを使用してください。A3判、A4判、A5判*、B4判、B5判、レターサイズが使用できます。

ホッパーまたはトレイにセットすることができます。

* A5判は横置きでホッパー1と縦置きでトレイから給紙できます。

厚紙

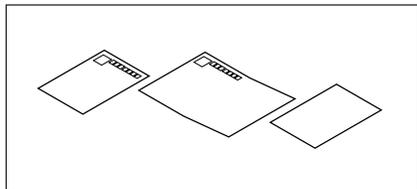


「乾式PPC用紙」が最適です。坪量81.4~127.9g/m²(連量70~110kg)のものを使用してください。A3判、A4判、A5判、B4判、B5判、レターサイズが使用できます。

トレイにのみセットすることができます。

厚紙印刷する場合は、プリンタードライバーの用紙種類で[厚紙]を選択して印刷を行ってください。

はがき

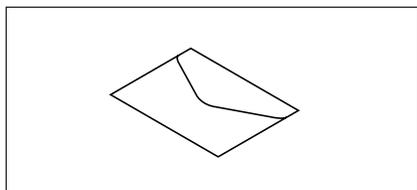


官製はがき、官製往復はがき、あるいはそれらはがきと同等のものを使用してください。(往復はがきは折り目が無いものを使用してください。)トレイにのみセットすることができます。

はがき印刷する場合は、プリンタードライバーの用紙サイズで[はがき]を選択して印刷してください。

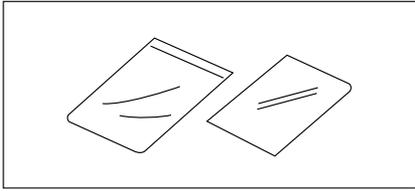
往復はがきを印刷する場合は、プリンタードライバーの用紙サイズで[ユーザ定義サイズ]を選択し、サイズを指定してください。またプリンタードライバーの用紙種類で[厚紙]を選択し印刷を行ってください。

封筒



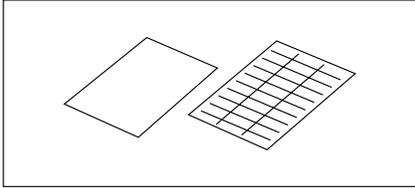
洋形4号(LIFE洋封筒E506ライフ(株)製)の封筒を使用してください。封筒フィーダ(オプション)にセットすることができます。

OHPフィルム



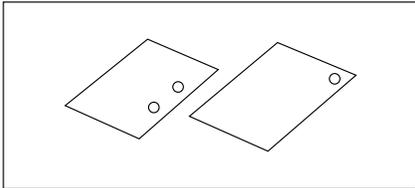
乾式PPC用で厚さ0.1mm±0.025mmで、表面処理されているものを使用してください。大きさはA4判が使えます。
トレイにのみセットすることができます。

ラベル紙

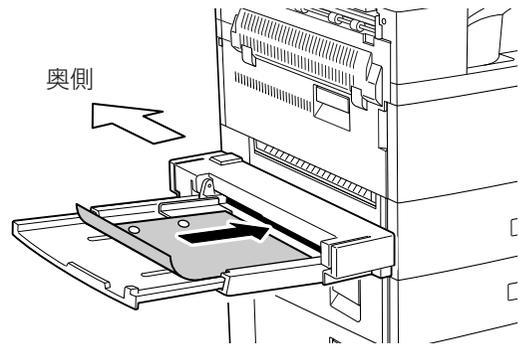


台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。大きさはA4判、B4判が使えます。
トレイにのみセットすることができます。

穴あき紙



トレイにのみセットすることができます。
穴あき紙に印刷する場合は、プリンタードライバーの用紙種類で[穴あき紙]を選択して印刷を行ってください。また用紙をセットする際には、穴のある辺がプリンター奥側になるようにセットしてください。



重要

次のような用紙への印刷は避けてください。印刷不良、紙づまり、故障の原因になります。

- 無塵紙
- 裏移り防止用の白粉(マイクロパウダー)が塗布された用紙
- 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- ミシン目のある用紙
- 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
- シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
- ステープル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙

- のりがついている封筒
 - 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
 - すでに片面が印刷されている用紙
-
-

🔑 重要

ラベル紙について

次のような状態のラベル紙への印刷は避けてください。印刷不良、紙づまり、故障の原因になります。

- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙
 - 部分的に使用したラベル紙
 - ラベルがはがれかかっているラベル紙
 - カールしているラベル紙
 - 表面にのりがしみ出ているラベル紙
-
-

🔑 重要

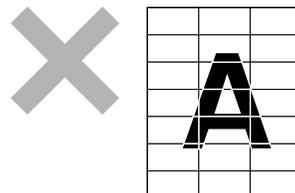
用紙の保管について

用紙の保管について次の点に注意してください。印刷不良、紙づまり、故障の原因となります。

- 湿気を避ける。
 - 使用直前まで開封しない。
 - 用紙が変形しないような状態で保管する。
-
-

✓ チェック

- 再生紙、ラベル紙の使用については制限があります。お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。
- はがき、封筒、OHPフィルムおよびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。
- OHPフィルム、ラベル紙をプリンターにセットするときは十分にさばいてから行ってください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。



ホッパーに用紙をセットする

ホッパーに用紙をセットします。用紙は、ホッパー1~3には坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙なら各500枚まで、ホッパー4、5には坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙なら各1000枚まで、用紙サイズは以下のものがセットできます。

ホッパーにセットできる用紙

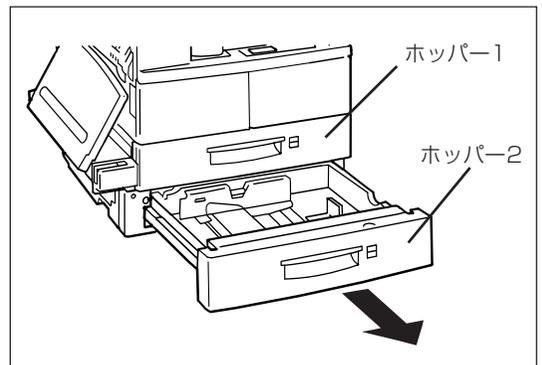
ホッパー		A3	B4	A4		B5		A5		レター	
		タテ	タテ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ
標準ホッパー	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
大容量ホッパー (オプション)	3	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
	4	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○
	5	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○

重要

ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに片面印刷してある用紙に印刷しようとすると、給紙できない、紙づまりになるなどプリンターの故障の原因となる場合があります。また、異なる用紙サイズを同じホッパーにセットしないでください。紙づまりの原因となります。

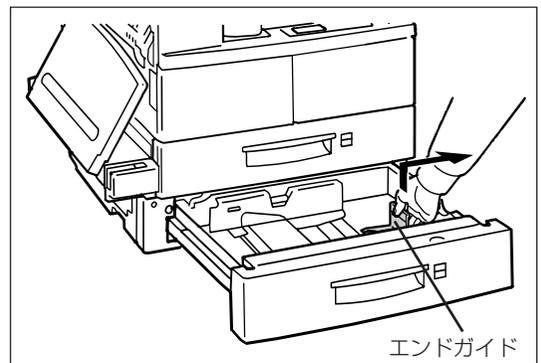
ここでは例としてホッパー2に用紙をセットするときの手順を示しますが、ホッパー1もセットのしかたは同じです。

1. ホッパーを手前に引き出す。



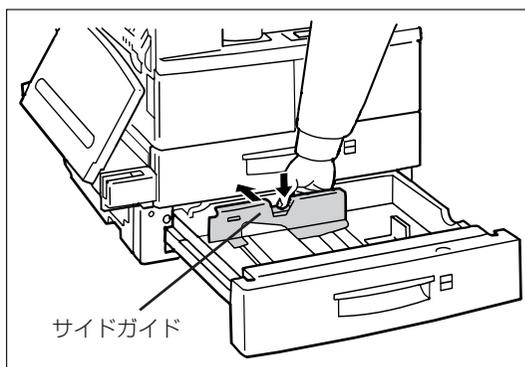
2. エンドガイドを軽く持ち上げて、セットする用紙サイズより外側にずらす。

用紙サイズの位置は、ホッパーの底面に表示されています。



3. サイドガイドのつまみを下げながら、サイドガイドをセットする用紙サイズより外側にずらす。

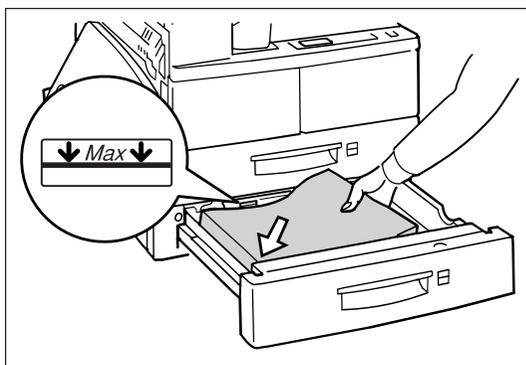
用紙サイズの位置は、ホッパーの底面に表示されています。



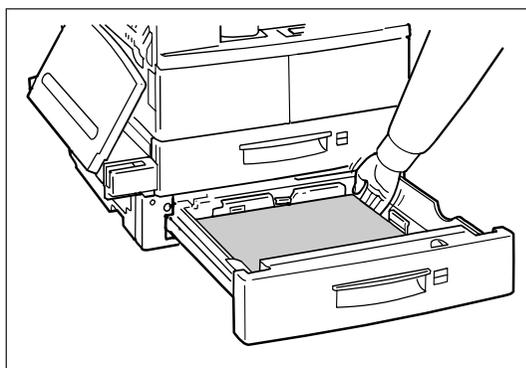
4. 用紙の端をそろえ、印刷したい面を上にしてホッパーの左手前に合わせてセットする。

— ✓ チェック —

- ホッパーに収容できる枚数は約500枚(標準紙)です。用紙上限線を越えないように用紙を入れてください。紙づまりの原因になります。
- 1つのホッパー内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。



5. 手で用紙の端をそろえる。



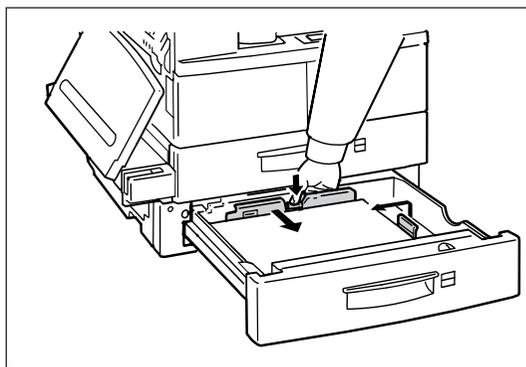
6. セットした用紙のサイズに合うように、エンドガイドとサイドガイドを内側にずらす。

ホッパーの底面に表示されている用紙サイズを参考にしてガイドをセットしてください。

このとき、それぞれのガイドが正しくセットされていればガイドは動きません。もしガイドが動くようでしたらもう一度正しくセットし直してください。

— ✓ チェック —

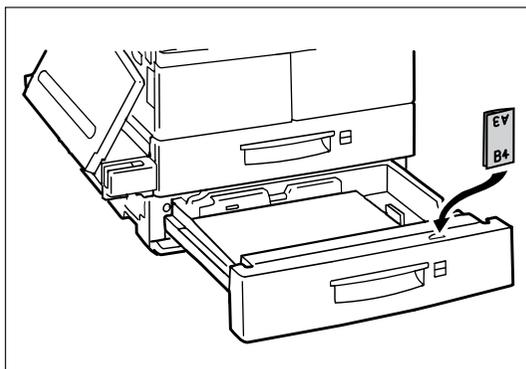
用紙が正しくセットされていないと用紙サイズが検知されず、紙づまりが起ることがあります。



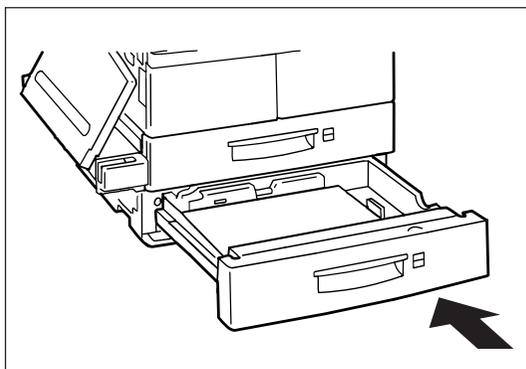
7. 付属の用紙サイズラベルをセットしたサイズを表面にしてホッパーに差し込む。

ヒント

付属の用紙サイズラベルはホッパー1～3に、用紙サイズシールはホッパー4、5でお使いください。



8. ホッパーを奥に突き当たるところまでゆっくりと押し込む。



チェック

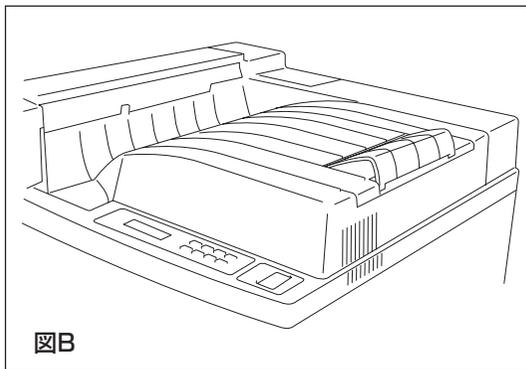
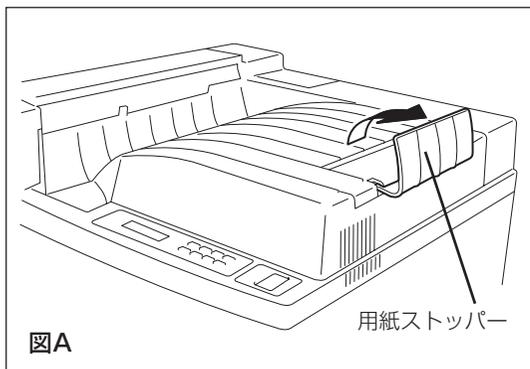
残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙は、しわ、折れ、カールなどがつかないように平らな場所に水平にして保管してください。

9. 用紙ストッパーを準備する。

A3、B4サイズの場合、用紙ストッパーを立てます。(図A)

A4、B5、A5、レターサイズの場合、そのままお使いください。(図B)



トレイに用紙をセットする

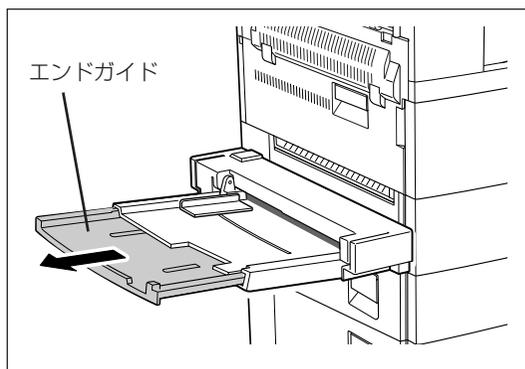
トレイには普通紙やラベル紙をはじめ、ホッパーにセットできない厚紙、はがき、往復はがき、OHPフィルム、定形外用紙をセットすることができます。

トレイの容量は坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙で約50枚です。はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベルは約20枚までセットすることができます。

重要

トレイにセットする用紙は、両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに片面印刷した用紙に印刷しようとすると給紙できない、紙づまりになるなど、プリンターの故障の原因となる場合があります。

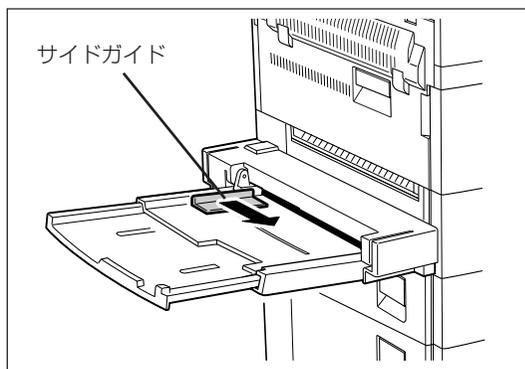
1. トレイを横に倒し、必要に応じてエンドガイドを引き出す。



2. サイドガイドを、これから使用する用紙サイズの目盛りに合わせて。

チェック

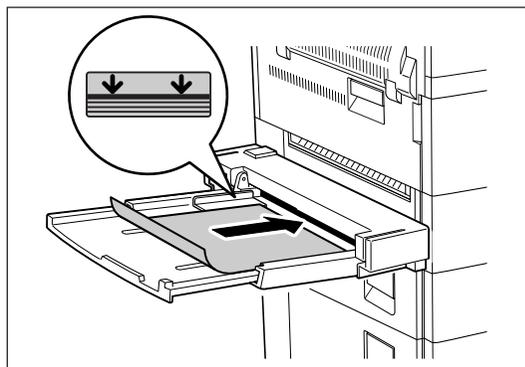
用紙の間に空気を入れるように、紙をさばいてください。これにより複数枚の紙送り(重送)や紙づまりなどの発生を防ぎます。



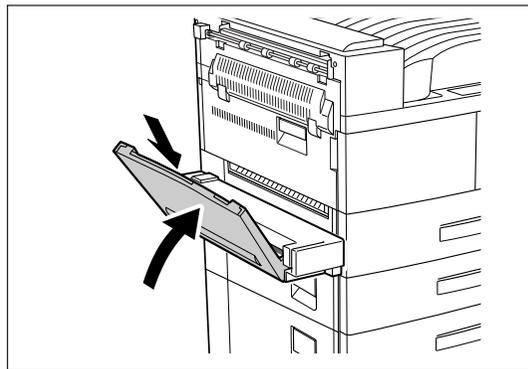
3. 用紙の端をそろえ、印刷したい面を下にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる。

チェック

トレイに表示されている用紙上限線を越えて用紙を入れないでください。紙づまりの原因になります。



4. 印刷が終了したら、引き出したエンドガイドとトレイを元に戻す。



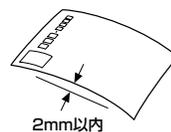
重要

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でトレイにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

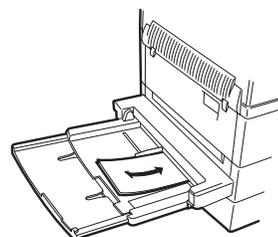
チェック

はがきや往復はがきをセットするときの注意

- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるようにし、反りの方向が右の図のようになるように直してからセットしてください。

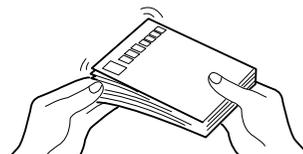


- 官製はがき(年賀状など)には裏移り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。プリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面を乾いた布などで粉を軽く払ってください。



- はがきをまとめてセットする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。

- 印刷したはがきをポストに入れるときは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。



- 往復はがきを使用する場合は、プリンタードライバーの用紙サイズで[ユーザ定義サイズ]を選択し、サイズを指定してご使用ください。

定形外用紙をセットするときの注意

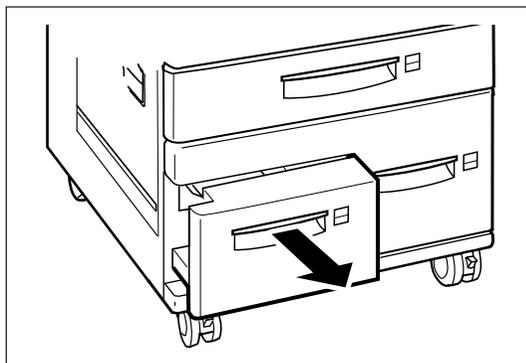
- 定形外用紙は、Windows 98、Windows 95、Windows 3.1、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows NT 3.51からの印刷が可能です。
- 対応可能な用紙の厚み(坪量)は、定形紙に比べて扱える範囲が狭くなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することを強くお勧めします。
- 用紙の形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、裁断角度が直角でない用紙は正常な給紙ができません。
- 用紙の紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目等により正常に印刷されない場合があります。
- 用紙の種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。

大容量ホッパ(オプション)に用紙をセットする

大容量ホッパのホッパー3に用紙をセットする方法は標準ホッパーにセットする方法と同じです。(27ページをご覧ください。)ここではホッパー4、ホッパー5に用紙をセットする方法を説明します。

ホッパー4、ホッパー5にはA4判、B5判、レターがセットでき、坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙であれば各1000枚までセットできます。

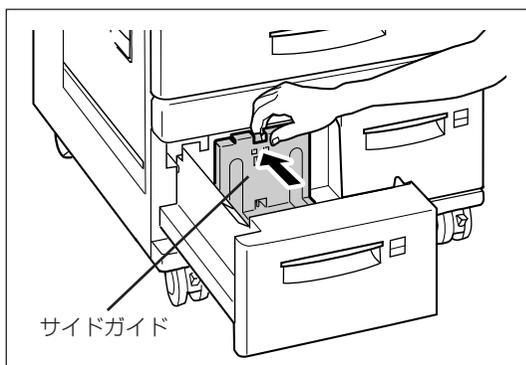
1. ホッパーを手前に引き出す。



2. サイドガイドのつまみを引きながら、セットする用紙サイズより外側にずらす。

用紙サイズの位置は、ホッパーの底面に表示されています。

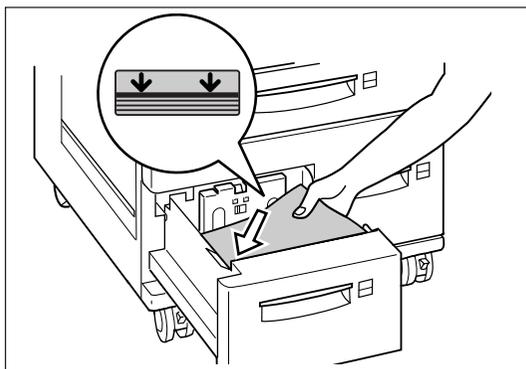
サイドガイドの位置を変えることにより、ホッパーのサイズを変更することができます。



3. 用紙の端をそろえ、印刷したい面を上にして、ホッパーの左手前に合わせてセットする。

— **✓** チェック —

用紙上限線を越えないように用紙を入れてください。紙づまりの原因になります。

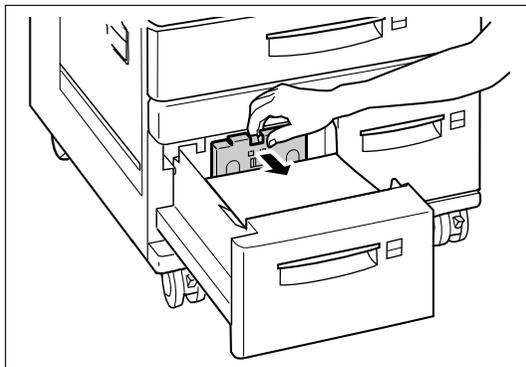


4. セットした用紙のサイズに合わせるように、サイドガイドを内側にずらす。

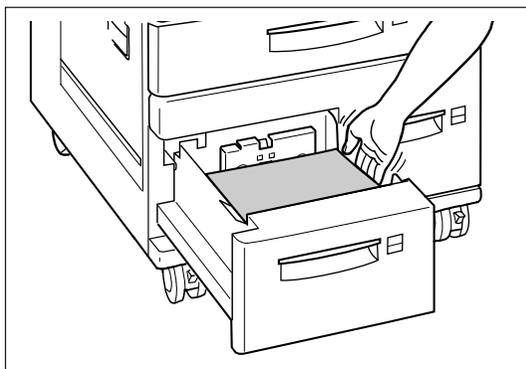
ホッパーの底面に表示されている用紙サイズを参考にして、サイドガイドをセットしてください。このときサイドガイドが正しくセットされていればガイドは動きません。もし動くようでしたら、もう一度正しくセットし直してください。

— **✓** チェック —

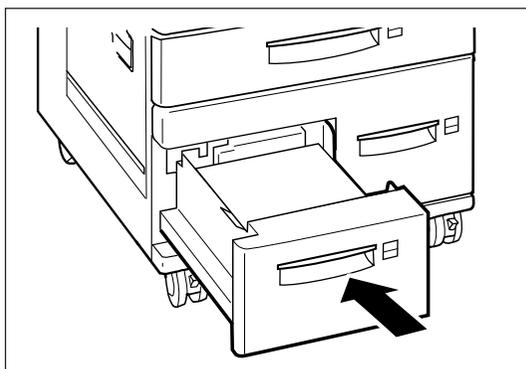
用紙が正しくセットされていないと用紙サイズが検知されず、紙づまりが起ることがあります。



5. 用紙の端をそろえる。



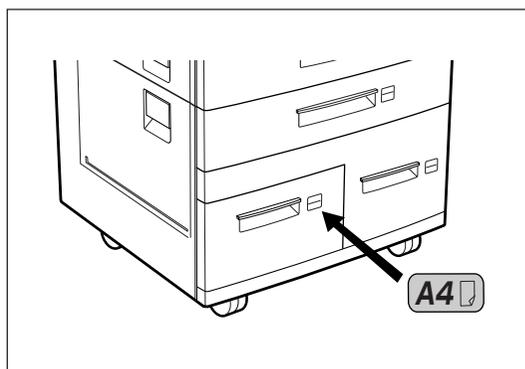
6. ホッパーを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。



7. セットしたサイズ用の紙サイズシール(付属品)をホッパーに貼る。



付属の用紙サイズラベルはホッパー1~3に、用紙サイズシールはホッパー4、5でお使いください。



封筒フィーダ(オプション)に封筒をセットする

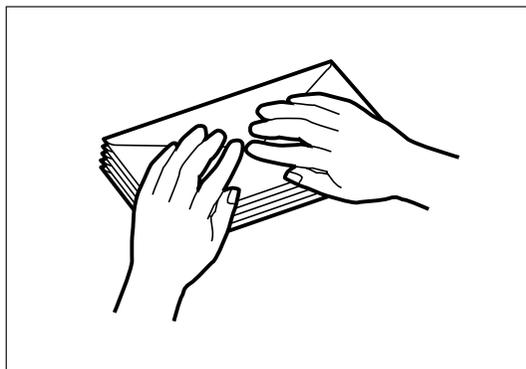
封筒フィーダにセットする封筒は、洋形4号(LIFE洋封筒E506ライフ(株)製)をご使用ください。最大100枚セットすることができます。



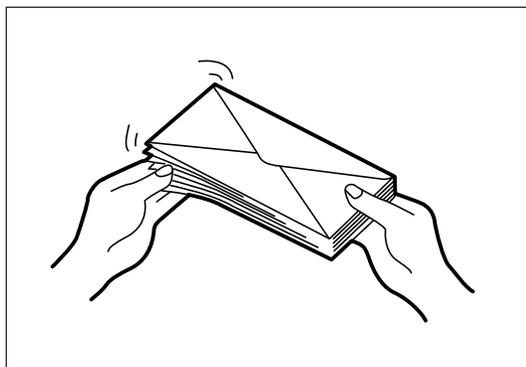
フラップ(封筒の折り返し部分)面は印刷を行わないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

1. フラップ(封筒の折り返し部分)をきちんと折り曲げる。

フラップがはね上がらないように、平らなところできちんと折り曲げてください。

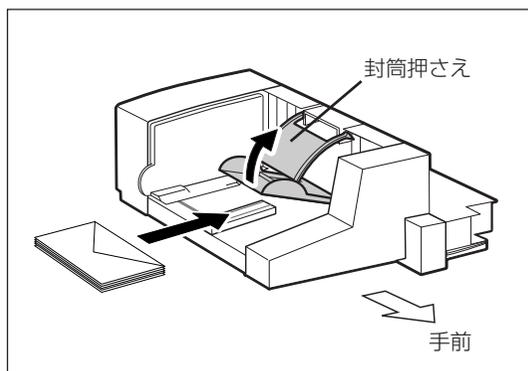


2. 封筒の両端を持って、十分にさばく。

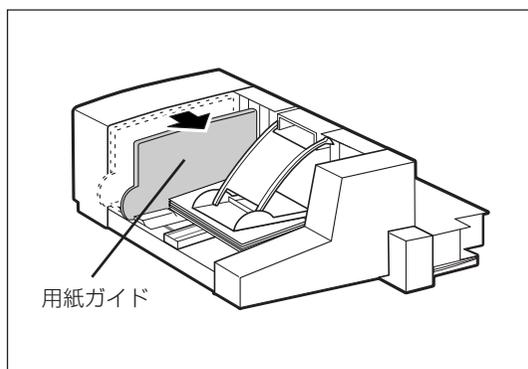


3. 封筒押さえを持ち上げ、封筒を手前奥にセットする。

—  チェック —
印刷する面を下にしてください。



4. セットした封筒が固定されるように、用紙ガイドを封筒に合わせてずらす。



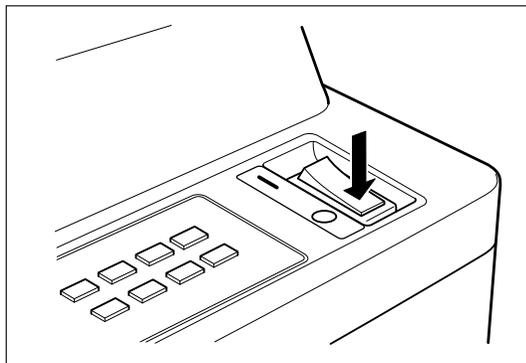
6 電源コードを接続する



注意

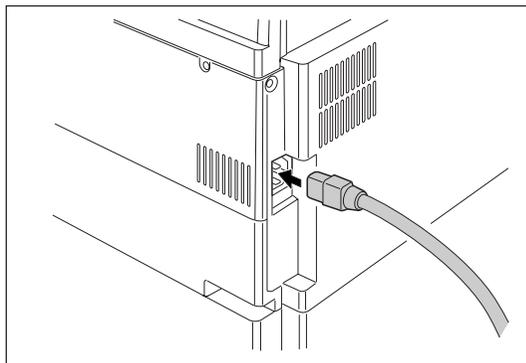
電源コードは、添付されているものを使用してください。定格に満たない電源コードを使うと火災や感電、故障のおそれがあります。

1. プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。

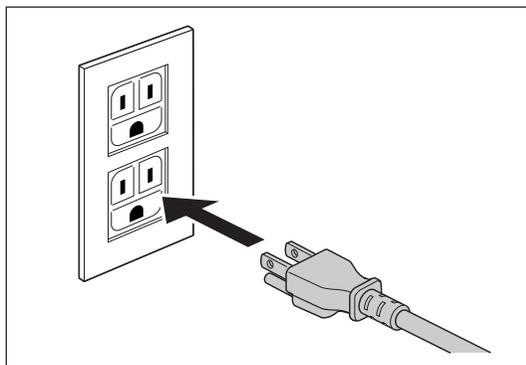


2. 電源コードを電源コネクタに差し込む。

電源コネクタは、プリンター背面から見て左側にあります。



3. もう一方の電源プラグを3極電源コンセント(電流容量15A以上)に差し込む。



チェック

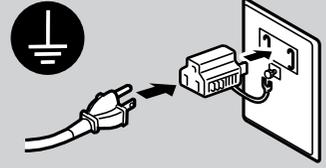
プリンターの電源コードは、コンピューター本体の補助コンセントに接続しないでください。

注意

アースを付けないで使用しない

2極/3極変換プラグを使用するときには、以下のことについてご注意ください。

- 2極/3極変換プラグを使用するときはアース線を次のどれかに取り付けてください。
 - － 電源コンセントのアース端子
 - － 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
 - － 接地工事(第3種)を行っている接地端子
- 次のようなところにはアース線を接続しないでください。
 - － ガス管(引火や爆発のおそれがあります。)
 - － 電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。)
 - － 水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)



7 テスト印刷をする

プリンターが正常に動くことを確かめるために、テスト印刷を行います。

重要

印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。印刷中にOFFにするとプリンター故障の原因となるおそれがあります。

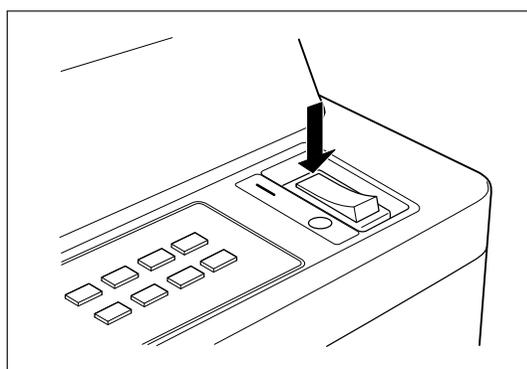
ヒント

「5章 故障かな?と思ったら」に記載されている処置を行った場合は、処置の後にこのテスト印刷を実行することをお勧めします。

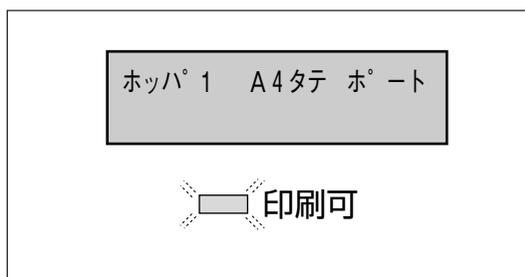
1. 電源スイッチをONにする。

ディスプレイに次のメッセージが順に表示されます。

“イニシャライズチュウ”
“ウォームアップチュウ”

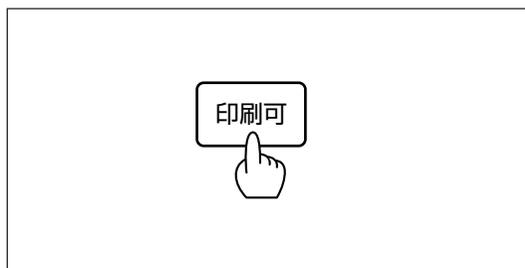


2. ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが点灯することを確認する。



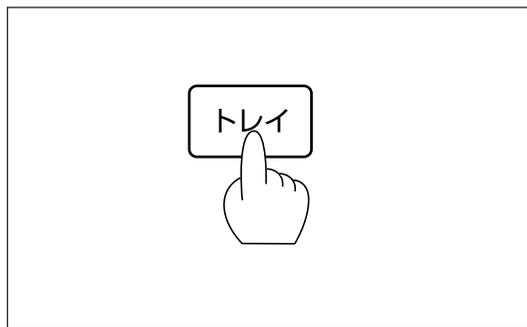
3. [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



4. トレイに用紙をセットした場合は、ここで[トレイ]スイッチを押し、印刷する用紙のサイズを選択する。

トレイが選択され、ディスプレイには“トレイ”と表示されます。

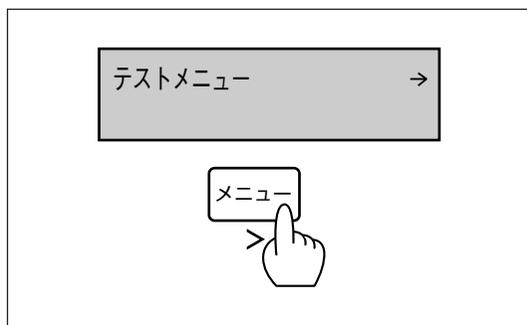


✓ チェック

- トレイの場合は、自動的に用紙サイズを検出しないので、[トレイ]スイッチで用紙サイズを選択してください。
- トレイにセットする用紙がOHPフィルムや厚紙の場合は、メニューモード設定項目一覧表(54ページ)を参照して、メニューモードの「トレイヨウシシュベツ」項目で用紙種別の設定を行ってください(詳細については付録Aを参照)。この場合、印刷は片面で行われます。
- スイッチで選択した用紙サイズよりも小さい用紙に印刷したり、用紙のセット方向をまちがえて印刷すると、用紙をはみ出して印刷してしまい、プリンター内部のローラーを汚す原因となります。ローラーが汚れてしまったときはテスト印刷を数枚行い、汚れを取り除いてください。

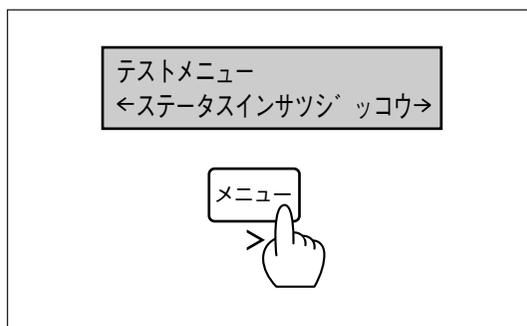
5. [右向き]スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー 右”と表示されます。



6. [左向き]スイッチを押す。

ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジ ッコウ”と表示されます。



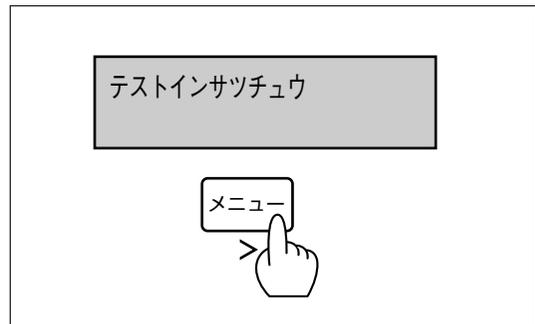
7. [V]スイッチを2回押す。

ディスプレイ下段には“←レンゾクインサツ ジッコウ →”と表示されます。



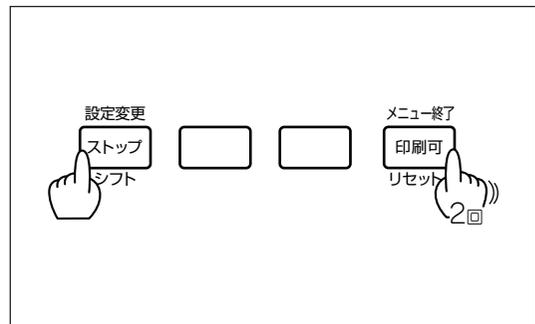
8. [>]スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターはテスト印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されテスト印刷を開始します。テスト印刷の結果については、付録Bの「テスト印刷のプリント結果」(185ページ)をご覧ください。



9. テスト印刷を停止させる。

テスト印刷は自動的に止まりませんので、[ストップ]スイッチを押してください。その後[シフト]スイッチを押しながら[リセット]スイッチを2回押します。ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが点灯します。



これでテスト印刷は終了です。

8 コンピューターに接続する

MultiWriter 4050Mにはプリンターケーブルが添付されていないため、別途お買い求めになる必要があります。プリンターケーブルの種類がわからない場合は、「使用できるプリンターケーブル一覧」(138ページ)をご覧ください。ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルを確認してください。

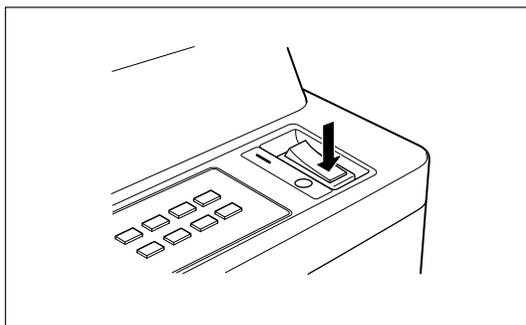
重要

パソコン本体とプリンターとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファ、プリンター切り替え器、プリンター共有器などを使用したりすると、MultiWriter 4050Mの機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。

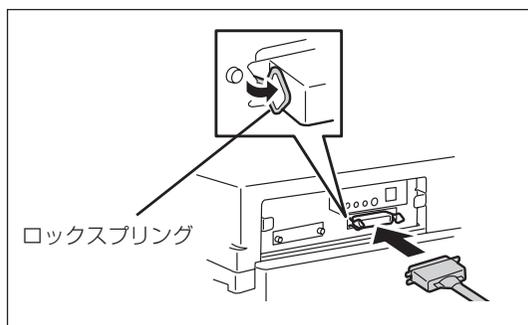
チェック

- MultiWriter 4050MをコンピューターのUSBコネクタに接続する場合は、オプションの「USBプリンターケーブル」が必要です。(Windows 95(OSR2.1以降)のみ対応)
- Macintoshコンピューターと接続する場合やネットワークに接続する場合は、オプションの「マルチプロトコルLANボード」と専用のネットワークケーブルが必要です。詳細は69ページを参照してください。

1. プリンターおよびコンピューターの電源スイッチをOFFにする。

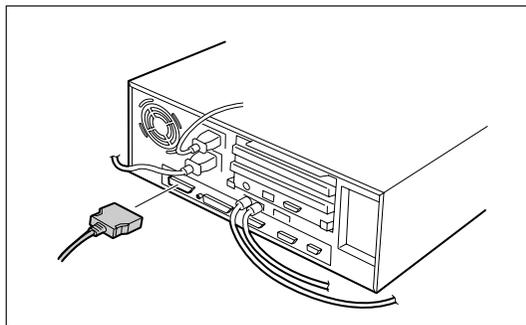


2. プリンターケーブルのコネクタをプリンター背面のソケットに差し込み、コネクタ両端のロックスプリングで固定する。



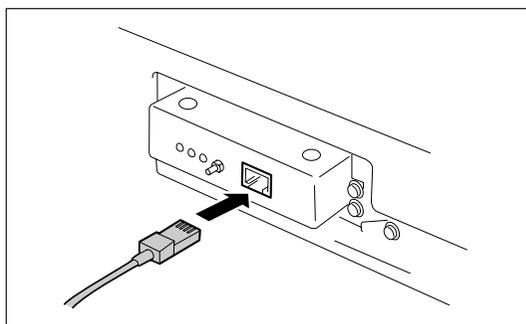
**3. プリンターケーブルのもう一方のコネクターを
コンピューターに接続する。**

コンピューターのインターフェース用ソケットの位置については、コンピューターのマニュアルを参照してください。



**4. LANボードを用いてネットワークに接続する場
合は、LANケーブルを取り付ける。**

詳細については添付の取扱説明書をご覧ください。



プリンターを運搬・廃棄するときは

プリンターを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、次の手順でプリンターから付属品、消耗品およびオプション品を取り外してください。

1. 付属品および消耗品(EPカートリッジ、用紙、電源コード、プリンターケーブル)を取り付けたときと逆の手順で取り外す。

(前述の手順④～⑧(21ページから42ページ)を参照してください。)

重要

どの付属品を取り外すときも、電源がOFFになっていることを確認してください。

2. オプション品を取り付けている場合は、それらを取り外す。

オプション品に同梱されているマニュアルを参照しながら取り外してください。

3. プリンターを緩衝材で梱包する。

購入時の箱や緩衝材がない場合は、プリンターに衝撃を与えないよう柔らかいもので保護し、静かに運搬してください。

注意

プリンターは約42kgの重さがあります(EPカートリッジ含む)。装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手をそえて3人以上で運んでください。2人以下で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

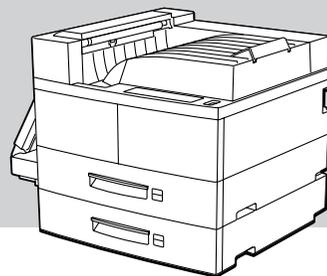


プリンター・消耗品を廃棄するときは

NECは使用済みのEPカートリッジの回収を行っています。EPカートリッジはそのまま捨てずに、お求めの販売店にお持ちください。詳しくは販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。

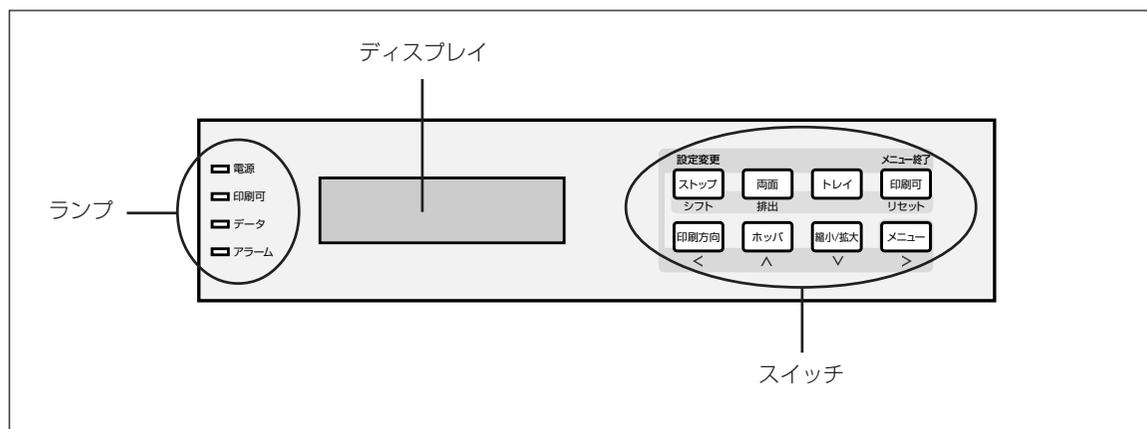
装置の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はEPカートリッジを取り外してください。

2章 操作パネルについて



操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。

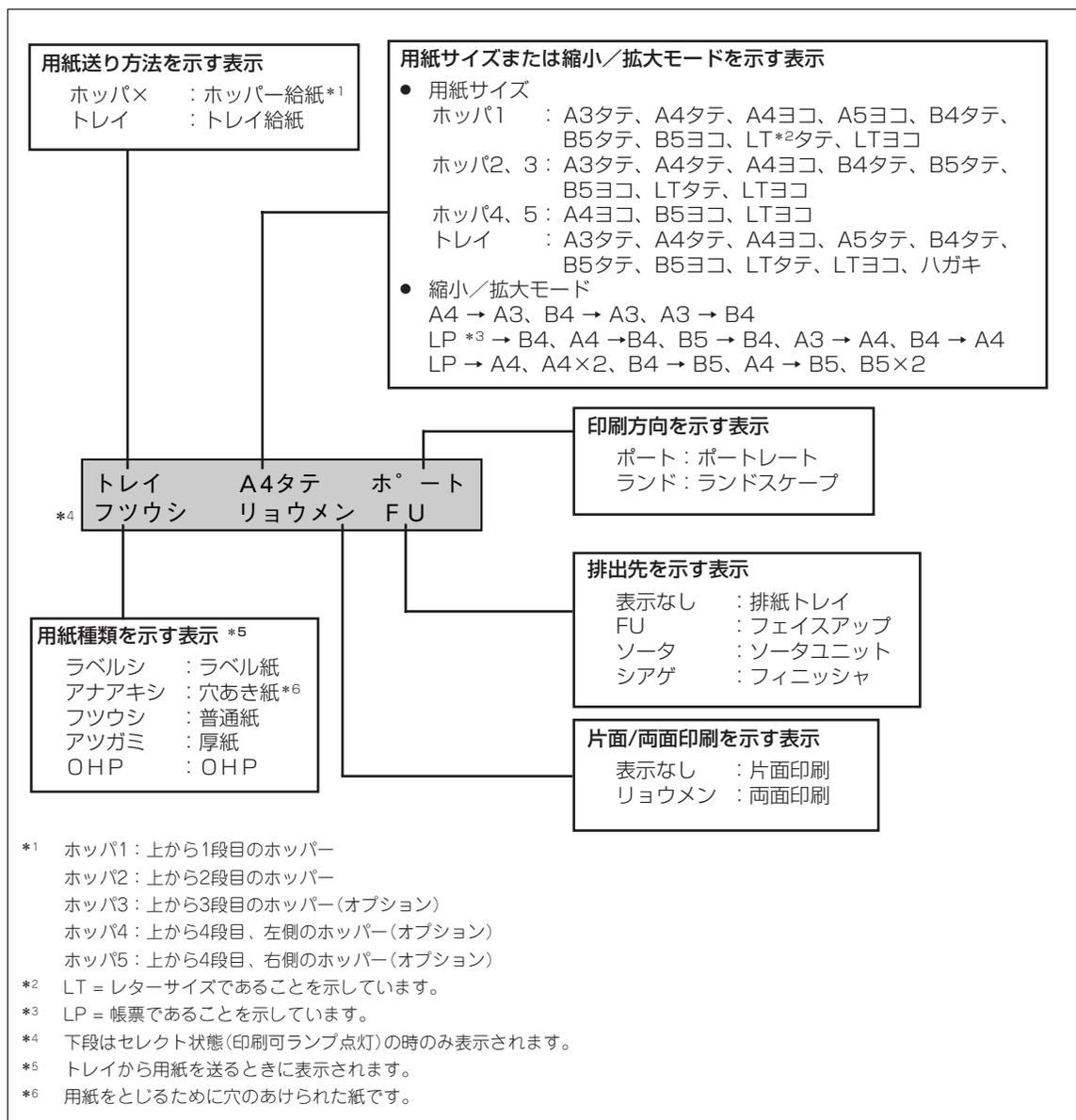
ここでは操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。



操作パネル

ディスプレイ

16桁×2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。双方向通信をしている時は“ジュシンチュウ”および“ショリチュウ”が表示されます。



ディスプレイの表示

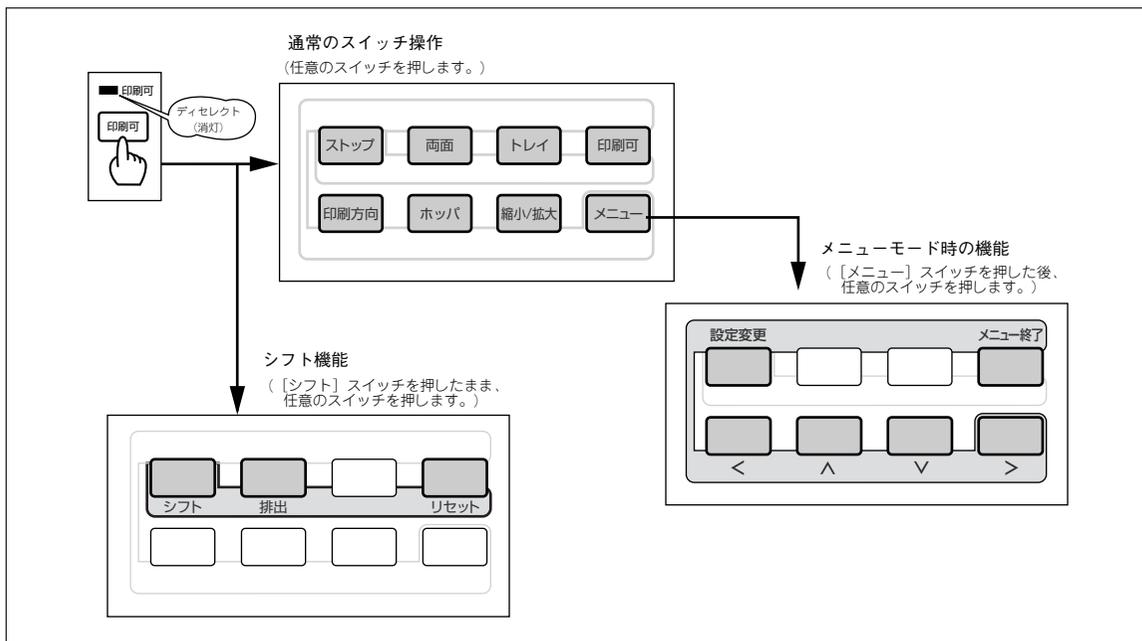
その他の表示内容については本書「アラーム表示が出ているときは」(99ページ)、「メニューツリー」(58～64ページ)あるいは「ディスプレイ表示一覧」(196ページ)をご覧ください。

ランプ

- | | | |
|-------------------------------|-------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 電源 | 電源ランプ(緑) | |
| | 点灯 | プリンターの電源がONになっています。 |
| | 消灯 | プリンターの電源がOFFになっています。 |
| <input type="checkbox"/> 印刷可 | 印刷可ランプ(緑) | |
| | 点灯 | プリンターがセレクト状態 (印刷データを受信できる状態) になっています。 |
| | 消灯 | プリンターがディセレクト状態 (印刷データを受信できない状態) になっています。 |
| <input type="checkbox"/> データ | データランプ(橙) | |
| | 点灯 | プリンター内に印刷データが残っています。 |
| | 点滅 | プリンターが印刷データを受信中です。 |
| | 消灯 | プリンター内にデータが残っていません。
プリンターはデータを受信中ではありません。 |
| <input type="checkbox"/> アラーム | アラームランプ(赤) | |
| | 点灯 | EPカートリッジのトナーの残量が少ない、または寿命が近づいています。新しいEPカートリッジと交換してください。詳細については「EPカートリッジの交換」(77ページ)をご覧ください。
アラームランプが点灯のままでも印刷はできますが、EPカートリッジを交換しないで印刷を続けると期待する印刷結果が得られなくなります。早めにEPカートリッジの交換を行ってください。 |
| | 点滅 | 用紙無し/カバーオープン、またはプリンターに異常が発生していることを示します。
詳細はディスプレイに表示されます。 |
| | 消灯 | プリンターが正常であることを示します。 |

スイッチ

プリンターの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチには2つまたは3つの機能を持たせています。



スイッチの機能

通常スイッチ機能 [印刷可]スイッチを押し、ディセレクト状態(印刷可ランプが消灯している状態)になって初めて機能します(ストップスイッチを除く)。

メニューモード時のスイッチ機能 [メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。

シフト時のスイッチ機能 [シフト]スイッチを押しながら押しと働く機能です。

✓ チェック

- アラームランプが点滅している間は何のスイッチも機能しません。アラームの詳細については「アラーム表示が出ているときは」(99ページ)をご覧ください。
- アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。

通常スイッチ機能

印刷可

[印刷可]スイッチ

このスイッチはプリンターが初期設定中およびテスト印刷中以外に機能します。

データを受信できる状態にします。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態(セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯)と受信できない状態(ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯)に交互に切り替えます。

トレイ

[トレイ]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

トレイ給紙にします。

ホッパーから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、トレイから用紙を給紙する状態に切り替わります。また、オプションの封筒フィーダ装着時は封筒フィーダから給紙されます。

トレイ給紙の用紙サイズを変更します。

トレイ給紙を選択中に、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。



本スイッチによる設定とトレイにセットされる用紙のサイズは一致させて使用してください。

両面

[両面]スイッチ*

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

* 両面印刷オプション装着時に機能します。

選択した用紙サイズがハガキ、A5横、封筒以外であること、また用紙種別が普通紙のときに有効です。

両面印刷モードにします(両面印刷モードを解除します)。

このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。

トレイ給紙で「厚紙」または「OHP」を指定した場合は、両面印刷モード(両面ランプ点灯)でも印刷は片面で行われます。

ストップ

[ストップ]スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にします。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

メニュー

[メニュー]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

メニューモードに入ります。

このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

[ホッパ]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

ホッパー給紙に切り替えます。

トレイから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、ホッパーから用紙を送る状態に切り替わります。

ホッパーを使用するときは、このスイッチでホッパーを選択します。

ホッパー給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙ホッパーの設定が変わります。(選択されたホッパーがディスプレイに表示されます。)

— チェック

選択したホッパーがメニューモードで「合紙」に設定されていた場合、通常印刷ではそのホッパーは使用できません。選択するホッパーが「合紙」に設定されているかどうか注意してください。

[印刷方向]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択します。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。

[縮小/拡大]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

縮小/拡大モードの設定を行います。

このスイッチを押すと以下のような縮小/拡大印刷ができます。印刷する用紙サイズによって、次の順序でモード選択されます。

- A3サイズに印刷する

A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 → (繰り返し)

- A4サイズに印刷する

A4 → B4→A4 → LP^{*1}→A4 → A3→A4 → A4×2^{*2} → B5→A4 → A4 → (繰り返し)

- B4サイズに印刷する

B4 → LP→B4 → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 → (繰り返し)

- B5サイズに印刷する

B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2^{*3} → B5 → (繰り返し)

*1 LPは帳票サイズ(136桁×66行)を意味します。

*2 A4×2はA4サイズの2ページ分のデータをA4用紙1枚に印刷します。

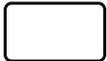
*3 B5×2はB5サイズの2ページ分のデータをB5用紙1枚に印刷します。

✓チェック

- アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。
- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド(FS f c₁c₂c₃)によってA3、B4または帳票サイズが指定されており、ホッパーにA4サイズ用の紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の「NPD(L Level 2)リファレンスマニュアル」、または、印刷する際に使用されているアプリケーションのソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

メニューモード時のスイッチ機能

メニュー終了

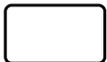


[メニュー終了]スイッチ

メニューモードを終了します。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

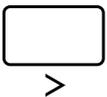
設定変更



[設定変更]スイッチ

メニューモード時に設定変更したい項目(レベル3)を選択します。

メニューモード時にメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。



[>]スイッチ

メニューモード中は[→]スイッチとして機能します。

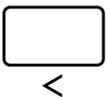
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル(レベル2またはレベル3)の項目を選択することができます。



[^]スイッチ

メニューモード中は[↑]スイッチとして機能します。

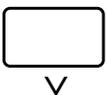
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。



[<]スイッチ

メニューモード中は[←]スイッチとして機能します。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル(レベル1またはレベル2)の項目を選択することができます。



[v]スイッチ

メニューモード中は[↓]スイッチとして機能します。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については「メニューツリー」(58~64ページ)をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能



リセット

[リセット]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム中も機能します。

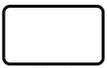
プリンターを初期状態にします。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態(電源スイッチON直後の状態)になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。



チェック

リセットを行うと、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態(電源ON直後の状態)に戻ります。ただし、[メニュー]スイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細は次ページをご覧ください。



排出

[排出]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している(ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている)ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷します。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。



チェック

プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。



シフト

[シフト]スイッチ

このスイッチは常に機能します。



チェック

このスイッチが押されている間、2つのスイッチ(両面、印刷可)はそれぞれスイッチの下に表記された機能(排出、リセット)が有効となります。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。

メニューモード

メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードでの設定変更のしかた

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

2

操作パネルについて

1. [印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。



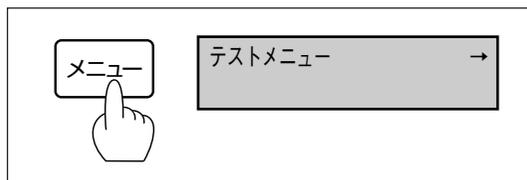
2. データランプが点灯していないことを確認する。

もし点灯していたら[シフト]スイッチを押しながら排出スイッチを押して、データを排出してください。



3. [メニュー]スイッチを押す。

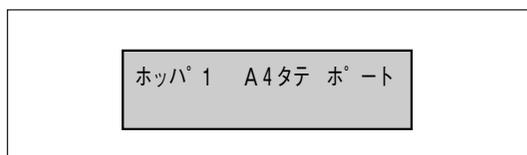
プリンターはメニューモードになり、ディスプレイに「テストメニュー →」を表示します。



4. メニューモードの設定内容を変更する。

メニューモードの内容は次ページの「メニューモード設定項目一覧表」および58～64ページの「メニューツリー」を参照してください。

メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。



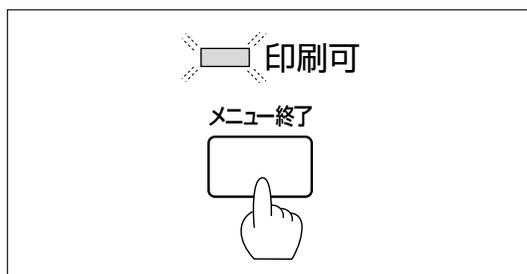
[<]、[▲]、[▼]、[>]スイッチ このスイッチを押すとメニューの選択できる項目の位置がその方向へ進むことを示しています。

[設定変更]スイッチ レベル3をひとつずつ表示し、同時に表示された内容が自動的に選択されます。

5. [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。

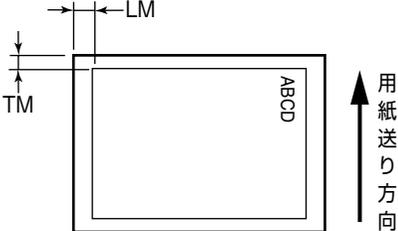
変更した設定内容は、このスイッチを押すことによって記憶されます。もしこのスイッチを押さずに電源を落としてしまうと、設定内容の変更は記憶されませんので注意してください。



メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。
また、これらの設定はメモリースイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。詳細については、132～135ページの「メモリースイッチの詳細」をご覧ください。

メニューモード設定項目一覧(1/2)

設定項目		説明	メニューモード	メモリースイッチ (MSW)
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、各プリンターの状態が印刷されます。	○	×
	サンプル印刷	サンプル印刷を行います。	○	×
	連続印刷	連続印刷（テスト印刷）を行います。	○	×
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	○	×
	MSWダンプ印刷	メモリースイッチのダンプ印刷を行います。	○	×
	保守印刷	保守に関する情報の印刷を行います。	○	×
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“99”まで設定できます。	○	×
	トナー節約機能	トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。	○	×
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時のホッパ設定を選択します。	○	×
	トレイ用紙種別	トレイで使用する用紙の種別を選択します。	○	×
	合紙モード設定	合紙（色紙など）給紙するホッパー/トレイを設定します。 ^{*1}	○	×
	リレイ給紙設定	リレイ給紙機能を使用するかどうかを選択します。 ^{*2}	○	×
	オフセット排紙機能	オフセット排紙機能を使用するかどうかを選択します。	○	×
印字位置設定メニュー	ホッパ1微調整		○	×
	ホッパ2微調整		○	×
	ホッパ3微調整 ^{*3}		○	×
	ホッパ4微調整 ^{*3}		○	×
	ホッパ5微調整 ^{*3}		○	×
	トレイ微調整		○	×
	封筒微調整 ^{*3}		○	×
	裏面微調整 ^{*3}		○	×
	表面微調整 ^{*3}		○	×

○：有効 ×：無効

*1 合紙モードに設定されたホッパーからは通常使用では印刷されません。合紙モードを設定する場合は、通常使用するホッパーと違うホッパーを選択してください。

*2 リレイ給紙は、リレイ前のホッパー（トレイ）とリレイに使用するホッパー（トレイ）を共にONに設定してください。

*3 オプション装着時。

メニューモード設定項目一覧(2/2)

設定項目		説明	メニューモード	メモリースイッチ(MSW)
オプション設定メニュー	両面印刷設定	両面印刷するかしないか、綴じしろ付加、余白、クリップの設定をします。	○	×
	フェイスアップトレイ設定	フェイスアップトレイを使用するかしないかを設定します。	○	×
	排出先設定	排出先を設定をします。(排紙トレイ、フェイスアップ、ソータユニット、フィニッシャ)	○	×
	ソータモード設定	ソートモード、コピーモード、スタックモード、ジョブセパレートモードの設定をします。	○	×
	仕上げモード設定	フィニッシャでのスタックフル機能のON/OFFを設定します。	○	×
	HDD機能設定	電子ソートの有効/無効を設定します。	○	×
運用メニュー	節電機能*1	節電機能を使用するかしないかを設定します。	○	○
	自動排出*2	自動排出の有効/無効、および設定時間を選択します。	○	×
	メモリ設定	プリンターが持つメモリの使用方法を選択します。	○	×
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	○
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	×
	ANK	1バイトコード系のフォントのANK文字を選択します。	○	×
	漢字	標準フォント(2バイト文字)を選択します。(明朝/ゴシック)	○	×
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	○	×
	国別	各国文字セットを選択します。	○	○
NPD設定メニュー	A4ポートレート桁数	用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの1行あたりの文字数を設定します。	○	○
	エミュレーション	ページプリンターモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。	○	○
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは、用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	○
設定初期化メニュー	初期化	メニュー項目を初期設定に戻します。	○	×
	呼び出し	設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。	○	×
	記憶	メニューモード内の各種機能設定とトレイスイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。	○	×
メモリースイッチメニュー	メニューモードの中で比較的可変頻度の低いものがまとめられています。	○	×	

○：有効 ×：無効

*1 節電までの設定時間は目安です。使用状況に応じて設定してください。

*2 コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのトラフィックが多いときなど、自動排出までの待ち時間(最大30秒)以上にデータ送信に時間がかかることがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られません。自動排出の設定を無効にする必要があります。

メモリースイッチの内容

メモリースイッチは1か0を選択することによって、他のメニューと同じように様々な機能を設定することができます。

メモリースイッチは1-1から8-8まであります(未使用のスイッチもあります)。表中の太文字は工場出荷時の設定を示しています。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容(1/2)

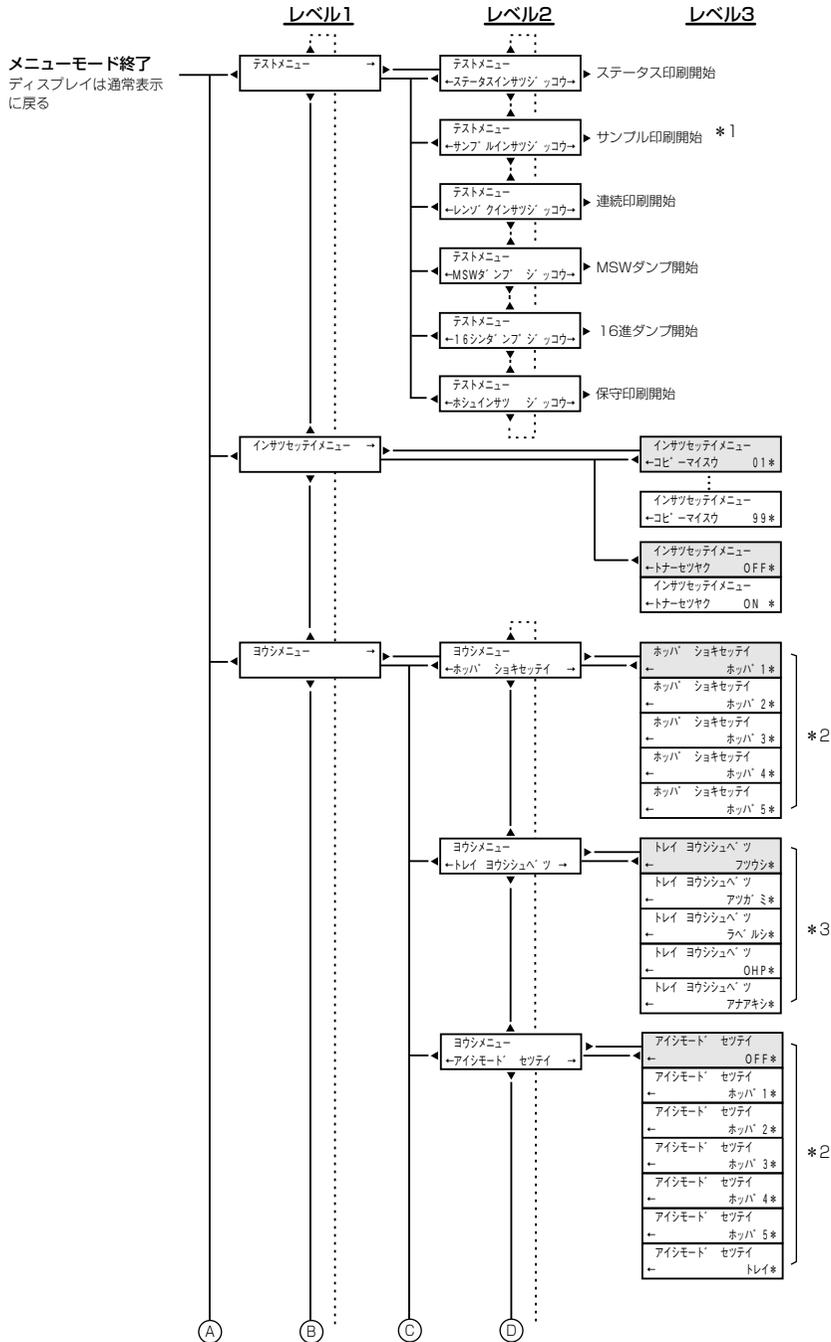
番号	機能	0	1
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1/0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。(「付録」を参照してください。) すべて0 (日本語)	
1-2			
1-3			
1-4~1-5	(未使用)		
1-6	自動復帰改行の切り替え	復帰改行	復帰のみ
1-7	印刷指令の切り替え	CRのみ	CR+その他
1-8	CR機能の切り替え	復帰のみ	復帰改行
2-1	1バイトコード系のゼロの字体の切り替え	0	∅
2-2	電源投入時のエミュレーションモードの切り替え	201PLエミュレーション	ページプリンター(NPDL)
2-3	グラフィックモードの切り替え	ネイティブモード	コピーモード
2-4~2-5	(未使用)		
2-6	7ビット/8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	78桁	80桁
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	4/5倍	2/3倍
3-1	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定 (136桁モード)	4つのスイッチの1/0の組み合わせにより、0から15/10インチまでの範囲で設定します。(1/10インチ単位)(「付録」を参照してください。) すべて0 (0インチ)	
3-2			
3-3			
3-4			
3-5	用紙位置微調整方向の設定 (136桁モード)	左	右
3-6	用紙位置の設定 (136桁モード)	左端合わせ	中央合わせ
3-7	136桁モードの有効/無効の切り替え	無効	有効
3-8	ブザー機能の有効/無効の切り替え	有効	無効
4-1	解像度選択の有効/無効の切り替え	有効	無効
4-2	(未使用)		
4-3	ESC c1での登録データを初期化する/しないの切り替え	初期化する	初期化しない
4-4	FFコードのみで白紙を出力する/しないの切り替え	出力する	出力しない
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	反時計回り	時計回り
4-6~4-8	(未使用)		

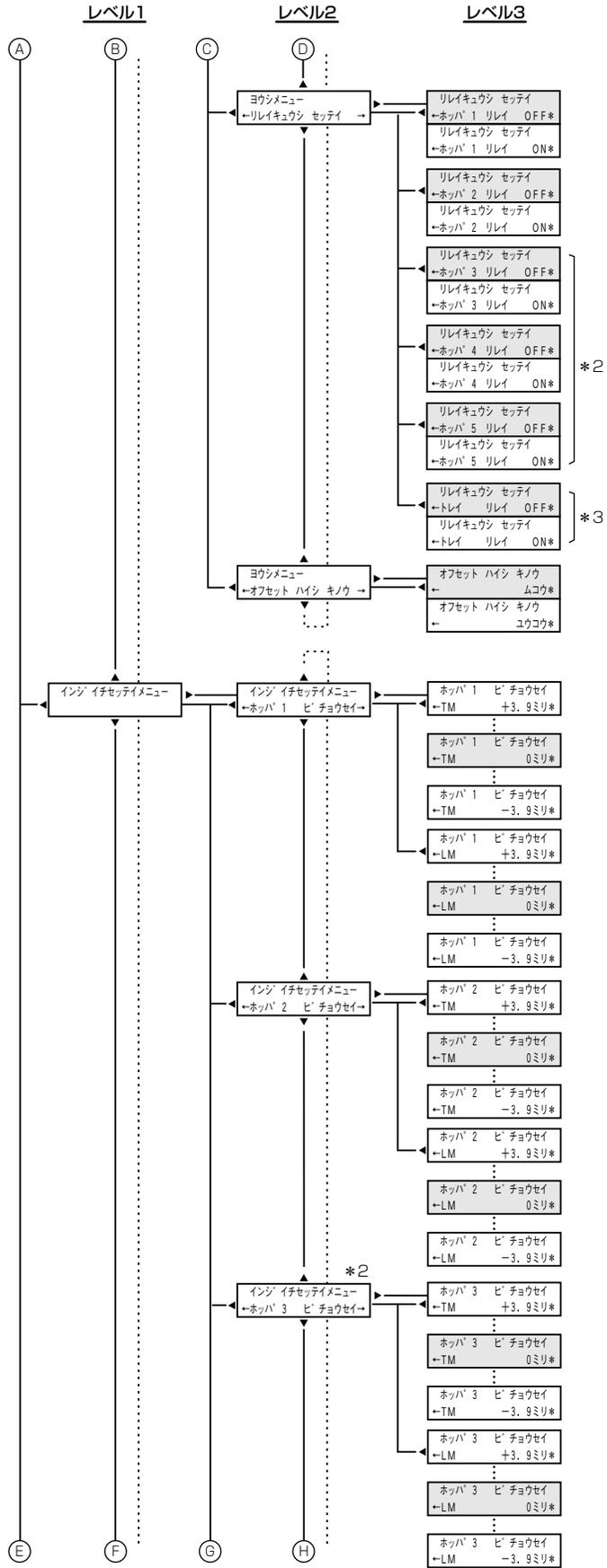
メニューモードで設定できるメモリスイッチの内容(2/2)

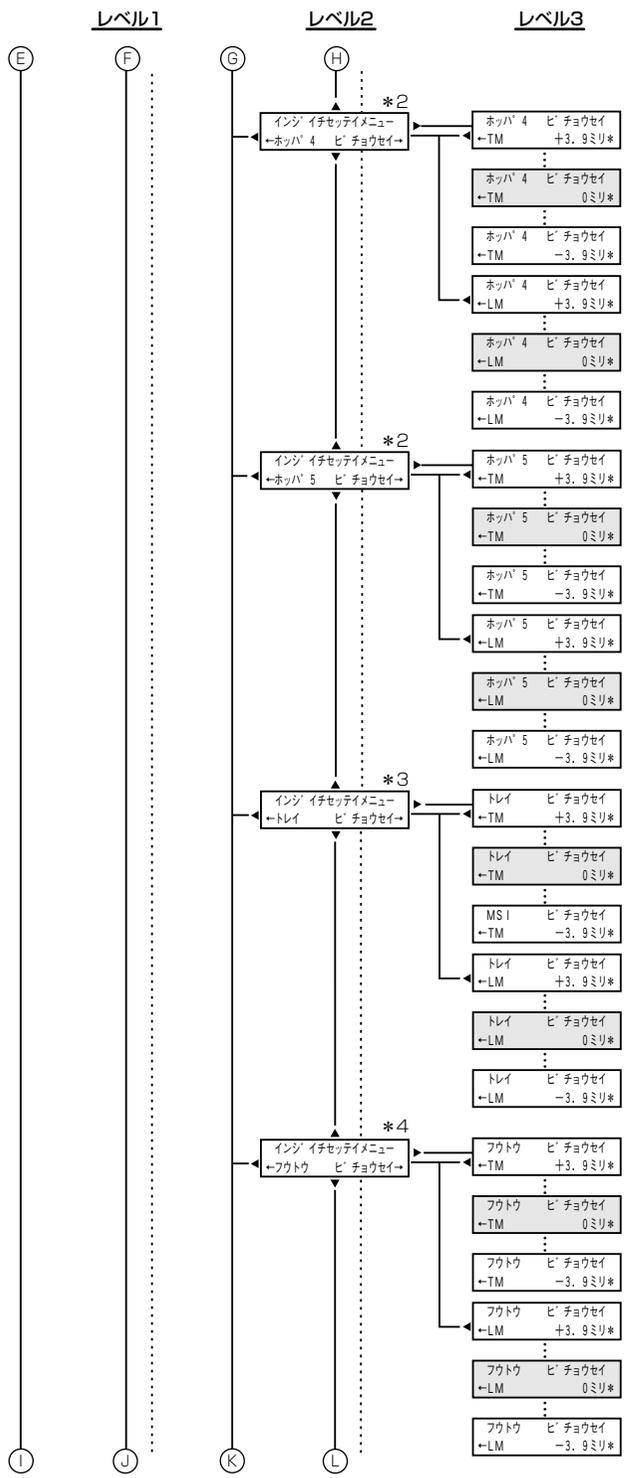
番号	機能	0	1
5-1	同期コードの有効/無効の切り替え	無効	有効
5-2~5-8	(未使用)		
6-1	SETを使用する/しないの切り替え	使用する	使用しない
6-2	メモリーオーバー時の動作指定	停止する	解像度を落として印刷
6-3~6-6	(未使用)		
6-7	節電機能を使用する/しないの切り替え	使用する	使用しない
6-8	(未使用)		
7-1	データストロープのデータラッチタイミング (セントロニクスインターフェース)	前縁ラッチ	後縁ラッチ
7-2	データストロープのデータラッチタイミング (LANボードインターフェース)	前縁ラッチ	後縁ラッチ
7-3	ソータ用紙あり表示	表示する	表示しない
7-4~7-6	(未使用)		
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを 表示する/しないの切り替え	表示する	表示しない
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする/しない の切り替え	自動縮小する	自動縮小しない
8-1 8-2	ビジィアクノリッジ (BUSY- $\overline{\text{ACK}}$) の タイミング (セントロニクスインターフェース)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、 BUSY-ACKのタイミングを切り替えます。 タイミングA	
8-3 8-4	アクノリッジ ($\overline{\text{ACK}}$) の幅 (セントロニクスインターフェース)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、 ACKの幅を切り替えます。 1 μs	
8-5 8-6	ビジィアクノリッジ (BUSY- $\overline{\text{ACK}}$) の タイミング (LANボードインターフェース)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、 BUSY-ACKのタイミングを切り替えます。 タイミングA	
8-7 8-8	アクノリッジ ($\overline{\text{ACK}}$) の幅 (LANボードインターフェース)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、 ACKの幅を切り替えます。 1 μs	

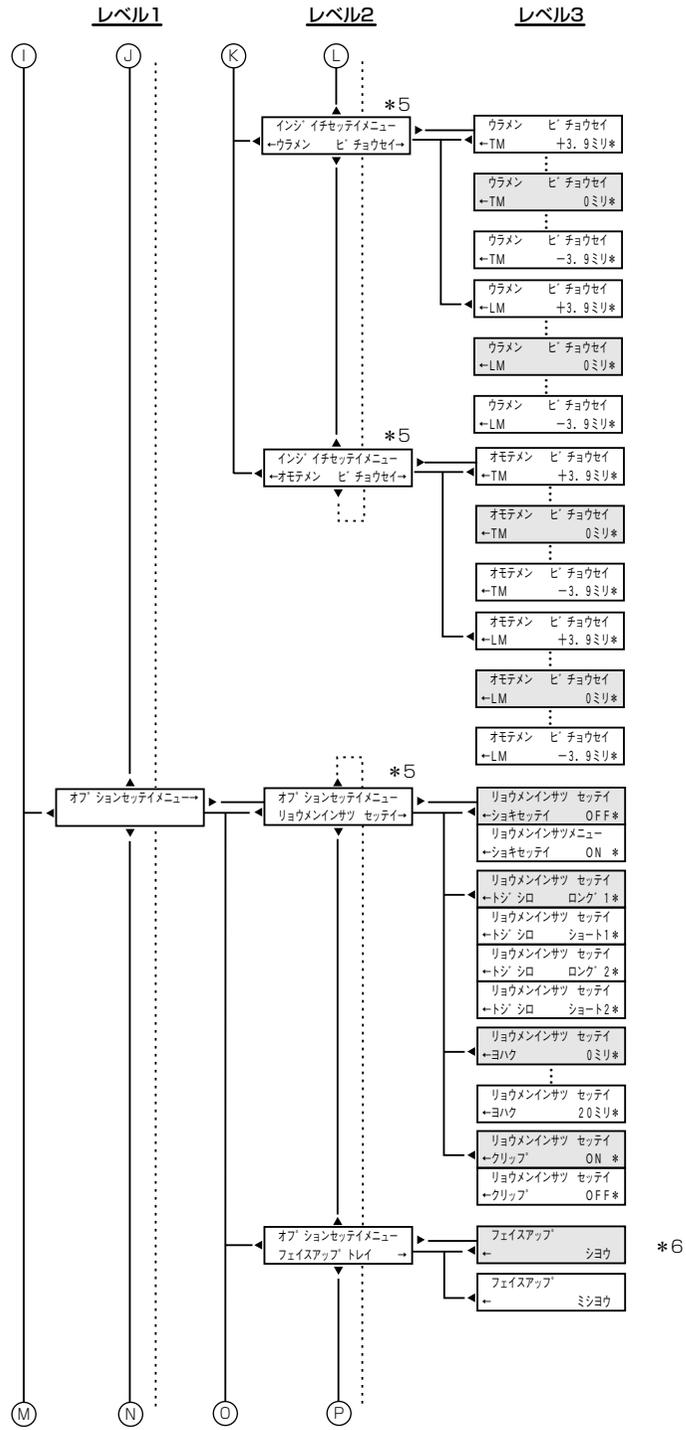
メニューツリー

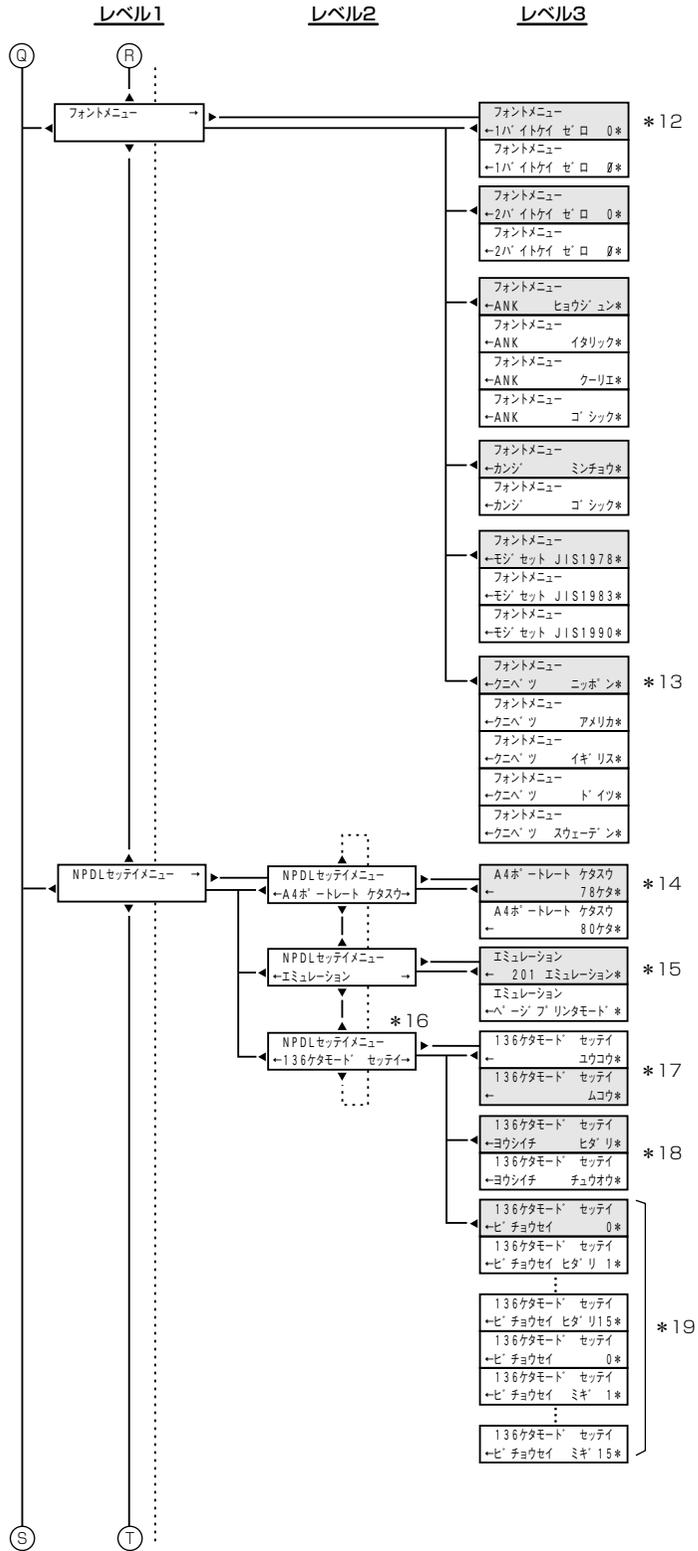
次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。(網掛け部分は工場出荷時の設定です。)

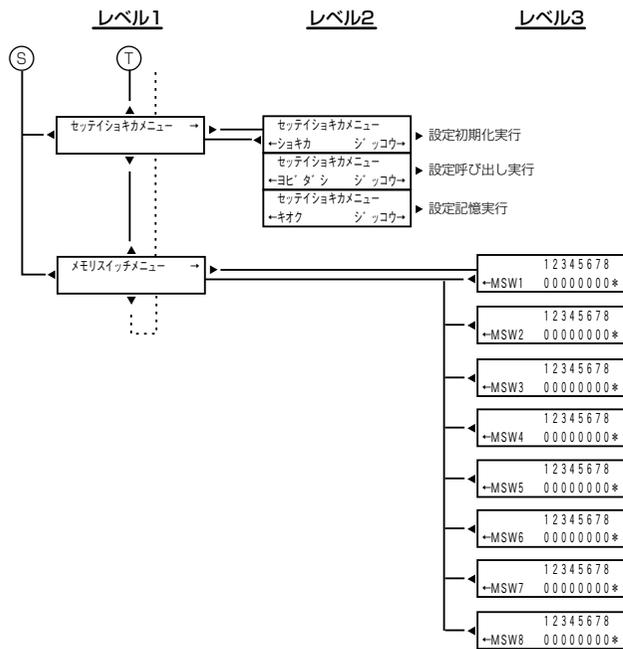






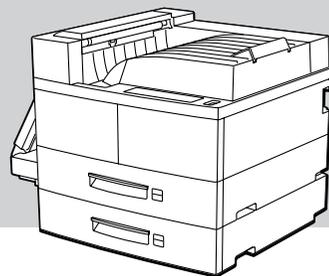




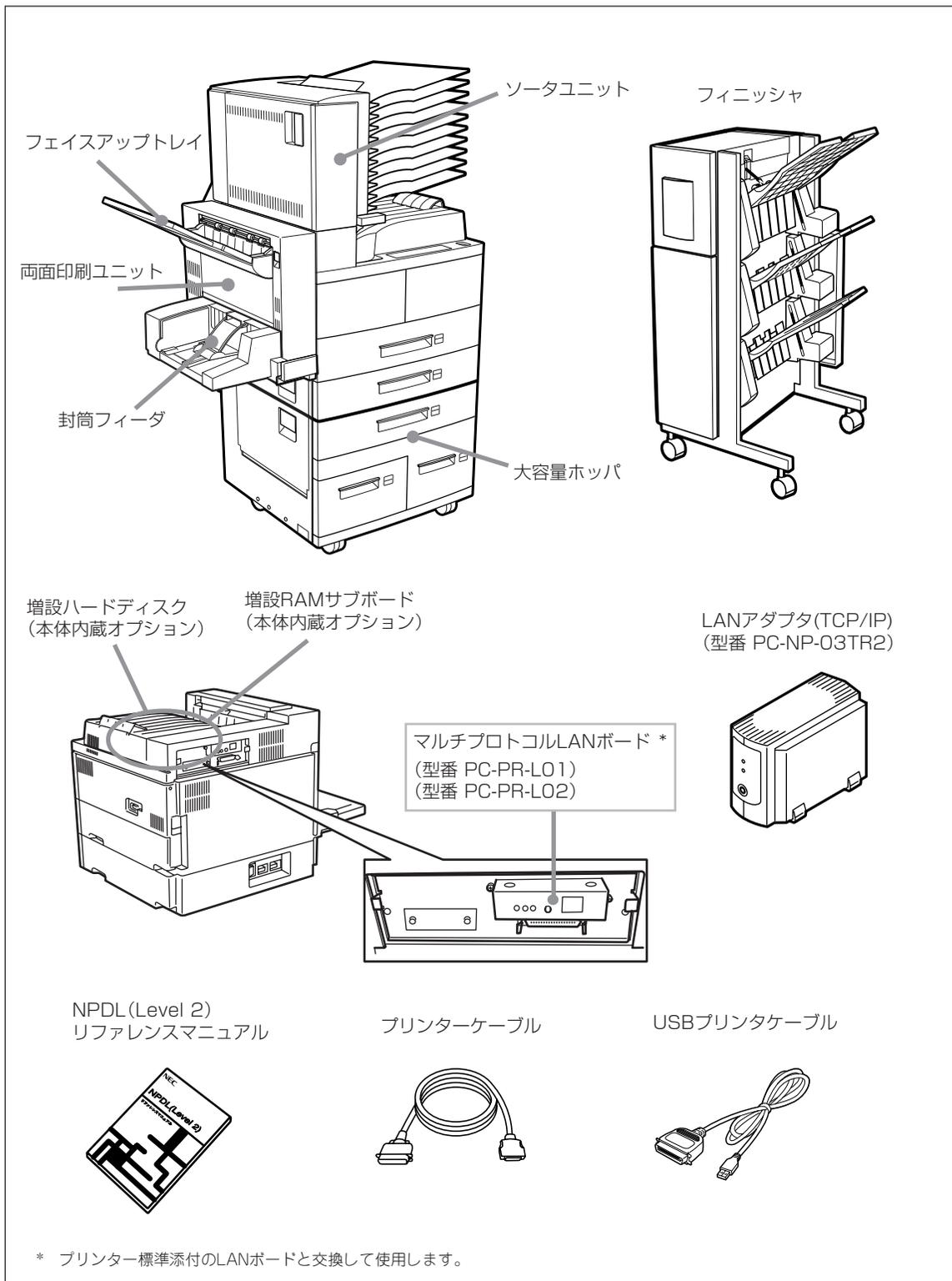


- *1 設定されている用紙がA4のときのみ表示されます。
- *2 装着されているホッパーのみ表示されます。
- *3 封筒フィーダが装着されているときは表示されません。
- *4 封筒フィーダが装着されているときのみ表示されます。
- *5 両面印刷ユニットが装着されているときのみ表示されます。(本プリンターでは最初にウラメンから印刷し、次にオモテメンを印刷します。)
- *6 “フェイスアップ”を“シヨウ”に設定した時は、必ずフェイスアップトレイを装着してください。
- *7 装着されたオプションによって表示されます。オプションなしの場合は表示されません。(フェイスアップトレイの場合は、“フェイスアップ”を“シヨウ”に設定した時に表示します。)
- *8 ソータユニットが装着されているときのみ表示されます。
- *9 フィニッシャが装着されているときのみ表示されます。
- *10 増設ハードディスクが装着されているときのみ表示されます。
- *11 MSW6-7と同期します。(節電までの時間は目安です。)
- *12 MSW2-1と同期します。
- *13 MSW1-1～MSW1-3と同期します。
- *14 MSW2-7と同期します。
- *15 MSW2-2と同期します。
- *16 201エミュレーションのときのみ表示されます。
- *17 MSW3-7と同期します。
- *18 136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-6と同期します。
- *19 136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-1～MSW3-5と同期します。

3章 オプション



この章では、MultiWriter 4050Mに豊富に取りそろえられているオプション品を紹介します。オプションの増設等は、お買い求めの販売店または当社指定のサービス窓口におたずねください。



オプション一覧

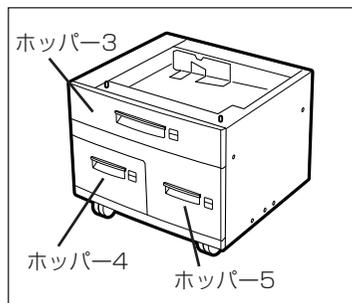
— チェック —

- フィニッシャとソータユニットは同時に取り付けられません。
- フィニッシャとソータユニットは大容量ホッパがないと取り付けられません。

オプション・消耗品の紹介

オプション

大容量ホッパー(型番 PR-L4050-03)



ホッパー3にセットできる用紙はA3、A4、B4、B5、レターサイズ of 用紙で、最大500枚までセットすることができます。用紙サイズを自動的に認識することができます。ホッパー4、5にはA4、B5、レターサイズの用紙を最大各1,000枚までセットすることができます。

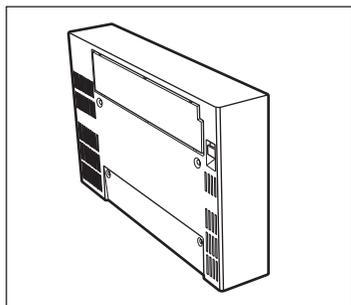
用紙サイズラベルと用紙サイズシールがそれぞれ1枚ずつ添付されています。ホッパー3には用紙サイズラベルを、ホッパー4、5には用紙サイズシールをお使いください。

ホッパーの切り替えについては73ページをご覧ください。



設置作業はサービス担当者が行いますので別途料金が必要です。

両面印刷ユニット(型番 PR-L4050-DL)



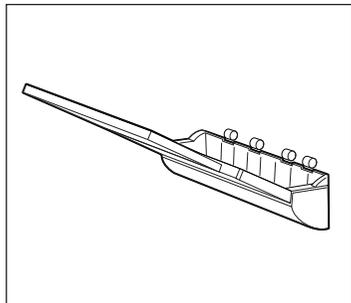
両面印刷をするためのユニットです。A3、A4、B4、B5、A5*1、レターサイズの用紙に両面印刷できます。

解像度600dpi*2でA3、B4サイズの用紙に両面印刷をする場合は、増設RAMサブボード(オプション)が必要です。

*1 A5サイズは、縦置きのみ両面印刷が可能です。

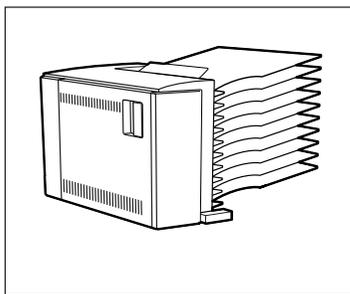
*2 23.6ドット/mm

フェイスアップトレイ(型番 PR-L4050-FT)



用紙をフェイスアップ(印刷された面が上になる状態)でスタックするためのトレイです。最大200枚スタックできます。

ソータユニット (型番 PR-L4050-SU)



最大10部のソータ排紙を行うことができます。1つのピンにスタックできる枚数は100枚までです。

取り付けには大容量ホッパが必要です。フィニッシャとの併用はできません。

増設RAMサブボード(オプション)を取り付けることにより、紙づまり後の処理などをスムーズに行うことができます。



設置作業はサービス担当者が行いますので別途料金が必要です。

フィニッシャ (型番 PR-L4050-FS)



670枚×3ピン=最大2,010枚の大容量排紙ができます。(ただしステープルどめする場合は、合計が670枚に達していなくても、1ピンあたり100部までしかスタックできません。)

オフセット排紙機能があります。

ステープル機能付きで、最大50枚までステープルどめできます。(51枚以上の場合はステープルどめされません。)

取り付けには大容量ホッパが必要です。ソータユニットとの併用はできません。

増設RAMサブボード(オプション)を取り付けることにより、紙づまり後の処理などをスムーズに行うことができます。

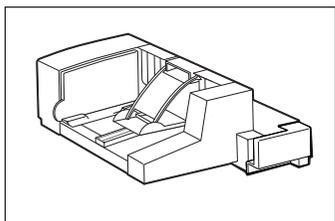


● 設置作業はサービス担当者が行いますので別途料金が必要です。

● フィニッシャを接続した場合は、プリンター本体の排出トレイのプリント収容可能枚数は300枚となります。(通常は500枚です。)

● プリント開始前にフィニッシャの故障を検出すると、出力は排出トレイに切り替えられます。

封筒フィーダ (型番 PR-L4050-EF)



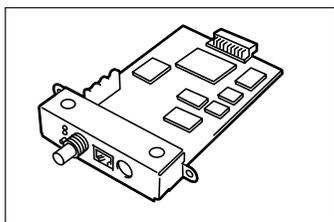
封筒用の給紙フィーダーです。封筒(洋形4号)を100枚までセットすることができます。

標準トレイとの併用はできません。



標準トレイから封筒フィーダ、または封筒フィーダから標準トレイに交換する場合は、一度電源をOFFにし、交換後再び電源をONにしてください。電源を再投入しないと認識できません。

マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L01)*



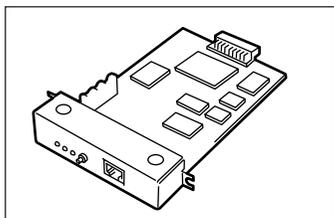
10BASE2、10BASE-T、LocalTalkインターフェースを装備しているプリンター内蔵型のLANボードです。
別売りの拡張プリンタドライバ(型番 PR2200NW2-21)を使うとMacintoshからの印刷が可能になります。

* プリンター標準添付のLANボードと交換して使用します。

マルチプロトコルLANボードが対応しているネットワーク環境

ネットワークOS		プロトコル
NetWare	3.11J、3.12J、4.1J、4.11J (NDS対応)	IPX/SPX
IntranetWare	4.11J (NDS対応)	IPX/SPX
Windows	2000	TCP/IP
Windows NT	3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP DLC
LANマネージャ	OS/2 LANマネージャ2.1bおよびOS/2 LAN Server J3.0	NetBEUI
Windows	95/98 (NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)	TCP/IP
Macintosh	漢字Talk 7.1.X、7.5.X、 Mac OS 7.6.X、8.0.X、8.1.X、8.5.X、8.6 (ただしQuickDraw GWには未対応)	AppleTalk
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)

マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L02)*



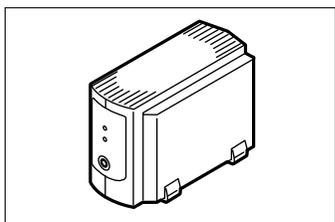
100BASE-TX、10BASE-Tに対応しているプリンター内蔵型のLANボードです。

* プリンター標準添付のLANボードと交換して使用します。

マルチプロトコルLANボードが対応しているネットワーク環境

ネットワークOS		プロトコル
NetWare	3.11J、3.12J、4.1J、4.11J (NDS対応)	IPX/SPX
IntranetWare	4.11J (NDS対応)	IPX/SPX
Windows	2000	TCP/IP
Windows NT	3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP DLC
Windows	95/98 (NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)	TCP/IP
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)

LANアダプタ(TCP/IP)(型番 PR-NP-03TR2)

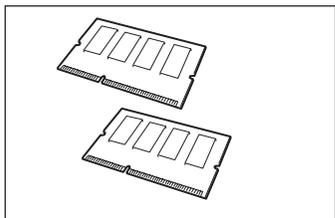


100BASE-TX、10BASE-Tに対応している外置き型のLANアダプターです。
PrintAgent(プリンタ管理ユーティリティ)のリモート電源制御機能を使って、
コンピューターからプリンターの電源をON/OFFすることができます。
本アダプターを使用する前に、プリンターに実装されているLANボードを取り
外すが、プリンタアクセス周期をユーティリティ等で「0」に設定してください。

LANアダプタが対応しているネットワーク環境

ネットワークOS		プロトコル
Windows	2000	TCP/IP
Windows NT	3.5、3.51、4.0	
Windows	95/98 (添付のユーティリティにより対応)	
UNIX	—	TCP/IP (ftp, lpr)

増設RAMサブボード(型番 PR/MM1)



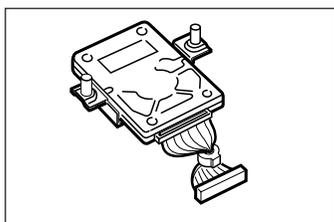
このボードは、64MB(32MB×2枚)のSDRAMを搭載した拡張メモリーボード
です。MultiWriter 4050Mには1セット(2枚)だけ取り付けることができます。
取り付けることにより次の効果があります。

- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファの拡大
- メモリー不足で印刷できない(両面印刷など)を解消。

重要

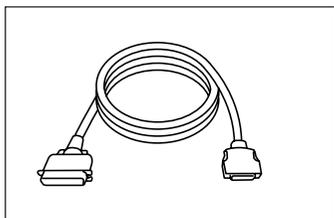
MultiWriter 4050M専用の増設RAMサブボードです。他の情報処理機器には使用しないでください。また
本増設RAMサブボード以外のRAMボードを使用すると、本プリンターが破損する場合があります。

増設ハードディスク(型番 PR-L4050-HD)



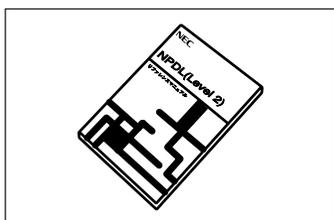
電子ソート機能が可能となります。
電子ソートとは、印刷データの複数部コピー要求があった場合にソータユニットなどの物理ソートを使用せず、プリンター内部で部数毎に印刷を繰り返し、1つのトレイに出力する機能です。
また、オフセット排紙が有効な場合にはスタッカー上に排出される用紙を印刷ジョブごとに用紙の向きはそのままに水平方向にずらして(オフセット)排紙することができます。

プリンターケーブル



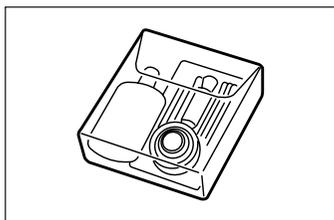
プリンターケーブルはお使いのコンピューターの種類によって違います。
詳細については、138ページの「使用できるプリンターケーブル」をご覧ください。

日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル (型番 PC-PRNPDL2-RM)



ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

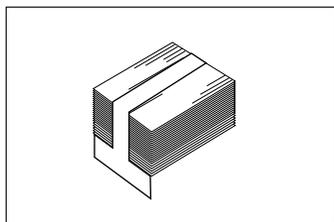
クリーニングキット(型番 PC-PR601-14)



プリンター内部を清掃するためのキットです。
クリーナー、クリーニングパッド、綿棒、フロアブラシなどがセットになっています。

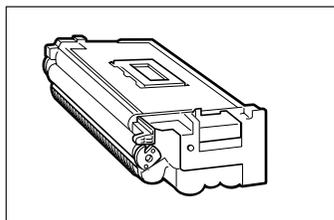
消耗品

ステープル針(型番 PR-L4050-SP)



フィニッシャに使用される替えのステープル針です。1セット15,000針(5,000針/個×3個)です。フィニッシャには1個(5,000針)添付されています。

EPカートリッジ (型番 PR-L4050-12)*



1個あたり、約20,000ページの印刷が可能なEPカートリッジです。

* プリンター添付品は約10,000ページの印刷が可能なEPカートリッジです。

✓ チェック

- 各EPカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の連続印刷を行ったとき(83ページ参照)の値です。印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定、OPC寿命などの印刷に関する設定の要素によって、印刷可能ページ数は異なります。
- 間欠印刷を頻繁に行ったり、画像面積比の低い印刷を行うとEPカートリッジ内のOPCが劣化して寿命(印刷可能ページ数)までもたず、印刷品質が悪くなる場合があります。

大容量ホッパの切り替え方法

大容量ホッパを取り付けたときに必要なホッパーの切り替えについて説明します。

取り付けた大容量ホッパから給紙するためには、操作パネル上でホッパー表示を「ホッパ3」、「ホッパ4」または「ホッパ5」にします。

ホッパーの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

- ① プリンターが初期化されるまで維持する方法 [ホッパ]スイッチによる切り替え
- ② プリンターが初期化されても大容量ホッパが選択される方法 メニューモードによる切り替え

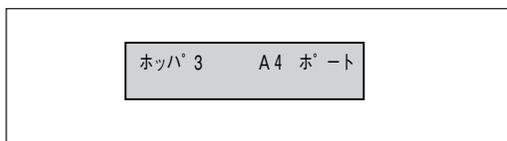
次にそれぞれの選び方について説明します。

① プリンターが初期化されるまで維持する方法

操作パネルの[ホッパ]スイッチを使って大容量ホッパを選択します。

1. [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。

2. [ホッパ]スイッチを押し、ディスプレイの表示を“ホッパ3”、“ホッパ4”または“ホッパ5”にする。



3. [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

4. コンピューターからデータを送る。

この状態は、以下の方法で変更しない限り、設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパーの選択を変更する
- トレイ給紙に変更する
- 電源をOFFにする
- コンピューターから変更する
- プリンターを初期化する

大容量ホッパの選択は、操作パネルから選択する以外に、プリンタードライバー、リモートパネルから選択することができます。詳しくは、ユーザーズマニュアル[2/2]各OSの章および「PrintAgent」をご覧ください。

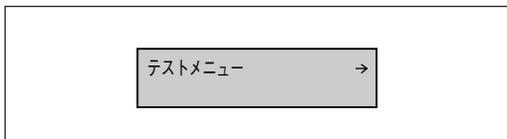
② プリンターが初期化されても大容量ホoppaが選択される方法

メニュー機能内のプリンターの初期設定を変更します。

1. [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。

2. [メニュー]スイッチを押し。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイには“テストメニュー →”と表示されます。



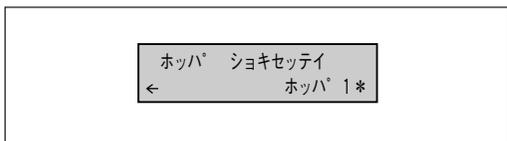
3. [V]スイッチを2回押す。

“ヨウシメニュー →”と表示されます。

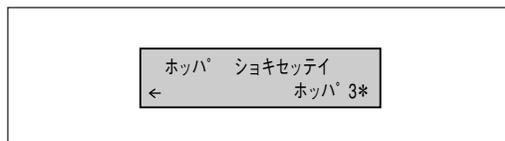


4. [>]スイッチを2回押す。

ホッパー初期設定の表示になります。

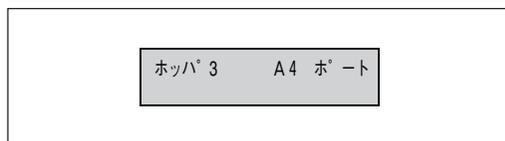


5. [設定変更]スイッチを押し、ディスプレイ下段を“← ホッパ3*”、“← ホッパ4*”または“← ホッパ5*”に変更する。



6. [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

ディスプレイ上段に“ホッパ3 ×× ×××”または“ホッパ5 ×× ×××”と表示されていれば設定は完了です。表示されていないときはもう一度最初からやり直してください。



この状態は以下の方法で変更しないかぎり維持されます。

- コンピューターからの変更
- 同じ方法でホッパーの選択を変更

フィニッシャでの用紙の取り出し方

フィニッシャ(オプション)の排紙トレイに排出された用紙の取り出し方を説明します。

注意

[一時停止/再開]スイッチを押してフィニッシャの動作を停止させてから用紙を取り出してください。停止させないと指をはさみ、けがをするおそれがあります。

1. [一時停止/再開]スイッチを押す。

[一時停止/再開]スイッチのランプ(橙)が点灯します。

2. 排紙トレイが完全に下がったことを確認し、排紙トレイへ排出された用紙を取り出す。

チェック

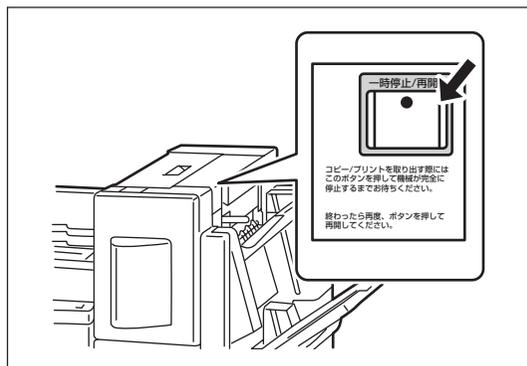
ステーブルどめする用紙をプリントしている場合、[一時停止/再開]スイッチを押すと、現在排出中のステーブルどめ用紙が排出されてから、排紙トレイは下がりはじめます。

3. 再び[一時停止/再開]スイッチを押す。

[一時停止/再開]スイッチのランプ(橙)が消灯し、フィニッシャの一時停止状態が解除されます。

チェック

一時停止状態は60秒経過すると自動的に解除され、印刷が開始されます。



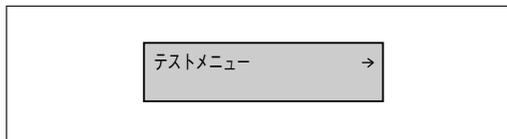
テスト印刷

オプションが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。

1. [印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させる。

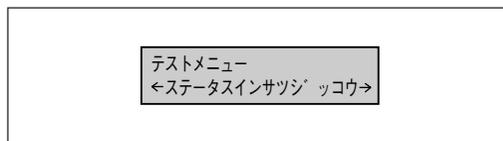
2. [メニュー]スイッチを1回押します。

ディスプレイには、“テストメニュー →”と表示されます。



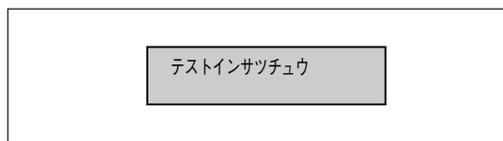
3. [>]スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジッコウ →”と表示されます。



4. さらに[>]スイッチを1回押す。

プリンターはステータス印刷を開始し、ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。



✓チェック

大容量ホッパを取り付けた場合は、「給紙構成」にホッパー3～5が、フィニッシャを取り付けた場合は、「オプション」にフィニッシャが印刷されます。

**** プリンタ設定環境 ****

Version
エンジン : 00. 00 00000000
コントローラ : 00. 00

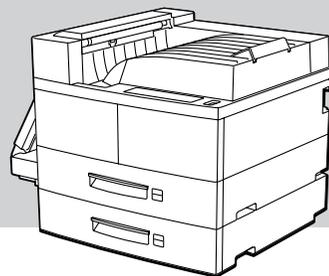
オプション
HDDオプション
フィニッシャ
LANボード
両面印刷ユニット

給紙構成
ホッパ1 : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター)
ホッパ2 : A4 (A3、A4、B4、B5、レター)
ホッパ3 : A4 (A3、A4、B4、B5、レター)
ホッパ4 : A4 (A4、B5、レター)
ホッパ5 : A4 (A4、B5、レター)
トレイ : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき)

(以下省略)

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これでオプションの取り付けは完了です。

4章 日常の保守



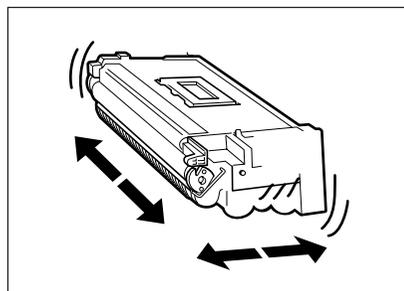
EPカートリッジの交換

アラームランプが点灯したら、EPカートリッジの交換時期です。

交換する前に

EPカートリッジを交換する前に現在使用中のEPカートリッジをプリンターから取り出し、EPカートリッジ内のトナーが均一になるようにゆっくり振ってみてください。もう一度セットしてアラームランプが消灯すれば、まだしばらくそのEPカートリッジを使用することができます。それでもアラームランプが点灯したままならその状態から約750ページ(A4用紙画像面積比5%連続印刷の場合)印刷することができますが、この期間に新しいEPカートリッジと交換してください。

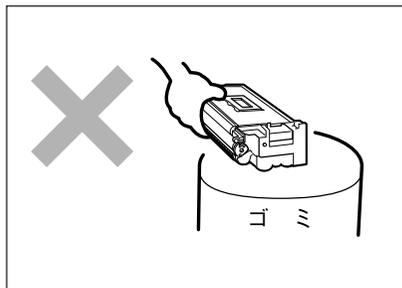
また、アラームランプ点灯前でも印刷が薄くなったときは、アラームランプ点灯時と同様にEPカートリッジをゆっくり振り、トナーを均一にしてください。



EPカートリッジの回収と購入

回収について

このカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収しております。お客様にはお手数ながら、ご使用後はお買い上げの販売店または最寄りのNECサービス窓口までお持ち寄りください。詳しくはサービス担当者、販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。



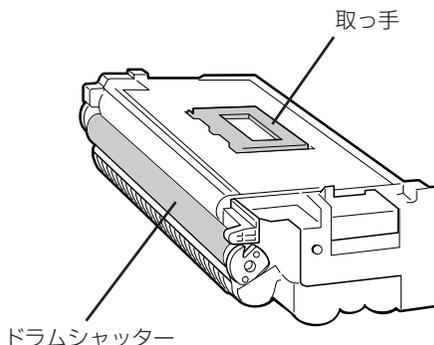
購入について

新しいEPカートリッジの購入については、MultiWriter 4050Mをお買い求めになった販売店、販売員におたずねください。(EPカートリッジについては72ページを参照してください。)

EPカートリッジの交換手順

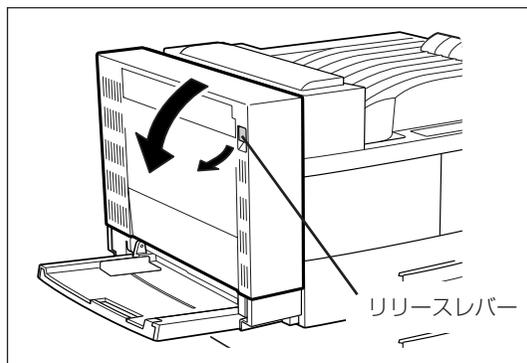
✓ チェック

- 取り扱い上のご注意
 - － EPカートリッジは、使用するまでは開封せずに風通しのよい場所に保管してください。火気の近くやホコリの多い場所は避けてください。
 - － 直射日光や強い光の当たる場所を避け、室内の明かりの下でも、できるだけ5分以内で作業を終了してください。
 - － 強い光が当たるとOPCドラムが劣化します。使用中のEPカートリッジをプリンターから取り外した場合は、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
 - － ドラムシャッターは、中の感光体(ドラム)に光が当たらないように保護しています。ドラムシャッターをむやみに開けないでください。
 - － ドラム表面には手を触れないでください。ドラムを汚したり、傷つけることがあります。
 - － 寒い所から暖かい所に移動した場合は、1時間以上室温に慣らしてから使用してください。
 - － 立てたり、取っ手のある面を下にして置かないでください。
 - － トナーが手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
 - － トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - － トナーが皮膚に付着した場合は、せっけんを使ってよく洗い流してください。

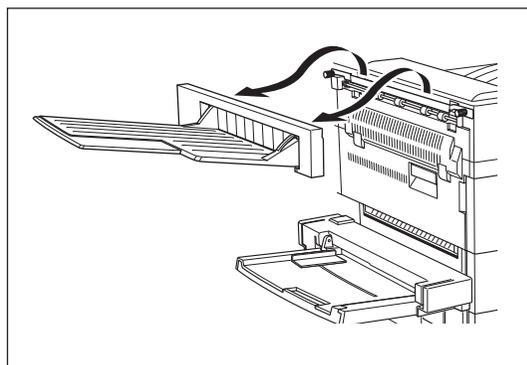


- トナーを吸い込んだ場合は、トナーの粉が飛んでいる場所から離れて、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだ物を吐き出し、速やかに医師に相談し指示を受けてください。
- トナーシールを引き抜いたあと必要なとき以外はEPカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 印刷の途中でEPカートリッジを交換するときは、プリンターの電源を入れたままで行ってください。電源を切るとプリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されてしまいます。

1. トレイを下に倒し、両面印刷ユニット(オプション)が装着されている場合は、レバーを引きながらゆっくりと下に倒す。



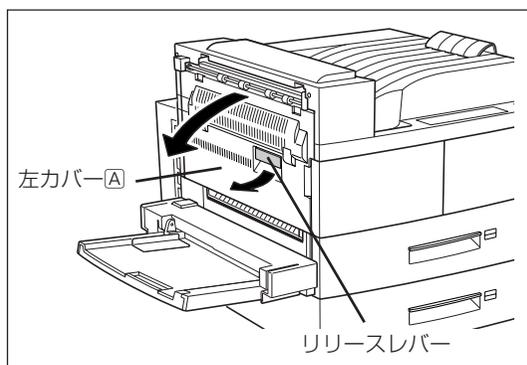
2. 左カバー[A]にフェイスアップトレイ(オプション)が装着されている場合は、フェイスアップトレイを持ち上げるようにして、フックから取り外す。



3. リリースレバーを引きながら、ゆっくりと左カバー[A]を開く。

—  チェック —

プリンター内部の部品には手を触れないでください。印刷不良の原因となります。

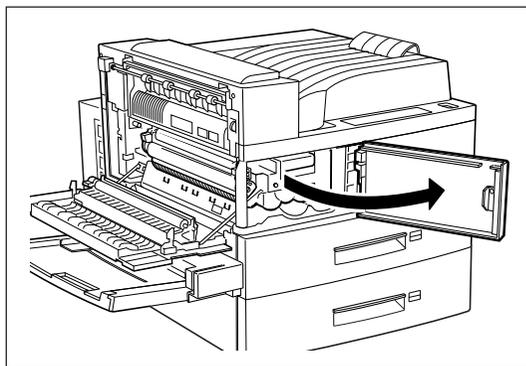


注意

「高温注意」ラベルが貼ってある周辺には絶対に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

4. フロントカバーを開ける。

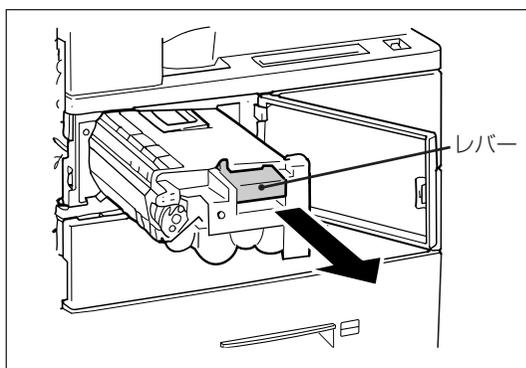
フロントカバーは押さえていないと、自動的に閉まります。



5. オレンジ色のレバーを引いて、カートリッジをゆっくり引き出しながら、上部の取っ手を起こして持つ。

ヒント

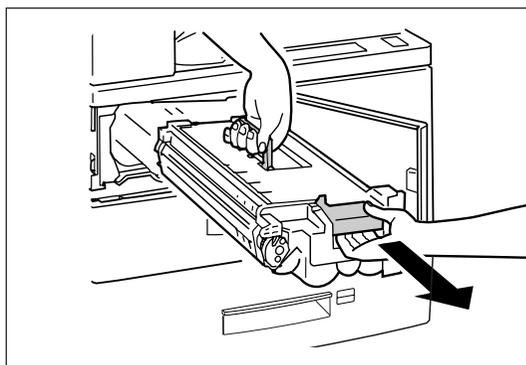
トナーなどで床を汚さないように、取り出したEPカートリッジを置く場所にはあらかじめ用紙などを敷いておくことをお勧めします。



注意

EPカートリッジを取り出すときは、上部の取っ手がすべて見えたらすぐに上部の取っ手を手で持って引き出してください。上部の取っ手を持たずにEPカートリッジを引き出しすぎると、落として床を汚したり、身体にぶつかりけがをするおそれがあります。

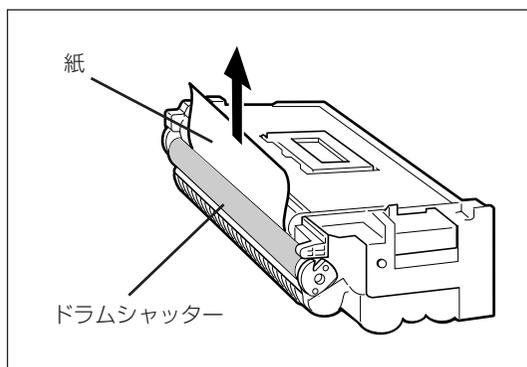
6. EPカートリッジ上部の取っ手とレバーを持って、EPカートリッジを取り出す。



7. 新しいEPカートリッジを袋から取り出し、ドラムシャッターの間に入っている紙を取り除く。

— **✓** チェック —

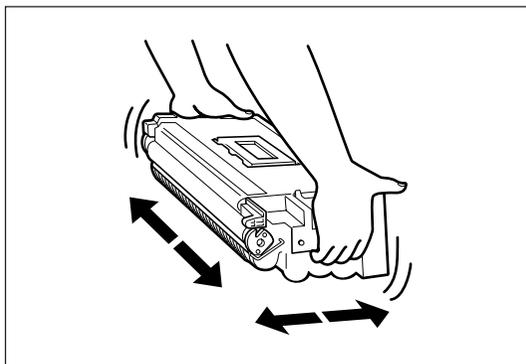
- ドラムシャッターは、中の感光体(ドラム)に光が当たらないように保護しています。ドラムシャッターをむやみに開けないでください。
- ドラム表面には手を触れないでください。ドラムを汚したり、傷つけることがあります。



8. EPカートリッジを水平に持って、図のように5~6回振り、中のトナーを分散させる。

— **✓** チェック —

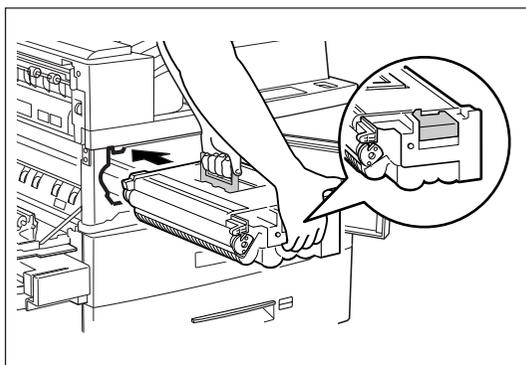
トナーの状態が均一でないと、印刷品質が低下することがあります。



9. EPカートリッジの上部の取っ手とレバーをそれぞれ両手で持ち、プリンター内部の形状に合わせて奥までセットする。

— **✓** チェック —

「カチッ」と音がして、EPカートリッジのレバーが元の位置に戻り、確実にセットされたことを確認してください。正しくセットされていないと印刷不良の原因となります。

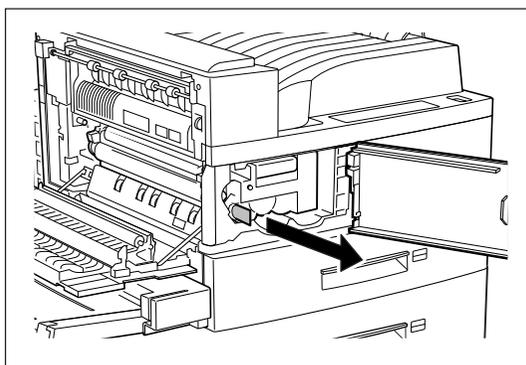


10. トナーシールを引き抜く。

トナーシールは正常に引き抜いた場合、全部で約60cmほどの長さです。

— **✓** チェック —

- トナーシールは、カートリッジと平行にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でトナーシールが切れてしまうことがあります。
- トナーシールを引き抜いたあと必要なとき以外はEPカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。トナーがこぼれることがあります。

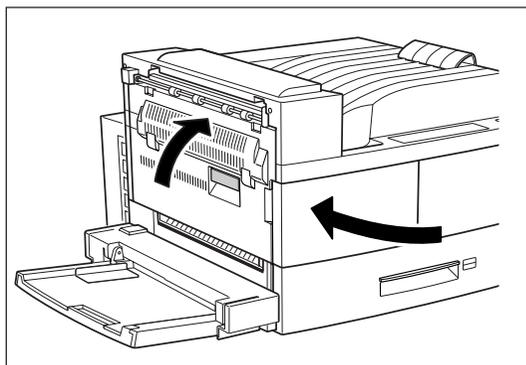


11. 左カバー $\text{\textcircled{A}}$ を閉じる。

リリースレバーは持たずにカバー表面を押して、左カバー $\text{\textcircled{A}}$ を閉じます。
フロントカバーは手を離すと自動的に閉まります。



EPカートリッジが正しくセットされていないと、左カバー $\text{\textcircled{A}}$ が閉じません。左カバー $\text{\textcircled{A}}$ が閉じない場合は、再度EPカートリッジを正しくセットしなおしてください。



12. フェイスアップトレイ(オプション)を取り外した場合は、フェイスアップトレイを45度傾けるようにして、先端のくぼみを左カバー $\text{\textcircled{A}}$ のくぼみに掛ける。

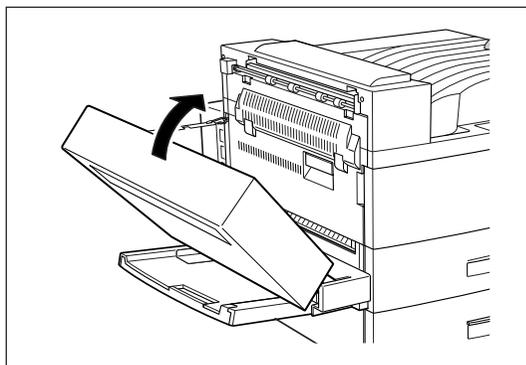
13. 両面印刷ユニット(オプション)が装着されている場合は、両面印刷ユニットを閉じる。



各カバーが確実にロックしていることを確認してください。完全にロックしていないと、印刷不良が発生することがあります。



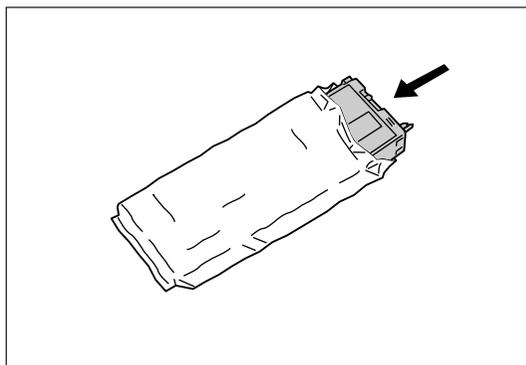
EPカートリッジをセットしたあと、1、2枚目までの出力の際に音がすることがありますが、動作および画質には影響ありません。



14. 交換したEPカートリッジを袋または包装箱に入れて保管する。



このカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収しております。詳しくはサービス担当者、お買い上げの販売店またはお近くのNECサービス窓口におたずねください。



EPカートリッジを絶対に火中に投げないでください。残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

15. テスト印刷を実行する。

本書の「テスト印刷をする」(38ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

これでEPカートリッジの交換は終了です。



EPカートリッジの寿命

プリンターに添付されているEPカートリッジの寿命は、A4用紙で画像面積比(1ページ中の黒い部分の面積と用紙全体の面積との比率)5%のとき約10,000ページ(オプションで購入できるEPカートリッジは約20,000ページです。)になります(画像面積比による印刷枚数はあくまでも目安です。画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によっては異なります)。

またトナーが残っていても、OPCドラムの寿命によりEPカートリッジが寿命となることがあります。

画像面積比5%の印刷例

EPカートリッジの寿命について

本プリンターの消耗品の「EPカートリッジ」の寿命は20,000ページ(A4、画像面積比5%)となっています。

ここで画像面積比5%の意味およびEPカートリッジの寿命について説明いたします。

従来のシリアルプリンター(ドットインパクトプリンターや熱転写プリンターなど)では、消耗品のインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対して、本プリンターのようなページプリンターでは、「何ページ」という単位で表現されます。

このように、表現を「何文字」から「何ページ」に変えた理由には、

- ① ページプリンターでは、処理や印刷の単位がページごとになっていること。
- ② ①に関連して、イメージデータやグラフィック等、文字数では把握できないようなデータを印刷するケースが増えてきていること。

の2つがあります。

EPカートリッジの寿命を決定するものの1つに、その内部に収容されているトナー(インクに相当するもの)の量があります。トナーをすべて消費してしまえば、EPカートリッジの寿命となります。(これは従来のインクリボンで、インクがなくなるまでを寿命と呼んだのと同じことです)。

したがって、「ページ数」で寿命を考えると、1ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

1ページの中に黒い部分がどれくらいの割合であるかを表したものが画像面積比です。1ページの中に黒い部分(印刷)がまったくない状態が0%、まっ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が100%です。この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから、EPカートリッジの寿命を表現する場合にも、この画像面積比を使って「画像面積比何%のときに寿命が何ページ」という表現をします。したがって、印刷する内容の画像面積比が5%より大きい場合、20,000ページ印刷する前にEPカートリッジの寿命となる場合があります。

以上によりページプリンターではEPカートリッジの寿命が印刷ページ数のみでなく、画像面積比によっても変わることがご理解いただけたと思います。

なお、この文書を10.5ポイントでA4用紙に印刷した場合が約5%の画像面積比になります。

ステープル針の交換

ディスプレイに“78 ステープルイジョウ ステープル”と表示され、アラームランプが点灯したら、ステープル針の交換時期です。

購入について

新しいステープル針の購入については、MultiWriter 4050Mをお買い求めになった販売店、販売員におたずねください。（ステープル針については72ページ参照してください。）

ステープル針の交換手順

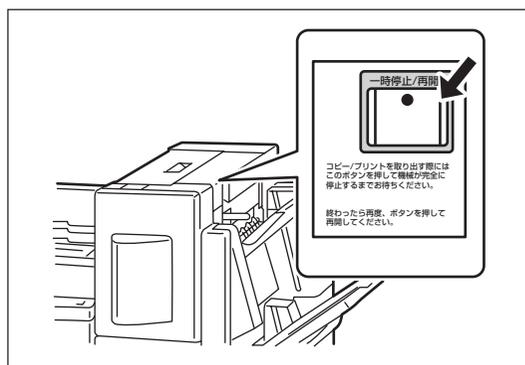
1. [一時停止/再開]スイッチを押す。

[一時停止/再開]スイッチのランプ（橙）が点灯します。

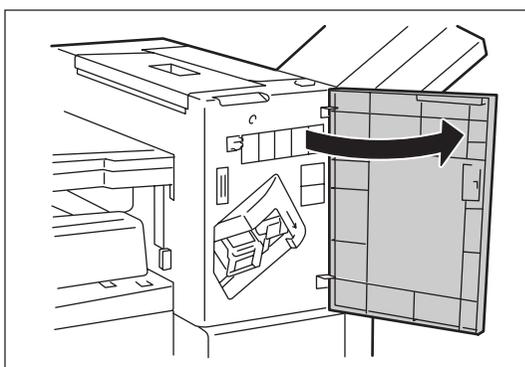
排紙トレイが完全に下がったことを確認し、排紙トレイへ排出された用紙を取り出します。

注意

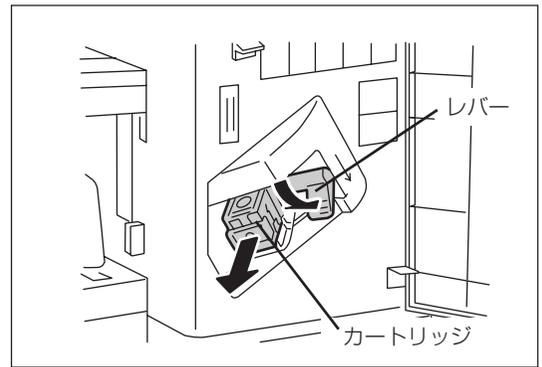
用紙を取り出すときには[一時停止/再開]スイッチを押して、フィニッシャが完全に停止するまで用紙に触れないでください。完全に停止させないと指をはさみけがをするおそれがあります。



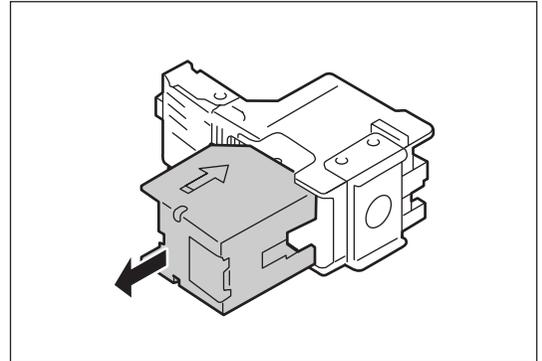
2. フィニッシャのフロントカバーを開ける。



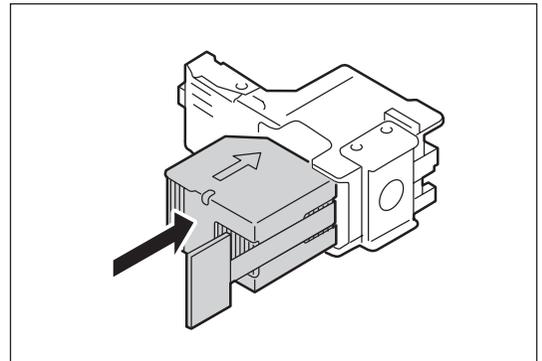
3. オレンジ色のレバーを図のように押し、カートリッジを取り出す。



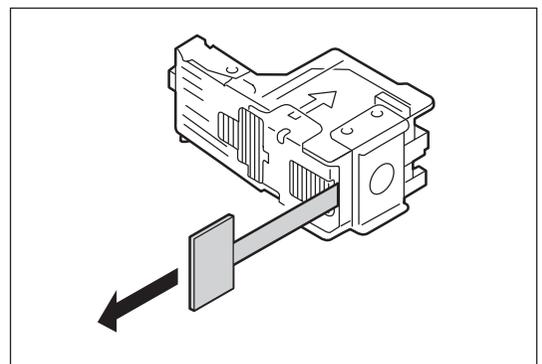
4. 空になったステープル針ケースを取り出す。



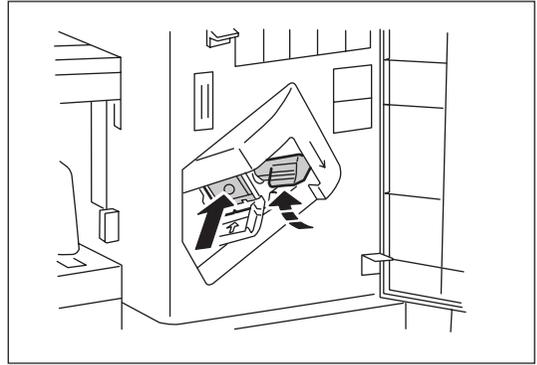
5. 新しいステープル針ケースをステープルカートリッジに挿入する。



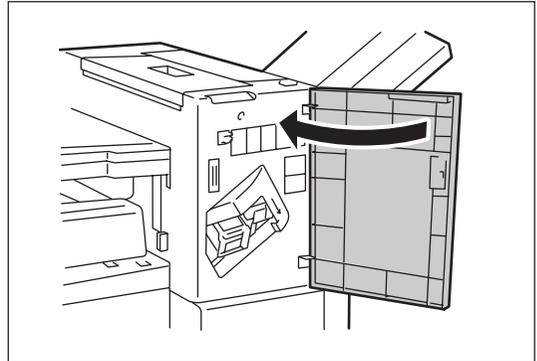
6. ステープル針ケースについているシールを引き抜いて取り除く。



7. オレンジ色のレバーが元の位置に戻るまでステابلカートリッジを押し込む。



8. フィニッシャのフロントカバーを閉じる。



清掃

次にMultiWriter 4050Mの清掃の手順を示します。プリンタ内部の清掃は定期保守の時にサービス担当者が行います。清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットも別売されています。(71ページ参照)

⚠ 注意

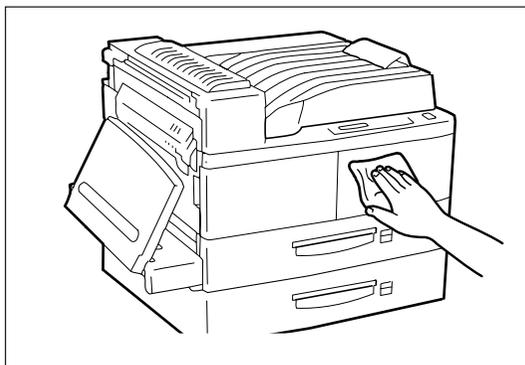
プリンターを清掃するときは、必ず電源を切って電源コードをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンターの清掃や保守を行うと、感電の原因となることがあります。また電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。

✓ チェック

清掃にベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。カバー類の変色、変形、ひび割れの原因となります。

1. 外部の清掃をする。

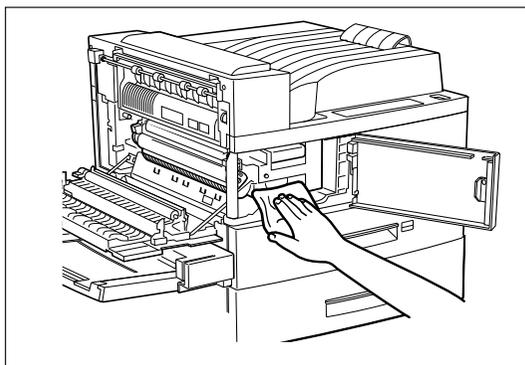
プリンターの表面の汚れは、やわらかい布に水またはうすめた中性洗剤を少量含ませて、軽くふいてください。



2. 内部の清掃をする。

紙づまりの処置やEPカートリッジの交換が終了し、フロントカバーを開ける前に次の内部点検を行ってください。

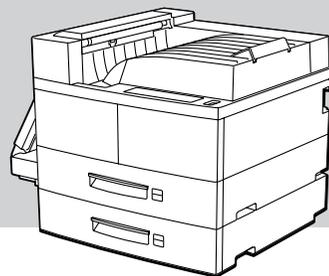
- 紙片が残っているときは取り除きます。
- ほこり、汚れなどがあるときは、乾いた清潔な布などでふき取ります。



⚠ 注意

「高温注意」ラベルが貼ってある箇所(定着器やその周辺)には、絶対に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

5章 故障かな？と 思ったら



本章では「故障かな？」と思ったときの原因と処置方法を説明します。「故障かな？」と思わせる症状を「印刷がおかしい」、「アラーム表示が出ている」、「紙づまり」、「ステープルドめがうまくいかない」に分けて説明しています。ソフトウェアの不具合に関してはユーザーズマニュアル[2/2]を参照してください。

印刷がおかしいときは

プリンターの動作がおかしかったり、印刷結果が思うようにならなかったりしたときはここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。
標準装備のLANボードを使ってネットワークを介した印刷を行ったときの異常については、LANボードに添付してある取扱説明書も併せてご覧ください。

注意

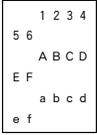
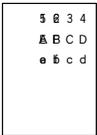
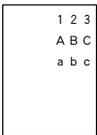
- ネジで固定されているパネルやカバーなどは開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- プリンターを改造したり、部品を変更して使用しないでください。発火や発煙の原因となることがあります。

思うように印刷できないとき

思うように印刷ができないとき、次にあげるような症状ならプリンターまたはアプリケーションの設定を変えればほとんどの場合は改善できます。

症 状	原因と処理方法
電源が入らない	部屋のブレーカーがOFFになっている。 → ブレーカースイッチがOFFになっている原因を調べ、問題がなければONにしてください。 電源コードが抜けている。 → プリンターの電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。その後、プリンターの電源スイッチを入れてください。 電源の電圧が適切ではない。 → 電源が100V(ボルト)、15A(アンペア)であることを確認してください。 プリンターの最大消費電力(1500W)に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。
正常に印刷できない	他のプリンターが同一のポートを使用している。 → プリンタドライバによっては利用先のポート(LPT1:、COM1:など)に対し常に通信を行おうとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのマニュアルを参照して、他のプリンターのポートを本プリンターと違うポートに変更するか他のプリンターのドライバーを削除してください。 プリンターのメモリスイッチ5-1がONになっている。 → PrintAgentの機能(プリンタステータスウィンドウやリモートパネルの使用)をご利用になる場合、メモリスイッチ5-1をOFFにしてご利用ください。ただし、お使いのプリンターをPC-PTOSからお使いの場合は、メモリスイッチ5-1をONにする必要があります。
斜線の太さが均一でない (線の角度によって線の太さが違っている) 写真などの絵やグラデーションがおかしい	プリンターのSETの設定が「使用する」になっている。 → リモートパネル、プリンタドライバ、またはメニューモードでSETの設定を「使用しない」にしてください。 SETは、印刷時の解像度を拡張して斜線や曲線の印刷品質を向上させるための機能ですが、印刷内容によってはこのような症状になることがあります。

症 状	原因と処理方法
斜線の太さが均一でない (線の角度によって線の太さが 違う) 写真などの絵やグラデーション がおかしい(続き)	<p>トナー節約機能がONになっている。</p> <p>→ リモートパネル、プリンタドライバ、またはメニューモードでトナー節約機能をOFFにしてください。トナー節約機能はトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーション等が不鮮明になることがあります。</p>
印刷位置が以前使用していた プリンターと合わない	<p>アプリケーションの用紙・印刷に関する設定がまちがっている。</p> <p>→ アプリケーションのマニュアルを見て正しく設定してください。ソフトウェアによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれるものがあります。</p> <p>プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。</p> <p>→ メニューモードまたはリモートパネルでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。</p> <p>A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。</p> <p>使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。</p> <p>→ 「用紙について」(24ページ)を参照して、確認してください。</p> <p>MultiWriter 4050Mのようなカット紙プリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のカット紙プリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。</p> <p>以前使用していたプリンターと本プリンターとの間に印刷位置の互換性が無い。</p> <p>→ プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6W等のNPDLまたはNPDL (Level2) 対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンターに対しては印刷位置の互換性はありません。</p>
“データガノコッテイマス”を表示 したまま印刷を開始しない	<p>改ページコードまたは排出コードがない。</p> <p>→ [印刷可]スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押してください。</p> <p>MultiWriter 4050Mはページプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中には、ページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。</p> <p>なお、メニューモードまたはリモートパネルで自動排出を有効にしておく設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。</p> <p>アプリケーションのプリンター設定が[シリアルプリンター]になっている。</p> <p>→ [ページプリンター]を選択してください。</p> <p>ソフトウェアのプリンター設定が[シリアルプリンター]になっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。</p> <p>また、新たにソフトウェアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード(0Ch)を付加するようにしてください。</p> <p>コンピューターからのデータ送信が途切れている。</p> <p>→ プリンターへのデータ送信について、プリンタドライバの[タイムアウト設定]の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。</p>

症 状	原因と処理方法
<p>ページの途中までしか印刷されない、または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう</p>	<p>自動排出機能が有効になっている。</p> <p>→ メニューモードまたはリモートパネルで自動排出を無効にしてください。プリンターには自動排出機能(コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能)があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。</p> <p>また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアル[2/2]にも簡単に記載してあります。</p> <p>綴じしろが合っていない。</p> <p>→ 印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。</p>
<p>用紙の左側が空白になる(印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される)</p>	<p>一部のソフトウェアでは、用紙位置が異なる場合がある。</p> <p>→ メニューモードまたはリモートパネルで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。</p>
<p>縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる</p>	<p>印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。</p> <p>→ プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることで、印刷結果が異なってしまう場合があります。</p>
<p>改行量(行の間隔)が2倍になる</p>  <p>1行が2行にわたる</p>  <p>各行の文字が重なって印刷されてしまう</p>  <p>用紙の途中から印刷が始まってしまう</p> 	<p>アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。</p> <p>→ ソフトウェアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。</p> <p>→ 他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードまたはリモートパネルを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷(パーソナルコンピューターの画面コピーなど)を行うと、このような症状になることがあります。</p> <p>アプリケーションのプリンター設定が[シリアルプリンター]になっている。</p> <p>→ [ページプリンター]を選択してください。</p> <p>→ メニューモードまたはリモートパネルを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。</p> <p>アプリケーションがシリアルプリンター専用で作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。</p>
<p>改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう</p>	<p>一部のソフトウェアには、ソフトウェアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。</p> <p>→ ソフトウェアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67桁(A4サイズの用紙の場合)に設定してください。</p>

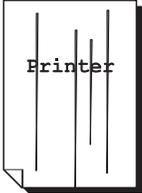
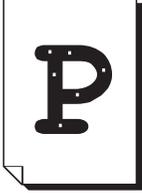
症 状	原因と処理方法
画面の文字と異なる文字が印刷された	<p>ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。 → ユーザーズマニュアル[2/2]の各OSの章をご覧ください。</p> <p>適切なエミュレーションモードを選択していない。 → 「メニューモード」(53ページ)を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。</p> <p>プリンターケーブルがきちんと接続されていない。 → プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。</p> <p>プリンターバッファや切替器を使用している。 → プリンターバッファや切替器を使用しない接続方法に変更してください。</p>
白紙が出る	<p>ソフトウェアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。 → シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモードまたはメモリースイッチの設定で「136桁モード」を有効にしてください。</p>
両面印刷が正しく機能しない	<p>メニューモード、メモリースイッチが合っていない。 → 設定し直してください。</p> <p>セットされている用紙サイズが合っていない。 → 両面印刷は普通紙のA3、A4、A5、B4、B5、レターでしか機能しません。セットされている用紙を確認してください。</p> <p>トレイの用紙種類を普通紙以外に設定している。 → トレイから両面印刷を行う場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。</p> <p>メモリーが足りない。 → A3、B4サイズ of 用紙に両面印刷を行う場合、メモリーの増設が必要です。3章「オプション」の70ページをご覧ください。増設RAMサブボード(型番PR/MM1)を増設してください。</p> <p>両面印刷ユニットが正しく取り付けられていない。 → 両面印刷ユニット(オプション)の取り付けが正しく行われているか確認して下さい。</p>
リプリント機能が使用できない	<p>プリンターとコンピューターの双方向通信が設定されていない。 → PrintAgentで双方向通信をサポートする設定になっていることを確認してください。 → ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。</p> <p>[リプリント機能を使用する]がチェックされていない。 → [プロパティ]ダイアログボックスの[用紙]シートを開き、確認してください。(ユーザーズマニュアル[2/2]を参照してください。)</p> <p>[リプリント機能を提供する]がチェックされていない。 → [PrintAgentのプロパティ]を開き、確認してください。(ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上の[PrintAgentのプロパティ]を開き、設定を確認してください。)</p>
TrueTypeフォントおよびFAフォントをプリンターフォントに置き換える設定で、一部の文字が印刷されない、またデザインの異なる文字が印刷される	<p>プリンターフォントとして実装されていない文字が使用されている、または画面の書体と異なるデザインで実装されている文字が使用されている可能性がある。 → [プロパティ]ダイアログボックスの[フォント]を開き、[特殊文字をそのまま印刷]をチェックしてください。</p>

症 状	原因と処理方法
オフセット排紙機能が使用できない	<p>トレイの用紙サイズが設定されていない。 → トレイの用紙サイズを設定してください。</p> <p>トレイの用紙種類を普通紙以外に設定している。 → トレイから印刷する場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。</p> <p>[オフセット排紙機能を使用する]がチェックされていない。 → ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべての利用者(クライアント)の設定をプリンタドライバで[オフセット排紙機能を使用する]にしてください。</p>
選択しているホッパーから印刷されず、別のホッパーから印刷される	<p>選択しているホッパーが[アイシ]に設定されている。 → [アイシ]を設定解除するか、現在使用しているホッパーを別のホッパーに変更してください。</p>
リレイ給紙ができない	<p>リレイ前とリレイされるホッパー(トレイ)の用紙サイズが違うか、リレイ前と後のホッパー(トレイ)が共にリレイ ONになっていない。 → 同じサイズ、同じ向きに用紙をセットしてください。 メニューモードでリレイしたいホッパーとリレイ前のホッパー(トレイ)を共にONにします。(詳細は付録A「メニューモードとメモリースイッチの詳細」をご覧ください。)</p>

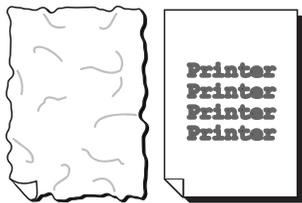
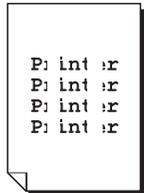
印刷に異常が見られるとき

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照してもっとも近いと思われる症状を選び、処理を行ってください。該当する処理を行っても印刷品質が改善されない場合は、サービス担当者またはお近くのNECサービス窓口までご連絡ください。

表中のイラストは縦に用紙をセットしたときの例です。

症 状	原因と処理方法
印刷が薄い(かすれる、不鮮明な)とき 	<p>用紙が湿気を吸収している可能性がある。 → 「ホッパーに用紙をセットする」(27ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。</p> <p>EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(77ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p> <p>EPカートリッジ内にトナーが残っていない。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(77ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p>
黒点が印刷されるとき 	<p>用紙が規格に合っていない。 → 「用紙について」(24ページ)を参照して、確認してください。</p> <p>EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(77ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p>
黒い線が印刷されるとき 	<p>EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(77ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p>
等間隔に汚れが起きるとき 	<p>用紙搬送路に汚れが付着している。 → 数枚テスト印刷をしてください。</p> <p>EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(77ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p>
黒くぬりつぶされた部分に白点が現れたとき 	<p>用紙が規格に合っていない。 → 「用紙について」(24ページ)を参照して、確認してください。</p> <p>EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(77ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p>

症 状	原因と処理方法
<p>指でこするとかすれるとき</p> 	<p>用紙が湿気を吸収している可能性がある。 → 「ホッパーに用紙をセットする」(27ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。</p> <p>用紙が規格に合っていない。 → 「用紙について」(24ページ)を参照して、確認してください。</p> <p>フロントカバーが完全に閉じていない。 → フロントカバーを閉じ直してください。 フロントカバーの両端が確実にロックしていることを確認してください。</p>
<p>用紙全体が黒く印刷されたとき</p> 	<p>EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(77ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p> <p>高圧電源が故障している可能性がある。 → サービス担当者または販売店にご連絡ください。</p>
<p>何も印刷されない</p> 	<p>EPカートリッジのトナーシールが取り付けられたままである。 → 「EPカートリッジを取り付ける」(21ページ)を参照して、トナーシールを引き抜いてください。</p> <p>一度に複数枚の用紙が搬送されている(重送)。 → 「ホッパーに用紙をセットする」(27ページ)を参照して、用紙をセットし直してください。</p> <p>EPカートリッジ内にトナーが残っていない。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(77ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p> <p>EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(77ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p> <p>高圧電源が故障している可能性がある。 → サービス担当者または販売店にご連絡ください。</p>
<p>部分的に白く抜けるとき</p> 	<p>用紙が湿気を吸収している可能性がある。 → 「ホッパーに用紙をセットする」(27ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。</p> <p>使用している用紙が規格に合っていない。 → 「用紙について」(24ページ)を参照して、確認してください。</p> <p>EPカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。 → 「EPカートリッジの交換」(77ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。</p>

症状	原因と処理方法
用紙にしわが入ったり、文字がにじむとき 	用紙が規格に合っていない。 → 「用紙について」(24ページ)を参照して、確認してください。 用紙が正しく補給されていない。 → 「用紙をセットする」(24ページ)を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 用紙が湿気を吸収している可能性がある。 → 「用紙をセットする」(24ページ)を参照して、新しい用紙と交換してください。
縦線の形状で白く抜けるとき 	EPカートリッジが正しく取り付けられていない。 → 「EPカートリッジの交換」(77ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 EPカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。 → 「EPカートリッジの交換」(77ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。 EPカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(77ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。
ななめに印刷されるとき 	EPカートリッジ内にトナーが残っていない。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(77ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。 ホッパーのサイドガイドが正しい位置にセットされていない。 → 「用紙をセットする」(24ページ)を参照して、サイドガイドやエンドガイドを正しい位置にセットしてください。

印刷できないとき

次の表に印刷できないときの症状、および確認と処理方法を示します。それぞれの方法に従って確認、処理を行ってください。

症状	原因と処理方法
給紙方法をトレイとし、印刷したのに“ホッパーホキユアラーム”が表示される	トレイにセットした用紙サイズが正しく設定されていない。 → [トレイ]スイッチで用紙サイズを設定してください。(49ページ参照)
電源ランプが点灯しない	[電源]スイッチがOFFになっている。 → [電源]スイッチをONにしてください。 電源コードがきちんと差し込まれていない。 → プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 コンセントに電気が供給されていない。 → 配電盤などの状態を調べてください。

症 状	原因と処理方法
<p>データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない</p>	<p>印刷可ランプが消灯している。 → [印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。</p> <p>プリンターケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていない(データランプ消灯)。 → 41ページを参照して、プリンターケーブルを確認、接続してください。</p> <p>改ページまたは排出コードがない(データランプ点灯)。 → [シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウェアをお使いの場合は、メニューモードまたはリモートパネルで自動排出を選択することをお勧めします。</p> <p>用紙がなくなったか、または指定されたサイズの用紙がない(アラームランプ(赤)点滅)。プリンターの規格に合っていない。 → 「ホッパーに用紙をセットする」(27ページ)を参照して、用紙を補給してください。</p> <p>アラームランプ(赤)が点滅している。 → 「アラーム表示が出ているときは」(次ページ)をご覧ください。</p> <p>データ送信中 → 本プリンターは1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。もう少しお待ちください。</p> <p>MultiWriter 4050Mが「通常使うプリンター」として選択されていない。 → MultiWriter 4050Mを「通常使うプリンター」として選択してください。</p> <p>コンピューターのメモリーが不足している。 → コンピューターのメモリーを増やしてください。</p>
<p>ホッパーにセットした用紙サイズを認識しない</p>	<p>用紙のセットのしかたが悪い。 → 「ホッパーに用紙をセットする」(27ページ)を参照して、用紙をセットし直してください。</p>
<p>トレイから印刷ができない</p>	<p>給紙方法が自動またはホッパーになっている。 → プリンタドライバで給紙方法をトレイに設定し直してください。</p> <p>用紙のセットのしかたが悪い。 → 「トレイに用紙をセットする」(30ページ)を参照して用紙をセットし直してください。</p>

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、アラームランプ(赤)が点滅または点灯し、ディスプレイにその内容が表示(アラーム表示)されます。このとき、ブザーが30秒ごとに2回ずつ鳴ります。

✓チェック

リモートパネルで「ブザーを鳴らさない」を設定しているとき、またはメモリースイッチ3-8の設定がONのときはブザーは鳴りません。

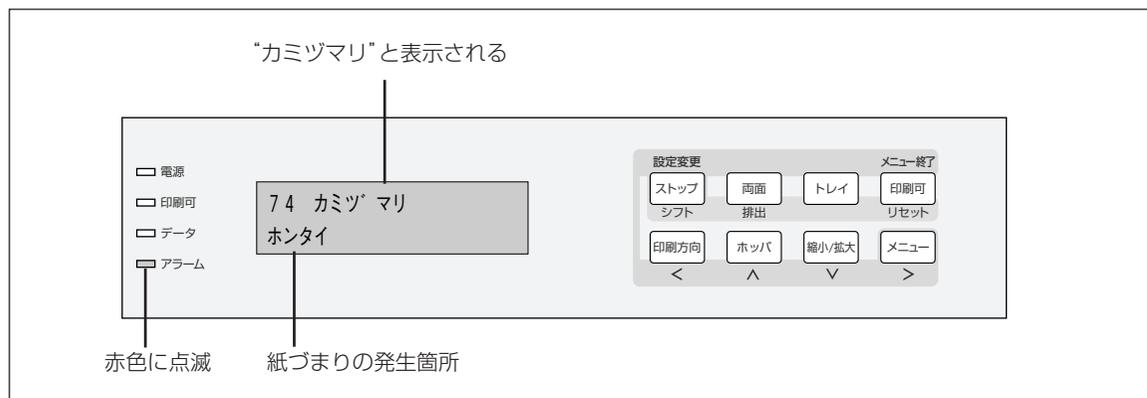
次の表にアラーム表示とその内容および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ホッパ° 1 A4タテ ホキユウ </div> <p style="font-size: small;">この位置にホッパ番号(1~5)が表示されません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> トレイ A4タテ セット </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> フウトウ セット </div> <p style="font-size: small;">この表示は封筒フィーダ装着時に表示されません。</p>	<p>用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの内紙がありません。</p> <p>→ 表示されているサイズの用紙をそれぞれ指示された場所に補給してください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 72 カバ -オーフン XXX </div> <p style="font-size: small;">この箇所にホンタイ、キュウシ、リョウメン(両面印刷ユニット装着時)、ソータ(ソータユニット装着時)、シアゲ(フィニッシャ装着時)が表示されます。</p>	<p>カバーやゲートが開いています。</p> <p>→ それぞれ指示されたホッパー、カバー、およびゲートをきちんと閉じてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “ホンタイ” 左カバー(A) ● “キュウシ” 左カバー(B)、左カバー(C) ● “リョウメン” 両面印刷カバー ● “ソータ” ソータユニットカバー(D) ● “シアゲ” フィニッシャのフロントカバー、ゲート(E)、カバー(F)、カバー(G)、カバー(H)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 73 EPカートリッジ ナシ </div>	<p>EPカートリッジが取り付けられていません。</p> <p>→ EPカートリッジを取り付け直してください。EPカートリッジを取り付けたあと、フロントカバーをきちんと閉じてください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 74 カミツ マリ XXX </div> <p style="font-size: small;">この箇所にホンタイ、キュウシ、リョウメン(両面印刷ユニット装着時)、ソータ(ソータユニット装着時)、シアゲ(フィニッシャ装着時)が表示されます。</p>	<p>紙づまりが発生しています。</p> <p>→ この後の「紙づまりの処理」に従って、つまった用紙を取り除いてください。</p>

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
77 テイクホシュ	<p>定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期です。</p> <p>→ サービス担当者または販売店にお問い合わせください。</p> <p>このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。</p> <p>“77テイクホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。</p>
78 ステープルイջヨウ ステープル 78 ステープルイջヨウ カートリッジナシ	<p>ステープルがフィードできません。またはステープルカートリッジが未装着です。</p> <p>→ ステープル針を補給するか、ステープルカートリッジをセットし直し、[印刷可]スイッチを押してください。</p>
84 フォームオーバー XX リセットシテクタサイ	<p>フォーム登録に必要なメモリーが不足しています。</p> <p>→ 処理不可能な印刷データです。操作パネルからリセット操作を行ってください。</p>
85 スタックフル XXX <small>この箇所にフェイスダウン、ソータ(ソータユニット装着時)、シアゲ(フィニッシャ装着時)が表示されます。</small>	<p>排紙トレイ、ソータユニット(オプション)、およびフィニッシャ(オプション)のいずれかに規定量を越える枚数の用紙がスタックされています。</p> <p>→ スタックされている用紙を取り除いてください。</p>
86 ヨウシアリ ソータ	<p>ソータユニット(オプション)装着時の電源を入れたとき、またはソーターモード切替え時、ソーターのいずれかに用紙がフル状態にあるとき表示します。</p> <p>→ 用紙を取り除き[印刷可]スイッチを押してください。</p>
88 EPタイプチガイ EPコウカン	<p>EPカートリッジのタイプが違います。</p> <p>→ 正しいタイプのEPカートリッジを取り付けてください。</p>
89 トレイ ミソウチャク	<p>トレイまたはオプションの封筒フィーダが未装着、または、はずれかかっています。</p> <p>→ 電源をOFFにして、トレイまたは封筒フィーダを装着後、もう一度電源をONにしてください。それでもアラームが発生する場合は、プリンタの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。</p>
上記以外の表示	<p>障害が発生しています。</p> <p>→ 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。</p>

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると、アラーム(赤)ランプが点滅し、ディスプレイに以下のメッセージが表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態(印刷可ランプが消灯)になります。



ディスプレイの下段には紙づまりが発生している箇所を次の5通りのメッセージで表示します。

ディスプレイ表示	紙づまり箇所
74 カミツマリ ホンタイ	プリンタ本体内部での紙づまりです。考えられる箇所は次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ● トレイまたは封筒フィーダ 106ページ ● 排紙口 107ページ ● プリンター内部 107ページ
74 カミツマリ リョウメン	両面印刷ユニット内部での紙づまりです。 109ページ
74 カミツマリ キュウシ	ホッパー内部での紙づまりです。考えられる箇所は次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ● ホッパー1 110ページ ● ホッパー2 112ページ ● ホッパー3 113ページ ● ホッパー4 114ページ ● ホッパー5 116ページ
74 カミツマリ ソータ	ソータユニット内部での紙づまりです。 118ページ
74 カミツマリ シアゲ	フィニッシャ内部での紙づまりです。 119ページ

✓ チェック

紙づまりの発生場所は1か所のみ表示されます。複数の箇所で紙づまりが発生している場合は次の優先順位にしたがって表示されます。

ホンタイ > キュウシ > リョウメン > ソータまたはシアケ

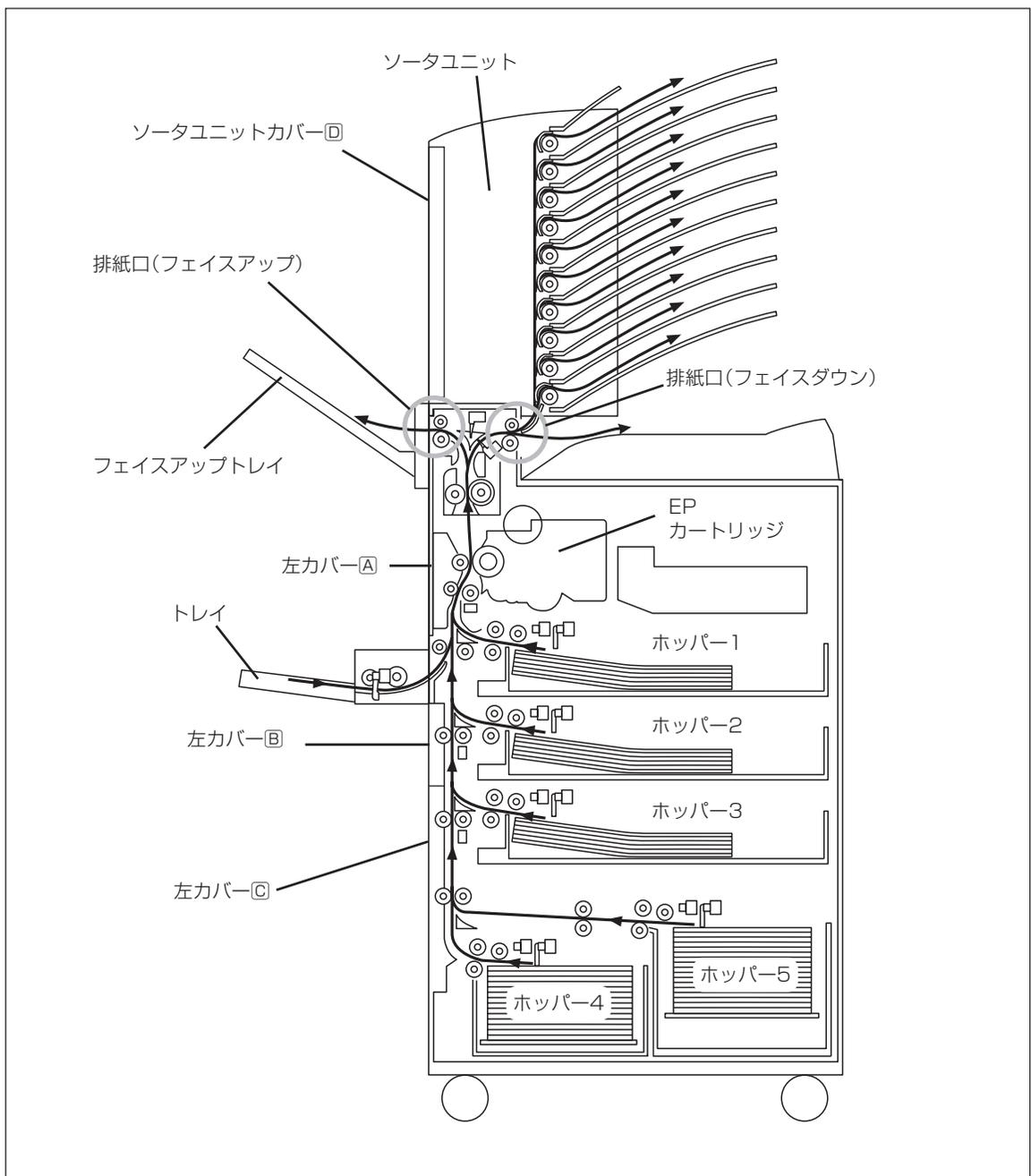
紙づまりの処理

つまった用紙を取り除くことができれば、EPカートリッジを元の場所にセットし直し、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、印刷が再開されます(通常、印刷は紙づまりを起こしたページから再開されますが、紙づまりの状態によってはそれ以降のページから再開される場合があります)。

紙づまりが頻発するようでしたら、「紙づまり処理後の確認」(120ページ)を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。

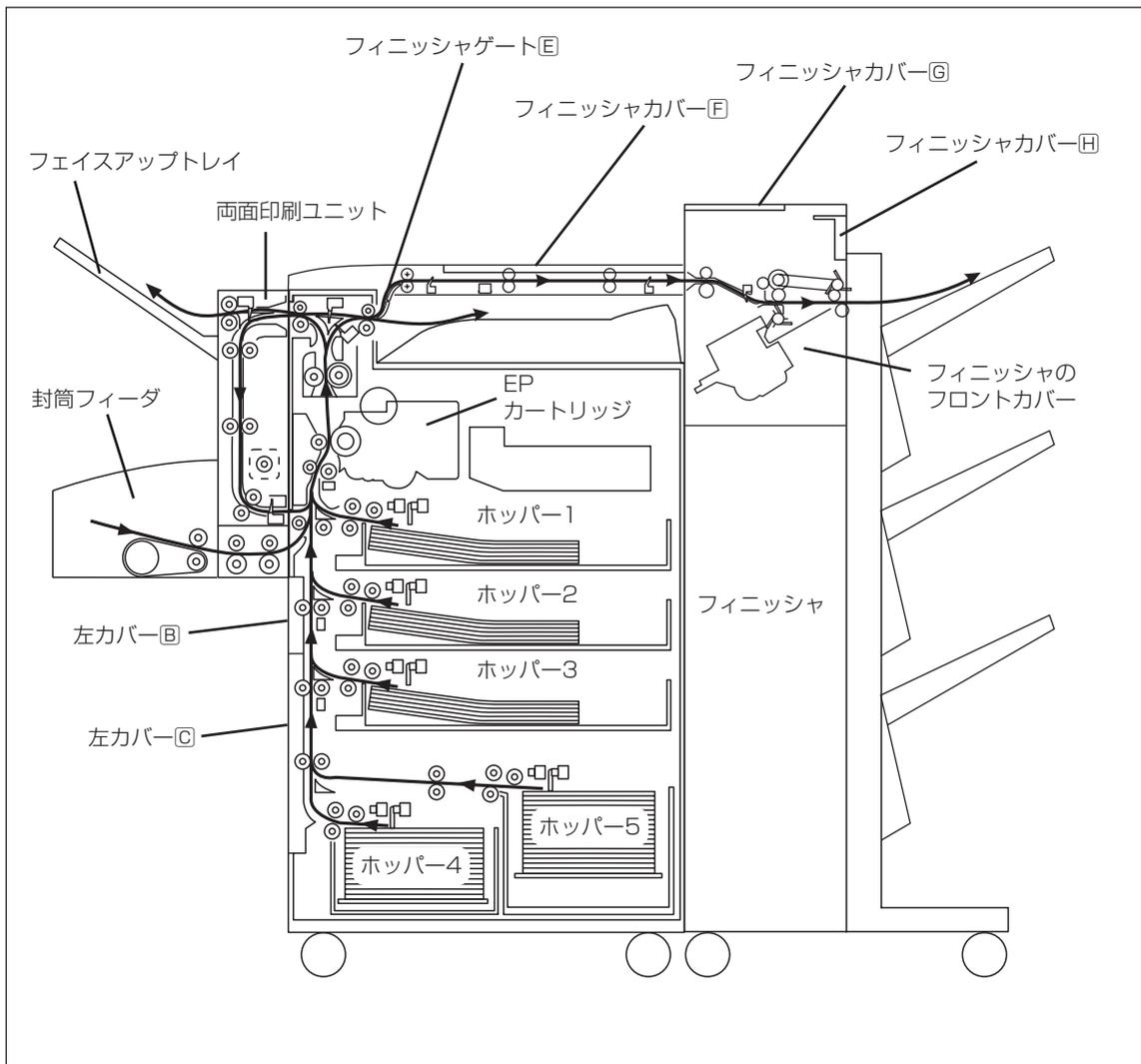
✓ チェック

- つまった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
 - 紙づまりが発生した場合、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開する機能を持っています。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。
-



紙づまりの発生箇所

オプション(大容量ホッパ+フェイスアップトレイ+ソータユニット)装着時



紙づまりの発生箇所

オプション(大容量ホッパ+両面印刷ユニット+フェイスアップトレイ+封筒フィーダ+フィニッシャ)装着時

用紙を取り除くときの注意

つまっている用紙を取り除くときの注意について説明します。

注意

つまった用紙を取り除くときは、プリンター内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると、定着器の周辺は非常に高温になっているため、火災の原因となることがあります。なお、プリンター内部のローラーに用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、ただちに電源を切り、保守サービス会社に連絡してください。

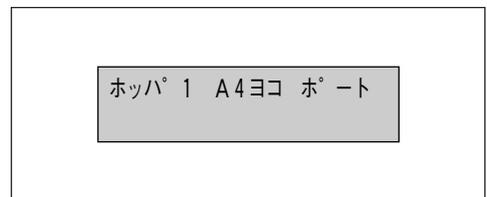
チェック

- プリンターの電源を入れたままで紙づまりの処置をしてください。紙づまりのため印刷されなかったページ以降を自動的に印刷します。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。
- プリンター内部の部品には手を触れないでください。印刷不良の原因となります。

用紙は複数の場所つまっていることがあります。用紙を取り除いてもさらにメッセージが表示される場合は、そのメッセージに従ってください。

右図のようにディスプレイに通常表示が表示されたら、紙づまりの処置は終了です(右図は通常表示の一例です)。

次に印刷された用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すると汚れはつかなくなります。



本体内での紙づまり

印刷中に右のメッセージが表示されたら、以下の手順に従って、つまっている用紙を取り除いてください。

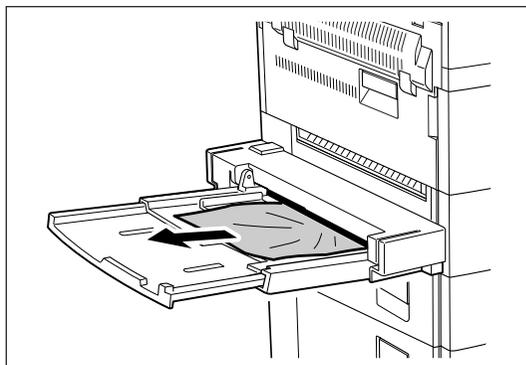
74 カミツマリ
ホントイ

✓ チェック

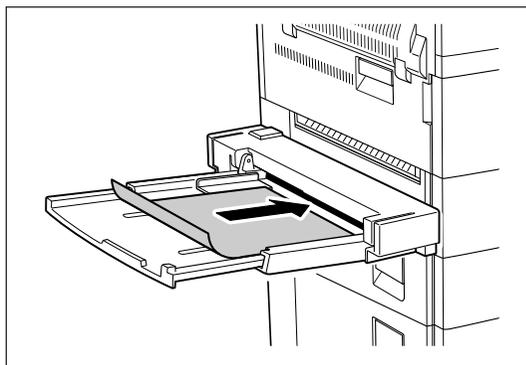
プリンターの電源を入れたままで紙づまりの処置をしてください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

■ トレイで用紙がつまっている場合

1. つまっている用紙を矢印の方向に引き、取り除く。



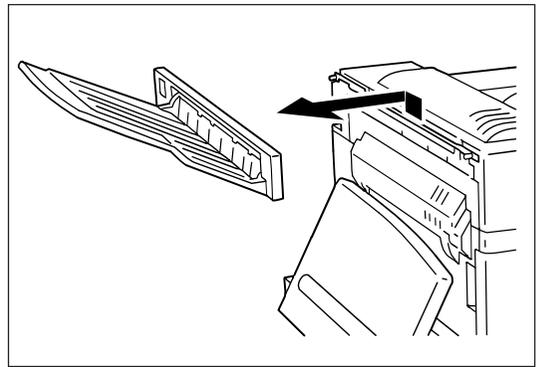
2. 印刷したい面を下にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる。



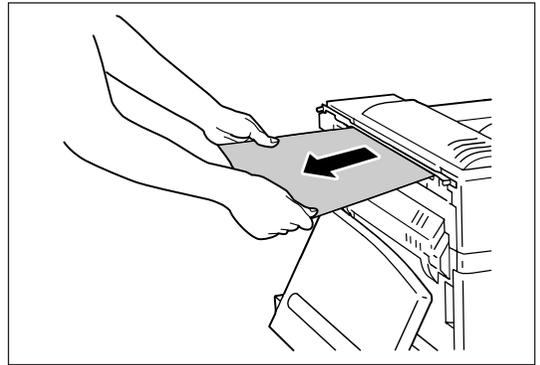
用紙のセットのしかたについては「トレイに用紙をセットする」(30ページ)を参照してください。

■ 排紙口またはプリンター内部で用紙が詰まっている場合

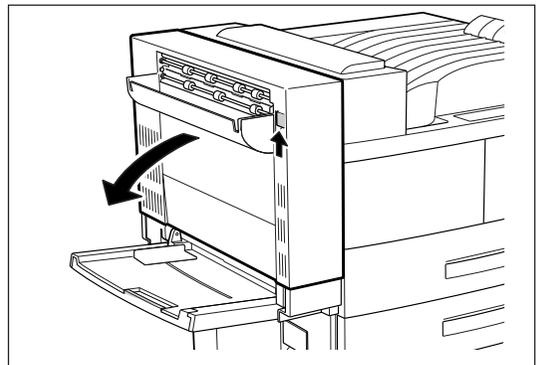
1. フェイスアップトレイ(オプション)が装着されている場合はフェイスアップトレイを持ち上げるようにして取り外す。



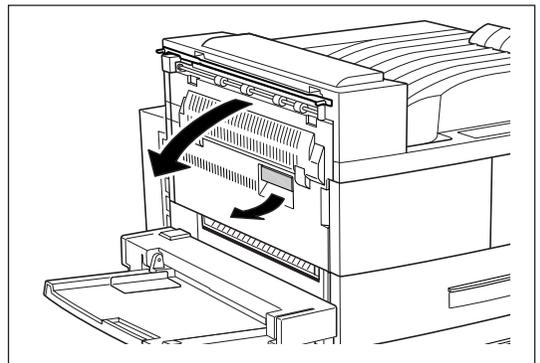
2. フェイスアップ排紙口につまっている用紙があったら、排紙方向にまっすぐ引き抜いて取り除く。



3. 両面印刷ユニットを装着している場合はリリースレバーを押し上げてゆっくりと開く。



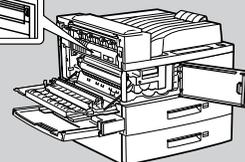
4. リリースレバーを引きながら左カバーAをゆっくりと開く。



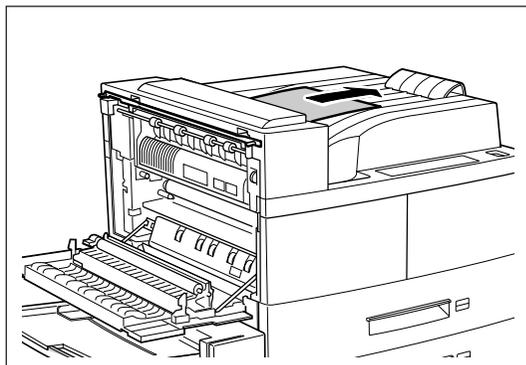
注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所(定着器やその周辺)には、絶対に触れないください。やけどのおそれがあります。

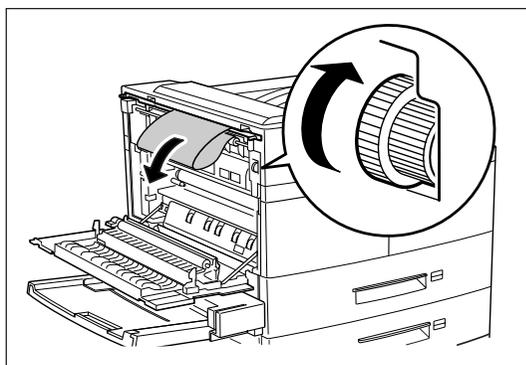
なお、定着器に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、ただちに電源を切り、サービス担当者またはお買い求めの販売店にご連絡ください。



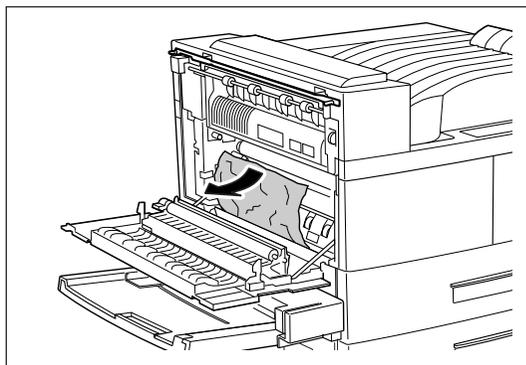
5. 排紙口につまっている用紙があったら、排紙方向にまっすぐ引き抜いて取り除く。



6. 定着ユニットに用紙がつまっていたら定着ユニットに触れないよう注意しながらノブを回して、用紙を矢印の方向に引き抜く。



7. プリンター内に用紙が残っていないかどうかを確認し、あったら取り除く。



8. 左カバー(A)を閉じる。

両面印刷ユニット(オプション)内での紙づまり

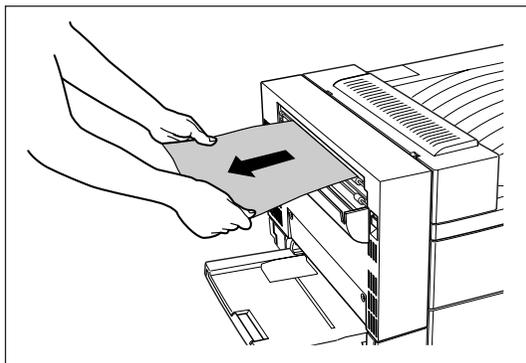
印刷中に右記のメッセージが表示されたら、以下の手順に従ってつまっている用紙を取り除いてください。

74 カミツ マリ
リョウメン

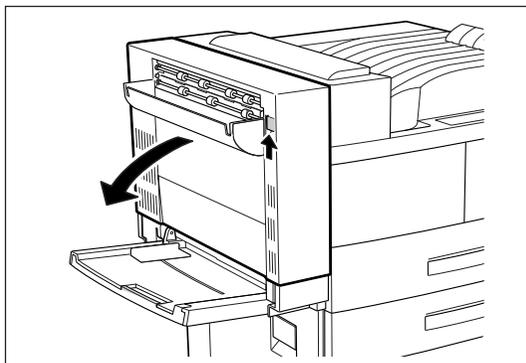
✓ チェック

プリンターの電源を入れたままで紙づまりの処置をしてください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

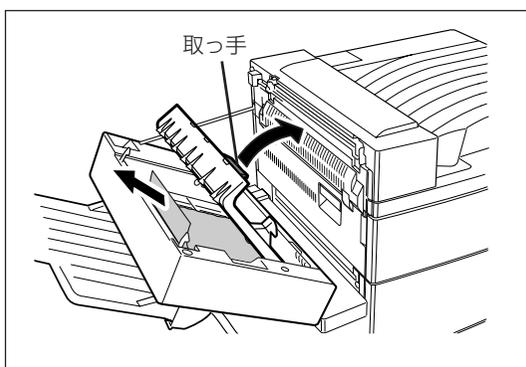
1. 両面印刷ユニットの排紙口につまった用紙があったら、排紙方向にまっすぐに引いて取り除く。



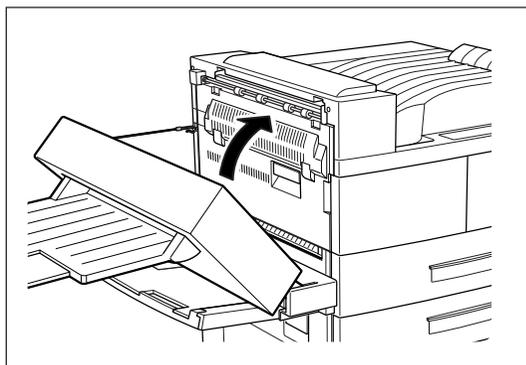
2. リリースレバーを上押ししながら、ゆっくりと両面印刷ユニットを開く。



3. グリーンの取っ手を持って内側のカバーを開き、両面印刷ユニットの内部につまっている用紙を取り除く。



4. 両面印刷ユニットを閉じる。



ホッパー内での紙づまり

このメッセージは、ホッパー1～5のいずれかで紙づまりが発生していることを表しています。印刷中に右記のメッセージが表示されたら、ホッパー1～5を開けて紙づまりを確認してください。

それぞれ次のページで手順を説明しています。

- ホッパー1..... 110ページ
- ホッパー2..... 112ページ
- ホッパー3..... 113ページ
- ホッパー4..... 114ページ
- ホッパー5..... 116ページ

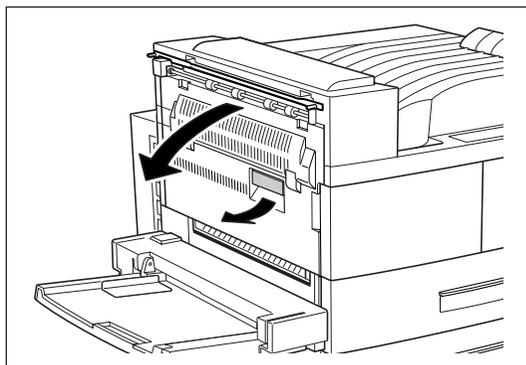
74 カミツマリ
キューシ

✓ チェック

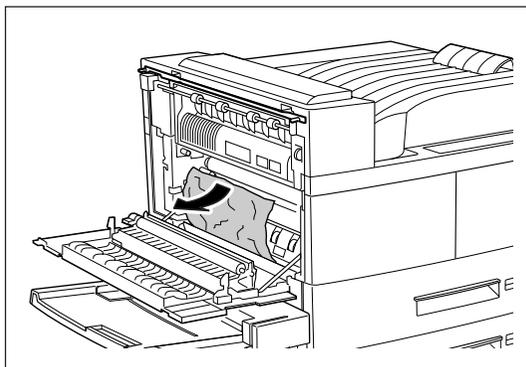
- プリンターの電源を入れたままで紙づまりの処置をしてください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。
- 本体側と給紙口にまたがって紙づまりになった場合は、ホッパーの開閉のみではアラームは解除されません。本体カバーの開閉が必要となります。

■ ホッパー1での紙づまり

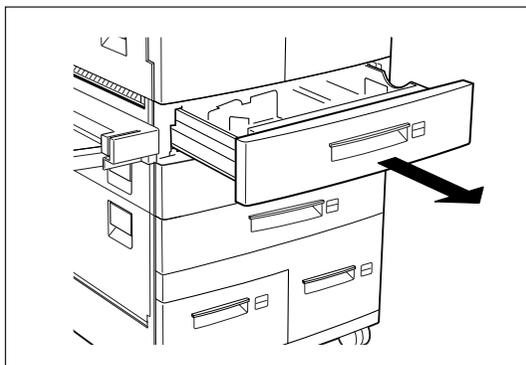
1. リリースレバーを引きながら左カバー(A)をゆっくりと開く。



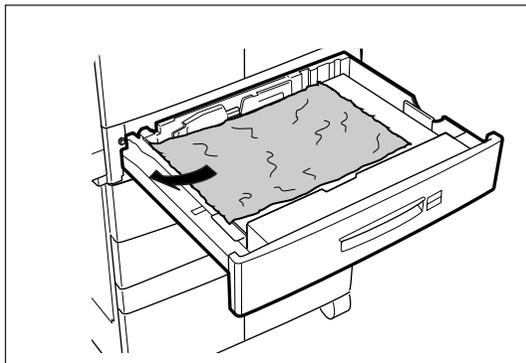
2. プリンター内に残っている用紙を引き抜く。



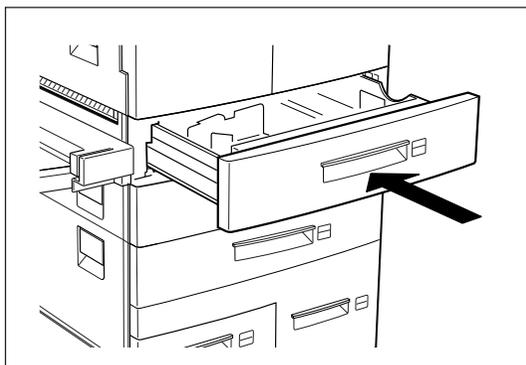
3. ホッパー1を引き出す。



4. 用紙がつまっていたら取り除く。



5. ホッパー1を奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。

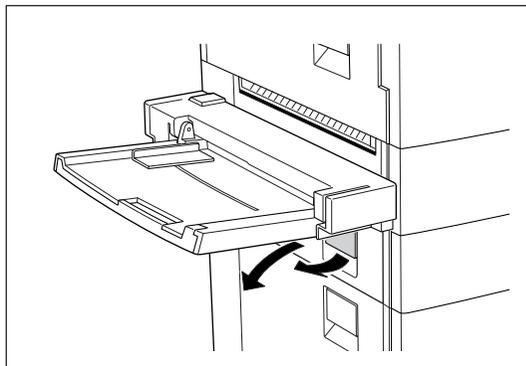


5

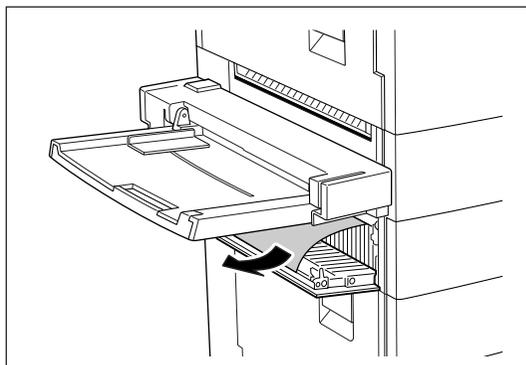
故障かな？と思ったら

■ ホッパー2での紙づまり

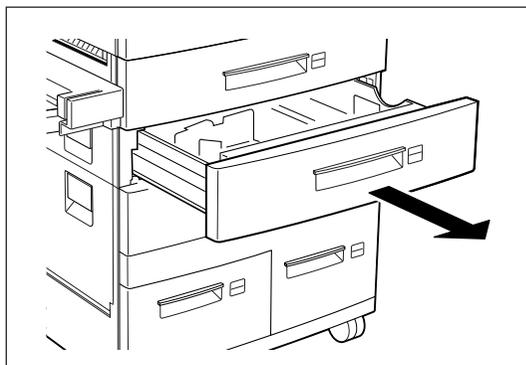
1. リリースレバーを引きながら左カバー⑧をゆっくりと開く。



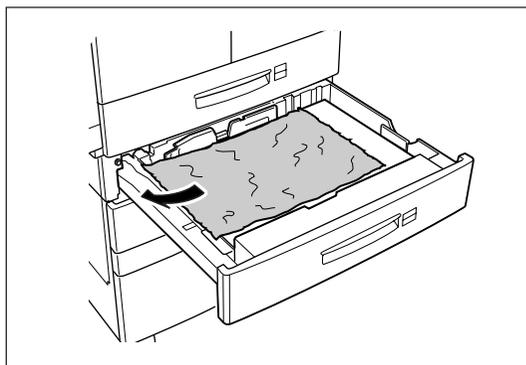
2. カバー内で用紙がつまっていたら引き抜く。



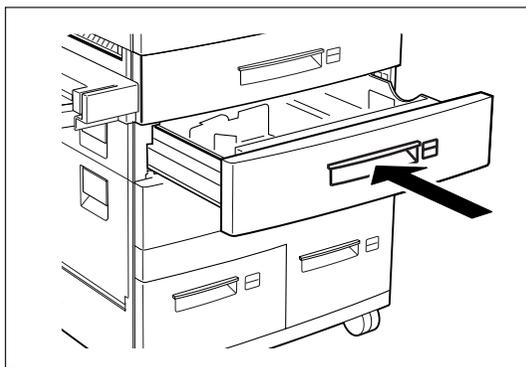
3. ホッパー2を引き出す。



4. 用紙がつまっていたら取り除く。

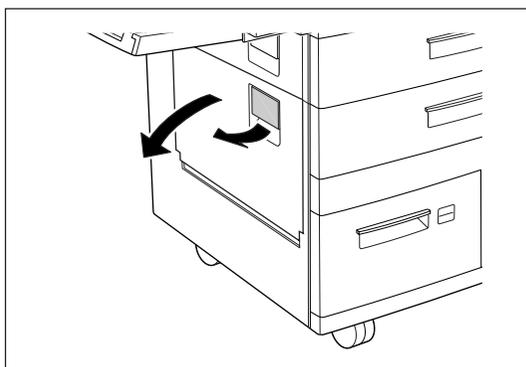


5. ホッパー2を奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。

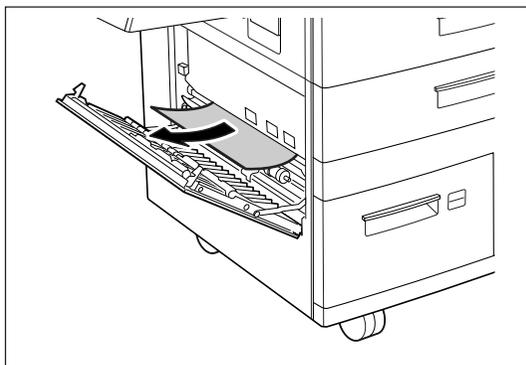


■ ホッパー3(オプション)での紙づまり

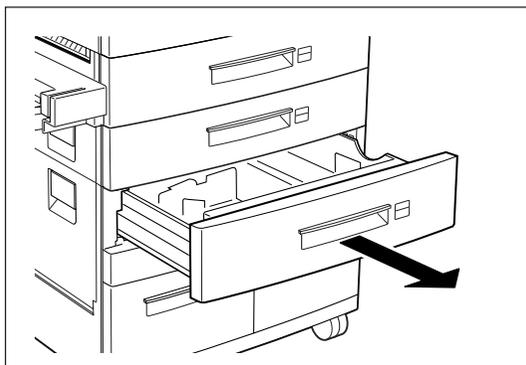
1. リリースレバーを引きながら左カバーCをゆっくりと開く。



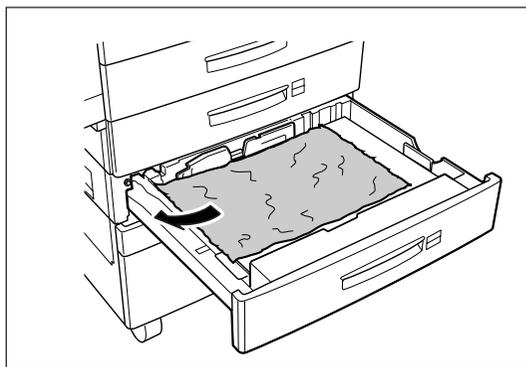
2. カバー内で用紙がつまっていたら引き抜く。



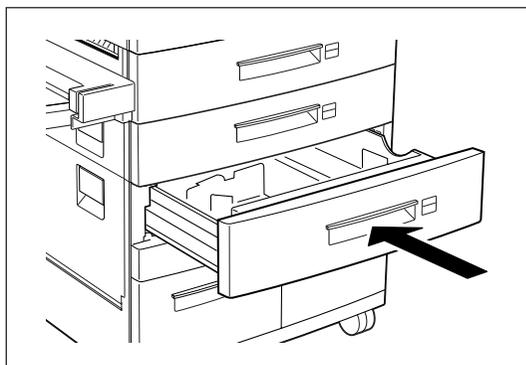
3. ホッパー3を引き出す。



4. 用紙がつまっていたら取り除く。

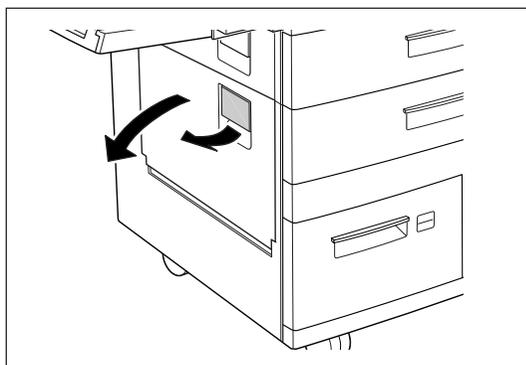


5. ホッパー3を奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。

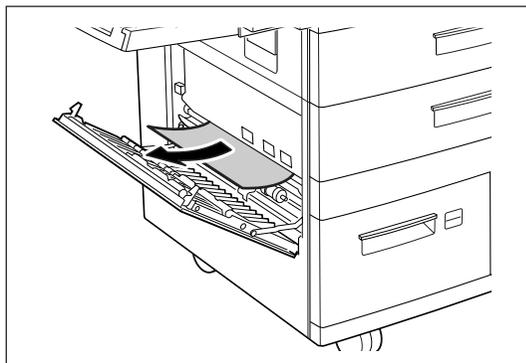


■ ホッパー4(オプション)での紙づまり

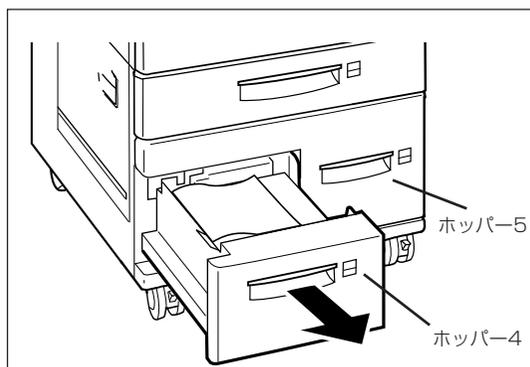
1. リリースレバーを引きながら左カバー□をゆっくりと開く。



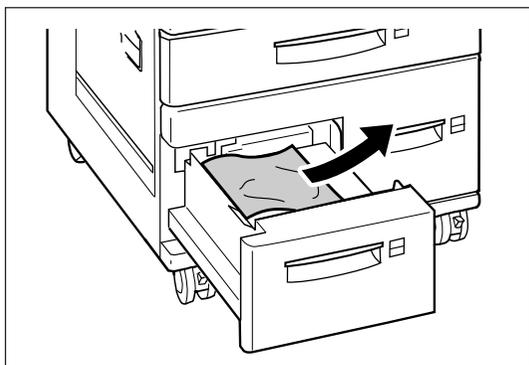
2. カバー内で用紙がつまっていたら引き抜く。



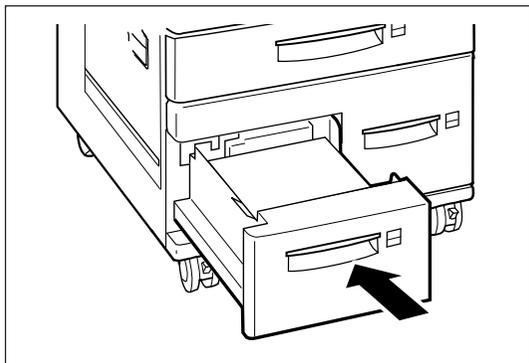
3. ホッパー4を引き出す。



4. 用紙がつまっていたら取り除く。



5. ホッパー4を奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。

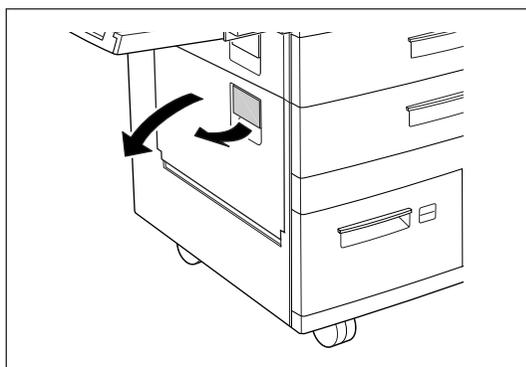


5

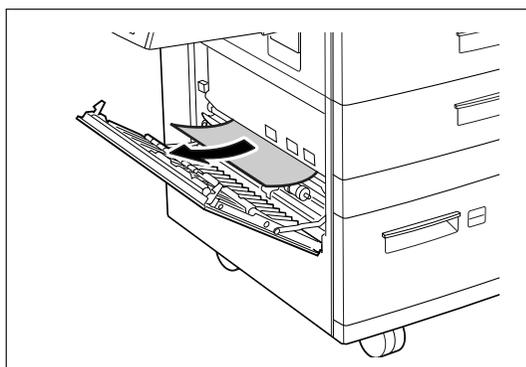
故障かな？と思ったら

■ ホッパー5(オプション)での紙づまり

1. リリースレバーを引きながら左カバー④をゆっくりと開く。



2. カバー内で用紙がつまっていたら引き抜く。

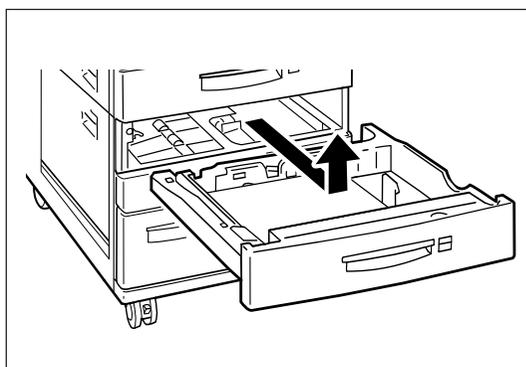


3. ホッパー5が指定されている場合は、ホッパー3を取り外す。

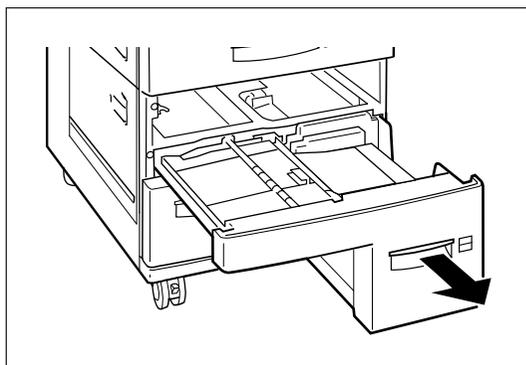
ホッパー3はホッパーをいっぱい引き出し、持ち上げるようにして取り外します。

—  チェック —

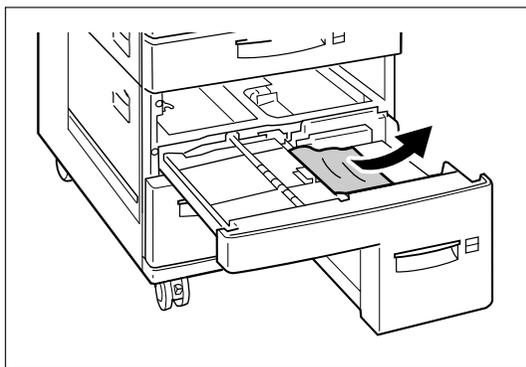
ホッパー3を取り外さずにホッパー5での紙づまり処置を進めると、中に紙片が残ってしまうことがあります。



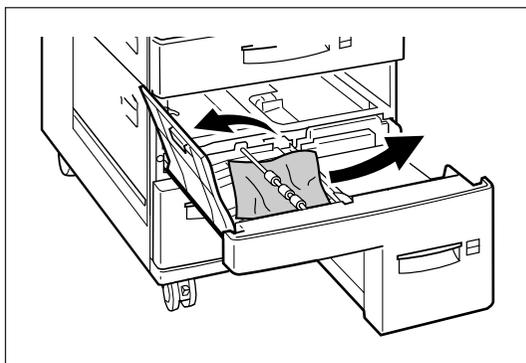
4. ホッパー5を引き出す。



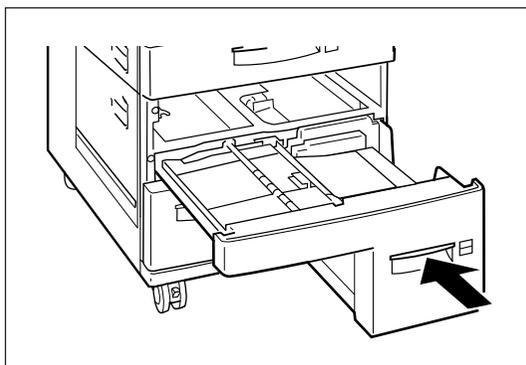
5. 用紙がつまっていたら取り除く。



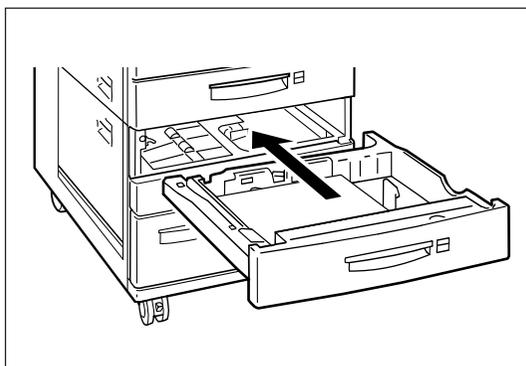
6. カバーの下につまっている用紙があったらカバーを開けて取り除く。



7. ホッパー5を奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。



8. ホッパー3を奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。



5

故障かな？と思ったら

ソータユニット(オプション)内での紙づまり

印刷中に右のメッセージが表示されたら、以下の手順に従って、つまっている用紙を取り除いてください。

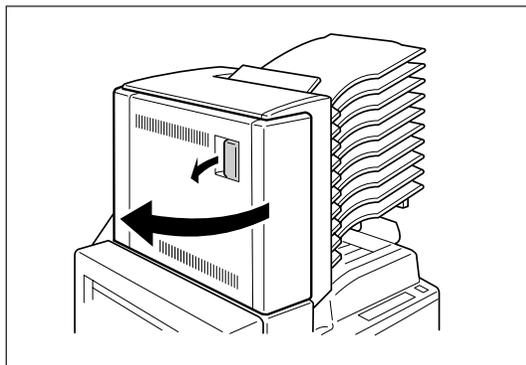
このメッセージは、ソータユニット装着時に表示されます。

74 カミヅマリ
ソータ

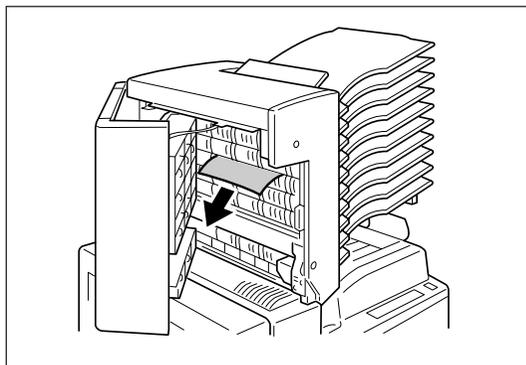
✓ チェック

プリンターの電源を入れたままで紙づまりの処置をしてください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

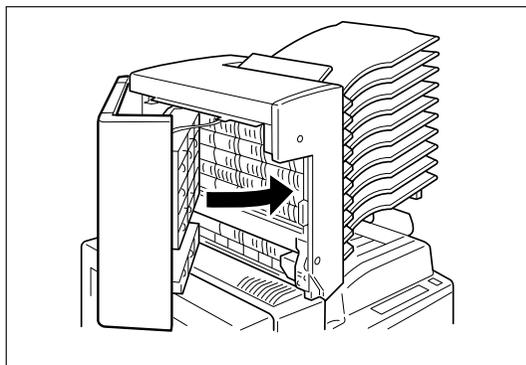
1. レバーを引きながら、ソータユニットカバー \square をゆっくり開く。



2. つままっている用紙を矢印の方向に引いて、取り除く。



3. ソータユニットカバー \square を閉じる。



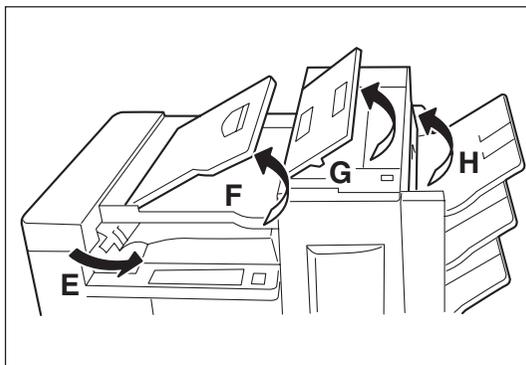
フィニッシャ(オプション)内での紙づまり

フィニッシャで紙づまりが発生すると、操作パネルのディスプレイに右のようなメッセージが表示されます。

74 カミツマリ
シアゲ

用紙を引き抜くときに開けるカバー、ゲートは次の4つです。

- ゲートE..... 排紙口
- カバーF..... 接続部上面
- カバーG..... フィニッシャ排紙部
- カバーH..... フィニッシャ排紙部

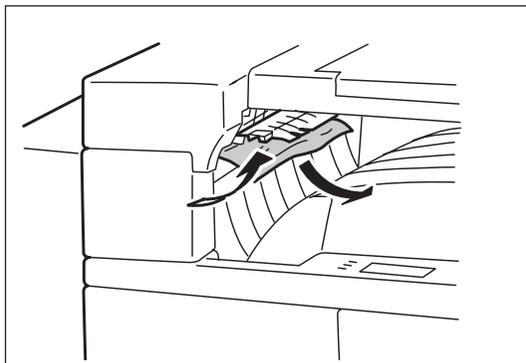


5

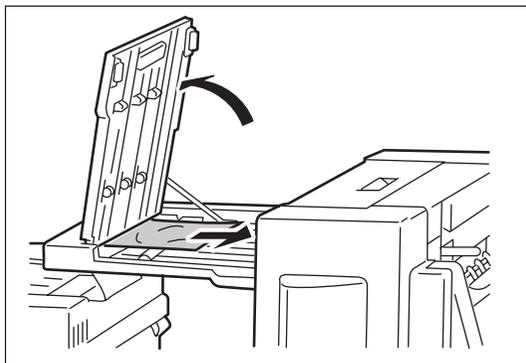
故障かな?と思ったら

1. フィニッシャゲートEを開けながら用紙を引き抜く。

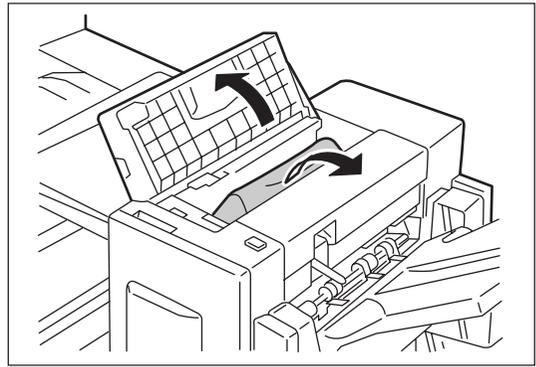
引き抜けないうちなら「排紙口またはプリンター内部で用紙が詰まっている場合」の手順にしたがって定着ユニットから用紙を取り除きます。



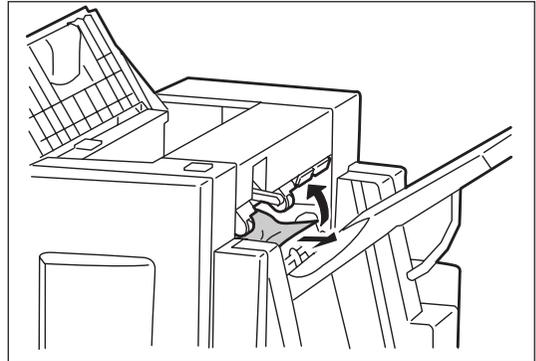
2. フィニッシャカバーFを開け、つまっている用紙を取り除く。



3. フィニッシャカバー⑨を開け、つまっている用紙を取り除く。



4. 排紙側用紙がつまっている場合は、フィニッシャカバー⑩を持ち上げて取り除く。



紙づまり処理後の確認

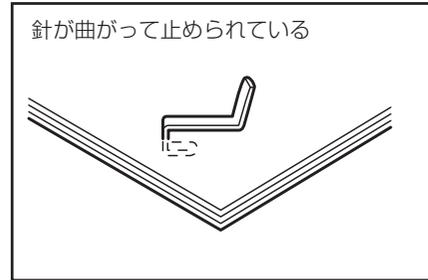
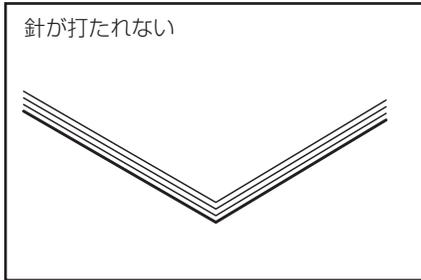
つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために、次の事項を確認してください。

- 紙づまりした場所に用紙片が残っていませんか。
- 各カバーは確実に閉じられていますか。
- ホッパーは奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- ホッパー内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。
- 用紙は正しくセットされていますか。
- 用紙は規格内のものを使用していますか。また、「用紙について」(24ページ)に記載されている事からは守られていますか。
- 用紙の量が多すぎませんか。(標準ホッパーの容量は普通紙の場合、坪量64.0g/m²(連量55kg)用紙で約500枚です。)
- 一度印刷した用紙を使用していませんか。

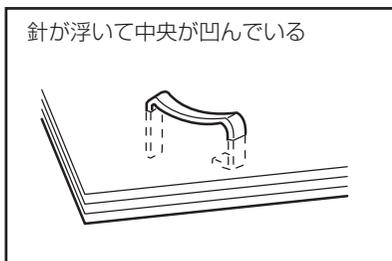
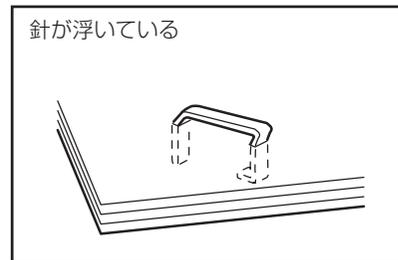
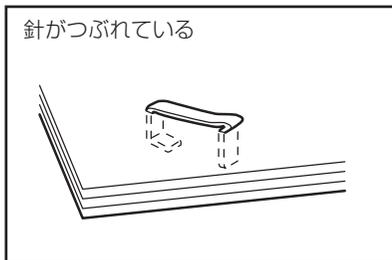
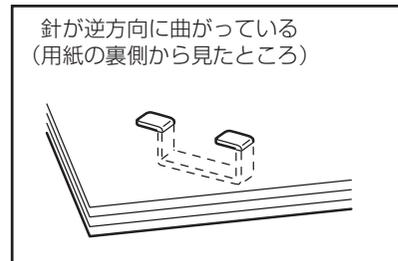
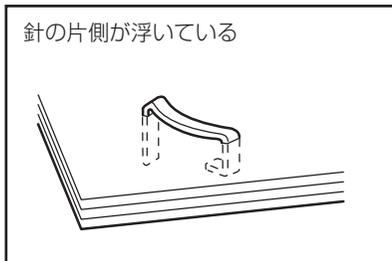
上記の確認後、「テスト印刷をする」(38ページ)に従って、印刷が正しく行われることを確認してください。(紙づまり処理直後は、ローラー等に付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページテスト印刷を行ってください。)

ステープルどめがうまくいかないときは

フィニッシャでステープルどめをした場合のトラブルについて説明します。針が打たれなかったり、針が曲がってとめられているときは、ステープル本体を確認します。次のページからの処置方法に従ってください。



下図のように針が打たれているときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。



✓ チェック

- ステープルどめができるのは坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙、最大50枚までです。
- ステープルどめをする場合は、用紙サイズ、用紙方向をそろえてホッパーに用紙をセットしてください。また、合紙をセットする場合も、同一サイズ、同一方向に用紙をセットしてください。

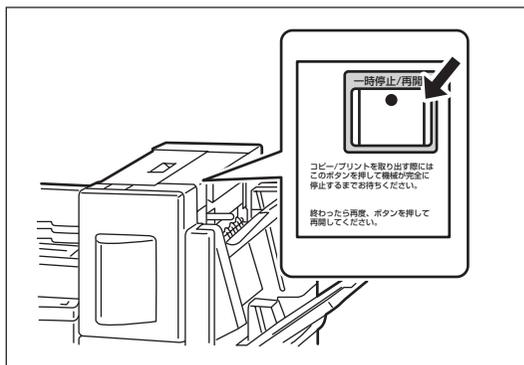
1. [一時停止/再開]スイッチを押す。

[一時停止/再開]スイッチのランプ(橙)が点灯します。

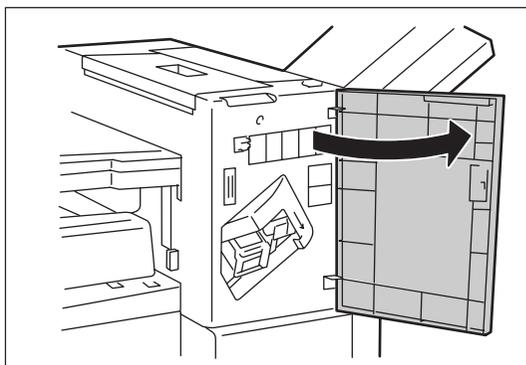
排紙トレイが完全に下がったことを確認し、排紙トレイへ排出された用紙を取り出します。

注意

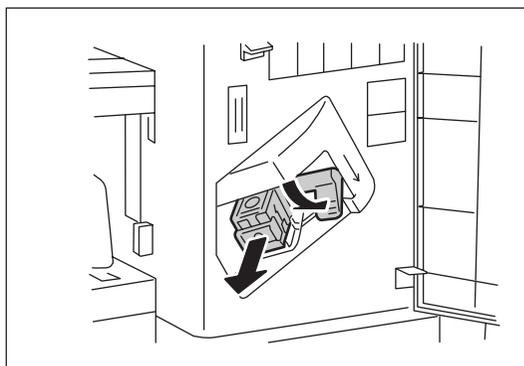
用紙を取り出すときには[一時停止/再開]スイッチを押して、フィニッシャが完全に停止するまで用紙に触れないでください。完全に停止させないと指をはさみけがをすおそれがあります。



2. フィニッシャのフロントカバーを開ける。



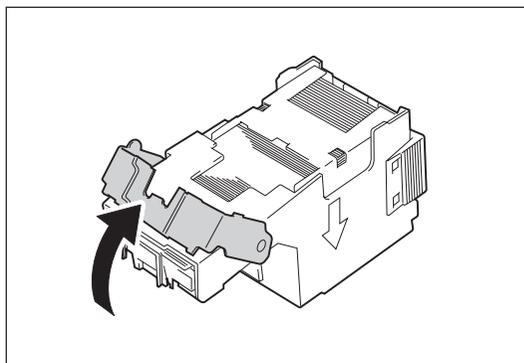
3. オレンジ色のレバーを図のように押し、ステープルカートリッジを取り出す。



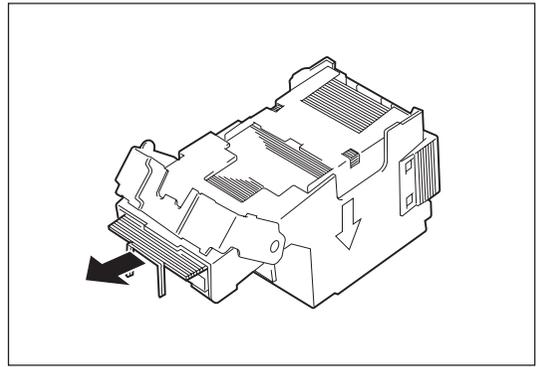
4. ステープルカートリッジのカバーを開け、つまっている針を取り除く。

注意

つまったステープル針を取り除くときは、指などにケガをしないようにしてください。



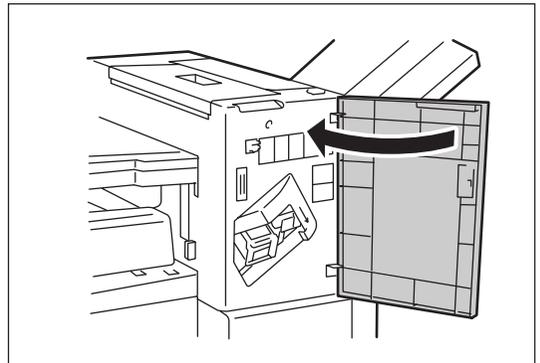
5. ステープル針がつまっている場合は、右図で示す矢印の方向へ押し出して取り除く。



6. ステープルのカートリッジをオレンジ色のレバーが元の位置に戻るまで押し込む。



7. フィニッシャのフロントカバーを閉じる。



5
故障かな？と思ったら

付録A

メニューモードと メモリースイッチの詳細

メニューモードでは、操作パネル上のスイッチを使って、プリンターのさまざまな設定を変更することができます。ここではメニューについての詳細を説明します。メニューモードの設定変更のしかた、メニューの設定項目一覧表、メニューツリーについては2章をご覧ください。

メニューの詳細

テスト印刷（テストインサツメニュー）

ステータス印刷、サンプル印刷、連続印刷（テスト印刷）、16進ダンプ印刷または保守印刷を実行します。連続印刷（テスト印刷）は自動的に印刷を終了しません。[ストップ]スイッチを押した後、もう一度[ストップ]スイッチを押しながら[印刷可]スイッチを2回押してください。プリント結果については185ページをご覧ください。

印刷環境の設定（インサツセッテイメニュー）

1. コピー枚数

コピー枚数は“01”から“99”まで設定できます。プリンターをリセットしたり電源スイッチをOFFにしたりすると、設定はクリアされ“01”になります。アプリケーションによってはソフトウェアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウェアで設定したコピー枚数が優先します。

2. トナー節約

トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。

トナー節約機能はプリンタードライバーから設定することもできます。Windowsからプリンタードライバーを使用して印刷する場合には、ドライバ上での設定が優先されます。

✓ チェック

トナー節約機能を使用するため、「トナーセツヤク ON」に設定すると、トナーの使用を節約することができますが、細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。また、OCRフォントやバーコード印刷を行った場合には正常に読み取れない場合があります。本機能は試し印刷する場合などにご使用ください。

用紙の設定 (ヨウシメニュー)

✓ チェック

ここで設定できる機能には、メモリスイッチ(56～57ページ参照)で設定できる機能もあります。その場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。

1. ホッパ初期設定

電源投入時およびリセット時のホッパ設定をどのホッパにするかを選択します。ホッパ3～5は、大容量ホッパ(オプション)が取付けられている時のみ表示されます。

2. トレイ用紙*1

トレイで使用する用紙の種別を「普通紙」、「厚紙」、「ラベル紙」、「穴あき紙」、「OHP」の5種類から設定します。ここで指定した種別はすべての用紙サイズで有効です。

3. 合紙モード設定

合紙の入っている給紙先を指定します。指定されたホッパ(トレイ)にセットした色の違う用紙(色紙)を挿入して、印刷ジョブごとに仕分けてスタッカー上に排出するときに使用します。合紙モードを使用しない場合はOFFに設定してください。

合紙と印刷データと一緒にステープルする場合は、用紙サイズおよび用紙のセット方向を同じにしてください。合紙と印刷データが異なる場合はステープルされません。

4. リレイ給紙設定*2

リレイ給紙機能を使用するかどうかを選択します。指定している給紙先に用紙がなくなった場合に、他のホッパがトレイに同じサイズ、同じ方向の用紙があれば、自動的に給紙先を切り替えて印刷を行う機能です。リレイ給紙が有効となるのは以下の条件をすべて満たしている場合です。

- 指定しているホッパやトレイがリレイ給紙機能を使用する設定になっている。(初期設定されているホッパやトレイを意味します。)
- 2つ以上のホッパやトレイがリレイ給紙機能を使用する設定になっている。
- リレイ給紙機能を使用するホッパやトレイのうち、2つ以上に同じサイズ、同じ方向の用紙をセットしている。
- 合紙指定されているホッパやトレイがリレイ給紙機能を使用する設定になっていない。(設定してもリレイ給紙されません。)

5. オフセット排紙機能

用紙オフセット排紙機能の有効/無効を設定します。

オフセット機能は、用紙を印刷ジョブごとに用紙の向きはそのまま水平方向にずらしてスタッカー上に排紙される機能です。

*1 封筒フィーダー装着時は本設定は表示されません。

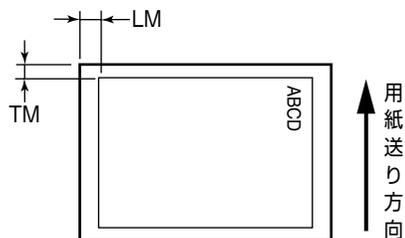
*2 封筒フィーダー装着時はリレイ給紙対象になりません。

印字位置微調整の設定 (インジセツテイメニュー)

ホッパ、トレイ、封筒フィーダ、両面印刷時の表面、裏面の印刷位置を調整します。

メニューモードの「テスト印刷」で出力した「ステータス印刷」の結果を使い、外周の四角い罫線のトップマージン(TM)とレフトマージン(LM)を測定して調整します。

調整できる範囲は「-3.9ミリ」～「+3.9ミリ」で、0.3ミリ単位で設定できます。[設定変更]スイッチを押すと0.3ミリずつ減り、「-3.9ミリ」を越えると「+3.9ミリ」になります。



✓チェック

この設定は、プリンターやオプションの状態、使用する用紙の種類によって発生する印刷位置の誤差を補正するための機能です。この調整が正しく行われないとアプリケーションで余白の値が正確に指定できなくなったり、用紙端に近い部分の印刷が正常に行われなくなったりします。またこの機能は、用紙送り方向に対する位置を調整するもので、用紙の向きや印刷方向を設定するものではありません。

オプションの設定 (オプションセツテイメニュー)

1. 両面印刷の設定

両面印刷ユニット(オプション)が取り付けられている時のみ表示されます。

- 初期設定
電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするか、しないかを選択します。
- とじしろ
綴じしろを付加する位置を設定します。

とじしろ	印刷方向	
	ポートレート	ランドスケープ
ロング1	左綴じ 	上綴じ
ショート1	上綴じ 	右綴じ
ロング2	右綴じ 	下綴じ
ショート2	下綴じ 	左綴じ

- 余白
綴じしろを付加する量を設定します。設定範囲は0～20mmで、1mm間隔で設定可能です。
- クリップ
綴じしろを付加した場合、印字領域が狭くなることによって、印刷範囲からはみ出したデータをクリッピングするか、自動改行／改ページするかを設定します。

2. フェイスアップトレイ

フェイスアップトレイを使用するか、しないかを設定します。
「使用する」に設定した場合は、排出先設定においてフェイスアップトレイを選択できるようになります。

3. 排出先設定

印刷した用紙の排出先を排紙トレイにするか、フェイスアップトレイ(オプション)、ソータユニット(オプション)、またはフィニッシャ(オプション)にするかを選択します。フェイスアップトレイが装着されていない場合でも設定は有効です。(ただしその場合、用紙はフェイスアップ排出口から排出されて用紙のスタックは行われません。紙づまりの原因となりますので必ずフェイスアップトレイを装着してください。)

4. ソータモード設定

ソータユニット(オプション)が取り付けられている時のみ表示されます。
ソータの使用モード設定を行います。

- モード
 - ー ソートモード
ソートモードとは、複数部数指定の文書を1部ずつ分けて排出する機能です。またいずれかのピンが許容枚数に達した場合には、強制的に排出トレイに排出されます。(ただしメニューにおいてスタックフルがONと設定されている場合には、“スタックフル”のアラームが表示され印刷を停止します。アラームが解除されるまでは印刷を開始いたしません。)
 - ー コピーモード
コピーモードとは、複数部数指定の文書の同一ページを同一ピンに排出する機能です。最大ピン数(10ピン)を越える場合には、すべて排出トレイに排出します。いずれかのピンが許容枚数に達した場合には、強制的に排出トレイに排出します。(ただしメニューにおいてスタックフルがONと設定されている場合には、“スタックフル”のアラームが表示され印刷を停止します。アラームが解除されるまでは印刷を開始いたしません。)
 - ー スタックモード
スタックモードとはソータをひとつのスタッカーとして扱い、最下段のピンから順に上のピンに向かって用紙をスタックしていく機能です。1ピンからスタックを開始し、最大許容枚数に達したら2ピン、3ピンへと排出ピンを変更していきます。10ピンにおいて最大許容枚数に達した時、メニューでスタックフルがOFFと設定されている場合には排出トレイに継続して排出します。スタックフルがONと設定されている場合には“スタックフル”のアラームを表示して印刷を停止します。
 - ー ジョブセパレート
ジョブセパレートとはひとつのジョブ(文書)ごとにピンを切り替えて排出する機能です。1ピンから順に10ピンまで(切り替えて)排出され、10ピンを超えるとメニューにおいてスタックフルがOFFと設定されている場合には、排出トレイに継続して排出されます。スタックフルがONと設定されている場合には、“スタックフル”のアラームが表示され印刷を停止します。1ジョブ中にピンフルとなった場合には、ジョブが切り替わらなくても次のピンへ切り替えて排出を継続します。

- **スタックフル**
スタックモードを設定しているときは10ピンが最大許容枚数に達した時、ジョブセパレートを設定しているときはジョブ単位のスタックが10ピンを越えた時、それ以外のモード設定時は、いずれかのピンが最大許容枚数に達した時に、スタックフル機能がOFFのときには排紙トレイに排出され、ONの時は“スタックフル”のアラーム表示をして印刷を停止する機能です。

5. シアゲモード設定

フィニッシャ(オプション)が取り付けられている時のみ表示されます。
フィニッシャの使用モード設定を行います。

スタックフル：フィニッシャ(オプション)は3段の排出スタッカーを持ち、排出はその内の上段のスタッカーから排出されます。スタックフル機能は3段の各スタッカーが最大許容枚数に達したときの処理の設定です。

スタックフル機能がOFFの時は、上段、中段、下段とすべてのスタッカーが最大許容枚数に達した時点で印刷が停止し、ONの時は上段スタッカーが最大許容枚数に達した時点で、“スタックフル”のアラーム表示をして印刷を停止します。

6. HDD機能設定

増設ハードディスク(オプション)が取り付けられている時のみ表示されます。
電子ソート機能の設定を行います。

電子ソート：電子ソート機能の有効/無効の設定を行います。

運用環境の設定 (ウソクメニュー)

1. 節電機能

節電機能を使用するか、しないかを選択します。節電機能に入るまでの時間を選択します。
節電状態に入るまでの時間は目安です。使用状況に応じて選択してください。

— チェック —

プリンターの電源をONにしたまま一定時間、印刷を行わないとき、自動的に消費電力を45W以下の状態に節約できる機能です。節電機能を使用しているときは、プリンターは印刷を開始する前にウォームアップを行うことがあります。この場合、通常より印刷が始まるまでに時間がかかることがあります。

2. 自動排出

自動排出の有効/無効、および設定時間を選択します。
データを送り終わったのに印刷を開始しない状態が多く発生するソフトウェアを使用している場合は、このメニューで設定時間を選択することをお勧めします。

3. メモリー設定

プリンターが持つメモリーの使用方法を選択します。

- **標準**
通常の用途で最も性能が発揮できるように、それぞれのバッファにメモリーを最適に割り当てます。通常はこの設定のままでお使いください。
- **受信バッファ優先**
印刷データをプリンター内部に蓄えるために使用されるメモリー(受信バッファ)に優先してメモリーを割り当てます。これによりコンピュータが印刷のために行う処理を少なくすることができます。



「ジュシンプラファウセン」に設定した場合、ネットワーク用プリンターユーティリティ使用時に表示される「メモリーサイズ」の各々の項には実装されているメモリー容量よりも少ない値が表示されます。NPDLのステータス印刷では正しい値が表示されます。

- 文字キャッシュ優先
印刷データ中の文字データを認識するために使用されるメモリー(文字キャッシュ)に優先してメモリーを割り当てます。文字データの多いもの(テキストデータなど)を印刷するときこの設定にしておく、処理能力が向上します。
- フォーム登録優先
フォーム登録のために使用されるメモリーに優先してメモリーを割り当てます。定型の印刷データを使う場合はこの設定にしておく、多量の印刷データを取り扱うことができます。フォーム登録についての詳細は、別売の「日本語ページプリンタ言語NPDL (Level 2) リファレンスマニュアル」を参照してください。

フォント環境の設定 (フォントメニュー)

フォントに関する設定は、プリンターが持っている文字に対してのみ有効です。詳細については「文字の種類」(179ページ)をご覧ください。

- 1バイト系ゼロ
1バイトコード系の数字ゼロの字体(0または0)を選択します。
メモリスイッチ2-1でも選択できます。
- 2バイト系ゼロ
2バイトコード系の数字ゼロの字体(0または0)を選択します。
- ANK
1バイトコード系のフォントのANK文字(アルファベット、数字、カタカナ)のフォントを選択します。
- 漢字
標準フォント(2バイト文字)を選択します。
明朝またはゴシックの書体を選択します。
- 文字セット
2バイト系文字セットを選択します。
- 国別
各国文字セットを選択します。

NPDL環境の設定 (NPDLセッテイメニュー)

1. A4ポートレート桁数

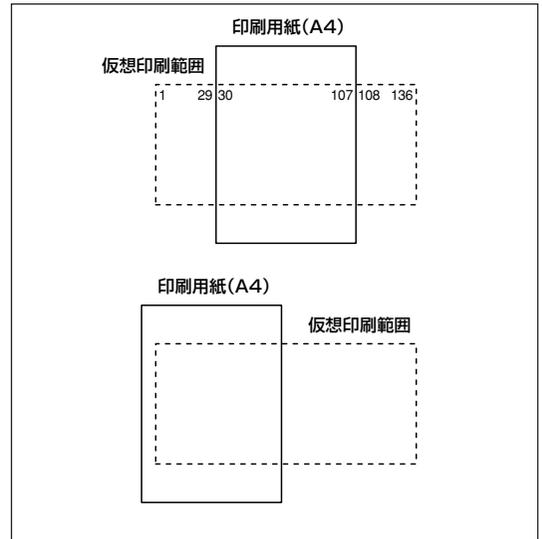
用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか、80桁にするかを設定します。メモリスイッチ2-7でも選択できます。

2. エミュレーション

ページプリンターモードか201PLEミュレーションモードかを選択します。
メモリスイッチ2-2でも選択できます。

3. 136桁モード設定

- 136桁モード
136桁モードの有効・無効を選択します。
- 用紙位置
136桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリスイッチ3-6でも選択できます。
 - ー 用紙位置中央合わせでは、A4サイズ用紙を使用した場合、136桁の仮想印刷範囲の30桁目から107桁目までが印刷されます。
 - ー 用紙位置左端合わせでは、136桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。
- 微調整
136桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を1/10インチ単位で選択します。
メモリスイッチ3-1、3-2、3-3、3-4の組み合わせで選択することもできます。



メニュー項目の登録 (セッテイヨカメニュー)

設定をまとめて記憶させ、必要なときに呼び出します。同時にメニューモードを終了します。設定初期化を実行すると、プリンターは初期設定に戻ります。設定呼び出しを実行すると、「セッテイキオク」で記憶されている内容を読み出します(初期設定に戻すこともできます)。

設定記憶を実行すると、メニューモード内の各種機能設定と[トレイ]スイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。一度記憶された内容は次に設定記憶を実行するまで変化しません。

メモリスイッチの設定 (メモリースイッチメニュー)

メニューモードの中で比較的可変頻度の低いものがこのメニューの中にまとめられています。詳細については、次ページからの「メモリスイッチの詳細」をご覧ください。

メモリースイッチの詳細

メモリースイッチで設定できる機能の中には、メニューモードで設定できるもの(※)もあります。このような場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。

1-1~1-3

各国文字の切り替え※

3つのメモリースイッチの組み合わせにより各国文字を切り替えます。

国別文字セット	1-1	1-2	1-3
日本	0	0	0
アメリカ	0	1	0
イギリス	1	1	0
ドイツ	0	0	1
スウェーデン	1	0	1

- 表中の太文字は工場出荷時の設定を表します。
- 表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字となります。国別の文字については「国別相違点」(186ページ)をご覧ください。

1-6

自動復帰改行の切り替え

パツファフル印刷を行うとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。
同期コード無効(メモリースイッチ5-1:0)時に有効です。

1-7

印刷指令の切り替え

印刷指令をCRのみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC bを有効にするかを切り替えます。

1-8

CR機能の切り替え

印刷指令コードCRを受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

2-1

1バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え※

1バイト(8ビット)コード系の数字ゼロを「0」と印刷するか、「Ø」と印刷するかを切り替えます。

2-2

エミュレーションモードの切り替え※

エミュレーションモードを201PLエミュレーションにするか、ページプリンター(NPDL)にするかを切り替えます。

2-3

グラフィック(ドット列印刷)モードの切り替え

横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。
201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2:0)時に有効です。

2-6

7ビット/8ビットデータの切り替え

インタフェースのデータが7ビット有効か、8ビット有効かを切り替えます。
201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2:0)時に有効です。
ページプリンター(メモリースイッチ2-2:1)時は8ビット有効に固定されます。

2-7

A4ポートレート印刷桁数の切り替え※

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。
B5サイズの場合の場合は67桁、B4サイズの場合の場合は95桁となります。

2-8

B4→A4縮小時の縮小率の切り替え

操作パネルの縮小スイッチまたは制御コード(FS f)を使ってB4→A4縮小モードを指定したときに、縮小率を2/3にするか、4/5にするかを切り替えます。

3-1~3-4

レフトマージン量の設定※

レフトマージン量を設定します。

ページプリンター(メモリースイッチ2-2:1)時に有効です。

レフトマージン量とは用紙の最左端印刷位置から第1印刷位置までの距離です。

レフトマージン量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては下の表をご覧ください。

用紙位置の微調整(136桁モード)※

印刷位置がずれた場合、用紙位置を調整します。

136桁モード(メモリースイッチ3-7:1)時に有効です。

201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2:0)時に有効です。

用紙位置調整量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては下の表をご覧ください。

レフトマージン量/ 用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4
0インチ	0	0	0	0
1/10インチ	1	0	0	0
2/10インチ	0	1	0	0
3/10インチ	1	1	0	0
4/10インチ	0	0	1	0
5/10インチ	1	0	1	0
6/10インチ	0	1	1	0
7/10インチ	1	1	1	0
8/10インチ	0	0	0	1
9/10インチ	1	0	0	1
1インチ	0	1	0	1
11/10インチ	1	1	0	1
12/10インチ	0	0	1	1
13/10インチ	1	0	1	1
14/10インチ	0	1	1	1
15/10インチ	1	1	1	1

表中の太文字は工場出荷時の設定を表します。

3-5

用紙位置微調整方向の設定(136桁モード)※

136桁モードで用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。

136桁モード(メモリースイッチ3-7:1)時に有効です。

201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2:0)時に有効です。

3-6

用紙位置の設定(136桁モード)※

136桁モードで用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。

136桁モード(メモリースイッチ3-7:1)時に有効です。

201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2:0)時に有効です。

3-7

136桁モードの有効/無効の切り替え※

136桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。

201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2:0)時に有効です。

3-8

ブザー機能の有効/無効の切り替え

ブザーを鳴らすか、鳴らさないかを切り替えます。

4-1

解像度の選択

プリンターの解像度切り替えの有効/無効を指定します。

4-3

ESC c1での登録データを初期化する/しないの切り替え

制御コードESC c1での登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。
ESC c1で初期化をしない(メモリスイッチ4-3: 1)ときは、ESC c8と同じ機能になります。

4-4

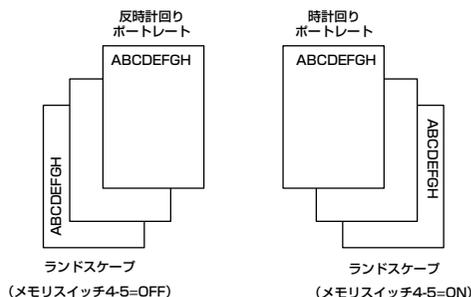
FFコードのみで白紙を出力する/しないの切り替え

FFコードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。
白紙を出力しない(メモリスイッチ4-4: 1)ときは、ESC a、ESC bと同じ機能になります。

4-5

ランドスケープ方向の切り替え

ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときのスタッカー上での積み重なり方を切り替えます。



5-1

同期コードの有効/無効の切り替え

同期コードを有効とするか無効とするかを切り替えます。PC-PTOS環境で使用する場合は、このスイッチを1(同期コード有効)にする必要があります。

6-1

SETを使用する/しないの切り替え

SETを使用するか、しないかを切り替えます。

6-2

メモリーオーバー時の動作指定

印刷データ圧縮を指定したとき、メモリーオーバーが起きた場合の動作を指定します。

0にすると、メモリーオーバーが起きたときアラームを表示して印刷を停止します。[印刷可]スイッチを押せば解像度を落として印刷を再開することができます。

1にすると、アラームを表示せずに解像度を落として印刷が継続されます。

6-7

節電機能を使用する/しないの切り替え※

節電機能を使用するか、しないかを切り替えます。

7-1

データストロープ信号のデータラッチタイミング(セントロニクスインターフェース)

7-2

データストロープ信号のデータラッチタイミング(LANボードインターフェース)

7-1または7-2を前縁ラッチに指定した場合は、高速にデータを受信することができます。ただし、接続するコンピュータによっては、うまく受信できない場合があります。その場合には、後縁ラッチに切り替えて使用してください。

7-3

ソータ用紙あり表示

電源投入時、ソータのスタッカが用紙フルのときに、ソータ用紙あり表示をするか、しないかを設定します。

7-7

FS fコマンドで指定サイズなしを表示する/しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。

7-8

FS fコマンドで自動縮小を表示する/しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。

8-1, 8-2

ビジー(BUSY)–アクノリッジ($\overline{\text{ACK}}$)のタイミング

8-1、8-2：セントロニクス・インタフェース
設定は8-5、8-6を参照してください。

8-3, 8-4

アクノリッジ($\overline{\text{ACK}}$)の幅の切り換え

8-3、8-4：セントロニクス・インタフェース
設定は8-7、8-8を参照してください。

8-5, 8-6

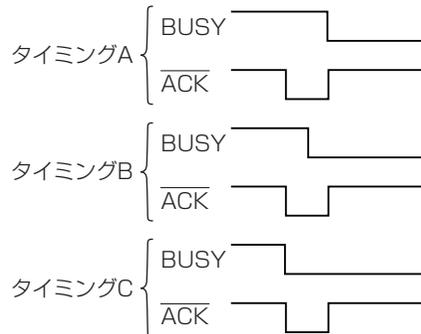
ビジー(BUSY)–アクノリッジ($\overline{\text{ACK}}$)のタイミング

8-5、8-6：LANボードインタフェース

2つのメモリスイッチの組み合わせにより、BUSY– $\overline{\text{ACK}}$ のタイミングを切り替えます。

$\overline{\text{ACK}}$ のタイミング	8-1または8-5	8-2または8-6
タイミングA	0	0
タイミングB	1	0
タイミングC	0	1
タイミングA	1	1

表中の太文字は工場出荷時の設定を表します。



8-7, 8-8

アクノリッジ($\overline{\text{ACK}}$)の幅の切り換え

8-7、8-8：LANボードインタフェース

$\overline{\text{ACK}}$ の幅	8-3または8-7	8-4または8-8
1 μs	0	0
2 μs	0	1
4 μs	1	0
10 μs	1	1

表中の太文字は工場出荷時の設定を表します。

**チェック**

$\overline{\text{ACK}}$ の幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、 $\overline{\text{ACK}}$ の幅を長くして使用してください。

付録B 技術情報

ここでは、MultiWriter 4050Mの仕様、印刷範囲、制御コード、文字コード、その他の技術情報について説明します。

B

技術情報

使用できるプリンターケーブル

下の表をご覧になり、使用するコンピューターがMultiWriter 4050Mを正常に動作できる機種かどうかを確認してください。また、MultiWriter 4050Mにはプリンターケーブルが添付されていないため、別途にお買い求めになる必要があります。ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルは下の表で確認してください。

プリンターケーブル一覧

コンピューター		プリンターケーブル
IBM PC/AT互換機 (DOS/V対応機)	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205 PR-CAU02
	IBM、富士通、東芝、Sony、その他各社	PC-PRCA-01
PC-9800シリーズ デスクトップタイプ ミニタワータイプ	98MATEシリーズ (除くAp・As・Ae・Af) 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ (除くBA・BX) 98MULTiシリーズ (除くCe) 98MULTi CanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CanBeJam CEREB 98FINE PC-H98シリーズ	PC-CA202*1 PC-CA204*2
	PC-98XA・XL・XL・RL*3	PC-PR801-21 (パソコン本体に標準添付)
	上記以外の14ピンパラレルインタフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA201R*4 PC-CA203
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ *3 SV-98シリーズ	PC-CA202*1 PC-CA204*2
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2 PC-9801NL/A・NS/A	PC-CA202*1 PC-CA204*2
	上記以外の20ピンパラレルインタフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*1 PC-CA204*2
プリンタ増設インタフェースポート (PC-9801-94)		PC-CA202*1 PC-CA204*2

*1 PC-H98-K05と同等。長さ1.5m。

*2 PC-CA202と同等。長さ4m。

*3 ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

*4 PC-CA201と同等。長さ1.5m。

✓チェック

- 一部のコンピューターによっては、CPUの性能によりPrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

仕様

印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード+ポリゴンスキャナー 現像方式：1成分乾式
印刷速度	約40ページ/分*1(A4用紙横置き、ホッパー1給紙片面印刷時)
ウォームアップの待ち時間	電源投入時：約60秒以内(22℃)
ファーストプリントタイム	片面印刷時 A4サイズ 約4.0秒(A4用紙横置き、ホッパー1給紙) 両面印刷時 A4サイズ 約8.6秒(A4用紙横置き、ホッパー1給紙)
用紙容量*2	ホッパー：1000枚(坪量64.0g/m ² の用紙の場合、500枚×2段) トレイ：50枚(坪量64.0g/m ² の用紙の場合)
スタック容量*2	500枚(A4用紙、坪量64.0g/m ² 相当、フェイスダウンドレイの場合)
ドット間隔	0.0423mm×0.0423mmまたは0.0635mm×0.0635mm (1/600インチ×1/600インチまたは1/400インチ×1/400インチ)
CPU	RV4640(150MHz)2個
RAM	標準32MByte(1CPUあたり16MByte) 最大96MByte(オプション増設時)
オプションRAMソケット	専用DIMM 2ソケット
インターフェース	<ul style="list-style-type: none">● セントロニクス仕様に準拠*3● イーサネット(100BASE-TX/10BASE-T：TCP/IPのみ)
データ形式	NPDF Level 2(201PLエミュレーション含む)
環境	動作温度：10～32.5℃ 動作湿度：20～80%(結露しないこと) 保管温度：0～32.5℃ 保管湿度：10～80%(結露しないこと) 塵埃量：一般事務室程度 ガス成分：一般事務室程度 気圧：1.013×10 ⁵ ～0.7524×10 ⁵ Pa(海拔0～2500m)
騒音	動作時(音圧レベル、A補正)：59dB以下(標準) 動作時(音圧レベル、A補正)：64dB以下(フルオプション) 待機時(音圧レベル、A補正)：50dB以下
電源	電圧：100V±10% 周波数：50/60Hz±3Hz

*1 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

*2 連量55kg用紙

*3 IEEE 1284規格準拠双方向パラレルインターフェース

消費電力*4	動作時最大(プリンター単体時)	: 1170W	1185VA
	動作時最大(フルオプション時)	: 1500W	1520VA
	動作時平均(プリンター単体時)	: 748W	758VA
	節電モード時	: 45W以下	90VA以下
寸法	幅642mm×奥行き523mm×高さ486mm(本体のみ)		
質量	約42kg(本体のみ消耗品含む)		
製品寿命	印刷枚数 150万ページ(A4用紙換算)または使用年数5年のいずれか早い方		
消耗品寿命	<ul style="list-style-type: none"> ● EPカートリッジ(本体添付) : 約10,000ページ*5(印刷枚数) ● EPカートリッジ(消耗品: 型番 PR-L4050-12) : 約20,000ページ*5(印刷枚数) ● ステープルカートリッジ*6 : ステープル針(型番 PR-L4050-SP)5,000本 		
フォント	アウトラインフォント 2種類(明朝体、ゴシック体)		
対応OS	<ul style="list-style-type: none"> ● Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版、Microsoft Windows 95 日本語版、Microsoft Windows 2000 日本語版、Microsoft Windows NT 4.0 日本語版、Microsoft Windows NT 3.51 日本語版、Microsoft Windows 3.1 日本語版 ● PC-PTOS Ver.1.0以上 PC-PTOS Ver.1.0~2.3でお使いの場合は「PTOS IV プリンターOS支援パッケージPS」が必要です。 ● 日本語MS-DOS(Ver. 3.3以上)、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver.J5.0/V以上(DOS/V) ● Macintosh 漢字Talk 7.1.X、7.5.X、Mac OS 7.6.X、Mac OS 8.0~8.6、Mac OS 9.0.X(PC-PR-L01使用時) ただし、漢字Talk 7.5.X以降のQuickDraw GXには未対応 		

*4 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。また、同系列の電源に入力条件が厳しい機器を接続する場合は、NECフィールディング(株)にご相談ください。

*5 ただしA4用紙、画像面積比5%連続印刷時

*6 フィニッシャ装着時のみ

用紙の規格

下記以外の坪量(連量)用紙のご使用については、サービス担当者または販売店にお問い合わせください。

普通印刷(片面印刷)時

● 普通紙(乾式PPC用紙)*1

寸法	定形サイズ	A3判(297×420mm)、A4判(210×297mm)、A5判*2(148×210mm)、B4判(257×364mm)、B5判(182×257mm)、レターサイズ(約216×約280mm)、 定形外サイズ	幅100~297mm×長さ148~420mm*3
坪量	ホッパ給紙：64.0~81.4g/m ² トレイ給紙：64.0~128g/m ² (坪量とは、用紙1000×1000mm(1m ²)のサイズの用紙1枚あたりの重さを示します。)		
連量	ホッパ給紙：55~70kg トレイ給紙：55~110kg (連量とは、用紙788×1091mm(四六判)のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。)		
表面電気抵抗	1×10 ⁹ ~1×10 ¹² Ω		

● はがき*1

官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、連量のものを使用してください。
ただし、往復はがきは折り目が無いものを使用してください。

寸法	官製はがき(100×148mm)	官製往復はがき(200×148mm)
坪量	157.0g/m ² 相当	
連量	135kg相当	

● 封筒

洋形4号(LIFE洋封筒E506ライフ(株)製)のものに限ります。

寸法	105×235mm
----	-----------

● OHPフィルム

寸法	A4判(210×297mm)
厚さ	0.1mm±0.025mm(100μm±25μm) 乾式PPC用、表面処理されているものを使用してください。

● ラベル紙

寸法	A4判(210×297mm)、B4判(257×364mm) 乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。
----	---

*1 用紙の規格において坪量、連量を併記しています。

*2 A5判はホッパー1では横置き、トレイでは縦置きでセット可

*3 ただし定形外用紙はトレイのみ

両面印刷ユニット装着(両面印刷)時

普通紙(乾式PPC用紙)*1

寸法*2	A3判(297×420mm)、A4判(210×297mm)、A5判(148×210mm)、B4判(257×364mm)、B5判(182×257mm)、レターサイズ(約216×約280mm)
坪量	ホッパ給紙：64.0～81.4g/m ² トレイ給紙：64.0～81.4g/m ²
連量	ホッパ給紙：55～70kg トレイ給紙：55～70kg
表面電気抵抗	$1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12} \Omega$

*1 用紙の規格において坪量、連量を併記しています。

*2 不定形サイズ、A5判横置きは両面印刷不可

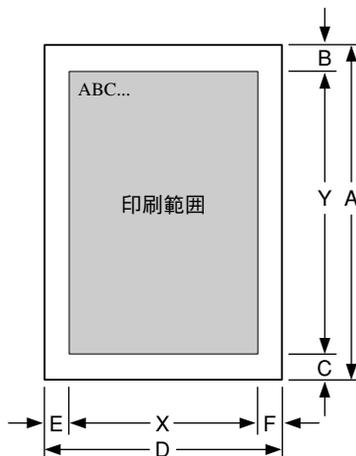
印刷範囲

定形用紙

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲とは使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

なお、添付ドライバ(MultiWriter 4050Mのプリンタードライバー)を使用した場合はプリンタードライバーの機能により、上下左右の余白量をすべて5mmに設定することができます。

- ポートレート

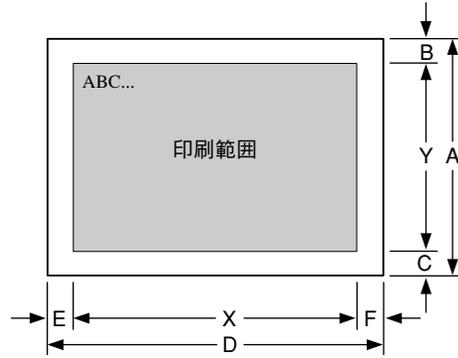


記号	意味	単位	寸法									
			A3	A4	A5	B4	B5	レター	はがき	往復はがき	封筒	
A	用紙の長さ	mm	420	297	210	364	257	280	148	148	235	
B	用紙の上端から印刷範囲までの距離 (上端印刷不可領域)	mm	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
C	用紙の下端から印刷範囲までの距離 (下端印刷不可領域)	mm	6	5	4	6	6	6	3	5	5	
D	用紙の幅	mm	297	210	148	257	182	216	100	200	105	
E	用紙の左端から印刷範囲までの距離 (左端印刷不可領域)	mm	5	8	8	8	8	8	8	5	5	
F	用紙の右端から印刷範囲までの距離 (右端印刷不可領域)	mm	5	4	4	8	4	5	6	5	5	
X	横方向の印刷範囲	ドット	2712	1872	1284	2280	1608	1920	816	1769	898	
	印刷可能文字数	パイカ	文字	113	78	53	95	67	80	34	70	37
		エリート		135	93	64	114	80	96	40	84	44
		コンデンス		193	133	91	162	114	137	58	120	64
		7ポイント*1		113	78	53	95	67	80	34	70	37
		10.5ポイント*2		75	52	35	63	44	53	22	46	24
12ポイント	67	46	32	57	40	48	20	42	22			
Y	縦方向の印刷範囲	ドット	3864	2712	1896	3336	2328	2544	1320	1303	2126	
	印刷可能行数	行	6LPI	96	67	47	83	58	63	33	32	53
8LPI			128	90	63	111	77	84	44	43	70	

*1 7ポイントは正確には7.2ポイントです。

*2 10.5ポイントは正確には10.8ポイントです。

● ランドスケープ



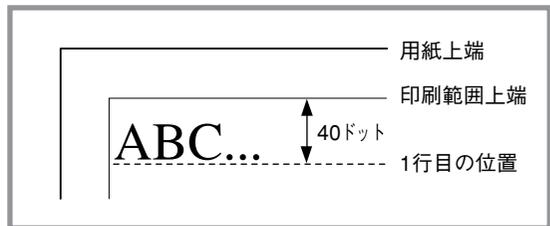
記号	意味	単位	寸法									
			A3	A4	A5	B4	B5	レター	はがき	往復はがき	封筒	
A	用紙の長さ	mm	297	210	148	257	182	216	100	200	105	
B	用紙の上端から印刷範囲までの距離 (上端印刷不可領域)	mm	5	4	4	8	4	5	6	5	5	
C	用紙の下端から印刷範囲までの距離 (下端印刷不可領域)	mm	5	8	8	8	8	8	8	5	5	
D	用紙の幅	mm	420	297	210	364	257	280	148	148	235	
E	用紙の左端から印刷範囲までの距離 (左端印刷不可領域)	mm	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
F	用紙の右端から印刷範囲までの距離 (右端印刷不可領域)	mm	6	5	4	14	6	6	6	5	5	
X	横方向の印刷範囲		ドット	3864	2712	1896	3264	2328	2544	1296	1303	2126
	印刷可能文字数	パイカ	文字	161	113	79	136	97	106	54	54	88
		エリート		193	135	94	163	116	127	64	65	106
		コンデンス		276	193	135	233	166	181	92	93	151
		7ポイント ^{*1}		161	113	79	136	97	106	54	54	88
		10.5ポイント ^{*2}		107	75	52	90	64	70	36	36	59
12ポイント		96		67	47	81	58	63	32	32	53	
Y	縦方向の印刷範囲		ドット	2712	1872	1284	2280	1608	1920	816	1796	898
	印刷可能行数	6LPI	行	67	46	32	57	40	48	20	44	22
		8LPI		90	62	42	76	53	64	27	59	29

*1 7ポイントは正確には7.2ポイントです。

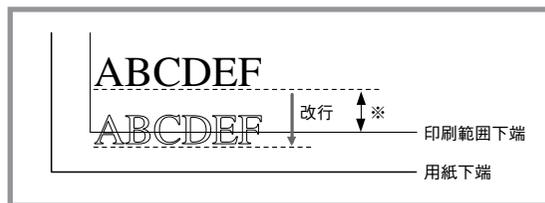
*2 10.5ポイントは正確には10.8ポイントです。

補足説明

- 余白量(印刷不可領域)は、使用する用紙の寸法差、プリンター個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。
- 印刷範囲(印刷可能ドット数)は、すべて240dpiで規定されています。600dpiでの印刷可能ドット数は240dpiのドット数を5/2倍にした値になります。
- 行桁モードでは、1行目の位置は240dpi相当で印刷範囲の上から40ドット目(約4.2mm)となります。したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。
 - 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として(0, 39)(240dpi)を指定したのと同じ位置に印刷されます。
 - 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。



- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があります、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。



- 最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、*の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。

- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。計算に用いる値は右のとおりです。

種 別		ドット数	
文字数	1バイト系	パイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ボ(1/10インチ)	24ドット
		10.5ボ(3/20インチ)	36ドット
	12ボ(1/6インチ)	40ドット	
行数	6LPI(1/6インチ)	40ドット	
	8LPI(1/8インチ)	30ドット	

- 値はすべて240dpiでのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて240dpiで行います。
- 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。

- 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

- 添付ドライバーを使用した場合、ドライバーの機能により余白量がすべて5mmにできます。

定形外用紙

定形外用紙とは、本プリンターでサポートしている定形用紙(A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、封筒)以外の大きさの用紙のことです。MultiWriter 4050Mでは最大A3から最小はがきサイズまでの用紙に対応しています。この場合の印刷範囲と印刷位置は、使用する用紙の大きさ、プリンター設定に応じてアプリケーションから正しく制御する必要があります。

プリンターの設定について

定形外用紙に印刷する場合、トレイから給紙させます。プリンターは定形用紙を想定し、印刷位置、印刷範囲の制御を行います。操作パネルの[トレイ]スイッチによって印刷させる定形外用紙の用紙サイズに近似した用紙サイズを設定する必要があります。(プリンタードライバーの用紙サイズをユーザ定義サイズに設定してください。詳しくはユーザズマニュアル[2/2]をご覧ください。)

印刷範囲が定形外用紙内に収まっていないで印刷を行うと、装置内を汚すなど思わぬ障害の原因となる場合があります。印刷前に十分確認してください。

✓ チェック

定形外用紙はホッパーからは給紙できません。

余白について

印刷結果が実際に使用する用紙をはみ出すことのないように注意してください。はみ出した印刷を続けると、思わぬトラブルの原因となります。

また、印刷品質を保つため、実際に使用する用紙に対して上下左右とも5mm以上の余白ができるように、印刷位置と印刷範囲を設定してください。

印刷位置について

次に様々なケースでの印刷位置、印刷範囲の考え方を説明します。これらの説明は主に行桁モードによる制御を前提にしていますが、それ以外の方法でも同様の考え方による制御を行ってください。

- ポートレートの桁方向(プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左右の端の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

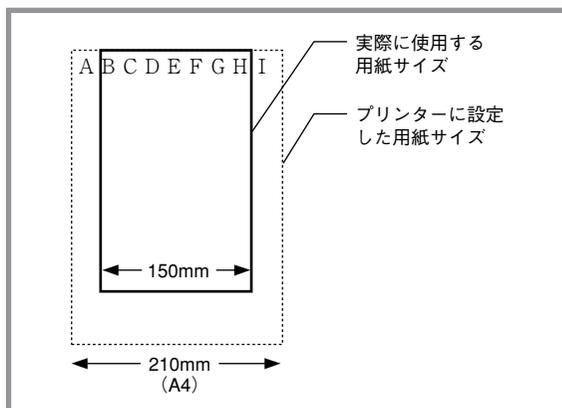
このような場合には、各行の先頭に適当な量のスペースを取ることで、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。

必要なスペース量は次のように算出してください。

$$\text{必要なスペース} = \frac{A - B}{2}$$

A: プリンターに設定されている用紙の幅

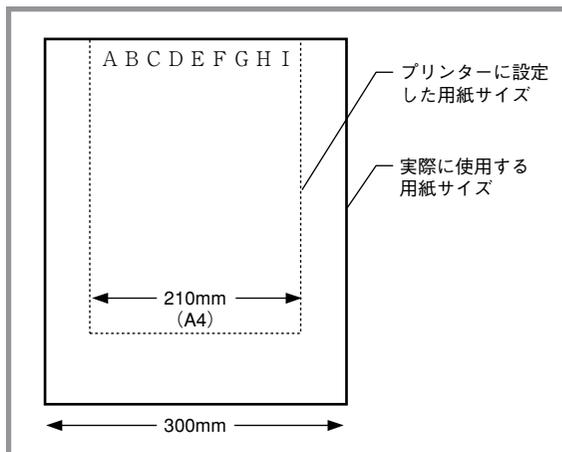
B: 実際に使用する用紙の幅



- ポートレートの桁方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左右には印刷できない部分が発生します。

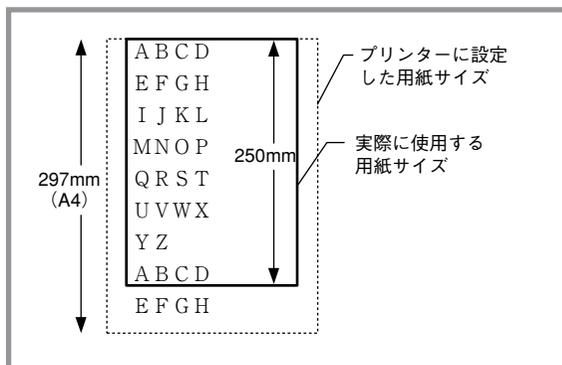
このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左右の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



- ポートレートの行方向(プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙の長さを超えるような改行命令については自動的に改ページをしますが、使用する用紙が短いため下端付近のデータは用紙をはみ出してしまいます。

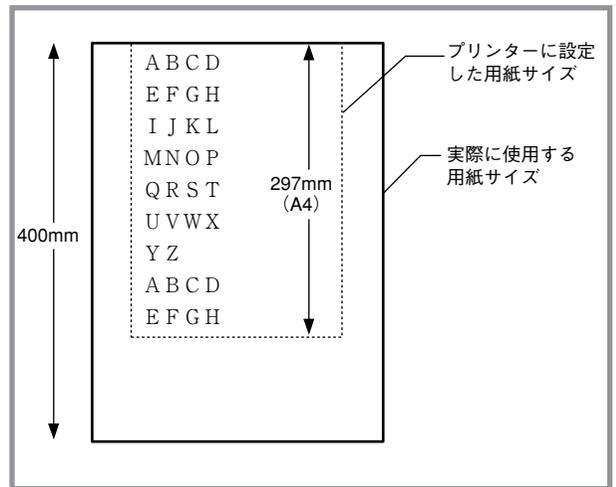
このような場合には、1ページあたりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。



- ポートレートの行方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙を超えるようなデータは印刷しません。その結果、用紙の下端には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の下端部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



- ランドスケープの桁方向(プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左端(行の先頭)の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

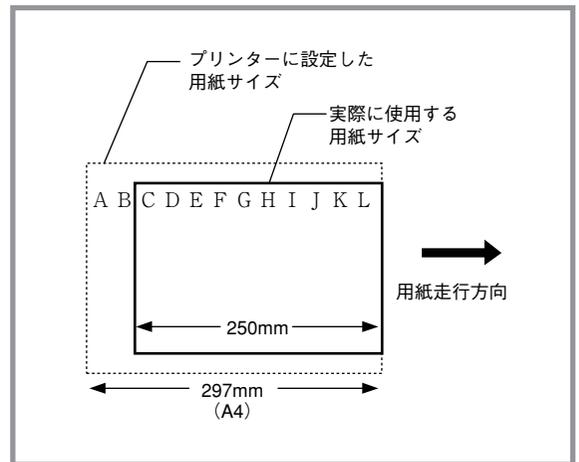
この場合には、各行の先頭に適当な量のスペースをとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。

必要なスペース量は次のように算出してください。

必要なスペース=A-B

A：プリンターに設定されている用紙の幅

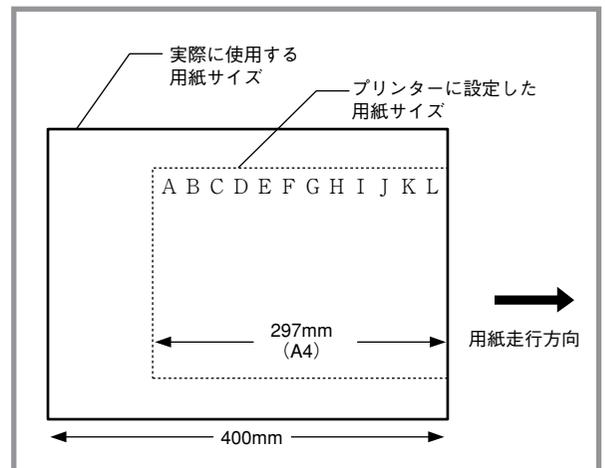
B：実際に使用する用紙の幅



- ランドスケープの桁方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左端には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左端の部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



- ランドスケープの行方向(プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、ページの上下の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

この場合には各ページの先頭に適当な量の余白(改行)をとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。

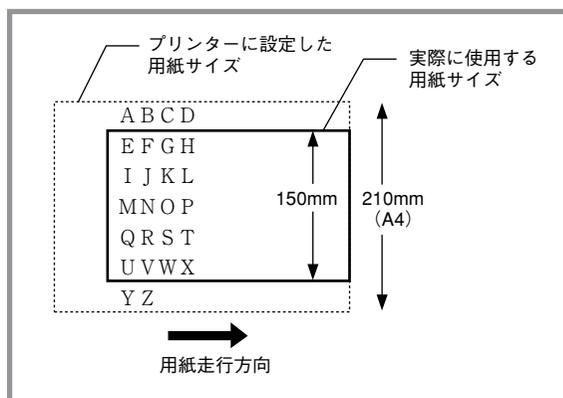
必要な余白の量は次のように算出してください。

$$\text{必要なスペース} = \frac{C - D}{2}$$

C: プリンターに設定されている用紙の幅

D: 実際に使用する用紙の幅

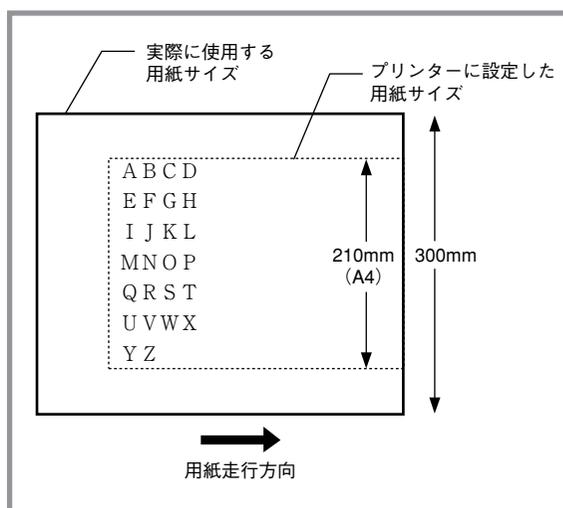
また、1ページあたりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。



- ランドスケープの行方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の上下には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙上下の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



80桁モード

本プリンターの印刷可能桁数は78桁(A4用紙、パイカモード時)です。したがって80桁のシリアルプリンターでバッファフル印刷を利用して改行を行うソフトウェアを本プリンターで使用した場合、印刷位置が異なることとなります。このため、本プリンターではバッファフルまでの印刷桁数を印刷範囲に広げることで、80桁にすることができま(A4ポートレートの場合のみ可能です)。設定は「A4ポートレートケタスウ」メニューまたはリモートパネルで行います。(本書130ページおよびユーザーズマニュアル[2/2]参照)

NPDLの初期状態

内部設定

次の条件で、プリンターの内部状態は初期状態になります。それぞれの条件下における初期状態については、次の表をご覧ください。

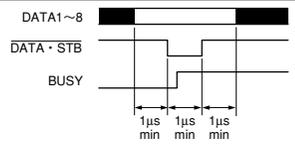
- 電源をONにしたとき
- 操作パネル上でリセットを実行したとき
→ 未印刷データをすべて消します。
- ソフトウェアリセット(ESC c1)を実行したとき
→ 印刷フォーマット、ホッパ指定は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- INPUT・PRIME信号を受信したとき
→ VFU印刷フォーマット、ホッパ指定、およびセレクト/ディセレクトは初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- パラメータリセット(ESC c8)を実行したとき
→ VFU、印刷フォーマット、ホッパ指定、セレクト/ディセレクト、動作モード、網かけ登録、1バイト文字登録などの登録内容は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。

内部状態		イニシャライズ (初期化) の種類				
		電源ON	操作パネル リセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
現在位置		第1行第1桁				
レフトマージン幅		メニュー設定に従う (工場設定000)				
ライトマージン幅		A3 : 113 A4 : 078 (80桁モード時 080) A5 : 053 B4 : 095 B5 : 067 レター : 080 はがき : 034				
水平タブセット		クリア				
VFU	FF長	A3 : 96行 A4 : 67行 A5 : 47行 B4 : 83行 B5 : 58行 レター : 63行 はがき : 33行			変化せず	
	ボトム領域	なし			変化せず	
	VTセット (CH2)	A3 : 第7、13、19、25、31、37、43、49、55、 61、67、73、79、85、91行目 A4 : 第7、13、19、25、31、37、43、49、55、 61、67行目 A5 : 第7、13、19、25、31、37、43行目 B4 : 第7、13、19、25、31、37、43、49、55、 61、67、73、79行目 B5 : 第7、13、19、25、31、37、43、49、55行目 レター : 第7、13、19、25、31、37、43、49、55、 61行目 はがき : 第7、13、19、25、31行目			変化せず	
	VTセット (CH3~CH6)	クリア			変化せず	
改行方向		順方向改行				
改行幅		1/6インチ				
セレクト/ディセレクト状態		セレクト状態			変化せず	
受信バッファ		クリア			クリアせず	
ページバッファ		クリア			クリアせず	
未印刷データ		—			印刷実行	
動作モード		メニュー設定に従う (エミュレーション/ページプリンタ)				
印刷方式		バイカモード				
コード表のシフト状態		カタカナ状態 (8ビットコード)				
1バイト文字フォント		メニュー設定に従う (標準/イタリック/クーリエ/ゴシック)				
漢字書体		メニュー設定に従う (内蔵明朝/内蔵ゴシック)				
漢字	文字サイズ	10.5ポイント				
	文字幅	3/20インチ				
半角	縦書き	解除				
	組文字	解除				
スクリプト文字		解除				
倍率指定		縦横とも解除				
修飾印刷		解除				

内部状態		イニシャライズ (初期化) の種類			
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME
アンダライン	指定	解除			
	線種	実線、一重線			
	線幅	2ドット			
網かけ	指定	解除			
	登録	クリア (未登録状態)			クリアせず
白黒反転		解除			
固定ドットスペース		左右とも0ドット			
縦方向文字位置オフセット		0ドット			
1バイト文字登録	パターン	ROMパターン			
	登録	クリア (未登録状態)			クリアせず
2バイト文字登録		クリア (未登録状態)			クリアせず
ドット切り替え		メニュー設定に従う (ネイティブモード/コピーモード)			
印刷フォーマット	印刷方向	ポートレート		変化せず	
	縮小モード	解除		変化せず	
コピー枚数	コード (FSx)	1枚		メニュー設定に従う	
	操作パネル	1枚		変化せず	
座標指定単位		1/240インチ			
描画座標		(X, Y) = (0, 0)			
全点アドレス印刷モード		解除			
フォーム	登録	クリア			
	参照	解除			
図形印刷モード		解除			
グラフ描画モード		絶対描画モード			
プリンタ単位		1/240インチ			
線分	線種	実線			
	線幅	1ドット幅			
	線長	P_1P_2 の対角線距離の4%			
	線端タイプ	断ち切り型			
	接続タイプ	マイタ接続			
	選択パターン	黒べた			
	登録パターン	クリア			クリアせず
ペン	座標	(X, Y) = (0, 0)			
	上下位置	アップ状態			
塗り潰しモード		解除			
塗り潰し	選択パターン	パターン番号0			
	登録パターン	クリア (未登録状態)			クリアせず
スケーリングポイント	P_1	(X, Y) = (0, 0)			
	P_2	各用紙サイズ、印刷フォーマットでの最大印刷位置			
スケーリング		解除			
ウィンドウ領域		各用紙サイズでの最大			
座標系反転		解除			
座標系回転		0度			
論理描画		OR			
バス構築モード		解除			
バスデータ		廃棄			
ホッパ指定		メニュー設定に従う (ホッパ1/ホッパ2/ホッパ3/ ホッパ4/ホッパ5)		変化せず	
ホッパ/トレイ給紙		ホッパ給紙		変化せず	
両面印刷		メニュー設定に従う (片面印刷/両面印刷)		変化せず	

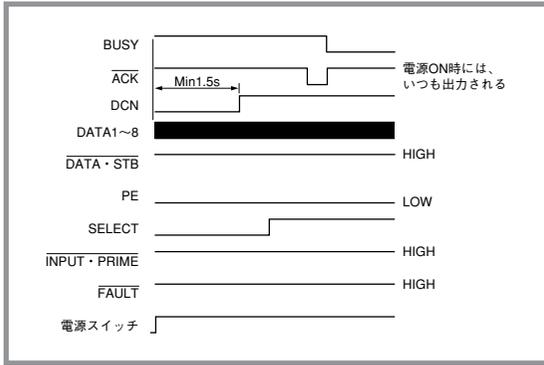
インターフェース

インターフェース信号の機能

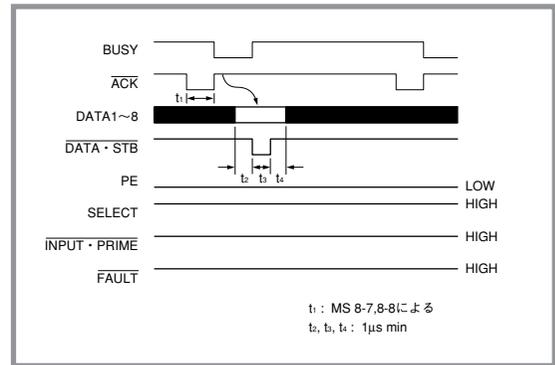
ピン番号	信号名	略称	プリンター ← コンピュータ	機能
1	データストロブ	DATA·STB	←	DATA 1~8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1~8を読み込む。パルス幅は最小1msとする。 
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	←	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁 (LSB)、DATA 8が最上位桁 (MSB) である。上図に示すDATA·STBの前後1msの範囲でDATA 1~8は確定していること。
10	アクノリッジ	ACK	→	受信したデータをプリンター内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA·STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットプライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約1msLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジー	BUSY	→	プリンターがデータ受信不可能 (BUSY中) 状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 <ul style="list-style-type: none"> ● SELECT信号がLOWのとき。 ● FAULT信号がLOWのとき。 ● INPUT·PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過し、かつINPUT·PRIME信号がHIGHになるまでの間。 ● データを受信してから、プリンター内へ取り込み完了するまでの間。 ● 操作パネルによるリセットを行ってから、内部初期化処理が終了するまでの間。 [補足] 本プリンターは印刷処理用の1ページ分バッファのほかに、受信用のバッファを持ち、データを受信するとまず受信バッファに書き込まれる。このため、データの処理が完了しないうちに次のデータを受信することができ、プリンターの動作状態とBUSY信号の状態は同期しない。また、受信用バッファが満杯になったときはBUSY信号はHIGHを保持し、印刷動作実行などにより余裕が生じたらLOWとなって次の受信を行う。
12	ペーパーエンド	PE	→	用紙がなくなったときHIGHになる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 設定されたサイズの用紙がホッパに存在せず、縮小もできない場合 ● 印刷データを受信していて、ホッパまたはトレイに用紙がない場合
13	セレクト	SELECT	→	プリンターがセレクト中 (HIGH) がディセレクト中 (LOW) を示す。セレクト中はデータの受信が可能である。 [セレクトになる条件] <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ONしたとき ● ディセレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリスイッチ1-5がOFFで、ディセレクト状態でDC1コードを受信したとき。 [ディセレクトになる条件] <ul style="list-style-type: none"> ● セレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリスイッチ1-5がOFFで、DC3コードを受信したとき。 ● PE=1のとき。 ● FAULT=0のとき。
14	オートフィード	AUTO FEED	←	双方向通信の時に機能する信号
15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネク	DCN	→	プリンターの電源がONになっていることを表す。
19~30	TWISTED PAIR GND	—	—	(信号グランドに接続されている。)
31	インプットプライム	INPUT·PRIME	←	この信号がLOWになるとプリンターは初期状態になる。パルス幅は15ms以上必要。SELECT信号がHIGH、LOWどちらであってもINPUT·PRIMEは有効。INPUT·PRIME信号による初期状態は電源ON時とほぼ同じ状態となる。
32	フォルト	FAULT	→	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。 <ul style="list-style-type: none"> ● SELECT=0のとき。 ● プリンターがエラーのとき。
33~35	—	—	—	将来の拡張用
36	セレクトイン	SELECT IN	←	双方向通信の時に機能する信号

タイムチャート

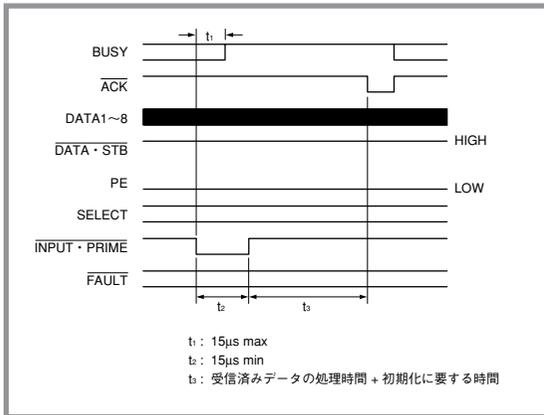
電源ON時



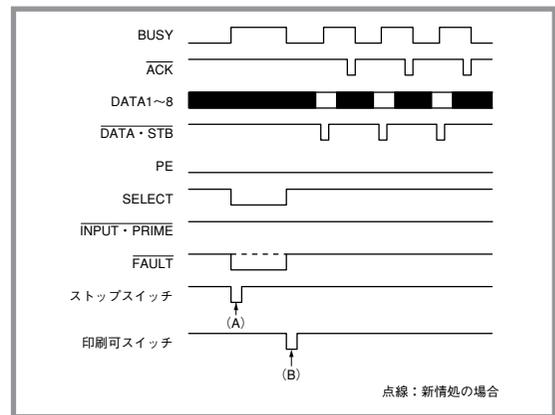
データ受信時



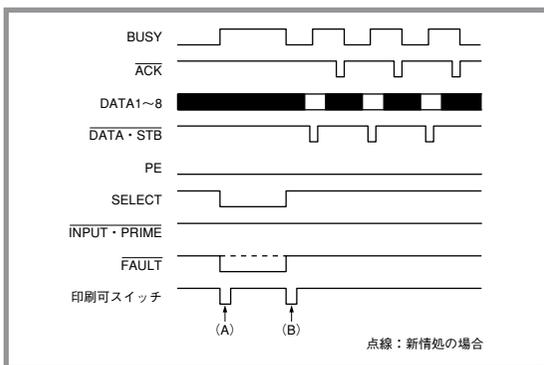
INPUT·PRIME受信時*1



[ストップ]スイッチによる一時停止



操作パネルによるセレクト、ディセレクトの切り替え

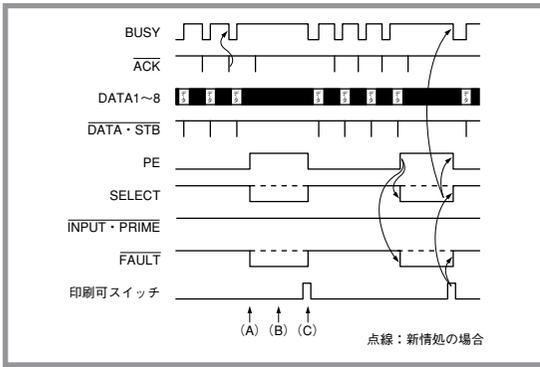


- (A) セレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。
- (B) ディセレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとセレクト状態になる。

- (A) セレクト状態で[ストップ]スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。
- (B) ディセレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとセレクト状態になる。

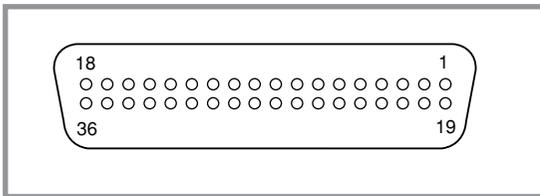
*1 選択されていないインタフェースにINPUT·PRIME信号を入れた場合、INPUT·PRIME信号は無効となり上記信号は反応しない。

用紙なし発生時*2



- (A) 印刷データ受信後、用紙なしを検出するとただちにディセレクト状態になる。
- (B) 用紙をセットしても状態は変化しない。
- (C) [印刷可]スイッチを押すことによりセレクト状態となり、前の続きの処理を再開する。

コネクタピン配置*3



16ピン、19ピン～30ピン、33ピンのピンの端子はプリンター内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA 1~8 (背面の インタフェース)	
DATA·STB	
INPUT·PRIME	

出力回路

信号名	回路形式
$\overline{\text{ACK}}$ $\overline{\text{FAULT}}$ BUSY PE SELECT DCN	

*2 用紙をセット後、1秒以上[印刷可]スイッチが押されなければ、[印刷可]スイッチが押されたのと同じ処理として自動復旧をする。

*3 各ピンの信号については151ページの説明をご覧ください。

コード区分	機能	制御コード	E	P
面制御コード	座標指定単位の設定 描画座標の指定 座標のコピー 罫線の描画 領域指定の網かけ 網かけパターンの登録 領域指定のイメージ印刷 全点アドレス印刷モードの設定 全点アドレス印刷モードの解除 フォーム登録の開始/参照 フォーム登録モードの解除	FS < FS e FS e FS l FS s FS r FS i FS a FS R FS u FS U	× × × × × × × × × ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
その他	セレクト状態の設定 ディセレクト状態の設定 201PLエミュレーションモードの設定 ページプリンタモードの設定 ソフトウェアリセット パラメータリセット 図形モードの設定 図形モードの解除 描画論理の指定 クリッピング領域の設定	DC1 DC3 FS d 160. FS d 240. ESC c1 ESC c8 FS Y FS Z FS " FS #	○ ○ ○ ○ ○ ○ × × × ×	× × ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

図形モード

図形モードに関する制御コードはすべてページプリンタモードの図形モード中で有効です。

コード区分	機能	制御コード	E	P
図形の座標系設定	スケーリングポイントの設定 座標系の設定 ウィンドウ領域の指定 回転角の設定 座標系の反転 プリンター単位の設定	IP SC IW RO RC SU	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
線に関する設定	線種の設定 線幅の設定 線端タイプの設定 線接続タイプの設定 線タイプの登録 線パターンの選択	LT LW LC LJ RL LP	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
塗りつぶしに関する設定	塗りつぶしモードの設定 塗りつぶしモードの解除 塗りつぶしパターンの選択 塗りつぶしパターンの登録 グレイレベルパターンの設定 描画論理の設定	XX1 XX0 PP RP SG PM	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
図形の描画	ペンを上げる ペンを下げる 直線の描画(絶対描画モード) 直線の描画(相対描画モード) ペンの移動(絶対描画モード) ペンの移動(相対描画モード) 自由曲線の移動(絶対描画モード) 自由曲線の移動(相対描画モード) 扇形の描画(絶対描画モード) 扇形の描画(相対描画モード) 円の描画 円弧の描画(絶対描画モード) 円弧の描画(相対描画モード) 円弧の描画(絶対座標) 円弧の描画(相対座標) 円弧の描画	PU PD PA PR MA MR BA BR FA FR CI AA AR AX AY AT	× × × × × × × × × × × × × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

コード区分	機 能	制御コード	E	P
図形の描画(続き)	楕円の描画	EL	×	○
	楕円弧の描画	ED	×	○
	楕円弧の描画(逆方向)	EN	×	○
	枠無し四角形の塗りつぶし(絶対位置指定)	RA	×	○
	枠無し四角形の塗りつぶし(相対位置指定)	RR	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし(絶対位置指定)	EA	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし(相対位置指定)	ER	×	○
	枠無し扇形の塗りつぶし	WG	×	○
	枠あり扇形の塗りつぶし	EW	×	○
	閉領域の塗りつぶし	PI	×	○
	パス構築モードの開始	NP	×	○
	パスの閉鎖	CP	×	○
	パス構築モードの終了	EP	×	○
	ストロークの描画	ST	×	○
	フィルの描画(非零則)	FL	×	○
	フィルの描画(偶奇則)	EF	×	○
	その他	イニシャライズ	IN	×
初期設定		DF	×	○
図形モード設定		FS Y	×	○
図形モード解除		FS Z	×	○

機能拡張制御コード

別売の「日本語ページプリンタ言語NPDL (Level 2) リファレンスマニュアル」に記載されていない機能を拡張した制御コードの一覧表を以下に示します。その後にそれぞれの機能を説明しています。

コード区分	機能	制御コード	E	P
漢字コード表設定	漢字コード表の設定	FS 05 F2	○	○
文字スタイル制御コード	1バイト文字サイズの設定	FS 07 S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS 07 S2	×	○
	1バイト文字縦横サイズの設定	FS 12 S1	×	○
	2バイト文字縦横サイズの設定	FS 12 S2	×	○
	文字明度の指定	FS \$	×	○
	漢字文字幅2/15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定	FS D	○	×
ページ制御コード	印刷方向の設定および縮小/拡大モード設定	FS f c1c2c3c4c5.	○	○
	縮小印字での設定	FS 05f	○	×
	両面印刷設定	FS '	○	○
面制御コード	フォーム登録の開始/参照	FS u	○	○
図形の描画	自由曲線の描画 (絶対座標モード)	BA	×	○
	自由曲線の描画 (相対座標モード)	BR	×	○
	楕円、楕円弧の描画	EL, ED, EN	×	○
行桁制御印刷コード	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
塗りつぶしに関する設定	グレイレベルパターンの設定	SG	×	○
バーコードの印刷	バーコードの印刷	FS`p1,p2,p3,p4,p5,p6,p7.d1d2d3d4. . .	○	○
カスタマバーコードの印刷	カスタマバーコードの印刷	FS 06 F2 -n1n2n3	○	○
文字セット制御コード	OCR-Bフォントの指定	FS 06 F1 -004	×	○
ソータ制御コード	ソータを制御するためのモード設定	FS% c1,p1,p2	×	○
楕円弧描画	楕円弧の描画	AV	×	○
弓形描画	弓形の描画	CV	×	○
扇形描画	扇形の描画	FV	×	○
角丸矩形描画	角丸矩形の描画	RB	×	○

漢字コード表切り替えのための制御コード

本プリンターは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の3つの漢字コード表に対応しています。これらをコンピューターから切り替えるために、以下の制御コードを使用します。

漢字コード表の設定

FS 05 F2

形式

(FS) (0) (5) (F) (2) (—) (c₁) (c₂)

c ₁ c ₂	漢字コード表
00	JIS 1978年版(JIS C6226-1978)
01	JIS 1983年版(JIS X0208-1983)
02	JIS 1990年版(JIS X0208-1990)

- c₁ c₂で漢字コード表を設定します。
- 本プリンターで印刷する文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理等の都合により多少字形が異なるものがあります。
- コンピューターが対応していないコード表を選択した場合には、コンピューターのディスプレイと印刷結果の文字が異なる場合があります。

記述例

JIS 1983年版を選択するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h46);
      CHR$(&h32);CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h31);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"05F2-01";
```

文字スタイル制御コード

1バイト文字サイズの設定

FS 07 S1

1バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形式

FS 0 7 S 1 - C₁ C₂ C₃ C₄

- C₁ C₂ C₃ C₄で文字サイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- C₁ C₂ C₃ C₄の有効範囲は0001~9999です。

記述例

文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h31);
      CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"07S1-0200";
```

2バイト文字サイズの設定

FS 07 S2

2バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形式

FS 0 7 S 2 - C₁ C₂ C₃ C₄

- C₁ C₂ C₃ C₄で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- C₁ C₂ C₃ C₄の有効範囲は0001~9999です。

記述例

文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h32);
      CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"07S2-0200";
```

1バイト文字縦横サイズの設定

FS 12 S1

1バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形式

FS 1 2 S 1 - c₁ c₂ c₃ c₄ - c₅ c₆ c₇ c₈

- c₁ c₂ c₃ c₄で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c₅ c₆ c₇ c₈で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001~9999。

記述例

縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h31);  
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);  
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"12S1-0500-0200";
```

2バイト文字縦横サイズの設定

FS 12 S2

2バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形式

FS 1 2 S 2 - c₁ c₂ c₃ c₄ - c₅ c₆ c₇ c₈

- c₁ c₂ c₃ c₄で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c₅ c₆ c₇ c₈で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001~9999。

記述例

縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h32);  
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);  
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"12S2-0500-0200";
```

テキストモードでの文字明度を指定します。

形式

FS \$ P1 .

- P1でテキストモードでの文字明度を指定します。
- P1の範囲は0~100が有効です。
- P1は0に近いほど黒くなり、100に近いほど白くなります。(P1=0で黒、P1=100で白)
- P1省略時およびP1が100より大きいときは、本コマンドは無効となります。

✓**チェック**

FS \$は形式、パターンの範囲ともに従来と同じですが、従来0~100のパラメータを白または黒のどちらかに解釈して印刷していたものが、本プリンターでは中間調に印刷できるようになりました。これにより従来よりも細かい明度表現が可能となります。

記述例

テキストモードでの文字明度を50に指定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h24);"50.";
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"50.";
```

全角漢字の文字幅を2/15インチ、文字サイズを9.5ポイントに設定します。

形式

FS D

記述例

```
LPRINT CHR$(&h1C); CHR$(&h44);
```

または

```
LPRINT CHR$(28); "D";
```

印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定

FS f

プリンターの印刷方向および縮小／拡大モードの設定を行います。

形式

FS f C₁ C₂ C₃ C₄ C₅ .

- C₁は印刷方向を設定します。

C ₁	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- C₂～C₅は縮小／拡大モードを設定します。本コマンドは従来縮小機能のみでしたが、本プリンターでは拡大機能が追加されました。パラメータの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

記述例

印刷方向をポートレートで、A4サイズの印刷データをA3用紙に拡大して印刷するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h66);"PA4A3.";
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"f";"PA4A3.";
```

拡大／縮小モードの設定

C ₂	C ₃	C ₄	C ₅	機能
L	P	B	4	帳票→B4
L	P	A	4	帳票→A4
U	P	A	4	A4×2→A4
U	P	B	5	B5×2→B5
A	3	B	4	A3→B4
A	3	A	4	A3→A4
A	4	A	3	A4→A3
A	4	B	4	A4→B4
A	4	B	5	A4→B5
B	4	A	3	B4→A3
B	4	A	4	B4→A4
B	4	B	5	B4→B5
B	5	A	4	B5→A4
B	5	B	4	B5→B4

形式

FS 0 5 f C₁ C₂ C₃ C₄

- C₁、C₂、C₃ で縮小率を設定します。
組み合わせは次の中から選択します。

C ₁ 、C ₂ 、C ₃	設定内容
1 0 0	縮小印字解除(原寸)
0 8 0	4/5縮小印字
0 6 7	2/3縮小印字

- C₄ で縮小基準位置を設定します。
設定は次の通りです。

C ₄	縮小基準位置
L	左端基準
C	中央基準

- すべての文字に対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印字します。
行の途中で指定した場合は、次の行から縮小印字します。
- 縮小印字は受信したデータを2/3または4/5に縮小して印字しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印字したいようなときに役立つ機能です。
- プリンターがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- はがきモード中、80桁モード中は本コマンドは無効です。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また文字によっては見づらくなるものがあります。

記述例

縮小率を4/5、左端基準で印字するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C); CHR$(&h30); CHR$(&h35);  
CHR$(&h66); "080L"
```

または

```
LPRINT CHR$(28); "05f"; "080L"
```

両面印刷を設定します。

形式

(FS) () (C₁) () (C₂) () (P₁) () (P₂) ()

- c₁ で印刷モードを設定します。

C ₁	印刷モード
S	片面印刷
B	両面印刷

- c₁ で片面印刷を指定した場合は、c₂ 以降のパラメータは無効になります。
- c₂ で両面印刷における用紙の印刷開始面を設定します。

C ₂	印刷面
F	表面
B	裏面

- c₂ を省略した場合は、表面を印刷開始面とします。
- P₁ で綴じしろを付加する位置を設定します。

P ₁	印刷面
1	長辺綴じ位置1
2	短辺綴じ位置1
3	長辺綴じ位置2
4	短辺綴じ位置2

- P₂ で綴じしろとして追加する余白量を1mm単位で設定します。範囲は、0 ≤ P₂ ≤ 20です。
- P₁、P₂を省略した場合、メニューの設定に従います。
- 本コマンドはページの先頭で使用してください。ページの途中で指定した場合は、改ページを行い、以前のページ用の紙をすべて排出した後で、本コマンドの設定に従った印刷を開始します。

記述例

印刷開始面が表面の両面印刷で、長辺綴じ1、余白量を10mmに設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C); CHR$(&h27); "B,F,1,10.;"
```

または

```
LPRINT CHR$(28); " "; "B,F,1,10.;"
```

フォーム登録の開始／参照

FS u

フォームデータの登録開始および参照を指示します。

形式

FS u C₁ , P₁ , C₂ .

- C₁ で登録か参照かを設定します。

C ₁	機能
1	フォーム登録モードを設定（フォーム登録を開始）
2	フォーム参照モードを設定

- P₁ でフォーム番号を指定します。省略時は1となります。指定範囲は1~100です。
- C₂ はC₁=1(フォーム登録モード)のときは必ず省略してください。C₁=2(フォーム参照モード)のときは、C₂ でフォーム参照の継続の有無を設定します。

C ₂	機能
省略	この制御コードが存在するページに対してフォームを描画（参照）します。現ページに対してのみ有効です。
S	この制御コードが存在するページ以降、解除が指定される間でのフォーム参照を継続します。
E	上記「S」で設定されたフォーム参照モードを解除します。

✓ チェック

MultiWriter 4050Mでは100面までの登録が可能です。実際にはメモリーの容量に依存しますが、オプションの増設RAMを装着することによってより多くのフォーム登録が可能となります。また従来フォームに登録できなかった図形モードデータ、領域指定網かけ、全点アドレス印刷データも登録可能になりました。

記述例

フォーム番号2にフォーム登録を行うとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h75);CHR$(&h31);CHR$(&h2C);"2";CHR$(&h2E);
または
LPRINT CHR$(28);"u1,2.";
```

自由曲線の描画(絶対座標モード)

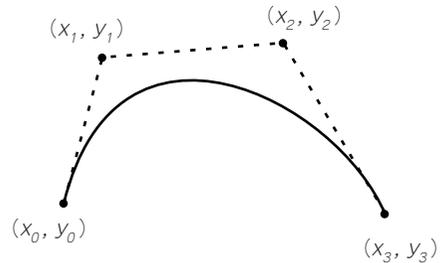
BA

曲線を絶対座標モードで描画します。

形式

B A $x_1, y_1, x_2, y_2, x_3, y_3$... $x_n, y_n ;$

- 現在の座標を (x_0, y_0) として (x_0, y_0) 、 (x_1, y_1) 、 (x_2, y_2) 、 (x_3, y_3) の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。



- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対してひとつの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは絶対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中(コマンドNP指定後)でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例

現在の座標位置から (x_1, y_1) 、 (x_2, y_2) 、 (x_3, y_3) を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h42);CHR$(&h41);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3";
```

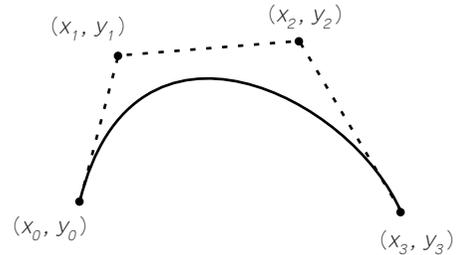
または

```
LPRINT "BA X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3";
```

曲線を相対座標モードで描画します。

形式 (B) (R) (x₁) (,) (y₁) (,) (x₂) (,) (y₂) (,) (x₃) (,) (y₃) ... (,) (x_n) (,) (y_n) ;

- 現在の座標を(x₀, y₀)として(x₀, y₀)、(x₁, y₁)、(x₂, y₂)、(x₃, y₃)の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。



- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点がいわれます。3つ目の座標に対してひとつの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは相対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中(コマンドNP指定後)でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例 現在の座標位置から(x₁, y₁)、(x₂, y₂)、(x₃, y₃)を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h42);CHR$(&h52);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3";
または
LPRINT "BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3";
```

楕円の描画

現在の座標位置を中心に楕円を描画します。従来のELコマンドに加え、楕円の回転を可能にしています。これにより斜楕円の描画を行えます。

形式 (E) (L) (r1) (,) (r2) (,) (θ) ;

- r1は楕円の長軸を、r2は楕円の短軸を示します。
- θは楕円の回転角度を示します。θは省略した場合0°とみなします。
- θ=360以上を指定した場合、360の剰余とみなします。またθは負の値も設定可能です。たとえば-1°は359°とみなします。
- 回転の方向は反時計回りです。
- r1, r2は線幅の1/2以下でなければなりません。
- r1, r2は下記の値以下でなければなりません。
400dpiで印刷する場合： 32767-400=32367 (約2055mm)
600dpiで印刷する場合： 32767-600=32167 (約1362mm)

記述例

長軸方向1000、短軸方向500の楕円を30°回転させて描画するとき

LPRINT CHR\$(&h45);CHR\$(&h4C);"1000, 500, 30:";

または

LPRINT "EL1000, 500, 30:";

楕円弧の描画

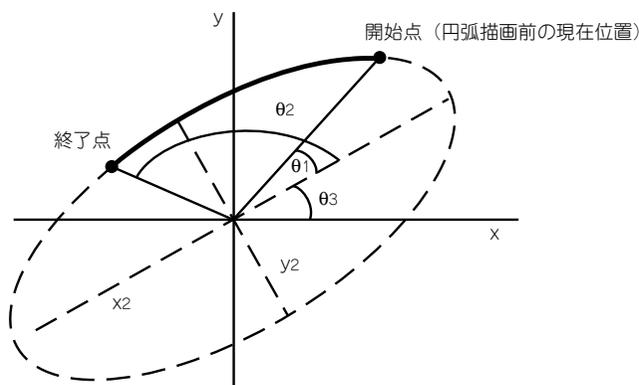
ED, EN

楕円弧を描きます(直線がはじめに引かれる場合があります)。

形式

(E)(D)(x₁)(,)(y₁)(,)(x₂)(,)(y₂)(,)(θ₁)(,)(θ₂)(,)(θ₃);

(E)(N)(x₁)(,)(y₁)(,)(x₂)(,)(y₂)(,)(θ₁)(,)(θ₂)(,)(θ₃);



- (x₁, y₁)は楕円の中心座標を示します。
- x₂とy₂はそれぞれx軸方向、y軸方向の長短軸の半径を示します。
- θ₁とθ₂はそれぞれ楕円弧の開始角度、終了角度を示します。0~359(度単位)が有効です。θ₂が省略された場合、欠けていない楕円を描画します。θ₁は省略できません。
- θ₃は楕円弧の回転角度を示します。θ₃で示された角度だけ、楕円そのものと楕円の開始、終了角度が回転します。θ₃が省略された場合、回転なしと解釈されます。
- 楕円の開始角度で示される開始点が現在位置と異なる場合、現在位置から楕円の開始位置まで直線が描画されます。欠けていない楕円の場合も同様です。
- 楕円描画後の現在位置は楕円弧の終了位置になります。
- EDコマンドの楕円弧の描画方向は、座標系コマンド(RC、RO)の設定に関わらず常に反時計回りになります。ENコマンドは常に時計回りに描画します。
- 指定角度が360を越えている場合は360で割った余りが使用されます。
- 指定角度に負の数を使用することができます。-1は359とみなします。

記述例

長中心点(100,100)、軸方向1000、短軸方向500で、開始角度15度、終了角度120度の楕円弧を反時計方向に30°回転させて描画するとき

LPRINT "ED100,100,1000,500,15,120,30:";



従来は楕円を回転(傾斜)させることができませんでしたが、EL、ED、ENの各コマンドに楕円の角度を指定するパラメータが追加され、任意の角度に回転させることができるようになりました。

2バイトコード文字の文字幅設定

FS p2

2バイトコード文字の文字幅(印刷ピッチ)を設定します。

形式

FS p 2 , p₁ / p₂ .

- p₁/p₂で文字幅を設定します。
- p₁は文字幅の分子、p₂は文字幅の分母を表します。
- p₂を240に設定したとき、p₁は1~240の値が有効となります。
- p₂を240以外の値に設定するときは、以下の組み合わせのみが有効です。

p ₁	p ₂	文字幅
1	5	1/5インチ
1	6	1/6インチ
1	10	1/10インチ
2	15	2/5インチ
3	20	3/20インチ



チェック

従来このコマンドは表に示す組み合わせにのみ設定可能でしたが、本プリンターでは1/240~240/240の設定が可能になりました。これにより、より細かな文字幅の設定が行えます。

記述例

2バイトコード文字の文字幅を1/8インチ(30/240)に設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h70);"2,30/240.";
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"p";"2,30/240.";
```

B

技術情報

グレイレベルパターンの設定

SG

フィル描画 (FL, EL) や閉領域塗りつぶし描画 (PI) で使用する塗りつぶしパターンを明度で設定します。

形式

$$S \ G \ n_1 \ , \ n_2 \ ;$$

- n_1, n_2 は明度を示します。

パラメータ	用途	明度
n_1	面分描画で使用	0~100
n_2	線分描画で使用	0~100

- n_1, n_2 の設定範囲は0(黒ベタ)から100(白)までです。(初期値は0です)
- n_1, n_2 とも省略すると本コマンド以前の内容が保存されます。
- 本コマンドでの設定は
 - ① 初期化動作(電源ON、リセット動作など)
 - ② イニシャライズコマンド(IN)実行
 - ③ 初期化を伴うコマンド(RC、SU、DF)の実行
 - ④ 塗りつぶしパターン選択(PP)の実行まで有効です。
- 塗りつぶしパターン選択コマンド(PP)が実行された場合、そのコマンドで指定されたパターンが選択されます。
- 線パターンとして黒ベタ以外を設定した場合、一般に線描画で閉領域が構成できないため閉領域塗りつぶし(PI)の使用は避けること。
- グレイの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。
- スクリーン角度は45°です。
- パラメータを省略したとき、いずれか一方でもパラメータを設定範囲外に指定した時は本コマンドは無効です。
- パラメータ値とパターンの関係は以下のとおりです。パターン番号は小数点第1位を四捨五入した値です。

$$\text{パターン番号} = \text{パラメータ} \times 63/100$$

(例) パラメータで70を指定するとき

$$70 \times 63/100 = 44.1$$

選択されるパターンはパターン番号44となります。

✓ チェック

SGは形式、パラメータの指定範囲ともに従来と同じですが、本プリンターでは64階調で表現しています。これにより従来よりも細かな明度表現が可能となります。

記述例

面分描画での明度を50、線分描画での明度を0(黒)に設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h53);CHR$(&h47);"50,0";
```

または

```
LPRINT "SG 50,0";
```

形式

FS ` () p₁ , () p₂ , () p₃ , () p₄ , () p₅ , () p₆ , () p₇ . () d₁ () d₂ () d₃ () d₄ ...

- p₁はバーコードの種類を設定します。
<201PLエミュレーションモード>

p ₁	バーコードの種類
0	1 NW-7のスタート/ストップキャラクタ設定
0	2 NW-7
0	3 JAN
0	4 CODE 39
0	5 INDUSTRIAL 2 OF 5
0	6 INTERLEAVED 2 OF 5

<ページプリンタモード>

p ₁	バーコードの種類
1	NW-7のスタート/ストップキャラクタ設定
2	NW-7
3	JAN
4	CODE 39
5	INDUSTRIAL 2 OF 5
6	INTERLEAVED 2 OF 5

- p₁の指定により、p₂~p₇、d₁~の値は変化します。
- p₂はバーコードに対するHRC(付加文字)の有無およびその位置を指定します。

p ₂	HRC
0	文字なし
1	文字を下につける
2	文字を上につける

- p₃はバーコードのモジュール幅をドット単位で指定します。

<201PLエミュレーション>

指定範囲：2≤p₃≤4(160dpi)

<ページプリンタモード>

指定範囲：4≤p₃≤10(400dpi)、4≤p₃≤15(600dpi)

- p₄はバーコードのワイド/ナローエレメント比を指定します。
p₄=30のみ有効
- p₅はバーコード高さをドット単位で指定します。

<201PLエミュレーション>

0≤p₅≤999(160dpi)

p₅が0の時は、高さを改行ピッチに設定します。したがって、改行ピッチの切り替えコマンドと組み合わせることにより1/120インチ単位での指定も可能となります。またバーコードの下にHRCがある場合は、実際に改行する幅はバーコードの高さ+HRCの高さです。

<ページプリンタモード>

指定範囲：

$10 \leq p_5 \leq 1665$ (400dpi 1ドット=約0.064ミリ なるべく150~300程度の値でご使用ください)

$10 \leq p_5 \leq 2498$ (600dpi 1ドット=約0.042ミリ なるべく150~300程度の値でご使用ください)

- p_6 はデータキャラクタの長さをバイト単位で指定します。
この値は、バーコードの種類ごとに下記のように制限されます。

p_1	有効な p_6
1	2
2	0~34
3	13または8
4	0~34
5	0~34
6	0~34 (偶数のみ)

- p_7 は p_3 、 p_5 の解像度を指定します。

<201PLエミュレーション>

省略してください。(160dpi)

<ページプリンタモード>

指定： $p_7=400$ (400dpi)、 $p_7=600$ (600dpi)

- d_1 、 d_2 、 d_3 、 d_4 ...はデータキャラクタまたはスタート/ストップキャラクタ($p_1=1$ のとき)です。
- グレイの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。

✓ チェック

バーコードをご使用になる際には次のことにご注意ください。

- 読み取り装置によっては、本プリンターで印刷したバーコードをうまく読み取れない場合があります。ご使用になる読み取り装置でバーコードを読み取れることを確認してからご使用ください。
- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大/縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。
- p_2 で指定されるHRCはOCR-Bフォントで印刷されます。ただし、OCR-Bフォントの最小ピッチは10CPIのため、HRCの幅の方がバーコードより広くなる場合があります。また、オートリターン有効時でも、印刷範囲から越えた場合にはデータを読み捨てます(オートリターンしません)。
- バーコードの印刷を行う際には、次のコマンドは無効となります。
 - 縦横拡大指定 (FS m)
 - 網かけ、反転 (FS n)
 - アンダーライン/オーバーライン (ESC X)
 - 縦方向オフセット (FS t)
 - 横野線 (FS :))
 - 固定ドットスペース (FS w)

記述例

$p_1=1$ 、スタートキャラクタを“a”、ストップキャラクタを“b”とするとき

```
LPRINT CHR$( &h1C ); CHR$( &h60 ); "1,,,,,2,..ab";
```

または

```
LPRINT CHR$( &h1C ); "1,,,,,2,..ab";
```

補足

バーコードの種類によって、パラメータの意味が少しずつ異なります。

- p1=1のとき(NW-7のスタート/ストップキャラクタを指定します。)
 - ー バーコードの印刷ではなく、バーコードの種別NW-7の仕様に従い、NW-7で付加されるスタート/ストップキャラクタの設定を行います。
 - ー スタート/ストップキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。(初期状態は“a”)
a b c d e n t * A B C D E N T
また、p2~p5およびp7は省略されます。
記述例 スタートキャラクタを“a”、ストップキャラクタを“b”とするとき
LPRINT CHR\$(&h1C); "1,,,,,2,.ab";
- p1=2のとき(NW-7)
 - ー p3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p3×p4/10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
 - ー p6=0のときは、スタート/ストップキャラクタのみ印刷します。
 - ー データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - \$. / : +
 - ー データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印刷します。
- p1=3のとき(JAN)
 - ー p3の値が1モジュールの幅に対応し、他の幅のバーおよびスペースはこの整数倍の幅となります。
 - ー p6は13または8とし、13のときはJAN標準のバーコード、8のときはJAN短縮のバーコードを印刷します。
 - ー データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 - ー JAN標準でデータキャラクタの1バイト目(フラグキャラクタ)が規定外のときは、データキャラクタも含めて読み捨てます。
 - ー レフトガードバー、サイドガードバー、ライトガードバーは自動的に付加します。
- p1=4のとき(CODE-39)
 - ー p3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p3×p4/10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
 - ー p6=0のときは、スタート/ストップキャラクタ(“*”固定)のみ印刷します。
 - ー データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - \$. / + % SP(スペース)
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
 - ー データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印刷します。
- p1=5のとき(INDUSTRIAL 2 OF 5)
 - ー p3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p3×p4/10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
 - ー p6=0のときは、スタート/ストップキャラクタのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクタがないため印刷されません。
 - ー データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 - ー データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印刷します。
- p1=6のとき(INTERLEAVED 2 OF 5)
 - ー p3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p3×p4/10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
 - ー p6=0のときは、スタート/ストップキャラクタのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクタがないため印刷されません。
 - ー データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 - ー 2つのデータキャラクタを1組のバーコードデータとして印刷します。
 - ー データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印刷します。

カスタマーバーコードはJANコード等のバーコードとは異なり、2バイト文字として印刷を行います。このため、カスタマーバーコードの印刷には、まず2バイト文字書体の選択を行う必要があります。

2バイト文字書体の選択

形式

FS 0 6 F 2 - $n_1 n_2 n_3$

- n_1 、 n_2 、 n_3 は3桁の文字表現の10進数であり、書体番号を示します。但し、例外としてCLR [0×43 4c 52] のパラメータは指定可能です。
- 初期状態ではプリンタのメニュー機能による設定が有効となります。
- 他の書体が選択されるまで、現在の書体選択が有効です。
- 初期化処理により書体は初期状態に戻ります。

カスタマーバーコードの書体番号を次のように割り当てます。

851：カスタマーバーコード書体(回転なし)
852：カスタマーバーコード書体(反時計回り90度回転)
853：カスタマーバーコード書体(反時計回り180度回転)
854：カスタマーバーコード書体(反時計回り270度回転)
CLR：初期状態の書体に戻す。(メニュー設定に従う)

- 2桁目の数字‘5’は文字の太さを指定するパラメータですが、カスタマーバーコード書体の場合は意味を持ちません。
- 8から始まる書体番号において上記に合致しない場合は、カスタマーバーコード書体への切り替えは行わず読み捨てます。その際、書体選択の初期化は行いません。(例：850、861、867)

✓ チェック

- 書体番号851を選択して縦書きで印刷すると書体番号852の印刷結果と等しくなります。同様に書体番号852の縦書きは書体番号853、書体番号853の縦書きは書体番号854、書体番号854の縦書きは書体番号851となります。
- 201PL環境(シリアルプリンタのエミュレーション)で使用する場合、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来のサポートされておりませんが、カスタマーバーコード書体選択時のみ、201PL環境でも有効となります。カスタマーバーコード以外の「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来どおり無効コマンドとなります。

✓ チェック

バーコードをご使用になる際には次のことをご確認ください。

- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大/縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。
- カスタマーバーコード自体の規格については郵政省のマニュアルを参照してください。

カスタマーバーコードのキャラクタ指定

カスタマーバーコードの21種のキャラクタは次の文字コードを割り当てます。

数字('0'～'9')	: 2330h～2339h(数字の'0'～'9')
ハイフン	: 215 Dh(マイナス記号'－')
英字用制御コード(CC1～CC3)	: 2361h～2363h(小文字アルファベットの'a'～'c')
予備用制御コード(CC4～CC8)	: 2364h～2368h(小文字アルファベットの'd'～'h')
スタートコード(STC)	: 2163h(不等号'<')
ストップコード(SPC)	: 2164h(不等号'>')

上記外の文字コードが指定された場合は全角スペースに置き換えて印刷します。

ヒント

カスタマーバーコードのサイズの指定

カスタマーバーコードの仕様によると、読み取りのためにはバーコードパターンを文字とみなしたときにその大きさを8ポイントから11.5ポイントまでの範囲にする必要があります。(この範囲内で任意の値を指定できます)

一方、プリンターはカスタマーバーコードといえども文字であるため、NPDL2、201PLそれぞれで定義された文字制御に関する全ての機能を有効とします。(例えば、上記範囲から外れる文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾など)

このため、カスタマーバーコードの印刷を行うAPは適切な印刷結果が得られるよう留意が必要です。また、プリンター側の機能で縮小や拡大を指定しての印刷においても適切な印刷結果が得られなくなります。

形式

FS 0 6 F 1 - 0 0 4

1バイト文字としてOCR-Bフォントを選択します。

OCR-Bフォントについて

本プリンターはOCR-Bフォントを内蔵しており、各種アプリケーションから指定して印刷することができますが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

- OCR-Bフォントは大きさが限定されています。本プリンターの場合10CPI(12ポイント、パイカサイズ)のみでご使用になれます。それ以外の文字サイズは指定しないでください。また文字の拡大/縮小、ページの拡大/縮小を行うと印刷できません。
- OCR-Bフォントの印刷は本プリンターのNPD Lモードでのみ可能です。またOCR-Bフォントの指定はアプリケーションソフトから行う必要があります。
- WindowsからOCR-Bフォントを使用する場合はいずれかの方法で指定します。

① アプリケーションのフォント選択で「OCR-Bフォント」を選択します。

このとき画面上は他のフォントを使用して表示されます。なお文字のサイズは必ず12ポイントを指定してください。またボールド、イタリック(斜体)、アンダーラインなどの文字スタイルを設定しないでください。

② アプリケーションのフォント選択の中に「OCR-B」というプリンタフォントがない場合は、本プリンタードライバーの「TrueTypeフォントのプリンタフォントへ置き換え」機能を使用して印刷します(詳細はユーザーズマニュアル[2/2]参照)。

なおOCR-Bフォントに置き換えるフォントは「Courier New」等の固定ピッチの英文フォントで指定してください。また置き換えるフォントによっては文字のピッチがOCR-Bフォントと合わないため、OCR読み取り装置で読み取れないことがあります。特にプロポーショナルフォントには置き換えないでください。和文フォントは置き換えるフォントとして指定できますが、実際に置き換えることができるのは半角英数文字だけです。

- OCR-Bフォントは、OCR読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- トナーが少なくなり印刷にかすれなどがある場合には、OCR読み取り装置でうまく読み取れない場合があります。
- トナー節約機能は使用しないでください。OCR読み取り装置がうまく読み取れません。

コピー枚数の設定およびソータを制御するためのモード設定 FS %

形式

FS % c₁ , p₁ , p₂ ○

- c₁でソータの機能を設定します。
- p₁で使用グループ番号を設定します。
- p₂で排出するピン番号を設定します。
- c₁によりソータ制御モードを設定します。

c ₁	制御モード
S	ソートモード
C	コピーモード
B	ピンセレクトモード
T	スタックモード
E	JOB終了

- c₁=Eのとき
 - ー ソータ制御を終了してそれまでの設定を解除します(メニューで設定されたモードになります)。
 - ー p₁~p₂のパラメータは無効となります。
- p₁はグループ番号を指定する。
本プリンターでは、1固定です。
- p₂でピン番号を指定する。
指定可能範囲：1≤p₂≤10
- p₂はc₁の設定によって下記のように機能します。

c ₁	p ₂ の機能
S	ソートを開始する最初の排出先
C	コピーを開始する最初の排出先*
B	排出先のピン番号
T	無効
E	無効

* 本プリンターではピン1固定です。

- 特記事項
 - ー 本制御コードを受けた場合、すでに現在ページに印刷データがあるときは改ページを行ない、以前のページを排出した後で、本指定に従った印刷を開始します。
 - ー 本制御コードは、ページ先頭で使用してください。ページ先頭以外で使用した場合、印刷データがある場合は上記の通り排出し、印刷位置はページの先頭(TOF)位置となります。
 - ー 本コマンドは、ソータが装着されているときのみ有効です。
 - ー ソータが未装着のときは、ピリオドまで読み捨てます。
- パラメータの省略
 - ー p₁が省略された場合、p₁=1(本プリンターでは、p₁は1固定のため)が指定されたものとして扱います。
 - ー p₂が省略された場合、一番小さい番号のピン(本プリンターでは、グループ番号が1固定であるため常に1ピン)が選択されます。
- パラメータ(c₁,p₁,p₂)が不正な場合、コマンドを無効としピリオドまで読み捨てます。

記述例

2ページのデータを3部、ソートモードで印刷させるときで、ソートを開始する最初の排出先をピン1に設定したとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h25);"S,1,1."
```

または

```
LPRINT CHR$(28);CHR$(37);"S,1,1."
```

楕円弧の描画

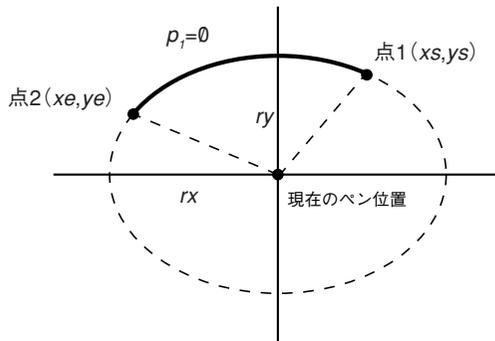
矩形領域に内接する楕円弧を描画します。

形式 `(AV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1;)`

パラメータ

- ① rx x半径
- ② ry y半径
- ③ xs 点1のx座標(絶対座標)
- ④ ys 点1のy座標(絶対座標)
- ⑤ xe 点2のx座標(絶対座標)
- ⑥ ye 点2のy座標(絶対座標)
- ⑦ p_1 描画方向(省略可)

- 現在のペン位置を中心とする半径 rx 、 ry の楕円と、中心と点1(xs 、 ys)を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2(xe 、 ye)を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画方向に従い描画します。
- $p_1=0$ の時、反時計回り
 $p_1=1$ の時、時計回り
- 省略時は反時計回りになります。
 p_1 に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点と同じ場合、楕円を描画する。
- 求めた開始点あるいは終了点が中心点と同じ場合、楕円弧を描画しません。
- 点1、点2の座標(プリンター座標系)が-32768~32767の範囲内でないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-(解像度)より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2>半径の場合は、線幅/2=半径になるように線幅を丸めます。



記述例

現在のペン位置を中心とする半径 rx 、 ry の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h41); CHR$(&h56); rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; ";
または
LPRINT " AV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; "; "
```

矩形領域に内接する楕円弧を基に弓形を描画する。

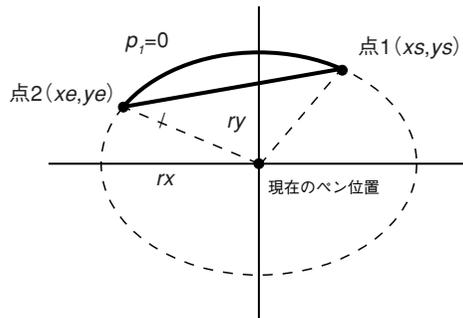
形式

$$C(V) (rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2);$$

パラメータ

- ① rx x半径
- ② ry y半径
- ③ xs 点1のx座標(絶対座標)
- ④ ys 点1のy座標(絶対座標)
- ⑤ xe 点2のx座標(絶対座標)
- ⑥ ye 点2のy座標(絶対座標)
- ⑦ p_1 描画モード
- ⑧ p_2 描画方向(省略可)

- 現在のペン位置を中心とする半径 rx 、 ry の楕円と、中心と点1(xs 、 ys)を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2(xe 、 ye)を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に弓形を描画します。
- $p_1=0$ の時、輪郭のみ(線種パターンに従って描画する。)
- $p_1=1$ の時、塗りつぶしのみ
- $p_1=2$ の時、輪郭+塗りつぶし
- p_1 に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- $p_2=0$ の時、反時計回り。
- $p_2=1$ の時、時計回り。
- 省略時は反時計回りになります。
- p_2 に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、弓形を描画しません。
- 点1、点2の座標(プリンター座標系)が-32768~32767の範囲内がないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-(解像度)より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2 > 半径の場合は、線幅/2=半径になるように線幅を丸めます。



記述例

現在のペン位置を中心とする半径 rx 、 ry の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする弓形を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h43); CHR$(&h56); " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "
```

または

```
LPRINT "CV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "
```

矩形領域に内接する楕円弧を基に扇形を描画する。

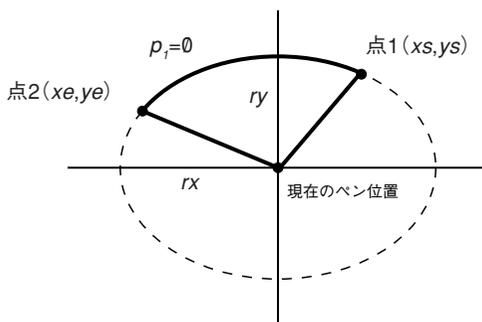
形式

`F V rx , ry , xs , ys , xe , ye , p1 , p2 ;`

パラメータ

- ① rx x半径
- ② ry y半径
- ③ xs 点1のx座標(絶対座標)
- ④ ys 点1のy座標(絶対座標)
- ⑤ xe 点2のx座標(絶対座標)
- ⑥ ye 点2のy座標(絶対座標)
- ⑦ p_1 描画モード
- ⑧ p_2 描画方向(省略可)

- 現在のペン位置を中心とする半径 rx 、 ry の楕円と、中心と点1(xs 、 ys)を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2(xe 、 ye)を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に扇形を描画します。
- $p_1=0$ の時、輪郭のみ(線種パターンに従って描画します。)
 $p_1=1$ の時、塗りつぶしのみ
 $p_1=2$ の時、輪郭+塗りつぶし
 p_1 に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- $p_2=0$ の時、反時計回り。
 $p_2=1$ の時、時計回り。
 省略時は反時計回りになります。
 p_2 に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点と同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、扇形を描画しません。
- 点1、点2の座標(プリンター座標系)が-32768~32767の範囲内不在とき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-(解像度)より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2>半径の場合は、線幅/2=半径になるように線幅を丸めます。



記述例

現在のペン位置を中心とする半径 rx 、 ry の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする扇形を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h46); CHR$(&h56); " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
または
LPRINT "FV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
```

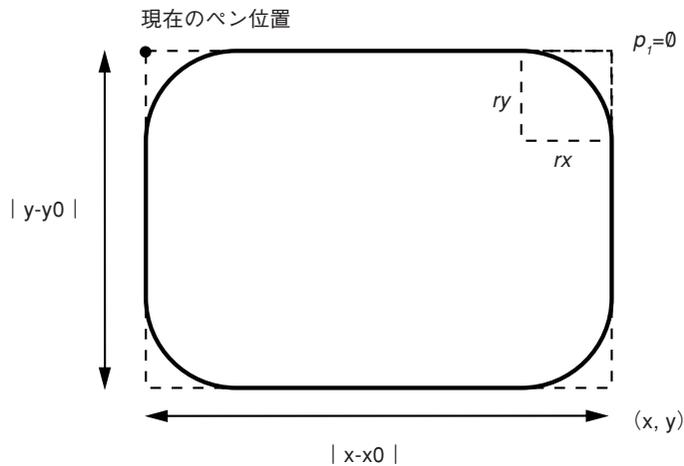
指定された2点を基に角丸矩形を描画する。

形式 (R)(B)(x)(,)(y)(,)(rx)(,)(ry)(,)(p1);

パラメータ

- ① x 矩形の対角のx座標(絶対座標)
- ② y 矩形の対角のy座標(絶対座標)
- ③ rx 角丸のx半径
- ④ ry 角丸のy半径
- ⑤ p_i 描画モード

- 現在のペン位置からx、yで示される矩形の角に半径rx、ryの1/4楕円を描画します。
- p_i=0の時、輪郭のみ(線種パターンに従って描画します。)
- p_i=1の時、塗りつぶしのみ
- p_i=2の時、輪郭+塗りつぶし
- p_iに0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- |x-x0| > 2 × rxかつ|y-y0| > 2 × ryのとき角丸めを行い、それ以外は角丸めを行いません。
- x、y半径が32767 - 解像度を超える場合は、32767 - 解像度に丸める。
- 対角点の座標(プリンター座標系)が-32768~32767の範囲内不在とき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2 > 半径の場合は、線幅/2=半径になるように線幅を丸めます。



記述例

現在のペン位置から x、yで示される矩形に半径 rx、ryの角丸矩形を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h52); CHR$(&h42); " x, y, rx, ry, p1;";
```

または

```
LPRINT " RB x, y, rx, ry, p1;";
```

文字の種類

内蔵文字の種類

表中の「○」と「×」は、各書体においてその文字の種類が内蔵されているか(○)内蔵されていないか(×)を示します。

1バイト系文字

文字の種類	標準/クーリエ/ゴシック/イタリック
英数字・記号 96種 (スペース、0を含む)	○
カタカナ・記号 63種	○
ひらがな 55種	○
CGグラフィック 56種	○
各国文字 15種	○

2バイト系文字

文字の種類	明朝体 アウトライン	ゴシック体 アウトライン
記号 96種 (スペースを含む)	○	○
英数字 62種	○	○
ひらがな 83種	○	○
カタカナ 86種	○	○
ギリシャ文字 48種	○	○
ロシア文字 66種	○	○
半角文字 212種 (スペースを含む)	○	○
JIS第一水準漢字 2965種	○	○
JIS第二水準漢字 3384種	○	○

この表はJIS X6226-1978準拠していますが、JIS X0208-1983、JIS-X0208-1990への切り替えも可能です。

文字間隔

文字種	文字サイズ	文字間隔 (インチ)
1バイト系文字	パイカ	1/10
	エリート	1/12
	コンデンス	約1/17
	プロポーショナル	約1/27~1/10
2バイト系文字	7ポイント*	1/10
	10.5ポイント**	約1/6.66
	12ポイント	1/6

* 正確には7.2ポイントです。

** 正確には10.8ポイントです。

1バイト系文字

文字種			ドット構成 (ボディフェース) <縦×横> (ドット)	文字寸法 (ボディフェース) <縦×横>(mm)	
1バイト系文字	標準	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	56 × 40	3.39 × 2.54
			エリート	45 × 34	2.82 × 2.12
			コンデンス	32 × 24	1.98 × 1.48
			プロポーショナル	54 × A*	3.39 × B*
		CGグラフィック	パイカ	54 × 40	3.39 × 2.54
			エリート	45 × 34	2.82 × 2.12
			コンデンス	32 × 24	1.98 × 1.48
			プロポーショナル	54 × 40	3.39 × 2.54
	スクリプト	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	27 × 40	1.69 × 2.54
			エリート	23 × 34	1.41 × 2.12
			コンデンス	16 × 24	0.99 × 1.48
			プロポーショナル	27 × A*	1.69 × B*
		CGグラフィック	パイカ	27 × 40	1.69 × 2.54
			エリート	23 × 34	1.41 × 2.12
			コンデンス	16 × 24	0.99 × 1.48
			プロポーショナル	27 × 40	1.69 × 2.54

* プロポーショナルの横のサイズは文字ごとに異なります。
A : 15~37ドット(400dpi)、23~55ドット(600dpi) B : 0.95~2.33mm

2バイト系文字、グラフィック

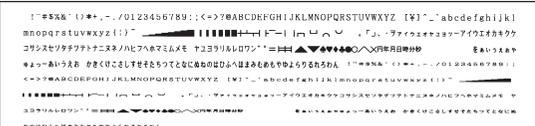
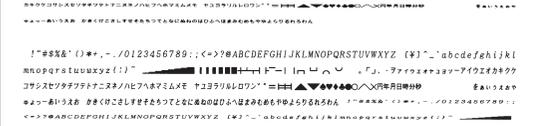
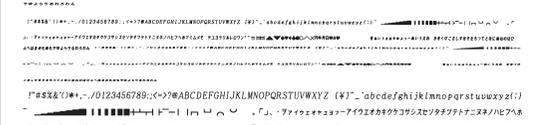
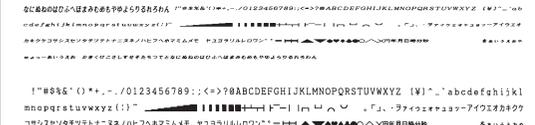
文字種		ドット構成 (ボディフェース) <縦×横> (ドット)	文字寸法 (ボディフェース) <縦×横>(mm)	
2バイト系文字	7ポイント	全角	40 × 40	2.54 × 2.54
		半角	40 × 20	2.54 × 1.27
	10.5ポイント	全角	60 × 60	3.81 × 3.81
		半角	60 × 30	3.81 × 1.91
	12ポイント	全角	67 × 67	4.23 × 4.23
		半角	67 × 34	4.23 × 2.12
ドット列印刷	40ドット	67 × n	4.23 × m	

テスト印刷のプリント結果

次にテスト印刷とステータス印刷のプリント結果例を示します。プリント結果はA4サイズの用紙に印刷したものを33%に縮小しました。

テスト印刷

テスト印刷では、1バイト系標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの4フォントと、各フォントのパイカ文字、エリート文字、コンデンス文字、プロポーショナル文字、2バイト系の7ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分と2バイト系の10.5ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分を順次印刷します。

	←1バイト系	標準	パイカ文字
	←1バイト系	標準	エリート文字
	←1バイト系	標準	コンデンス文字
	←1バイト系	標準	プロポーショナル文字
	←1バイト系	イタリック	パイカ文字
	←1バイト系	イタリック	エリート文字
	←1バイト系	イタリック	コンデンス文字
	←1バイト系	イタリック	プロポーショナル文字
	←1バイト系	クーリエ	パイカ文字
	←1バイト系	クーリエ	エリート文字
	←1バイト系	クーリエ	コンデンス文字

ステータス印刷

ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、本プリンターの状態が印刷されます。オプションを接続した後の確認にご使用ください。次にステータス印刷の結果例を示します。

** プリンタ設定環境 **

Version

エンジン : 00. 00 00000000
コントローラ : 00. 00

オプション

HDDオプション
フィニッシャ
LANボード
両面印刷ユニット

給紙構成

ホッパ1 : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター)
ホッパ2 : A4 (A3、A4、B4、B5、レター)
ホッパ3 : A4 (A3、A4、B4、B5、レター)
ホッパ4 : A4 (A4、B5、レター)
ホッパ5 : A4 (A4、B5、レター)
トレイ : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき)

動作モード

サポート言語 : NPD L
NICポート I/F : NPD L
セントロポート I/F : NPD L

メモリ

メモリ容量 : 16MB/CPU (合計32MB)
メモリ割り当て : 標準

メモリスイッチ設定

	12345678	12345678	12345678	12345678			
MSW1	: 00000000	MSW2	: 00000000	MSW3	: 00000000	MSW4	: 00000000
MSW5	: 00000000	MSW6	: 00000000	MSW7	: 00000000	MSW8	: 00000000

1 バイト系内蔵フォント

Standard	: PICA ELITE CONDENSE	PROPORTIONAL
Italic	: PICA ELITE CONDENSE	PROPORTIONAL
Courier	: PICA ELITE CONDENSE	PROPORTIONAL
Gothic	: PICA ELITE CONDENSE	PROPORTIONAL

2 バイト系内蔵フォント

書体番号	ファイル名	フォント名
031	NMI3_CF	FontAvenue明朝体-L
251	NGO5_CF	FontAvenueゴシック体-M

* ステータス印刷の中で表記しているメモリー容量は1CPUあたりの値です。

文字コード表

本プリンターは、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。

1バイト系コードは、メモリスイッチ1-1~1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。

2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角(普通の漢字)の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR		
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	-
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	—	—	—	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	+
90	⌠	⌡	⌢	⌣	⌤	⌥	⌦	⌧	⌨	〈	〉	⌫	⌬	⌭	⌮	ノ
A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
B0	—	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	°	
E0	＝	≠	≡	≡	▲	▼	▼	▼	◆	♥	◆	♣	●	○	/	\
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒								

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR		
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	-
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	—	—	—	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	+
90	⌠	⌡	⌢	⌣	⌤	⌥	⌦	⌧	⌨	〈	〉	⌫	⌬	⌭	⌮	ノ
A0		。	「	」	、	・	を	あ	い	う	え	あ	や	ゆ	よ	っ
B0	—	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	°	
E0	＝	≠	≡	≡	▲	▼	▼	▼	◆	♥	◆	♣	●	○	/	\
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒								

国別相違点

注 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	\$	@	[¥]	^	`	{	:	}	~
アメリカ	#	\$	@	[\]	^	`	{	:	}	~
イギリス	£	\$	@	[\]	^	`	{	:	}	~
ドイツ	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü

- 注1~12 各国特殊文字が入ります(メモリースイッチ1-1~1-3で切り替えます)。
 注13 8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。
 注14 A~D行はひらがなモード(ESC &で指定)の場合はひらがな文字、カタカナモード(ESC Sで指定)の場合はカタカナ文字になります。
 注15 0、1行は制御コードです。
 注16 0、1行の空欄は無視されます。2~F行の空欄はスペース(SP)として処理されます。
 注17 3行、0列の「0」の印刷字体はメモリースイッチ2-1により「0」に変更できます。

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J”のコードは0040+A=004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース(SP)です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	:	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[¥]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}		
0080	。	「	」	、	・	を	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	っ	
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0	。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ッ	
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	。	。
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	。	。

全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。本プリンターでは、制御コードによってコード表をJIS 1978年版/JIS 1983年版およびJIS 1990年版の切り替えることもできます。Windows環境から印刷するとWindowsの設定に従います。ただし、デザイン処理などの都合により、Windows上の字形と一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜”のコードは3020+1=3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース(SP)です。

漢字コード表(全角文字)(1/5)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120		、	。	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
2130		、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
2140		、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
2150		{	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	+	-	±	×
2160		÷	=	≠	<	>	≤	≥	∞	∴	♂	♀	°	'	"	℃
2170		\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇
2220		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	←	→	↑	↓	=	
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
2340	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
2350	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
2360	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
2370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
2420	あ	い	う	え	え	お	か	が	き	ぎ	く					
2430	ぐ	け	こ	ご	さ	ざ	し	じ	ず	せ	ぜ	そ	た			
2440	だ	ち	っ	つ	づ	て	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は		
2450	ば	び	び	び	ふ	ぶ	へ	べ	へ	ぼ	ぼ	ま	み			
2460	む	め	も	や	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ			
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520	ァ	アイ	イ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク			
2530	グ	ケ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ			
2540	ダ	チ	ツ	ツ	テ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ			
2550	パ	ピ	ピ	プ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ポ	ポ	マ	ミ			
2560	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ			
2570	キ	エ	ン	ヴ	カ	ケ										
2620	A	B	Г	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	
2630	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
2640	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720	A	B	B	Г	Д	Е	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н		
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Ш	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750	a	b	b	Г	Д	Е	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н		
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	ш	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥	
3030	旭	葦	鱒	梓	庄	翰	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	
3040	粟	裕	安	庵	按	暗	案	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	匪	
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	萎	衣	謂	違	遣	医	井	域	育	郁	磯	一	耄	益	逸	
3070	稻	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	姻	引	飲	淫	胤	蔭		
3120	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鶉	窺	丑	
3130	確	白	渦	嘘	唄	蔚	蔚	姥	既	浦	瓜	閨	嚙	云	運	
3140	雲	荏	餌	覲	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	顛	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	閱	複	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	濱	炎	焰	煙	燕	猿	縁
3170	艶	苑	蘭	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奧	往	応	
3220	押	旺	横	欧	殿	王	翁	鶯	鶯	鷗	黃	岡	沖	荻	億	
3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下	化	仮	何
3240	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
3270	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改	
3320	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	効	
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	蓋	街	該	鎧	骸	涅	馨	蛙	
3340	垣	柿	蟻	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	攪	格	核	穀	獲	確	穫
3350	覚	角	赫	較	郭	闊	隔	革	学	岳	榮	額	顎	掛	笠	檉
3360	櫃	梶	鰻	瀉	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯉
3370	叶	柁	樺	鞆	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	嚙	鴨	栢	茅	萱	
3420	粥	刈	苜	瓦	乾	冠	冠	寒	刊	勘	勤	卷	喚	堪	姦	
3430	完	官	寬	干	幹	患	憤	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歎	
3440	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	伍	翰	肝	艦
3450	莞	觀	諫	貫	還	鑑	閑	閔	閔	陷	韓	館	館	丸	含	岸
3460	巖	玩	癌	眼	岩	贗	賈	頑	頑	顏	願	企	伎	危	喜	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3520	機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	儀	疑	
3540	祇	義	蟻	誼	議	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	
3550	黍	却	客	脚	虐	並	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	渠	灸	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	亨	京	
3620	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強	
3630	疆	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	蕎	郷
3640	鏡	響	響	驚	仰	櫻	曉	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅	
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	茵	衿	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	驅	駝	
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3720	掘	窟	杏	靴	轡	窪	熊	限	彙	栗	綠	桑	鍬	勲	君	
3730	薰	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	徑	惠	慶	慧	慧	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系
3750	經	繼	繫	野	荖	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎	鯨
3760	劇	戟	擊	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

B 技術情報

漢字コード表(全角文字)(2/5)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820	檢	樵	牽	犬	猷	研	硯	絹	鼎	肩	見	謙	賢	軒	遣	
3830	鍵	險	顯	驗	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	絃	絃	
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戶	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	孤	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	翹
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倅	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	絃	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醇	鉉	礦	鋼	閣	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麴	克	刻
3970	告	国	穀	酷	鵠	黑	獄	漉	腰	甌	忽	惚	骨	狛	込	
3A20	此	頃	今	困	坤	墜	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	
3A30	紺	良	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	查	沙	磋	砂	詐	鎖
3A40	裝	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
3A50	歲	濟	災	采	犀	碎	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剂	在
3A60	材	罪	財	呀	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	崎	碯	鷺	作	削
3A70	咋	擲	昨	朔	棚	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3B20	察	撈	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	錯	鮫	皿	晒	
3B30	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	產	算	纂	蚕	讚	贊
3B40	酸	餐	斬	暫	殘	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	攷	斯	施	旨	枝	止
3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒	字	寺	慈	持	時	
3C20	次	滋	治	爾	壘	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辭	汐	鹿	
3C30	式	識	鳴	竺	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	實	蔀	篠	愚	柴	芝	屢	藥	縞	舍	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	积	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	蒐	
3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	曾	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎
3D40	柔	汁	渋	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熱
3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	薯	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3E20	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妾	娼	宵	将	小	少	
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	粧	紹	肖	莖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞞	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬢	常
3E70	情	擾	条	杖	淨	狀	豊	穰	蒸	讓	釀	錠	囑	埴	飾	
3F20	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	
3F30	唇	娠	寢	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3F40	神	秦	紳	臣	芯	新	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	鞞	筭	諷	須	醉	凶	厨
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘	隨
3F70	瑞	髓	崇	嵩	数	椽	趨	雛	据	杉	梶	菅	頗	雀	裾	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4020	澄	摺	寸	世	瀨	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	静	齐	稅	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	折	設
4060	窃	節	說	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
4070	扇	撰	栓	柁	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120	織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	錢	銃	閃	鮮	
4130	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糰	噲	塑	岨	措	曾	曾	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匝	忽	想	搜	掃	挿	搔
4160	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	槽	総	綜	聡
4170	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	増	憎	
4220	藏	藏	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	
4230	属	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	太	汰	詫	唾	墮	妥	惰	打	柁	舵	惰	陀	駄	驛	体	堆
4250	对	耐	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸
4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
4270	宅	托	扱	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	胤	娟	只	
4320	叩	但	達	辰	奪	脱	異	豎	迪	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	
4330	丹	单	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	簞	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	断	暖	檀	段	男	談	值	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
4370	註	耐	鑄	駐	樗	豬	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵		
4420	帖	帳	庁	弔	張	彫	徵	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	
4430	聰	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	鈔	長	頂	鳥	勅	抄	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	摑
4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鏢	椿	潰	坪	壺	嬌	袖	爪	吊
4460	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	遞	
4520	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鎬	蕩	哲	
4530	徹	撤	徹	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
4540	点	佻	殿	灘	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	禱	棟
4570	盜	淘	湯	濤	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到	
4620	董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	鬪	働	
4630	動	同	堂	導	懂	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴉	匿
4640	得	德	濟	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	椽	凸	突	椽	届
4650	薦	苦	寅	酉	瀨	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	吞	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	凧	難	謎	灘	捺	鍋	櫛	馴	繩	駭	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	式	邇	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4720	如	尿	菲	任	妊	忍	認	濡	襦	祢	寧	葱	猫	熱	年	
4730	念	捻	燃	燃	粘	乃	迺	之	埜	囊	惱	濃	納	能	腦	膿
4740	農	視	蚤	巴	把	播	霸	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	魔	拜	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4760	煤	煤	狼	買	壳	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍
4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麥	

漢字コード表(全角文字)(3/5)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4820	函	箱	砒	箬	肇	筍	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	潑	癸	
4830	酸	髮	伐	罰	拔	筏	閱	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4840	叛	帆	搬	斑	板	汎	汎	版	犯	班	繁	般	藩	販	範	
4850	采	煩	頌	飯	挽	晚	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	秘	緋	罷	肥	被	
4870	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	毳	眉	美	
4920	鼻	柁	稗	匹	疋	髭	彥	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	
4930	檜	姬	媛	紐	百	謬	佞	彪	標	冰	漂	瓢	票	表	評	豹
4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鉦	蒜	蛭	鯖	品	彬	斌	浜	瀕	貧
4950	質	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	阜	怖	扶	敷
4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	赴	阜	附	侮	撫	
4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葦	落	伏	副	復	幅	服	
4A20	福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	
4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	摒	幣	平
4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋
4A50	偏	變	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	鋪	鋪
4A60	圃	捕	步	甫	補	輔	穗	募	慕	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	抱	抱	捧	放	方	朋	
4B20	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	
4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉞	防	吠	頰	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	鉤	勃	沒	殆	堀	媿	奔	本	翻	凡	盆
4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	每	哩	楨	幕	膜	枕	鮪	枉
4B70	鱒	樹	亦	侯	又	抹	末	沫	汰	儘	爾	磨	万	慢	滿	
4C20	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	衰	稔	脈	妙	
4C30	耗	民	眠	務	夢	無	牟	矛	鷄	鶯	棕	婿	娘	冥	名	命
4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麵	摸	模
4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	木	儲	木	默	目	杳	勿	餅
4C60	尤	戾	粃	貫	問	悶	紋	鬥	夂	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
4C70	矢	厄	役	約	藥	訊	躍	柳	葦	鏈	愉	愈	油	癒		
4D20	論	輸	唯	佑	優	勇	友	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧		
4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4D40	營	輿	預	備	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	揚	樣	洋	浴
4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
4D60	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E20	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	律	掠	略	劉	流	溜	
4E30	琉	留	硫	粒	隆	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	兩	凌	
4E40	寮	料	梁	涼	獠	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
4E50	綠	倫	厘	林	淋	麟	琳	臨	輪	隣	鱗	璠	墨	淚	累	
4E60	類	令	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
4E70	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
4F20	蓮	連	鍊	呂	魯	魯	爐	路	路	露	勞	婁	廊	弄	朗	
4F30	樓	榔	浪	漏	牢	狹	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	祿	肋	錄
4F40	論	倭	和	話	歪	脇	脇	惑	梓	驚	互	亘	鱈	詫	藁	蕨
4F50	腕	灣	碗	腕												
4F60																
4F70																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5020	弋	巧	丕	个	卬	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	孛		
5030	舒	式	于	亞	亟	一	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆	仆	仗
5040	勿	伋	仵	价	伉	伏	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侏	佻
5050	佩	佰	侑	佯	來	侖	佖	倪	俟	俎	俘	俛	侖	俚	侖	侖
5060	俚	倚	倨	倨	倪	倅	倅	倅	俶	倡	倩	倅	俅	俯	們	倆
5070	偃	假	會	偕	修	倣	倣	倣	偲	偲	偲	偲	偲	偲	偲	偲
5120	僉	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5130	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
5140	兩	兪	兮	冀	冂	回	册	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
5150	寫	幕	冫	決	冫	冲	冰	况	洄	涸	涼	凜	几	處	凜	凭
5160	凰	口	函	又	刊	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
5170	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
5220	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
5230	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5240	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅
5250	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥
5260	呀	听	吭	吼	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮
5270	咒	呻	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀
5320	咫	晒	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃
5330	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5340	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5350	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5360	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫
5370	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫
5420	圉	國	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍
5430	坵	垂	岱	坡	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵
5440	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤
5450	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑
5460	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑
5470	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭
5520	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁
5530	娑	娜	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉
5540	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽
5550	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃
5560	它	宦	宸	寃	寇	雀	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃
5570	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃	寃
5620	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺	屺
5630	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
5640	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
5650	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺
5660	巫	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳
5670	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟
5720	廖	廣	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡
5730	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁
5740	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳
5750	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒	徒
5760	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙
5770	協	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂	恂

B 技術情報

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5820		悄	俊	悖	悦	悒	悒	悒	惡	悖	惠	倦	悴	悴	悽	惆
5830	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
5840	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
5850	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
5860	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
5870	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
5920		戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
5930	狂	扶	找	抒	抓	抖	拔	扑	环	拗	拊	坤	拏	拿	拆	擔
5940	拈	拜	拌	拊	拂	拇	拋	拉	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈
5950	捐	挾	捍	搜	捏	掖	拈	掀	掀	捶	掣	掏	掉	掙	掙	捫
5960	振	揀	揀	揀	揀	揀	揀	揀	揀	揀	揀	揀	揀	揀	揀	揀
5970	攝	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗
5A20		據	擒	撞	擇	撻	擊	插	擱	擱	擱	擱	擱	擱	擱	擱
5A30	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬
5A40	收	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸
5A50	斟	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫	斫
5A60	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾
5A70	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾	戾
5B20		睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽
5B30	隴	霸	尤	束	朶	朶	朶	朶	杆	杞	杠	杙	杙	杙	杙	杰
5B40	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸
5B50	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸
5B60	梳	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸
5B70	梵	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸	柸
5C20		楮	棧	棕	櫻	椒	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧	棧
5C30	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨
5C40	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨	楨
5C50	榻	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠	檠
5C60	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭
5C70	榻	榻	榻	榻	榻	榻	榻	榻	榻	榻	榻	榻	榻	榻	榻	榻
5D20		櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟
5D30	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟
5D40	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛	歛
5D50	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮
5D60	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮
5D70	汾	汨	汨	沒	沐	泄	決	泓	沽	泗	泗	沂	沂	沚	沚	沚
5E20		汨	泛	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎
5E30	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌
5E40	涇	涇	涇	涇	涇	涇	涇	涇	涇	涇	涇	涇	涇	涇	涇	涇
5E50	湮	荷	渙	浹	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙
5E60	滿	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄
5E70	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
5F20		漾	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉
5F30	澎	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉
5F40	濱	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉
5F50	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉
5F60	烙	焉	烽	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜
5F70	煩	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6020		燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹	燹
6030	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤	賤
6040	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎
6050	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥
6060	玻	珀	珀	珮	珮	珮	珮	珮	珮	珮	珮	珮	珮	珮	珮	珮
6070	瑁	瑜	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁
6120		瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠
6130	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕	甕
6140	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧
6150	痂	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖	疖
6160	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂
6170	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰
6220		癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
6230	駁	輝	輝	孟	孟	孟	孟	孟	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍
6240	眄	眩	眩	眄	眄	眄	眄	眄	眄	眄	眄	眄	眄	眄	眄	眄
6250	睪	睪	睪	睪	睪	睪	睪	睪	睪	睪	睪	睪	睪	睪	睪	睪
6260	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟
6270	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳
6320		磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳	磳
6330	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕
6340	柜	拔	林	程	稍	稍	稍	稍	稟	稟	稱	稻	稟	稟	稟	稟
6350	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6360	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6370	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	筓	筓	筓	筓	筓	筓	筓	筓
6420		筓	筓	筓	筓	筓	筓	筓	筓	筓	筓	筓	筓	筓	筓	筓
6430	箇	箇	箇	箇	箇	箇	箇	箇	筓	筓	筓	筓	筓	筓	筓	筓
6440	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐
6450	簧	簧	簧	簧	簧	簧	簧	簧	簫	簫	簫	簫	簫	簫	簫	簫
6460	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐	箐
6470	粽	粽	粽	粽	粽	粽	粽	粽	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝	糝
6520		紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
6530	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨	絨
6540	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫	綫
6550	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵
6560	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵
6570	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵
6620		罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽
6630	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽	罽
6640	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸	羸
6650	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒	耒
6660	聳	聳	聳	聳	聳	聳	聳	聳	聳	聳	聳	聳	聳	聳	聳	聳
6670	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛
6720		胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛
6730	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛
6740	臉	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍
6750	與	舊	舍	舐	舖	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩	舩
6760	鱗	鱗	鱗	鱗	鱗	鱗	鱗	鱗	鱗	鱗	鱗	鱗	鱗	鱗	鱗	鱗
6770	莒	莒	莒	莒	莒	莒	莒	莒	莒	莒	莒	莒	莒	莒	莒	莒

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6820		茵	茴	茗	苾	茱	苻	茹	苳	苔	茯	茫	茗	荔	莅	莛
6830	莪	苔	莢	莖	莛	莜	莠	莠	莠	莠	莠	莠	莠	莠	莠	莠
6840	萱	葦	菀	菀	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶	葶
6850	莢	菱	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴
6860	葯	施	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵
6870	芳	蔡	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵
6920		萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵	萵
6930	薜	薜	薜	薜	薜	薜	薜	薜	薜	薜	薜	薜	薜	薜	薜	薜
6940	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋	蘋
6950	蚩	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪
6960	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟	蛟
6970	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
6A20		蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮	蝮
6A30	蝗	蝗	蝗	蝗	蝗	蝗	蝗	蝗	蝗	蝗	蝗	蝗	蝗	蝗	蝗	蝗
6A40	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕	蠕
6A50	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾
6A60	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
6A70	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂	袂
6B20		襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦
6B30	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲	覲
6B40	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖	訖
6B50	詵	詵	詵	詵	詵	詵	詵	詵	詵	詵	詵	詵	詵	詵	詵	詵
6B60	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤
6B70	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤
6C20		諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤	諤
6C30	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌
6C40	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌	貌
6C50	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽	賽
6C60	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒	緒
6C70	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
6D20		蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
6D30	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
6D40	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
6D50	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
6D60	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
6D70	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨
6E20		迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨
6E30	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈
6E40	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃	酃
6E50	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫
6E60	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵
6E70	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤
6F20		鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔
6F30	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔	鎔
6F40	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄
6F50	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄
6F60	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨
6F70	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
7020		陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝	陝
7030	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸	隸
7040	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽
7050	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜	靜
7060	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋
7070	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶
7120		顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛
7130	舖	舖	舖	舖	舖	舖	舖	舖	舖	舖	舖	舖	舖	舖	舖	舖
7140	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑	饑
7150	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁	駁
7160	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾	騾
7170	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
7220		髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
7230	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄	魄
7240	穌	穌	穌	穌	穌	穌	穌	穌	穌	穌	穌	穌	穌	穌	穌	穌
7250	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨
7260	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨
7270	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱	馱
7320		鴿	鴿	鴿	鴿	鴿	鴿	鴿	鴿	鴿	鴿	鴿	鴿	鴿	鴿	鴿
7330	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓	鷓
7340	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚
7350	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩	麩
7360	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽
7370	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧
7420																
7430																
7440																
7450																
7460																
7470																

ディスプレイ表示一覧

ディスプレイに表示される情報を次に示します。斜体文字はディスプレイ下段の表示です。

ディスプレイ表示一覧(1/3)

表示の種類	表示	表示の意味	
給紙方法に関する表示	ホッパ1 XXX XXX	上から1段目のホッパーからの給紙を選択しています。	
	ホッパ2 XXX XXX	上から2段目のホッパーからの給紙を選択しています。	
	ホッパ3 XXX XXX *	上から3段目のホッパーからの給紙を選択しています。	
	ホッパ4 XXX XXX *	上から4段目、左側のホッパーからの給紙を選択しています。	
	ホッパ5 XXX XXX *	上から4段目、右側のホッパーからの給紙を選択しています。	
	トレイ XXX XXX	トレイ給紙を選択しています。	
	フウトウ XXX XXX	封筒フィーダ給紙を選択しています。(封筒フィーダ装着時)	
	用紙サイズに関する表示	XXX A3タテ XXX	A3サイズ(縦置き)の用紙を選択しています。
		XXX B4タテ XXX	B4サイズ(縦置き)の用紙を選択しています。
		XXX A4タテ XXX	A4サイズ(縦置き)の用紙を選択しています。
		XXX A4ヨコ XXX	A4サイズ(横置き)の用紙を選択しています。
		XXX B5タテ XXX	B5サイズ(縦置き)の用紙を選択しています。
		XXX B5ヨコ XXX	B5サイズ(横置き)の用紙を選択しています。
		XXX A5ヨコ XXX	A5サイズ(横置き)の用紙を選択しています。
		XXX A5タテ XXX	A5サイズ(縦置き)の用紙を選択しています。
		XXX LTタテ XXX	レターサイズ(縦置き)の用紙を選択しています。
		XXX LTヨコ XXX	レターサイズ(横置き)の用紙を選択しています。
	XXX ハガキ XXX	はがきサイズの用紙を選択しています。	
	通常表示	XXX A4→A3 XXX	A4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
XXX B4→A3 XXX		B4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。	
XXX A3→B4 XXX		A3サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。	
XXX LP→B4 XXX		帳票サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。	
XXX A4→B4 XXX		A4サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。	
XXX B5→B4 XXX		B5サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。	
XXX A3→A4 XXX		A3サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。	
XXX B4→A4 XXX		B4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。	
XXX LP→A4 XXX		帳票サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。	
XXX A4 × 2 XXX		A4サイズ2ページ分のデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。	
XXX B4→B5 XXX		B4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。	
XXX A4→B5 XXX		A4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。	
XXX B5 × 2 XXX		B5サイズ2ページ分のデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。	
XXX B5→A4 XXX		B5サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。	

* オプションの大容量ホッパを取り付けている場合のみ表示されます。

ディスプレイ表示一覧(2/3)

表示の種類		表示	表示の意味
通常表示	用紙の種類に関する表示	フツウシ XXX XXX	普通紙を選択しています。
		アツガミ XXX XXX	厚紙を選択しています。
		ラベルシ XXX XXX	ラベル紙を選択しています。
		OHP XXX XXX	OHPシートを選択しています。
		アナアキシ XXX XXX	穴あき紙を選択しています。
	排出先に関する表示	XXX XXX FU	排出先にフェイスアップトレイを選択しています。(フェイスアップトレイ装着時)
		XXX XXX ソータ	排出先にソータユニットを選択しています。(ソータユニット装着時)
		XXX XXX シアゲ	排出先にフィニッシャを選択しています。(フィニッシャ装着時)
ステータス表示			
	コピー XX マイ	コピー枚数がXX枚に設定されています。コピー枚数はメニューモードで最大99枚まで設定できます(125ページ参照)。この表示は、コピー枚数をメニューモードで2枚以上に設定したときに、給紙方法・用紙サイズ・印刷方向(例: “ホッパA4ポート”)の表示と交互に表示されます。コピー枚数が1枚(オリジナルのみ)の場合には表示されません。	
	ホッパX XX ホキユウ	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの内紙がありません。「ホッパX」のXの箇所に選択しているホッパ番号が表示されます。	
	トレイ XX セット	コンピューターから印刷データを受信しましたが、トレイに用紙がセットされていないので印刷できません。表示されているサイズの用紙をトレイにセットしてください。	
	フウトウ セット	コンピューターから印刷データを受信しましたが、封筒フィーダに封筒がセットされていないので印刷できません。封筒を封筒フィーダにセットしてください。(封筒フィーダ装着時)	
	イニシャルイズチュウ	電源投入時のイニシャルイズを実行中です。	
	エージングチュウ	エージングを実行中です。	
	ウォームアップチュウ	ウォームアップ中です。	
	ジュシンチュウ	データを受信中です。	
	ショリチュウ	データ処理を実行中です。データ処理が終了し、排出可能となるまで表示されます。	
	インサツチュウ	印刷中です。用紙が排出されるまで表示されます。	
	データガノコッテイマス	未印刷データがプリンター内に残っています。	
	テストインサツチュウ	テスト印刷を実行中です。	
	16シンダンブチュウ	16進ダンブ印刷を実行中です。	
	リセットジッコウ	リセットします。	
アラーム表示			
	72 カバーオープン XXX	左カバー[A]、左カバー[B]、左カバー[C]、両面印刷カバー、ソータユニットカバー[D]、フィニッシャのフロントカバー、ゲート[E]、カバー[F]、カバー[G]、カバー[H]が開いています。XXXの箇所に「ホンタイ」、「キュウシ」、「リョウメン(両面印刷ユニット装着時)」、「ソータ(ソータユニット装着時)」、「シアゲ(フィニッシャ装着時)」が表示されます。	
	73 EPカートリッジナシ	EPカートリッジが取り付けられていません。	
	74 カミツマリ XXX	プリンタ本体、両面印刷ユニット、給紙部で紙づまりが発生しています。ディスプレイ下段には紙づまりが発生している箇所のみ表示されます。XXXの箇所に「ホンタイ」、「キュウシ」、「リョウメン(両面印刷ユニット装着時)」、「ソータ(ソータユニット装着時)」、「シアゲ(フィニッシャ装着時)」が表示されます。	
	77 テイキホシュ	定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期です。	
	78 ステープルイジョウ ステープルまたはカートリッジ ナシ	ステープルがフィードできない。 またはステープルカートリッジが未装着です。	

ディスプレイ表示一覧(3/3)

表示の種類	表示	表示の意味
アラーム表示 (続き)	84 フォーム オーバ リセットシテクダサイ XX	フォーム登録に必要なメモリが不足しています。
	85 スタックフル XXX	排紙トレイ、ソータユニット、およびフィニッシャのいずれかに規定量を越える枚数の用紙が出された場合発生します。 XXXの箇所に「フェースダウン」、「ソータ（ソータユニット装着時）」、「シアゲ（フィニッシャ装着時）」が表示されます。
	86 ヨウシアリ ソータ	ソータユニット装着時の電源を入れた時、またはソータモード切替え時、ソーターのいずれかに規定量を越える枚数の用紙が出された場合発生します。
	88 EPタイプチガイ EPゴウカン	EPカートリッジのタイプが違います。
	89 トレイミソウチャク	トレイまたはオプションの封筒フィーダが未装着です。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニュー表示については「メニューツリー」(58～64ページ) および「付録A」をご覧ください。	

用語解説

英数字

[?]ボタン

Windows 98/95、Windows NT 4.0で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

10BASE-2/10BASE-T/100BASE-TX

LANの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-2/Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。本プリンターでのこれらの規格のケーブルを使ってLANに接続するにはLANボードまたはLANアダプターが必要。(詳細は「3章 オプション」参照)。

16進ダンブ印刷

プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。

201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

AppleTalk

米国アップルコンピュータ社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウェアまたはプロトコル。本プリンターの場合マルチプロトコルLANボード(型番PC-PR-L01)と拡張プリンタードライバー(型番PR2200NW2-21)が必要。

CR

Carriage Return キャリッジリターン略。プリンターの制御コード(コマンド)のひとつ。

DIMM

Dual In-line Memory Moduleの略。コンピューターやプリンターなどのメモリーを増設するもの。

DPI

Dots Per Inchの略。プリンターの解像度などを表す単位のひとつ。(→解像度)

FF

Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、ページを行うための命令。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号(アドレス)。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPX/SPX

NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピューターが使用するプロトコル。

ISO 9660

ISO(International Organization for Standardization: 国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採用しており、OSによって異なるフォルダやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN Manager

マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。MultiWriter 4050M場合、マルチプロトコルLANボード(型番PC-PR-L01または型番PC-PR-L02)を装着することで対応可能。

LPI

Lines Per Inchの略。1インチ(25.4ミリメートル)当たりの行数。

Macintosh

アップル社が開発したパーソナルコンピューター。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。本プリンターと接続する場合、マルチプロトコルLANボード(型番PC-PR-L01)と拡張プリンタードライバー(型番PR2200NW2-21)が必要。

MOPYING

Multiple Original coPY and printINGの略。NECが提唱するコピー機の代わりにプリンターでオリジナル印刷する新しい「印刷スタイル」。

MS-DOS

Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows 98/95、Windows NT 4.0/NT3.51から「MS-DOSプロンプト」や「DOS互換ボックス」を使ってMS-DOSアプリケーションを使っている場合はリモートパネルを使ったプリンターの設定が可能。

NetBEUI

IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。おもにLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

NetWare

ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。本プリンターの場合LANボード(型番PC-PR-L01あるいは型番PC-PR-L02)を装着することで対応可能。

NMPS

NEC MultiWriter Printing Systemの略。Windowsで使用するプリンターの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるためのシステム。

NPDL

NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHPフィルム

OHP(オーバーヘッドプロジェクター)用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。印刷するときは、トレイ給紙を用いる。

OPC

有機光伝導体。EPカートリッジの感光体部分のこと。

OS

Operating Systemの略。オペレーティングシステムとも言う。コンピューターのハードウェア、ソフトウェアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウェアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウェアを「基本OS」、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがあります。

PPM

Pages Per Minuteの略。1分間に印刷できるページ数のことでプリンターの印刷速度を表す単位。

PrintAgent

双方向通信により、印刷状況の確認、プリンターの設定をコンピューター画面上から実現したソフトウェア。NECマルチライタシリーズに搭載。

PSW

Printer Status Windowの略。プリンターの状態やエラー情報をユーザーのパソコンに画面表示するとともに、音声ガイドで通知するもの。

RGBガンマ

Red Green Blueガンマ

使用しているモニターで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニターの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

SET

Sharp Edge Technologyの略。NECのマルチライタシリーズに採用されている高精細印刷機能。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows NT、Windows 98/95、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType

アップル社とマイクロソフト社が開発したソフトウェアで、Macintosh用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX

AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB

Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクタとケーブルで接続できるインターフェース。本プリンターではUSBコネクタを装備しないがUSBプリンターケーブルを使ってプリンター装備のセントロニクス仕様準拠コネクタとコンピューターのUSBコネクタを結ぶことができる。

Windows 98/95

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。

Windows NT

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

Windowsアプリケーション

Windows専用のソフトウェアプログラム。Windowsオペレーティングシステム(OS)がないと起動できない。

五十音順

アイコン

アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。

合紙(あいし)

印刷の切れ目に目印とする用紙を差し紙排紙する機能。

アウトラインフォント

文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現することができる文字のこと。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アドミニストレーター/Administrator

管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。(→システム管理者)

アプリケーション

文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール

インストールしたソフトウェアを取り除く作業。

イニシャライズ

初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンタをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ

Windowsアプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き

用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。縦向きと横向きがある。

印刷範囲

プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール

一般には設定するという意味であるがここではソフトウェアをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース

2つの装置(デバイス)を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。本プリンターの場合、標準のコネクタでセントロニクスデータコンピューター社に準拠したインターフェースが利用できる。

ウィンドウ

アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。

ウォームアップ

プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度まで上昇して印刷が可能になるまでの状態をいう。「節電モード」状態になっている場合、ヒーターをOFFにしているが、印刷データの受信を待たずともPSWのウォームアップボタンをクリックすることによりウォームアップをただちに開始できる。

エミュレーション機能

他の装置(プリンター)のために開発されたソフトウェアの制御コードが使用できる機能。PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。

エリート文字

1インチ(25.4ミリメートル)当たり12文字で印刷する文字のこと。

オフセット排紙

用紙の排紙を用紙の向きはそのままに水平方向にずらして出力する機能。

解像度

プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1ミリメートル当たりのドット数で表す。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC (1BH)、FS (1CH)、のように、あとに続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。

紙づまり

用紙がつかまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

輝度

CRTモニタなどの管面上の明るさ。画面の明るさ。

基本制御コード

制御コードのうち、CR (0DH)、LF (0AH)のように単独で機能を表すコード。

クライアント

ネットワークを介して他のコンピューター(またはサーバ)にアクセスしている利用者、または利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー

中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター(サーバー)が共有の資源(ハードディスクやプリンター)を管理し、接続を許されたコンピューター(クライアント)が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。(→ピア・ツー・ピア)

クリック

マウスのボタンを押してすばやく放す操作のこと。

グレイスケールイメージ

それぞれのドットを、白黒ではなくグレイの濃淡として保存しているビットマップイメージ。

現像ユニット

OPCドラム上に形成された潜像に、負電させたトナーを付着させる役目を持つ。EPカートリッジに内蔵されている。

コマンド

コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択、または入力する命令。

コンデンス文字

1インチ(25.4ミリメートル)当たり約17文字で印刷する文字のこと。

コントラスト

グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル

Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などといった設定を行うための画面をいう。

自動給紙

カット紙(単票用紙)を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出

コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター

文字単位で印刷を行うプリンター。

[スタート]ボタン

Windows 98/95、Windows NT 4.0でプログラムの起動やファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。

スプール

ドキュメント(文書)を印刷する場合に印刷データをパソコンのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード

プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。

セントロニクス・インターフェース

プリンターとコンピューター間の通信仕様のひとつ。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターでは標準の36ピン・パラレルコネクタで使用できる。

双方向通信

コンピューターとプリンターとの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するためには必須な条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信にはセントロ接続が双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターであるかネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウェア

コンピューターやプリンターなどハードウェアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバーなどが含まれる。

ダイアログボックス

プリンターの設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。

タイトルバー

ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。

タブ

Windows 98/95で、ダイアログボックスの中に複数の設定画面(シート)がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみ。

ダブルクリック

マウスのポインタ(矢印)を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。

チェックボックス

ダイアログボックスの中の小さな正方形で、オン/オフの切り替えができるオプション(機能)を示す。オンにするとチェックボックスに印が表示される。

通常使うプリンター

アプリケーションで[印刷]コマンドを実行したときにその印刷データを印刷するプリンター。本プリンターで印刷を行う前に必ず通常使うプリンターとして設定しておく必要がある。

ツールバー

ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。

坪量

用紙の重さを表す単位。1m²(1枚)あたりのグラム数をいう。単位はg/m²。

定着ユニット

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷

プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート機能

プリンターに増設ハードディスク(オプション)を取り付けることにより実現できる機能。増設ハードディスクに印刷データをスプールし、必要な部数そろえて印刷すること。

ドライバー

プリンタードライバーの項を参照。

ドライブ名

ドライブに割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。

ネットワーク

ケーブルまたは他の手段を用いて接続され、ソフトウェアを使って機器(プリンターなど)を共有し、情報を交換できるようにしたコンピューターの集団。

ハードウェア

コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。

ハーフトーン

グレイスケールイメージを、元のイメージのグレイの濃淡に似せて、白と黒のドットに変換する処理。

バッファフル

ページバッファに1ページ分の印刷データがたまることをバッファフルという。バッファフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ピア・ツー・ピア

小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず、コンピューターどうし、コンピューターとプリンター間で対等に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード/LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。(→クライアント・サーバー)

ヒートローラー

定着ユニットにあり、プレッシャーローラーと共に熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル

ディスプレイ上の点。画像の最小単位。

ビットマップ

画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷

見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー

プリンターの電源をOFFにしても記憶した内容が消えていないメモリー。

ブラシパターン

図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル

コンピューターとプリンターを接続するケーブル。インターフェースケーブルとも呼ばれる。

プリンタードライバー

コンピューターとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、Windowsに提供する。

プリントマネージャ

Windows 3.1、Windows NT 3.5/3.51オペレーティングシステムの一部で、Windowsアプリケーションからの印刷をコントロールし、印刷作業の監視も行う。

プログラムマネージャ

Windows 3.1やWindows NT 3.5/3.51の操作の基本となるウィンドウ。全体を管理しているもの。

プロトコル

コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ

オブジェクトの属性のこと。Windows 98/95、Windows NT 4.0では、タイトルの色の設定やプリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。Windows 98/95、Windows NT 4.0のアプリケーションガイドラインでは、マウスの右ボタンをクリックすることにより、いつでもオブジェクトのプロパティを表示させることができる。

プロポーショナル文字

印刷される文字により、印刷幅を変えて印刷する文字のこと。

ページ記述言語

1ページ分のテキスト(文字)やグラフィック(図形)のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター

ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開(作成)して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント(マウスの)

マウスのポインタを目的の項目の上に置く動作。

ポイント(文字の)

印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは約0.35ミリメートル(1/72インチ)。

ポート

プリンターなどの装置をコンピュータに接続するために使う接続先。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。

ボタン

ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。

マウスポインタ

マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。

メニュー

ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。

メニューモード

プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。

メモリー

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリースイッチ

不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にオン/オフを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の選択肢の中からひとつを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでオンだったものが連動してオフになる。

ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。

リストボックス

ユーザーに対して、項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。

リブプレート

転写後の用紙を定着ユニットまで正しく送り込むための用紙ガイド。

リプリント

一度印刷したデータを、再度印刷したいときに短時間に印刷出力を可能にした本プリンターの印刷機能のひとつ。

レーザープリンター

電子写真式のページプリンターの代表的タイプ。ドラムにレーザー光をあてて像を作り、トナーで現像して紙に転写するプリンターのこと。

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズ of 用紙1000枚当たりの重さをいう(本マニュアルで使用している用紙の連量は、70kg)。

用紙1枚1m²単位の重さを坪量という。国際的にはm²で表すのが望ましいが、国内では連量が慣用されている。(→坪量)

ローカルプリンター

コンピュータと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索引

索引中の[1]はユーザズマニュアル[1/2]、
[2]はユーザズマニュアル[2/2]のページを示
しています。

英数字

[?]ポインタ	[2]234
1バイト系コード表	[1]189
201PLエミュレーション時の設定	[2]241
2極/3極変換プラグ	[1]3, 37
2バイト系コード表	[1]190
80桁モード	[1]148
A4ポートレート桁数	[2]241
CD-ROMドライブ	[2]4
CPU	[1]139
CRコードの機能	[2]242, 243
EPカートリッジ	[1]18, 20, 72
~の回収	[1]78
~の交換	[1]77
~の交換手順	[1]78
~の購入	[1]78
~の寿命	[1]83
~の取り扱い上のご注意	[1]78
~を取り付ける	[1]21
ESC c1(リセット)コード	[2]242, 243
FFコード	[2]242, 243
FontAvenueフォント	[2]196
FU	[1]46
IBM DOS J5.0/V	[2]127
JIS78コード	[2]169, 179
LANアダプタ	[1]66, 70
LANプリンター	[2]28, 56, 84, 108
LANボード	[1]18, [2]227
~取り付けマニュアル	[1]18
~用スロット	[1]19
MOPYING	[1]v
MS-DOS環境	[2]129
両面印刷	[2]206
[MultiWriter 4050M]フォルダー	[2]222
NEC e-mailメンテナンス	[2]255
NECサービス網一覧表	[1]18
NECプリントサーバー	[2]245
NPD	
~(Level 2)リファレンスマニュアル	[1]66
~環境の設定	[1]130
~の初期状態	[1]149
OCR-Bフォントについて	[1]176
OHP	[1]46
OHPフィルム	[1]25, [1]141
OS	[1]140
PC-PR201系、101系プリンター	[2]131
PrintAgent	[2]5, 221
お読みください	[2]222
構成	[2]222
削除	[2]35, 63, 94, 115

システムアイコン	[2]222
システム起動	[2]222
システムメニュー	[2]222, 224
機能	[2]224
開く	[2]224
制限事項	[2]265
正常に機能させるために	[2]264
正しく動作しない	[2]266
動作させる前に	[2]264
動作中	[2]265
~のプロパティ	[2]226
ヘルプ	[2]222
利用できるネットワーク環境	[2]15
利用できる便利な機能	[2]7
[PrintAgent管理ツール]フォルダー	[2]223
PSW. プリントステータスウィンドウ を参照	
PSWのプロパティ	[2]225
RAM	[1]139
SET	[1]vii
TrueTypeフォント	[2]
163, 169, 171, 179, 181, 187, 189, 196	
USBプリンタケーブル	[1]66
Web PrintAgent	[2]18
Windows 2000 日本語版	[2]65
Windows 3.1 日本語版	[2]123, 133
Windows 95 日本語版	[2]37
Windows 98 日本語版	[2]9
Windows NT 3.51 日本語版	[2]117
Windows NT 3.5 日本語版	[2]129
Windows NT 4.0 日本語版	[2]97

ア

アース線	[1]3, 37
アイコンが表示されない	[2]266
アイコン表示ボタン	[2]245
合紙	[2]212
~指定	[2]241
厚紙	[1]24, 46
穴あき紙	[1]25, 46
穴あけ.パンチ を参照	
アプリケーション	[2]158, 165, 175, 184, 192
アラーム	
~通知	[2]7
アラーム表示が出ているときは	[1]99
アラームランプ	[1]47
安全	
~にお使いいただくために	[1]1
~にかかわる表示	[1]i
安全上のご注意	[1]2

イ

一時停止	[2]230
~できない	[2]267
一時停止ボタン	[2]230

印刷	
～位置調整	[2] 195, 241
～おかしい	[1] 90
～開始コード	[2] 242, 243
～が薄い	[1] 95
～環境の設定	[1] 125
～再開	[2] 230
～されない	[1] 96
～中止	[2] 230
～できない	[1] 97
～手順	[2] 152
～に異常が見られる	[1] 95
～の向き	[2] 160, 170, 180, 188, 194
～部数	[2] 241
～方向	[1] 46, [2] 241
印刷位置の調整	[2] 160, 170, 180, 188
印刷可ランプ	[1] 47
印刷再開ボタン	[2] 230
印刷設定	[2] 170
[印刷設定]ダイアログボックス	[2] 164, 191, 194
印刷速度	[1] 139
印刷中止ボタン	[2] 230
印刷範囲	[1] 143
印刷ログ	[2] 8, 258
記録結果	[2] 263
設定	[2] 259
印字位置微調整の設定	[1] 127
インストーラーを起動	[2] 17, 45, 71
インストール	[2] 2, 9, 37, 65
プリンターソフトウェア	[2] 97
方法の選択	[2] 10, 38, 66, 98
インターフェース	[1] 139, 151
～コネクタ	[1] 19

ウ

ウォームアップ	[2] 234
～開始	[2] 163, 173, 182
ウォームアップボタン	[2] 230
運搬	[1] 43
運用環境の設定	[1] 129

エ

エミュレーションの設定	[2] 241
-------------	---------

オ

お客様登録申込書	[1] 9, 18
オプション	[1] 65, 67, [2] 169, 179, 232
～の設定	[1] 127
[オプション]ダイアログボックス	[2] 191, 194
[オプションメニュー]	[2] 255
オフセット排紙	[2] 214
音声メッセージ	[2] 233
～が通知されない	[2] 267

カ

カーボン紙	[1] 25
海外でのご使用	[1] 212, 283
解像度	[2] 163, 171, 172, 181, 182, 189, 194
～指定	[2] 242, 243
拡大縮小率	[2] 160, 170, 180
各部の名称	[1] 19
カスタマーバーコード印刷	[1] 174
かすれ	[1] 96
画像面積比5%の印刷例	[1] 83
紙づまり	
～処理後の確認	[1] 120
ソータユニット	[1] 118
大容量ホッパー	[1] 113
トレイ	[1] 106
～の処理	[1] 102
～のときは	[1] 101
～の発生箇所	[1] 101, 103, 104
排紙口	[1] 107
フィニッシャ	[1] 119
複数の箇所です～	[1] 102
プリンター内部	[1] 107
ホッパー	[1] 110
両面印刷ユニット	[1] 109
感圧紙	[1] 25
環境	[1] 139
乾式PPC用紙	[1] 24
官製はがき	[1] 31
感熱紙	[1] 25
管理者	[2] ii, ii
～以外	[2] ii, ii
管理銘板	[1] 9, [1] 10

キ

危険	[1] i
記号	[1] i, iv, [2] iii, iii
技術情報	[1] 137
起動しない	[2] 266
機能拡張制御コード	[1] 158
給紙	
～構成	[2] 232
～方法	[2] 160, 170, 180, 188, 194, 241
[共有]シート	[2] 161, 168, 179
共有プリンター	[2] 6, 226
設定	[2] 21, 49, 76, 103

ク

国別文字セット	[2] 241
クライアント	[2] ii, ii
クライアント・サーバー接続	[2] 5
[グラフィックス]シート	[2] 163, 171, 181, 189
[グラフィックス]ダイアログボックス	[2] 191, 195
起動	[2] 194
クリーニングキット	[1] 71
クリッピング機能	[2] 206
クリップ機能	[2] 242, 243

グループプリンター	[2]7, 248	[出力制御]シート	[2]160, 171, 181, 188
～のプリンタステータスウィンドウ	[2]254	出力用紙サイズ	[2]160, 170, 180
～への出力	[2]252	仕様	[1]139
～編集	[2]251	[詳細]シート	[2]161
～を作成する前に	[2]248	[詳細設定]ダイアログボックス	[2]204
黒い線が印刷される	[1]95	詳細表示ボタン	[2]245
黒点が印刷される	[1]95	商標	[1]ii

ケ

警告	[1]i
～ラベル	[1]i, 1
契約保守	[1]11

コ

構成情報が違う	[2]268
構成情報ボタン	[2]230
故障かな?と思ったら	[1]89
コネクタ	
(ソータユニット/フィニッシャ接続用)	[1]19
(大容量ホッパー接続用)	[1]19
(フィニッシャ電源供給用)	[1]19
(両面印刷ユニット接続用)	[1]19
コネクタピン配置	[1]153
コピーモード	[2]216
[コントロールパネル]	[2]193
コンピューターに接続する	[1]41

サ

再出力. リプリント を参照	
削除	
PrintAgent	[2]35, 63, 94, 115
プリンターソフトウェア	[2]34, 62, 92, 114
プリンタードライバー	[2]
34, 62, 92, 114, 121, 126	
酸性紙	[1]25

シ

シアゲ	[1]46
質量	[1]140
指定文字列	[2]209
自動	
～起動	[2]225
～してしまう	[2]267
～しない	[2]267
～切り替え	[2]7, 248
～切替機能	[2]160, 171, 181
～縮小	[2]241
～排出時間	[2]242, 243
～復帰改行	[2]242, 243
従来互換の印刷範囲	[2]160, 169, 179, 180, 187
修理	[1]10
終了	[2]224
縮小/拡大モード	[1]46
出張修理	[1]11

ス

スイッチ	[1]45, 48
[一時停止/再開]	[1]84
[印刷可]	[1]48
[印刷方向]	[1]50
[▲]	[1]51
[▼]	[1]51
[▶]	[1]51
[◀]	[1]51
[シフト]	[1]52
[縮小/拡大]	[1]50
[ストップ]	[1]49
[設定変更]	[1]51
[トレイ]	[1]49
[排出]	[1]52
[ホッパ]	[1]50
[メニュー]	[1]49
[メニュー終了]	[1]51
[リセット]	[1]52
[両面]	[1]49
スイッチの機能	[1]48
図形モード	[1]156
[スケジュール]シート	[2]169, 178
[スタート]ボタン	[2]158, 166, 176
スタックモード	[2]216
スタック容量	[1]139
ステータス印刷	[1]188
ステータス情報エリア	[2]230, 254
ステータスバー	[2]230, 233, 239, 245
ステーブル針	[1]72
～の交換	[1]84
～の購入	[1]84
ステーブルどめがうまくいかないときは	[1]121
スプールファイル	[2]228, 231
寸法	[1]140

セ

制御コード	
～一覧	[1] 154
カスタマバーコード印刷	[1] 174
漢字コード表切り替えのため～	[1] 158
機能拡張～	[1] 158
ソータ～	[1] 177
バーコード印刷	[1] 171
ページ～	[1] 162
面～	[1] 165
文字スタイル～	[1] 159
文字セット～	[1] 176
行桁制御印刷コード	[1] 169
図形の描画コード	[1] 166
塗りつぶしに関する設定	[1] 170
清掃	[1] 87
製品寿命	[1] 140
[セキュリティ]シート	[2] 169, 179
設置	
～してはいけない場所	[1] 16
～場所の設定	[2] 247, 249
設定	
～が異なる	[2] 268
～ができない	[2] 268
～が読み込めない	[2] 268
設定ウィンドウ	[2] 239
設定書き込みボタン	[2] 239
設定読み込みボタン	[2] 239
節電機能	[1] vii
節電モード	[2] 241
全角ゼロ	[2] 241
全角フォント	[2] 242, 243
選択できない	[2] 266
[全般]シート	[2] 161, 168, 178

ソ

ソータ	[1] 46, [2] 215
ソータユニット	[1] 66, 68
ソートモード	[2] 216
騒音	[1] 139
操作パネル	[1] 19, 45
スイッチ	[1] 45
ディスプレイ	[1] 45
～文字列	[2] 162, 172, 182, 196
ランプ	[1] 45
増設RAMサブボード	[1] 66, 70
増設ハードディスク	[1] 66, 71, [2] 169, 179, 211
双方向	[2] 249
～サポート	[2] 168, 178
～通信	[2] 161

タ

ダイアログボックス	[2] 191
開く	[2] 165, 175, 184, 192
タイトルバー	[2] 239
タイムアウト設定	[2] 161

大容量ホッパ	[1] 66, [2] 169, 179
～の切り替え方法	[1] 73
～の選択	[1] 73

チ

注意	[1] i
中止できない	[2] 267
丁合い機能	[2] 160, 171, 181, 210
仕分け・フィニッシュ機能の組み合わせ	[2] 219

ツ

ツールバー	[2] 230, 233, 245
[ツールメニュー]	[2] 247
通知形式	[2] 233
通知形式ボタン	[2] 230
ツリービュー	[2] 245

テ

データ形式	[1] 139
データランプ	[1] 47
定形外用紙	[1] 33, 145
～サイズ	[2] 207
定形用紙	[1] 143
定着ユニット	[1] 20
ディザリング	[2] 163, 172, 182, 195
ディスプレイ	[1] 45, 46, [2] 209
～表示一覧	[1] 196
テキストモード	[1] 154
テスト印刷	[1] 38, 76, 125
ステータス印刷	[1] 76
プリント結果	[1] 185
デバイスプロパティ	[2] 168, 178, 187
[デバイスプロパティ]ダイアログボックス	[2] 174, 183
電源	[1] 139
電源コード	[1] 18, 36
～を接続する	[1] 36
電源コネクタ	[1] 19
電源スイッチ	[1] 19
電源の瞬時電圧低下対策	[1] 212, [2] 283
電源ランプ	[1] 47
電子ソート	[2] 241
～機能	[2] 160, 171, 181, 188, 195, 211
電子メール	[2] 7
転写ローラー	[1] 20
電波障害自主規制	[1] 212, [2] 283

ト

登録されていない	[2] 266
ドキュメント情報	[2] 233
ドキュメント情報エリア	[2] 230
ドキュメントプロパティ	[2] 180, 188
[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス	[2] 174, 183
[ドキュメントメニュー]	[2] 255

特長	[1]v
綴じ方向	[2]160, 170, 180, 188
ドット間隔	[1]139
トナーインジケータ	[2]230
トナーシール	[1]22
トナー節約機能	[1]vii
ドライバの削除ボタン	[2]245
ドラムシャッター	[1]21, 81
トレイ	[1]19, 46

ナ

内蔵文字	[1]183
ななめに印刷される	[1]97

ニ

にじむ	[1]97
日本語ページプリンタ言語NPDL	[1]71

ヌ

塗りつぶしに関する設定	[1]170
-------------	--------

ネ

ネットワーク共有プリンタ	[2]245
--------------	--------

ノ

濃度	[2]163, 195
残った用紙	[1]29
ノンカーボン紙	[1]25

ハ

バーコード印刷	[1]171
バーコードフォント	[2]2
バージョン情報	[2]224
[ハードディスク]ダイアログボックス	[2]191, 195
起動	[2]194
ハードディスク容量	[2]2
ハーフトーンカラー	[2]171, 181, 189
廃棄	
消耗品	[1]43
プリンター	[1]43
排紙装置	[2]169, 179
排紙トレイ	[1]19
排出機能	[2]160
排出方法	[2]171, 181, 188, 194, 242, 243
配置	[2]160, 170, 180
はがき	[1]24, 141
箱の中身	[1]14, 17
バルーンメッセージ	[2]230
半角ゼロ	[2]241
半角フォント	[2]242, 243

パンチ	[2]217
-----	--------

ヒ

ピア・ツー・ピア接続	[2]6
ビジュアル情報	[2]233
～エリア	[2]230
左カバー	[1]19
左カバー	[1]19
ビットマップ	[2]163, 171, 181, 189, 195
描画方法	[2]163
表示しない	[2]266, 267
[表示メニュー]	[2]247
ピンセレクト	[2]216

フ

フィニッシュャ	[1]66, 68, [2]217
～での用紙の取り出しかた	[1]75
[フィニッシュャ]ダイアログボックス	[2]191, 194
起動	[2]194
封筒	[1]24, 141
～をセットする	[1]34
封筒フィーダ	[1]66, 68
～に封筒をセットする	[1]34
フェイスアップトレイ	[1]66, 67
フェイスアップ/フェイスダウン機能	[2]160
フォーム印刷	[2]162, 163, 172, 182, 189, 194, 196
[フォーム]シート	[2]162, 163, 172, 182, 189
[フォーム設定]ダイアログボックス	[2]191, 196
フォント	[1]140, [2]194
～環境の設定	[1]130
[フォント]シート	[2]163, 171, 181, 189
[フォント置換設定]ダイアログボックス	[2]191, 196
複数ページ印刷	[2]160, 170, 180
部数	[2]194
普通印刷(片面印刷)時	[1]141
普通紙	[1]24, 46, 141
[プラグ・アンド・プレイ]機能	[2]12, 40, 68
ブラシパターン	[2]163, 171, 181, 189, 195
プリンター	
～一覧	[2]7, 223
～自動切り替え	[2]7
～設定	[2]131
～選択	[2]130, 154
～の寿命	[1]12
～の設置	[1]13
～を運搬する	[1]43
～を廃棄する	[1]43
プリンターケーブル	[1]66, 138
プリンターソフトウェア	[2]1
インストール	[2]9, 37, 65, 97
削除	[2]34, 62, 92, 114
プリンターソフトウェアCD-ROM	[1]18, [2]17, 45, 71
プリンタードライバー	[2]151, 197
印刷	[2]152
インストール	[2]117, 123
削除	[2]34, 62, 92, 114, 121, 126

プリンターフォント	[2] 169, 179, 196
プリンタ管理ユーティリティ	[2] 223, 244
起動	[2] 244
機能	[2] 245
プリンターケーブル	[1] 71
プリンタステータスウィンドウ	[2] 7, 222, 229
起動	[2] 163, 173, 182, 229
機能	[2] 230
グループプリンター使用時	[2] 254
プリンタステータスボタン	[2] 245
[プリンタの構成]シート	[2] 162, 169, 179, 187
プリンタの構成情報	[2] 232
[プリンタの状態]シート	[2] 163, 173, 182, 190
[プリンタの設定]シート	[2] 169, 179, 187
[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス	[2] 164
プリンタ変更ボタン	[2] 239
[プリンタメニュー]	[2] 246
プリントサーバー	[2] 234
[プリントマネージャ]	[2] 185
プロパティシート	[2] 160
プロパティダイアログボックス	[2] 157, 174, 183
開く	[2] 157
プロパティボタン	[2] 245
フロントカバー	[1] 19

へ

ヘルプ	[2] 224, 234
ヘルプボタン	[2] 230, 239
[ヘルプメニュー]	[2] 247
変換プラグ	[1] 18

ホ

ポート	[1] 46, [2] 249
[ポート]シート	[2] 168, 178
ポートレート	[1] 143
保守	[1] 77
～サービスについて	[1] 11
～情報のメール通知	[2] 255
補修用部品	[1] 12
保証	[1] 9
保証書	[1] 9, 18
[補助機能]シート	[2] 162, 172, 182, 190
[補助機能]ダイアログボックス	[2] 191, 196
起動	[2] 194
ホチキス. ステープル を参照	
ホッパ	[1] 46
ホッパー1	[1] 19
ホッパー2	[1] 19
ホッパーにセットできる用紙	[1] 27

マ

真っ黒に印刷される	[1] 96
マニュアル	[2] i, i
マルチプロトコルLANボード	[1] 66, 69

メ

メール通知	
保守情報	[2] 255
ログファイル	[2] 256
メニュー	[2] 239
～項目の登録	[1] 131
～の詳細	[1] 125
メニューツリー	[1] 58
メニューバー	[2] 230, 245, 254
メニューモード	[1] 53
～設定項目一覧	[1] 54
～での設定変更のしかた	[1] 53
～とメモリースイッチの詳細	[1] 125
メモリー	[2] 169, 179, 232
～オーバー時の動作	[2] 242, 243
～割り当て	[2] 241
メモリースイッチ	
～の詳細	[1] 132
～の設定	[1] 131
～の内容	[1] 56

モ

文字間隔	[1] 183
文字コード表	[1] 189
1バイト系コード表	[1] 189
2バイト系コード表	[1] 190
文字構成	[1] 184
文字セット	[2] 242, 243
文字の種類	[1] 183
内蔵文字	[1] 183
文字間隔	[1] 183
文字構成	[1] 184

ユ

ユーザーサポートについて	[1] 9
ユーザーズマニュアル	[1] 18
～の再購入	[1] 12
ユーザーズマニュアル[1/2]	[1] iii, [2] i, i
ユーザーズマニュアル[2/2]	[1] iii, [2] i, i
ユーザー名	[2] 209
指でこするとかすれる	[1] 96

ヨ

洋形4号	[1] 24
用紙	
～が等間隔に汚れる	[1] 95
～サイズ	[2] 160, 170, 180, 188, 194, 241
～種類	[2] 160, 170, 180, 188, 194, 241
～について	[1] 24
OHPフィルム	[1] 25
はがき	[1] 24
封筒	[1] 24
普通紙	[1] 24
ラベル紙	[1] 25

～の規格	[1] 141
～の設定	[1] 126
～容量	[1] 139
用紙サイズ	[1] 46
～シール	[1] 34
～ラベル	[1] 18, [1] 29
用紙残量インジケータ	[2] 230
[用紙]シート	[2] 160, 170, 180, 188
用紙ストッパー	[1] 19
用紙をセットする	[1] 24
大容量ホッパー(オプション)	[1] 33
トレイ	[1] 31
ホッパー	[1] 27
読み方	[2] ii, ii

ラ

ライト	[2] 153
ラベル紙	[1] 25, 46, 141
ランド	[1] 46
ランドスケープ	[1] 144
ランプ	[1] 45, 47
アラーム	[1] 47
印刷可	[1] 47
データ	[1] 47
電源	[1] 47

リ

リストビュー	[2] 245, 254
リプリント	[2] 235, 237
～機能	[2] 7, 160, 171, 181, 226, 231
～実行	[2] 235
ページ指定	[2] 236
両面印刷	[2] 236
[リプリント機能の設定]ダイアログボックス	[2] 228
リプリントボタン	[2] 230
リモート電源制御	[2] 8
リモートパネル	[2] 7, 222, 238
起動	[2] 163, 173, 182, 238
機能	[2] 239
設定項目一覧	[2] 241
設定変更	[2] 239
リモートパネルボタン	[2] 245
利用可能なプリンター	[2] 245
リョウメン	[1] 46
両面印刷	[2]
131, 160, 170, 180, 188, 195, 205, 242, 243	
MS-DOS環境	[2] 206
両面印刷ユニット	[1] 66
～装着(両面印刷)時	[1] 142
両面インジケータ	[2] 230
リレイ給紙	[2] 241

レ

レーザー	[1] 2
[レイアウト]シート	[2] 160, 170, 180, 188

[レイアウト]ダイアログボックス	[2] 191, 195, 204
------------------------	-------------------

ロ

漏洩電流自主規制	[1] 212, [2] 283
----------------	------------------

ワ

ワードパッド	[2] 152, 165, 175
--------------	-------------------



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、通商産業省通知の家電・汎用品
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

ユーザーズマニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

NEC MultiWriter 4050M ユーザーズマニュアル[1/2]

1999年 12月 初版
2000年 9月 第2版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL (03)3454-1111(代表)

MultiWriter 4050



このマニュアルは環境保護のため再生紙を使用しています。

NEC